大阪府茨木市

平成19年度発掘調査概報

平成20年3月

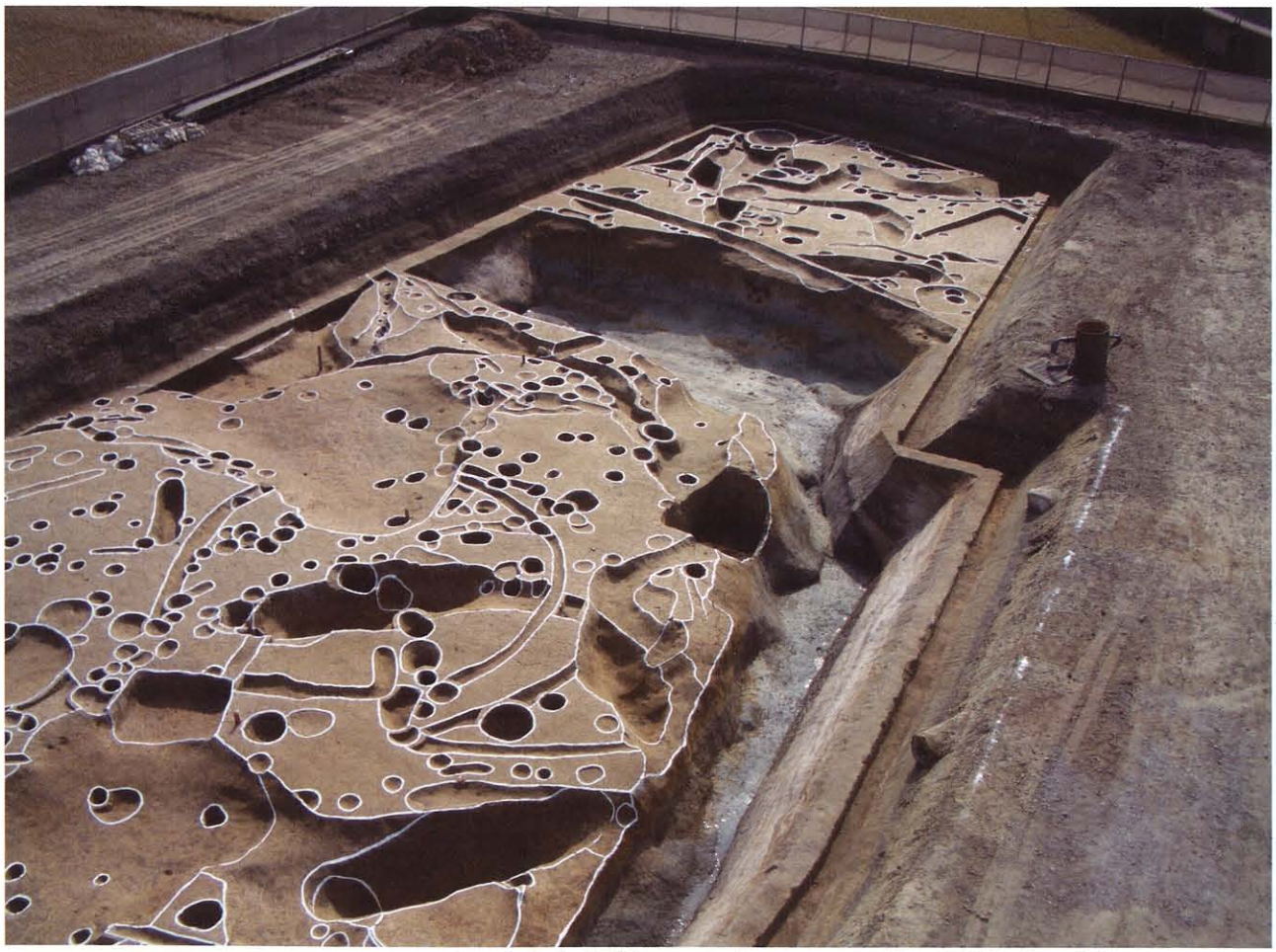
茨木市教育委員会

平成19年度発掘調査概報　正誤表

訂正項目が2ヶ所ありましたので、ご確認願います。

100ページ	誤	第64図	郡遺跡(KC07-1)	調査区配置図
			↓	
	正	第64図	上中条遺跡	調査区配置図
100ページ	誤	第65図	郡遺跡(KC07-1)	調査区平面図
			↓	
	正	第65図	上中条遺跡	調査区平面図

東奈良遺跡(HN06-3) Aトレンチ第２面完掘状況全景１　南西から



東奈良遺跡(HN06-3) Aトレンチ第２面完掘状況全景２　北西から

東奈良遺跡(HN06-3) Bトレンチ第２面検出状況全景　南西から

東奈良遺跡(HN06-3) Bトレンチ第２面完掘状況全景　東から

はじめに

私たちが暮らしているこの茨木は、姥の坂山地のある北部の山並みと、南部を流れる豊かな水源の淀川に囲まれた三島平野の中心部に位置し、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた過ごしやすい環境の土地として、はるか昔から、多くの人たちが生活してきました。そうした人びとの生活は風習として現在に伝えられ、また人びとの生活した足跡は、土に埋もれた文化財として今に残されてきました。

このような先人たちの生活や文化は、現代の私たちの生活の基となるものであり、また、土の中で残された遺構や遺物は、過去の人びとの生活を知る手がかりとなる貴重な文化遺産として、次代に残し伝えていくべきものであります。

しかし、社会情勢、経済の発展や昨今の生活様式の変化などにより、茨木市内においても住宅開発を始め、様々な開発が計画され、事業が進められています。そうしたことにより、私たちの生活は便利になってきていますが、反面、人々の関係は希薄になりつつあり、また後世に伝えるべき先人達からの貴重な文化財を現状のまま残すことが困難になっています。

そのため、文化財を記録として保存し、また出土した遺物や遺構などの資料から古代の人々の生活像を捉えるために、開発者の方々のご協力をえて開発に先立ち、発掘調査を実施し、文化財の記録保存に努めております。

平成18～19年度はおもに東奈良遺跡、上中条遺跡、宿久庄遺跡、郡遺跡、総持寺遺跡などの調査を実施し、本冊子はそのうち平成18年12月から平成19年11月に実施した発掘調査について概略を述べたものです。いずれの調査地からも先人達の生活を知る上で貴重な遺物、遺構が出土しており、今後の研究が期待されます。

終わりになりましたが、調査にあたって惜しみのないご協力をいただきました関係の皆様に深く感謝するとともに、今後とも本市の埋蔵文化財の保存・保護に一層の温かいご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成20年３月31日

茨木市教育委員会
教育長　　八　木　章　治

目　　次

はじめに

例　　言

茨木市内遺跡分布図

平成19年度埋蔵文化財発掘調査一覧表

1. 穂積廃寺跡（上穂積二丁目1201）京阪不動産㈱ …… 1
2. 宿久庄遺跡（豊原124）アパ建設㈱ …… 5
3. 東奈良遺跡（若草町375,377）東急不動産㈱ …… 14
4. 総持寺遺跡（総持寺一丁目380-3,他）近鉄不動産㈱ …… 79
5. 郡遺跡（上穂積四丁目1-37）伊藤忠都市開発㈱ …… 97
6. 上中条遺跡（駅前四丁目7-83）東急不動産㈱ …… 99
7. 東奈良遺跡（若草町279-1,3,295）㈱ニッケイ …… 101
8. 東奈良遺跡（小川町967-2）住友不動産㈱ …… 105
9. 東奈良遺跡（天王一丁目220）中井　壽子 …… 115

例　　言

1　この概報は、茨木市教育委員会が平成19年度に実施した発掘調査事業報告です。

2　本書に使用した地図は「茨木市地域計画図－１／2,500」です。

3　本書は各調査担当者が執筆を行ない、編集は主査　川井 いゆ子が行なった。
整理作業は高橋公子・堀沢照美・下口法子・和田恵津子・高瀬隆治、実測　西坂泰子、
遺物トレース　菅原麻里、遺構トレース　辻本祐布子が担当した。

平成19年度 埋蔵文化財発掘調査事業の概要

1. 平成19年度発掘調査事業

茨木市における平成19年度の発掘件数は８件で、うち２件が専用住宅における部分発掘調査で、埋蔵文化財確認試掘･立会調査件数は199件ありました。発掘調査原因は、すべて民間事業で公共事業はなく、殆どが共同住宅建設工事でした。

発掘調査件数は前年に比べてやや減少傾向にありますが、確認試掘・立会調査件数は30件ほど増加しています。また、今年度も民間企業の土地の売却が進み、交通の利便性や公共施設の充実等からか、ここ数年大規模な共同住宅の開発が顕著に見られ、建設があちこちで行われるようになってきました。

2．平成19年度発掘調査における主要な調査の概要

平成19年度において茨木市教育委員会が実施した発掘調査のなかで、特徴のある調査は東奈良遺跡の調査があげられます。

東奈良遺跡では毎年３～４件の発掘調査が実施されていますが、今年度は規模は小さいながらこれまで調査事例の少なかった阪急京都線南茨木駅北側の若草町・天王地区での発掘調査が増加しています。昨年度末に実施された発掘調査では弥生時代中期の集落をめぐる環濠が４条並行して検出されたほか、１世紀後半の破鏡（方画規矩鏡・漢鏡）が出土した弥生時代後期～古墳時代前期初頭頃の大溝の続きが検出されています。また、その環濠の外側には墓域がひろがり方形周溝墓群も検出され東奈良遺跡の全容が徐々に明らかになりつつあります。

前述した昨年度の調査区北西に隣接した場所では、弥生時代中期の環濠１条、方形周溝墓２基、土坑墓１基などが検出されています。特に集落をめぐる環濠がさらに１条増えたことで、昨年度の調査で判明した集落規模がさらに広がりをみせる結果となりました。また、同様に南茨木駅の北西では、５世紀～６世紀にかけての古墳（方墳）が確認されており、周辺では東奈良遺跡の北に隣接する中条小学校遺跡の新中条町や岩倉町・奈良町で、ここ数年古墳（円・方墳）が相次いで発見されていることなどから、この地域を中心とした古墳群の存在があげられます。さらに、古代（飛鳥時代～平安時代）の建物等も検出されていることからも、東奈良を中心とする地域では弥生時代から古代に至るまで茨木市内における重要な位置を占めていたことがあらためてわかる調査となりました。

用語等

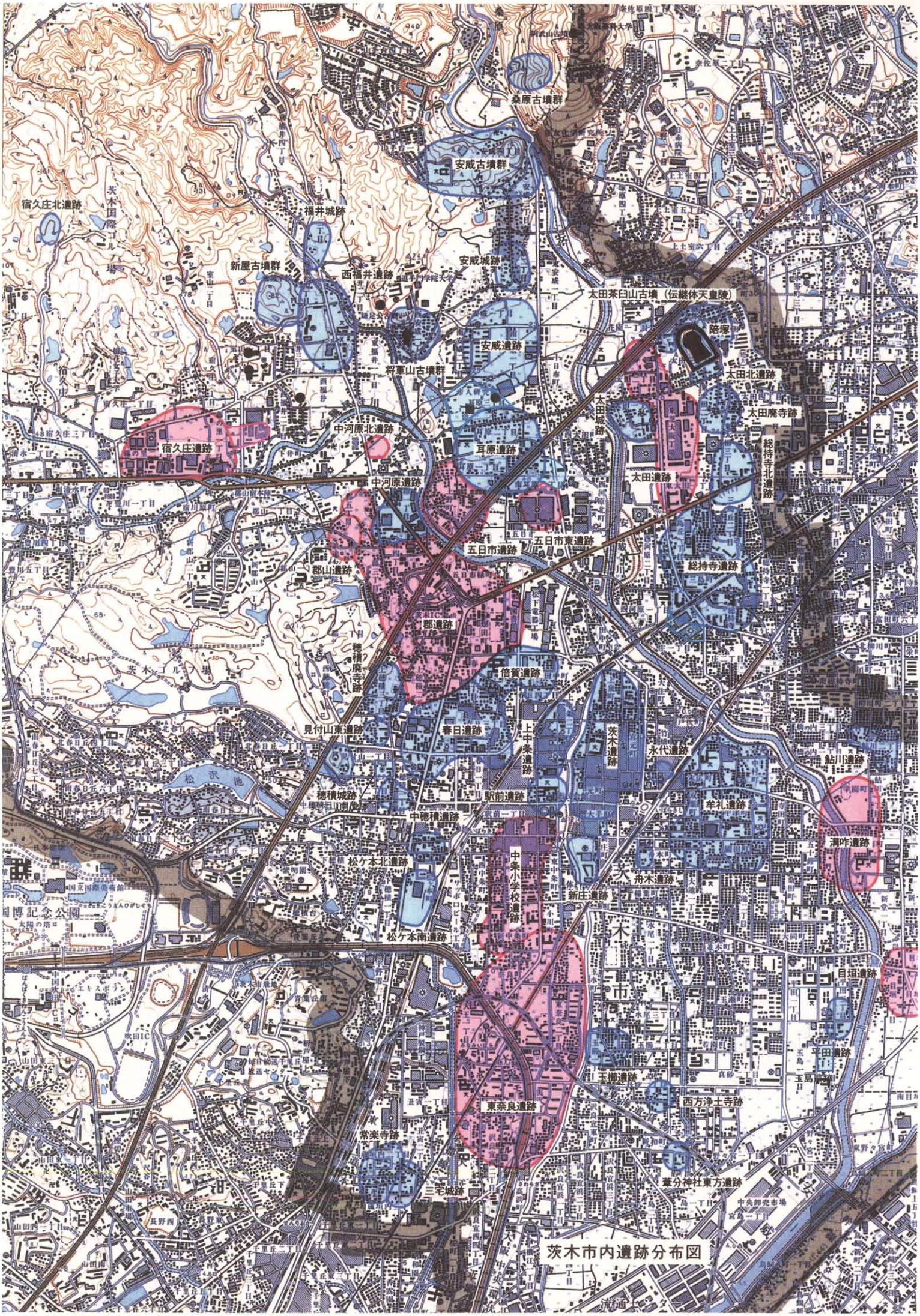
ＳＢ：建物跡・掘立柱建物跡　ＳＥ：井戸　ＳＸ：落込み・不定形土坑
ＳＣ：柱列群　ＳＫ：土坑　ＳＤ：溝・雨落溝
ＳＲ：流路

畿内第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ様式：畿内から出土する弥生土器を基準とした土器区分で、機種構成やプロポーション（土器の形態）で、おおよそ５つに分けられⅠ様式が弥生時代前期、Ⅱ～Ⅳ様式が弥生時代中期、Ⅴ様式が弥生時代後期の年代観が与えられている。

庄内式併行期：豊中市庄内遺跡から出土した土器を基準とした時代区分で、おおよそ弥生時代後期末から古墳時代前期初頭にあたる。

図版目次

第１図　穂積廃寺跡　調査地位置図　P. 1
第２図　穂積廃寺跡　調査区全体図　P. 3
第３図　穂積廃寺跡　発掘写真　P. 4
第４図　宿久庄遺跡　調査地位置図　P. 5
第５図　宿久庄遺跡　第１面平面図　P.7･8
第６図　宿久庄遺跡　第２面平・断面図　P.9･10
第７図　宿久庄遺跡　発掘写真（１）　P.12
第８図　宿久庄遺跡　発掘写真（２）　P.13
第９図　東奈良遺跡（HN06-3）調査地位置図　P.14
第10図　東奈良遺跡（HN06-3）環濠概略図　P.15
第11図　東奈良遺跡（HN06-3）調査区全体図　P.19･20
第12図　東奈良遺跡　Ａトレンチ平・断面図　P.23･24
第13図　東奈良遺跡　Ａトレンチ遺構断面図　P.25
第14図　東奈良遺跡　Ａトレンチ第３面平面図　P.26
第15図　東奈良遺跡　Ｂ・Ｃトレンチ第１面平面図　P.28
第16図　東奈良遺跡 B･Cトレンチ第２面平･断面図　P.29･30
第17図　東奈良遺跡 B･Cトレンチ第３面平面図　P.33
第18図　東奈良遺跡　Ｄトレンチ平・断面図　P.34
第19図　東奈良遺跡　BSD-4遺物出土状況図　P.35
第20図　東奈良遺跡　BSD-6ほか遺物出土状況図　P.36
第21図　東奈良遺跡　BSD-7遺物出土状況図　P.37
第22図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物（１）　P.42
第23図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物（２）　P.43
第24図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物（３）　P.44
第25図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物（４）　P.45
第26図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物（５）　P.46
第27図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物（６）　P.47
第28図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物（７）　P.48
第29図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物（８）　P.49
第30図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物（９）　P.50
第31図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物（10）　P.51
第32図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物（11）　P.52
第33図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物（12）　P.53
第34図　東奈良遺跡（HN06-3）土地利用想定図　P.54
第35図　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（１）　P.68
第36図　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（２）　P.69
第37図　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（３）　P.70
第38図　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（４）　P.71
第39図　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（５）　P.72
第40図　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（６）　P.73
第41図　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（７）　P.74
第42図　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（８）　P.75
第43図　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（９）　P.76
第44図　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（10）　P.77
第45図　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（11）　P.78
第46図　総持寺遺跡　調査地位置図　P.79
第47図　総持寺遺跡　第１面調査区全体図　P.82
第48図　総持寺遺跡　第２面調査区全体図　P.83
第49図　総持寺遺跡　第３面調査区全体図　P.85
第50図　総持寺遺跡　第４面調査区全体図　P.86
第51図　総持寺遺跡　出土遺物（１）　P.87
第52図　総持寺遺跡　出土遺物（２）　P.88
第53図　総持寺遺跡　出土遺物（３）　P.89
第54図　総持寺遺跡　発掘写真（１）　P.91
第55図　総持寺遺跡　発掘写真（２）　P.92
第56図　総持寺遺跡　発掘写真（３）　P.93
第57図　総持寺遺跡　発掘写真（４）　P.94
第58図　総持寺遺跡　発掘写真（５）　P.95
第59図　総持寺遺跡　発掘写真（６）　P.96
第60図　郡遺跡　調査地位置図　P.97
第61図　郡遺跡　調査区全体図　P.98
第62図　郡遺跡　発掘写真　P.98
第63図　上中条遺跡　調査地位置図　P.99
第64図　上中条遺跡　調査区配置図　P.100
第65図　上中条遺跡　調査区全体図　P.100
第66図　東奈良遺跡（HN07-1）　調査地位置図　P.101
第67図　東奈良遺跡（HN07-1）　遺構平面図　P.103
第68図　東奈良遺跡（HN07-1）　発掘写真　P.104
第69図　東奈良遺跡（HN07-2）　調査地位置図　P.105
第70図　東奈良遺跡（HN07-2）　調査区全体図　P.107
第71図　東奈良遺跡（HN07-2）　第２面全体図　P.108
第72図　東奈良遺跡（HN07-2）　出土遺物　P.110
第73図　東奈良遺跡（HN07-2）　発掘写真（１）　P.111
第74図　東奈良遺跡（HN07-2）　発掘写真（２）　P.112
第75図　東奈良遺跡（HN07-2）　発掘写真（３）　P.113
第76図　東奈良遺跡（HN07-2）　発掘写真（４）　P.114
第77図　東奈良遺跡（HN07-3）　調査地位置図　P.115
第78図　東奈良遺跡（HN07-3）　平面図・写真　P.116


桑原古墳群
安威古墳群
宿久庄北遺跡
福井城跡
新屋古墳群
西福井遺跡
安威城跡
太田茶臼山古墳（伝継体天皇陵）
陪塚
安威遺跡
将軍山古墳群
太田北遺跡
太田城跡
太田廃寺跡
中河原北遺跡
宿久庄遺跡
耳原遺跡
総持寺北遺跡
太田遺跡
中河原遺跡
五日市東遺跡
五日市遺跡
総持寺遺跡
郡山遺跡
郡遺跡
穂積廃寺跡
倍賀遺跡
見付山東遺跡
春日遺跡
上中条遺跡
茨木遺跡
永代遺跡
鮎川遺跡
穂積城跡
駅前遺跡
牟礼遺跡
中穂積遺跡
湯咋遺跡
松ケ本北遺跡
中条小学校遺跡
舟木遺跡
新庄遺跡
松ケ本南遺跡
目垣遺跡
平田遺跡
玉島遺跡
玉櫛遺跡
西方浄土寺跡
東奈良遺跡
常楽寺跡
葦分神社東方遺跡
三宅城跡
茨木市内遺跡分布図

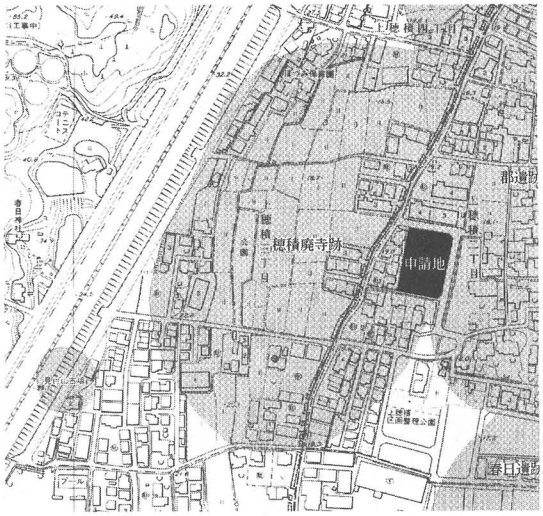
平成19年度　埋蔵文化財発掘調査 一覧表

No	遺跡名	調査担当	調　査　位　置	調査期間	調査面積	調　査　内　容	調査原因
1	穂積廃寺跡 (HZ06-1)	中東	上穂積二丁目1201	H18.12.15～ H19.2.2	1,077㎡	奈良時代・平安時代～中世 平安時代中期の掘立柱建物跡 溝　土坑　柱穴	マンション 新築工事
2	宿久庄遺跡 (SH06-1)	宮本	豊原124	H18.12.18～ H19.2.1	660㎡	弥生時代～古墳時代（第２面） 溝・土坑・柱穴 平安時代～室町時代（第１面） 竪穴住居跡・掘立柱建物跡・ 井戸・柱穴・土坑・溝	マンション 新築工事
3	東奈良遺跡 (HN06-3)	黒須	若草町375,377	H19.1.5～ H19.3.31	1,033㎡	弥生時代・古墳時代 奈良時代・鎌倉時代 弥生時代中期の環濠４条とその外側に方形周溝墓群 弥生時代後期～古墳時代前期初頭の大溝や円形周溝	マンション 新築工事
4	総持寺遺跡 (SJ06-2)	黒須	総持寺一丁目380-3	H19.1.16～ H19.2.9	203㎡	縄文時代・弥生時代・古墳時代・古代（飛鳥～平安時代）・中世　弥生時代～中世まで生活面４面　弥生時代の溝群　古墳時代の大溝　古代～中世の掘立柱建物跡　柱穴　土坑	マンション 新築工事
5	郡遺跡 (KH06-1)	宮脇	上穂積四丁目1-37	H18.12.13～ H19.2.2	498㎡	飛鳥時代・奈良時代 2間×2間の掘立柱建物跡１棟 土坑　溝	共同住宅
6	上中条遺跡 (KC07-1)	宮脇	駅前四丁目7-83	H19.8.21～ H19.10.9	545㎡	古墳時代　溝　柱穴	共同住宅
7	東奈良遺跡 (HN07-1)	中東	若草町279-1,3 295	H19.10.15～ H19.11.15	240㎡	弥生時代・古墳時代 平安時代 弥生時代中期の環濠１条 方形周溝墓２　土坑墓１ 溝　土坑　柱穴 平安時代の溝　土坑　ピット	マンション 新築工事
8	東奈良遺跡 (HN07-2)	黒須	小川町967-2	H19.10.29～ H19.12.1	480㎡	弥生時代・古墳時代 鎌倉時代 古墳時代中期の溝３条　柱穴 土坑　鎌倉時代の柱穴群	マンション 新築工事
9	東奈良遺跡 (HN07-3)	中東	天王一丁目220	H19.11.12～ H19.12.14	333㎡	古墳時代後期　中世 古墳（方墳）１基	マンション 新築工事
10	宿久庄遺跡 (SH07-1)	宮本	藤の里二丁目 485-１・495-１	H19.11.8～ H20.1.23	1,140㎡	古墳時代・飛鳥時代 奈良時代・平安時代 中世～近世　井戸　土坑 溝　柱穴　ピット	工場建設 工事
11	総持寺遺跡 (ＳＪ07-1)	黒須	庄一丁目347-１	H19.12.10～ H20.7.23(予定)	6,750㎡	発掘調査中	マンション 群新築工事

№10～11についての報告は「平成20年度発掘調査概報」にて掲載します。

穂積廃寺跡

所 在 地　茨木市上穂積二丁目1201番地
調査原因　マンション新築工事
調査期間　平成18年12月15日～平成19年２月２日
調査面積　1077㎡
調査担当　中東　正之
調査結果



第１図　位置図

経過　穂積廃寺跡は、7世紀後半から8世紀頃にかけて有力氏族であった穂積氏によって創建され、中世期まで存続したとされる寺院遺跡である。
推定地は、現在の上穂積の集落の西方、春日神社の位置する丘陵の裾部から集落にかけての田畑が広がる地区である。当地区には、かつての寺域を思わる「千現寺」という字名が含まれており、以前から古代瓦の散布が確認されていた。推定地内では、昭和56年の最初の調査からこれまでに６カ所以上の発掘調査が実施され、蓮華文端丸瓦や重弧文端平瓦をはじめとする7世紀後半の古代瓦や、火災痕のある12～13世紀頃の瓦などが出土している。建物の遺構も多数検出されているが、礎石建物などの伽藍遺構は、いまだ確認されていない。本調査地は穂積廃寺跡推定地の東辺に位置し、一部は弥生時代中期から中世の複合遺跡である郡遺跡にもまたがっている。調査は、マンション住戸部分の南北で反転したため、南側を第1調査区、機械式駐車場部分を含めた北側を第2調査区とした。

遺構と遺物　調査地は、西方の千里丘陵端部からなだらかに下る段丘上に立地する水田面であった。第1調査区西側では、耕土を除去すると即地山層となっており、その標高は約18.2mを測る。第1調査区東側に至ると、地山面は東西で0.1m、南西から北東にかけては0.2mほど自然地形に従って下っており、漸次耕作関連土や中世包含層の堆積が加わって第2調査区東側に連なる。第2調査区は、東側・中央・西側の３カ所に分かれる。いずれも基本層序がほぼ普遍的に堆積していたが、その地山面は平坦で標高約18.0mと一段低い。基本層序は、上層より暗灰色シルト(耕土10～25cm)、橙色シルト(床土3～5cm)、黄灰色砂質土(旧耕土5～30cm)、黄橙色粘質土(旧床土3～10cm)、褐灰色粘質土(中世包含層3～15cm)、明黄褐色粘質土(地山層、遺構検出面)となる。各調査区とも地山層上面で古代から中・近世の遺構を検出した。遺構からの遺物出土が少ないうえ、柱穴などでは形態や埋土に明瞭な差異が認められないことから、時期比定は困難であった。主要時期とみられるのは奈良時代から平安時代中頃であるが、同時期の包含層はすべて削平されていた。以下、主要な遺構について概説する。

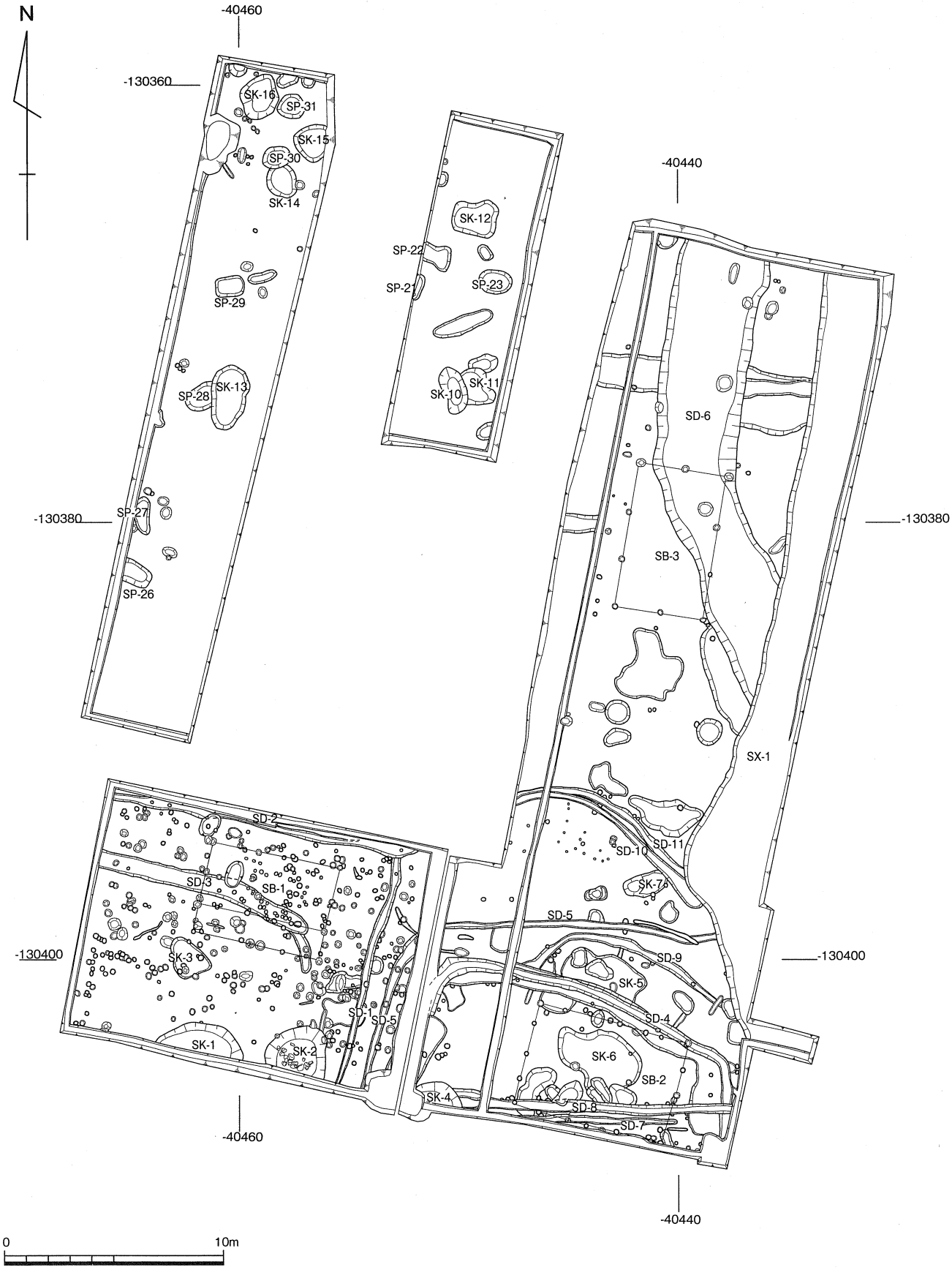
第1調査区では奈良時代から平安時代中期の掘立柱建物、溝、土坑、柱穴・ピット、中世の溝、土坑、柱穴などを検出した。とくに微高となる西側で多数の柱穴を検出している。多くの柱穴に規則性が認められたが、柱穴が密集していることと時期比定の難しさから、建物としてのまとまりを把握したのは奈良時代と思われるSB-1･2のみであった。SB-1は、梁間2間×桁行3間に南庇が付くと判断されるが、総柱建物の可能性もある。調査区と丁度一致する棟方向は、真北方向から東へ12°傾く。SB-2は、東西4間、南北6間で間隔が狭く不揃いであることから、梁間2間×桁行3間に補強柱を配したものと判断される。棟方向は、SB-1よりもすこし東へ傾く。SD-3は、

幅0.8～1m、深さ0.1m程度の東西溝である。SB-1を構成する柱穴を切って終わっており、埋土は暗褐色粘土である。SD-4は幅0.4～0.8m、深さ0.2～0.3mのコの字状に屈曲する溝で、その内法肩部は幅1～1.5mまで浅く広げられている。SB-2の柱穴を切る北辺は約14mにわたるが、その全容は調査区外に至るため不明である。広げられた上層には、下層と同一の暗褐色粘土に地山ブロックが混入する。SD-1・2・5・7～11は、幅0.2～0.5m、深さ0.05～0.1m、いずれも溝底は平坦で、中世包含層と通有する褐灰色土が堆積する。おもに中世の耕作関連溝と思われるが、東西で方向性に違いがある。調査区南壁断面で検出した土坑SK-1・2・4は、いずれも3m以上の最大径を測る不整円形で、深さ0.5m程度の船底型を呈する。埋土は砂を含んだ4層以上のレンズ状堆積で、瓦や中世土器などが出土した。SK-2では底部に拳～人頭大の石が込められており、いわゆる井戸上部土坑の特徴を示すが、井戸は確認されなかった。また、第1調査区東側から第2調査区東側にかけてSK-3、5～7など不整円形や不定形の土坑が並ぶ。埋土の暗褐色粘土には上層から撹乱された痕跡がみられるが、時期や用途は不明である。

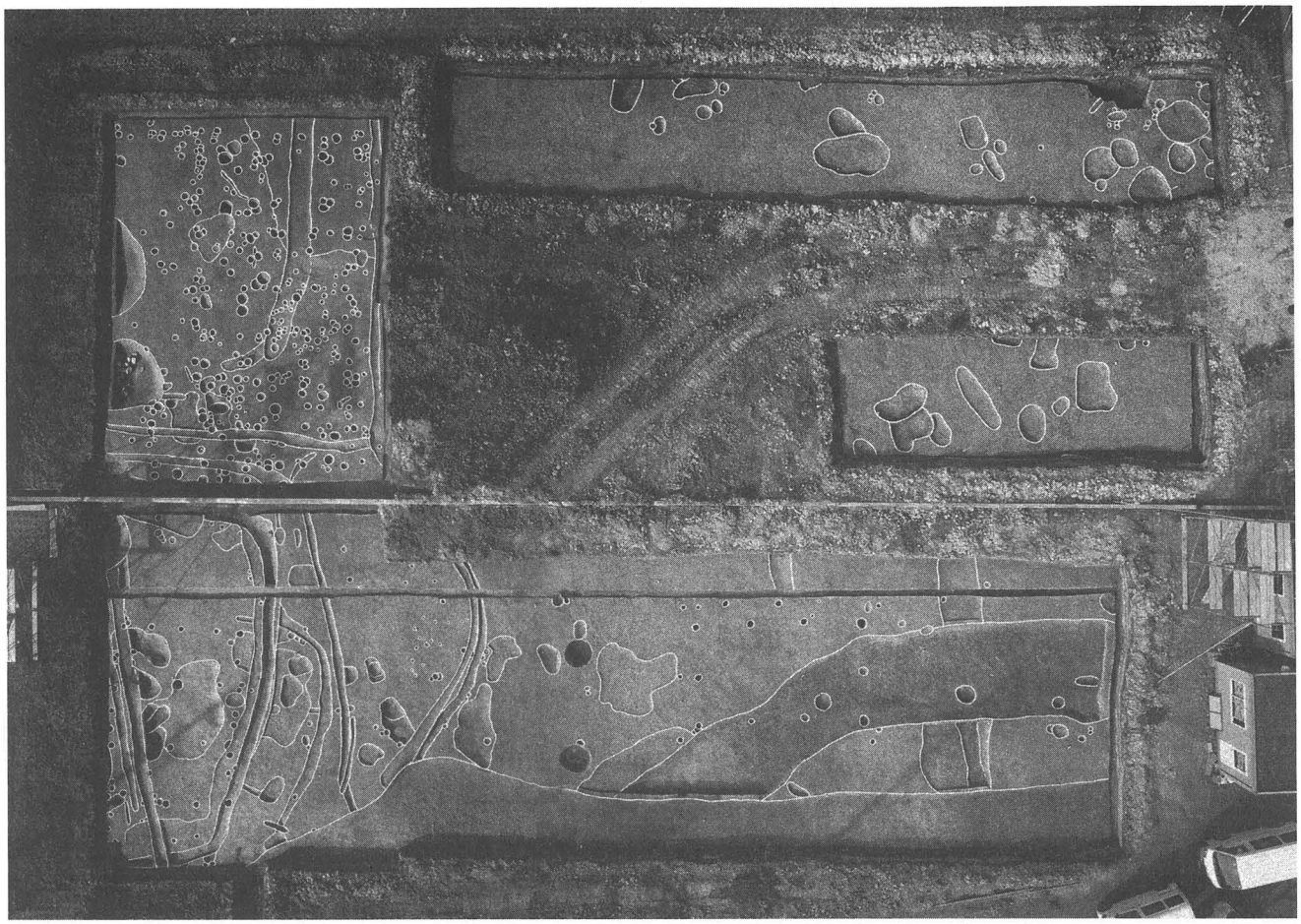
第2調査区では遺構数が減少する。第2調査区東側のSD-6は、幅3～4m、深さ0.25～0.45mで、北から南へ流れる流路である。長さ約20mを検出したが、SX-1に切られており詳細は不明である。埋土は6層に分かれ、その堆積状況から開削時期は不明であるが、後年規模を減じながらも流路としての機能は維持し、完全に埋没するのは11世紀頃であったと判断される。SD-6埋没後に成立したSB-3は、梁間2間×桁行3間の南北建物である。棟方向は真北方向から東へ10°傾く。第2調査区中央と西側では、土坑・ピットがやや密集して不規則に並ぶ。SK-10～16は円形もしくは不整円形で、1～3mの最大径ながらも深さは0.3m程度のものが多い。埋土は、いずれも古代包含層と通有する暗褐色粘土に地山ブロックや炭化物が混入するが、土器等の遺物はまったく出土しなかった。SP-21では、8世紀の須恵器の壺が出土している。調査区外に至るため形状は不明であるが、径1.2m、深さ0.2mで、埋土は暗褐色粘土に地山ブロックが混入する。SX-1は、第1調査区から第2調査区の東壁に沿って検出された落ち込みである。深さ0.15～0.2mと浅い底部は、礫混じりの堅い自然堆積層に達しておりほぼ平坦である。埋土は底部に至るまで耕作関連土である。水田等に伴う段状地形であると思われるが、畦等は残っておらず、その詳細は不明である。

遺物の総量は、コンテナパッド2箱のみと面積に比して少量であり、そのほとんどが瓦の破片であった。穂積廃寺所用の7世紀後半および12～13世紀の平瓦と丸瓦とみられるが、軒瓦等の文様のある瓦は出土しなかった。7世紀後半の平瓦には斜格子状の打痕が確認できる。12～13世紀の瓦については、これまでの調査で火災痕跡のあるものが出土しているが、同様のものは確認できなかった。瓦は中世包含層（整地層）のほか、第1調査区を中心に溝や土坑からも出土した。集積的に出土することはなく、一部は整地の際に混入した感がある。柱穴に伴うものとして、根石の代わりとされているものもあった。その他の遺物はおもに土器類で、弥生土器、奈良時代から平安時代中頃の土師器、須恵器、黒色土器、中・近世土器などがある。ほとんどが細片で、寺院に関連するとされるものは出土しなかった。

小　結　本調査地は、すくなくとも寺域の東側に近接しており、検出遺構の主要時期も穂積廃寺が存在した時期と重なるであろうことから、何らかの関連を持つことと考えられるが、遺構について、残存状況が良く寺域に近い第1調査区西側を精査しても、穂積廃寺と直接関連付けできる類のものは認められなかった。穂積廃寺に由来する証拠として瓦があるが、その出土状況からみて、多くが中世の土地改変に伴って穂積廃寺中心部から移動したものとも考えられる。調査区の南北における様相の違いは、緩やかな傾斜面として復元される旧地形を考慮して、耕作地化のための土地改変によるものと判断される。



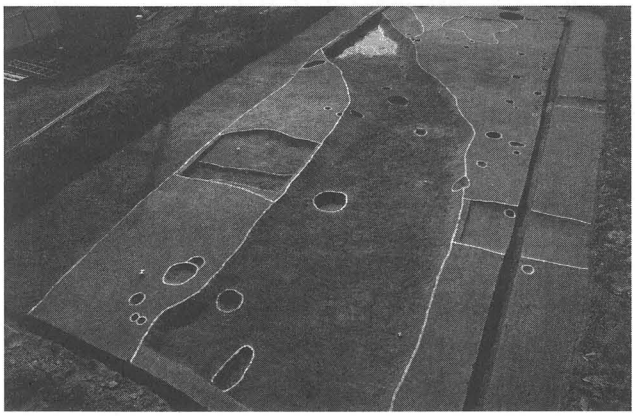
第２図　　穂積廃寺跡調査地平面図



穂積廃寺跡調査地垂直全景

第１調査区西半部(南東から俯瞰)

第１調査区東半部（南から俯瞰）



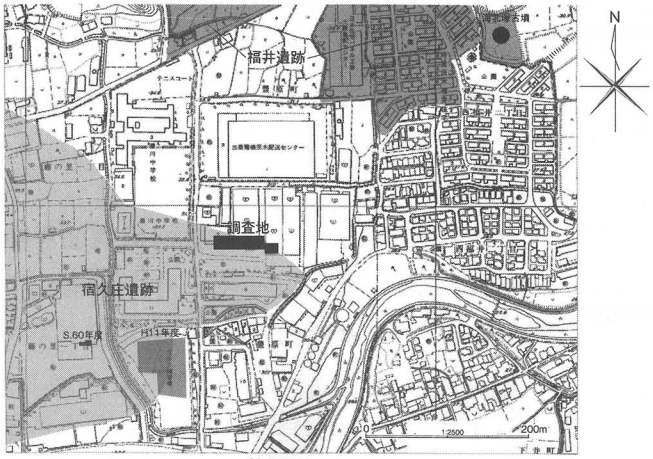
第２調査区東部（北から俯瞰）

第２調査区中央部および西部（北東から俯瞰）

第３図　　穂積廃寺跡完掘状況

宿久庄遺跡

所 在 地　茨木市豊原町 124
調査原因　マンション新築工事
調査期間　平成18年12月18日～平成19年２月１日
調査面積　660㎡
調査担当　宮本　賢治
調査結果



第４図　位置図

経過　宿久庄遺跡は北摂山地を源流とする、勝尾寺川が河岸段丘を形成した扇状地と沖積低地上に立地している。遺跡の規模は、東西約0.5km、南北約0.3kmと東西方向に長く広がりを見せている。弥生時代中期から古墳時代、中近世にかけて継続的に集落が営まれてきた複合遺跡である。茨木市域は奈良時代の律令期の頃には摂津職島下郡に属しており、「新野」「宿人（久）」「安威」「穂積」の四つの郷が存在したといわれている。このうち、宿久庄遺跡は「宿人（久）」郷に属すると考えられている。なお「宿人（久）」の初源は、平安時代初期に著わされた『和名類聚抄』によってである。宿久庄遺跡における始めの調査では、昭和50年に府道茨木～能勢線の道路の拡幅工事によって発見され、大阪府教育委員会によって発掘調査が実施されている。その結果、弥生時代後期から古墳時代にかけての遺物・遺構が検出されている。その後、昭和60年以降は藤の里付近を中心に断続的に調査が行なわれている。周辺の既往の調査では、本調査区の南西約200ｍのところで平成11年度に大型店舗建設事業に伴う本発掘調査が行なわれている。調査の結果、中世前半を中心とする集落跡が検出されている。出土遺物は主に、13～14世紀頃の土師器皿が多く出土している。また、検出された主な遺構には、中世の掘立柱建物跡を8棟、宿久庄遺跡に多く見られる石積み遺構などが確認されている。この他の周辺の遺跡には、今回の調査区の北東400ｍのところには6世紀頃の築造とされる、大阪府史跡指定の海北塚古墳が存在する。この後期古墳からは、明治42（1909）年に石室の外の封土より金環や金銀鍍金製の勾玉、白銅獣帯鏡等の副葬品が発見されている。その後昭和10年の本格的な調査の結果、片袖式横穴式石室をもつ円墳である事が判明している。石室内からは太刀･槍身･鉄鏃等の武器類を始め、轡や杏葉・雲珠等の馬具類が副葬品として納められている。また、北方約600ｍのところには紫金山古墳や南塚古墳、西松塚古墳がそれぞれ点在する。宿久庄遺跡の西方には、宿久庄西遺跡が存在し、1998･1999年度に国際文化公園都市特定土地区画整理事業の一環であるモノレールの建設に伴い、大規模な発掘調査が行なわれている。この宿久庄西遺跡は、勝尾寺川を挟んだ南の丘陵地に立地する、奈良時代から中世にかけての遺構群が展開されているという。

今回の調査は、マンション建設に伴う事前の試掘調査を実施した結果、土器片を含む遺物包含層及び地山層に伴う遺構を検出した事から数度の協議を踏まえ、本発掘調査を実施するに至った。なお今回は、中世及び弥生時代を主とした遺構面を調査の対象とした。

基本層序

基本層序については、第1層～第7層に大別する事ができる。上層より順に、①現代の盛土層

（既存建物の基礎などの撹乱を含む。層厚、約2ｍ50cm）、②旧耕土（層厚、約20cm）、③第1遺構面遺物包含層（オリーブ黄色粗砂S5Y6/4。層厚、約10～20cm）④第1遺構面遺物包含層（黒色砂質土SL5Y2/1。層厚、約10cm。1～5cm程の礫を多く含む）、⑤第2遺構面直上包含層（黄褐色粘質土SC5Y5/3。層厚、約30cm）、⑥第3遺構面遺物包含層（弥生～古墳時代遺物包含層。黄灰色砂質土SL2.5Y5/1に黄褐色砂粒S10YR5/8混じる。層厚約20～40cm）、⑦地山層（黄褐色粘質土HC10YR5/1）に分ける事ができる。

検出遺構

第1遺構面では、主に中世の遺構面を調査の対象とした。主な遺構はピット状遺構128基、土坑遺構11基、溝状遺構6条、井戸遺構1基、竪穴住居跡2棟、掘立柱建物跡1棟を検出した。特に竪穴住居跡（SI－01）は、調査区外にかけて建物の範囲が広がるのであるが、南・西壁土層断面中において床面を検出した。この床面は、黄褐色粘質土（HC2.5Y3/2）と灰黄褐色砂質土（SL10YR4/2）がブロック状に混濁する様相がみられ、またこれらの混濁土と一緒に中世の土器片も一緒に含まれていた。この事から、建物を造る際に床面を整地したものと考えられる。この床面の中央よりやや南東付近において、炭化したと思われる焼土の痕跡を示す層を検出した。これは、住居内に備えられた炉跡だった可能性が考えられる。なお、西隣りの竪穴住居跡（SI－02）においては、北東隅の一部しか検出できなかった為、炉跡などの痕跡は確認できなかった。また、遺構面は調査区の西側から東側に向かって、緩やかな斜面となる。その比高差は、約1.2ｍを測る。

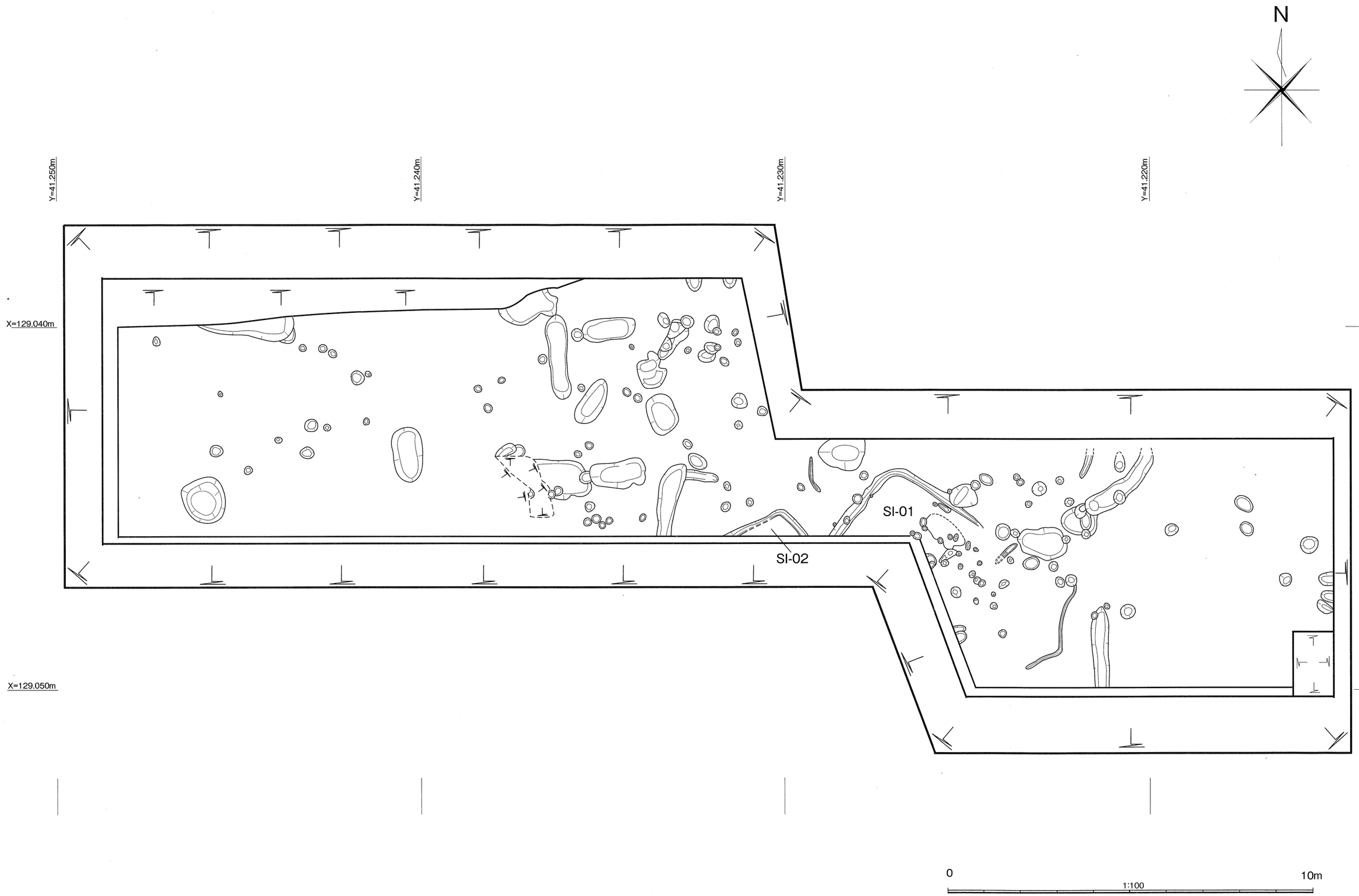
第2遺構面では、主に弥生時代の遺構面を調査の対象とした。主な遺構としてはピット状遺構83基、土坑遺構10基、溝状遺構8条を検出した。また、これらの遺構の他に旧河道を1条検出した。この旧河道は地形的な観点から、調査区の北東隅から南東隅にかけて走るものと考えられる。なお、第1遺構面同様、第２遺構面においても調査区の西側から東側に向かって、緩やかな斜面となる。その比高差は、約1.3ｍを測る。

出土遺物

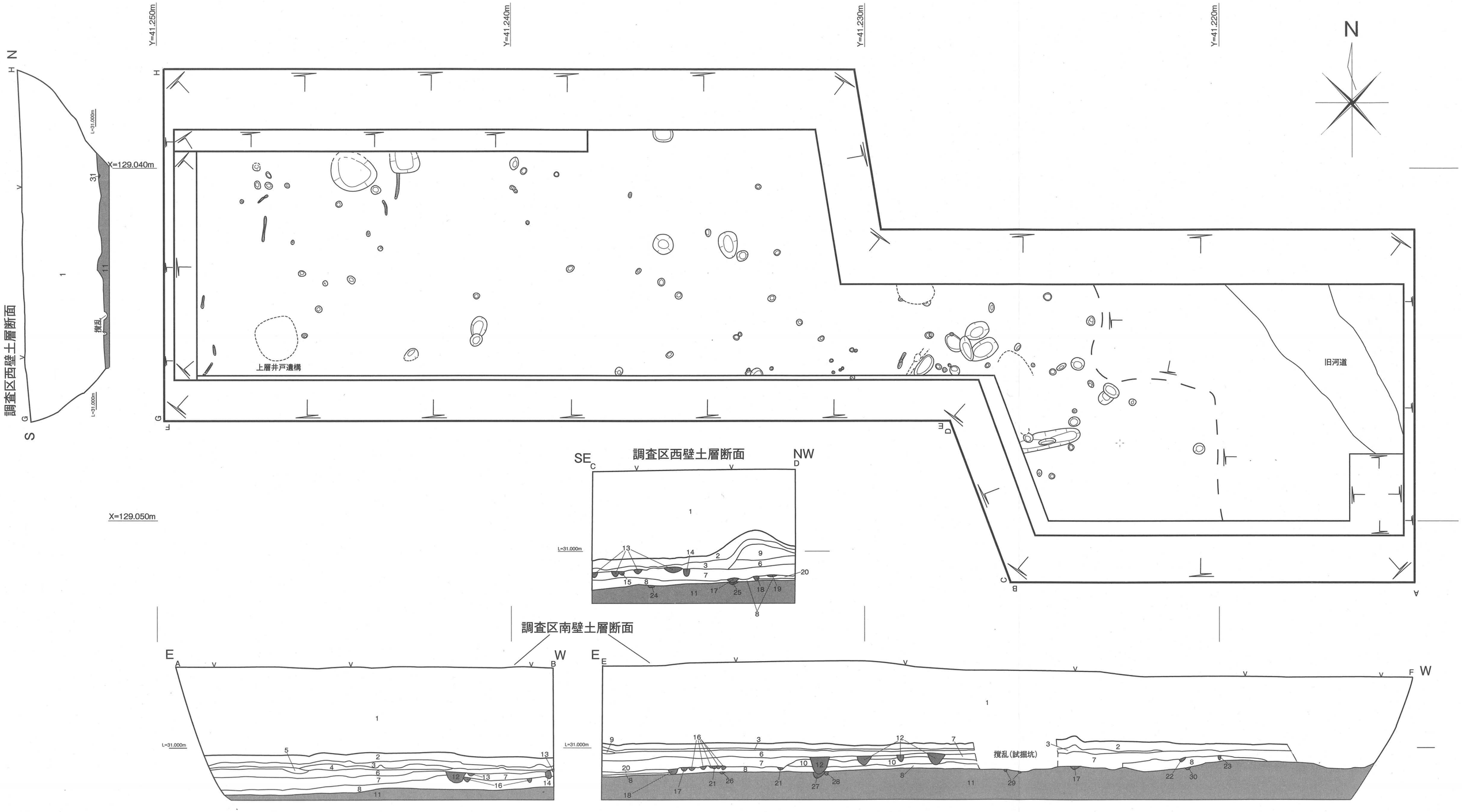
今回の調査において出土した遺物の量は、遺物収納用コンテナパッド（縦14cm×横36cm×奥行き56cm）に換算して4箱分である。そのほとんどは、第１遺構面より出土している。その種類と内訳は、第1遺構面である中世の土師器や陶磁器、瓦などが出土している。また、第2遺構面においては遺構面の直上包含層内ではあるが、弥生前期の「かめ」の口縁部の破片が数点出土した。この事から、この地において集落が弥生時代前期頃まで遡る可能性が出てきたのではないかと考えている。

まとめ

今回の調査では、主に中世と弥生時代の遺構面を調査した。第1遺構面では、調査区の西端付近において井戸遺構を、中央付近においては調査区の外側に広がる形で竪穴住居を2棟検出した。SI－01については約3/4、SI－02については約1/4の検出となっており、調査区外において遺構が切り合っているように見受けられる。この事から、建物の建て替えがあった事が考えられるが、全体の様相は判明できなかった。なお、調査区の西側から竪穴住居跡が検出された辺りまでは遺構が密に存在しているのに比べ、東側付近になるに従って遺構密度は希薄になる傾向がみられた。第2遺構面では調査区内において遺構密度に片寄りはなく、広く点在する傾向がみられた。ただし、第1遺構面でみられたような竪穴住居跡など、復元できるような柱穴列などは検出できなかった。但し、調査区の中央付近においては、土坑が5基密集するような形で検出されている。



第５図　宿久庄遺跡　第１遺構面　遺構平面図



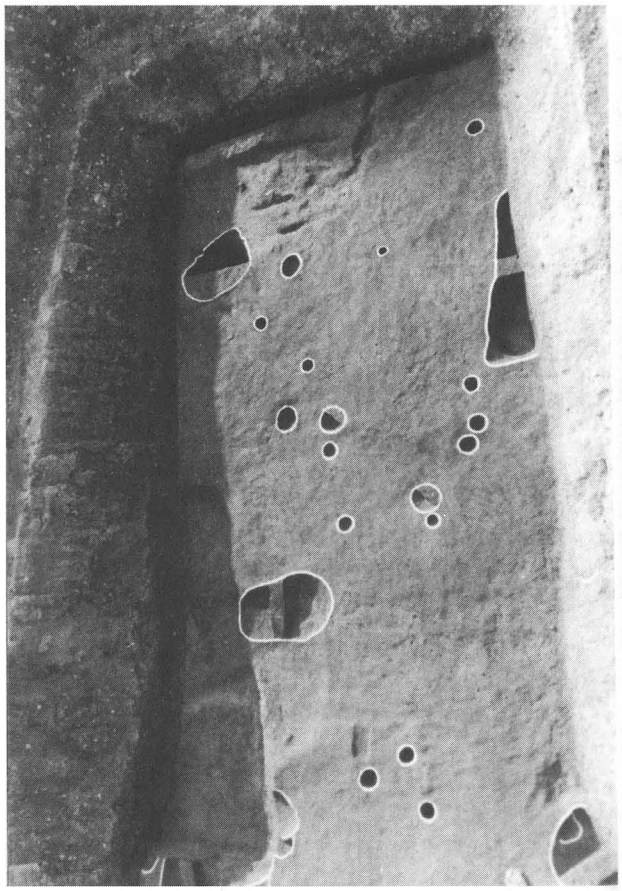
1.盛土
2.旧耕土
3.オリーブ黄色粗砂（S5Y6/4）※遺物包含層。
4.黒褐色砂質土（SL10YR3/2）※2～3cm程の礫、多量に含む。
5.褐灰色砂質土（SL10YR4/1）
6.黒色砂質土（SL5Y2/1）※土師器の破片を多く含む、遺物包含層。
1～5cm程の礫、多量に含む。
7.黄褐色粘質土（SC2.5Y5/3）※第1遺構面、遺物包含層。
8.黄灰色砂質土（SL2.5Y5/1）に黄褐色砂粒（S10YR5/8）混じる。
※第2遺構面遺物包含層。
9.暗灰黄色砂質土（SL2.5Y4/2）
10.灰オリーブ色粗砂（S5Y5/2）
11.黄褐色粘質土（HC10YR5/1）※地山層
12.褐灰色粘質土（SC7.5YR5/1）に褐色砂粒（S10YR4/4）混じる。
※土師器の破片を含む、遺構埋土。
13.灰黄褐色粘質土（SC10YR4/2）※遺構埋土。
14.黒褐色粘質土（HC2.5Y3/2）※遺構埋土。
15.オリーブ黒色粘質土（HC5Y3/2）※遺構埋土。
16.黒褐色粘質土（HC10YR3/2）に褐色砂粒（S10YR6/1）混じる。
※第1遺構面、遺構埋土。
17.黒褐色粘質土（HC10YR3/1）に褐色砂粒（S10YR4/6）混じる。
※第1遺構面、遺構埋土。
18.黒褐色砂質土（SC10YR3/2）に明黄褐色砂質土（SL10YR6/8）混じる。
※第1遺構面、竪穴住居跡01周溝埋土。
19.黒色砂質土（SC7.5YR2/1）に炭含む。※竪穴住居跡01内。
20.黄褐色粘質土（HC2.5Y5/4）に灰黄褐色砂質土（SL10YR4/2）の混濁土。
※竪穴住居跡01床面。土器片を含む、整地層。
21.黒褐色粘質土（SC2.5Y3/2）に灰白色粘質土（SC2.5Y7/1）の混濁土。
※第1遺構面、竪穴住居跡02周溝埋土。
22.黒褐色砂（S2.5Y3/1）※第1遺構面、遺構埋土。
23.黄灰色砂質土（SL2.5Y4/1）※第1遺構面、遺構埋土。
24.灰色粗砂（S5Y4/1）※第2遺構面、遺構埋土。
25.灰色砂質土（SL5Y6/1）に黄褐色砂粒（S10YR5/8）混じる。
※第2遺構面、遺構埋土。
26.褐色粘質土（HC10YR4/4）※第2遺構面、遺構埋土。
27.黒色粘土（HC2.5Y2/1）に炭含む。※第2遺構面、遺構埋土。
28.黒褐色粘質土（HC10YR3/2）※第2遺構面、遺構埋土。
29.オリーブ黒色粘性シルト（SiC5Y3/1）※第2遺構面、遺構埋土。
30.明黄褐色粘質土（HC10YR6/8）※第2遺構面、遺構埋土。
31.にぶい黄褐色砂質土（SL10YR5/4）※第2遺構面、遺構埋土。

第６図　宿久庄遺跡第２遺構面（最終面）　遺構平面図及び西壁・南壁調査区土層断面図

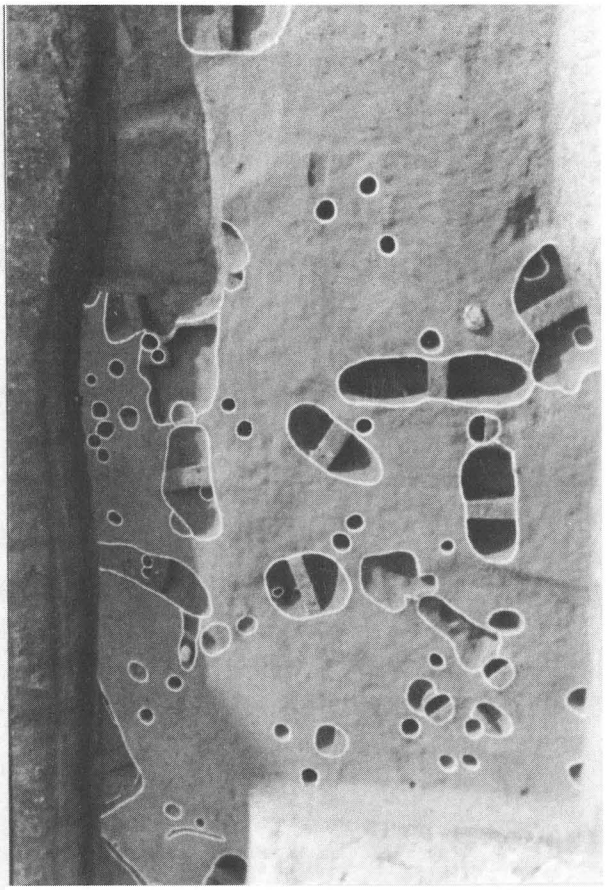
また、宿久庄遺跡の本発掘調査によってたびたび検出されている、勝尾寺川から採取された人頭大の川原石を積んだ石積み遺構については、今回の調査では確認できなかった。第1遺構面では約1.2ｍの、また、第2遺構面においては約1.3ｍの比高差がみられた。この事から、当時は緩やかな斜面地であった事が推測される。これらの斜面は、調査区南壁土層断面及び同西壁土層断面で、また調査区北壁土層断面においても、盛土直下の旧耕土を含めた層より下層においても、西側から東側において傾斜した様相がみられた。また、西壁土層断面中においては、旧耕土が一部褶曲しているのを確認した。これらの事から、弥生時代頃から旧耕作土がみられる近・現代頃まで緩やかな傾斜面において人々が生活していた事を伺わせる結果となった。

参考文献

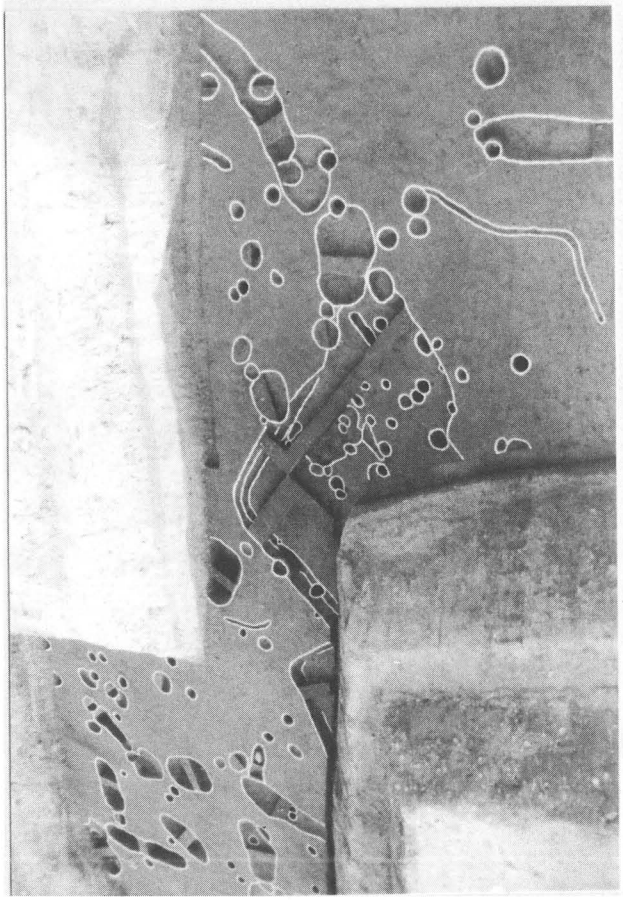
財団法人大阪府文化財センター『宿久庄西遺跡』平成12年2月
茨木市教育委員会『平成12年度発掘調査概報』平成13年3月
財団法人大阪府文化財センター『粟生間谷遺跡　古代・中世編』平成15年2月



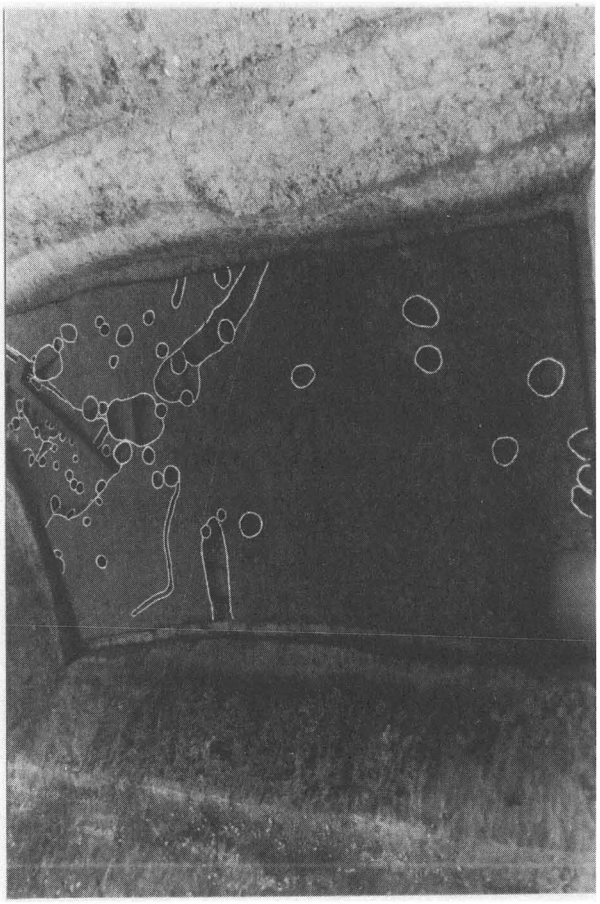
調査区西部　第１遺構面完掘状況　（北から）



調査区中央部　第１遺構面完掘状況①　（北から）

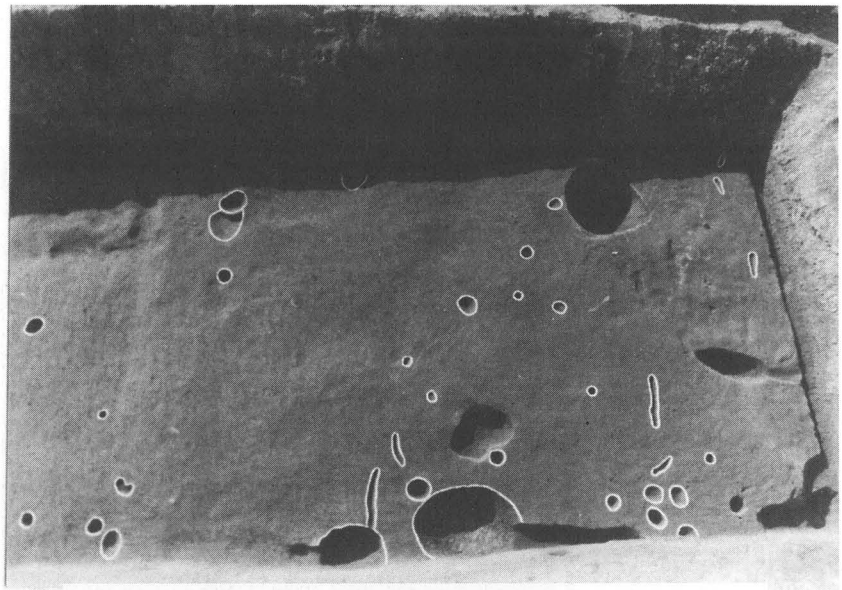


調査区中央部　第１遺構面完掘状況②　（北から）

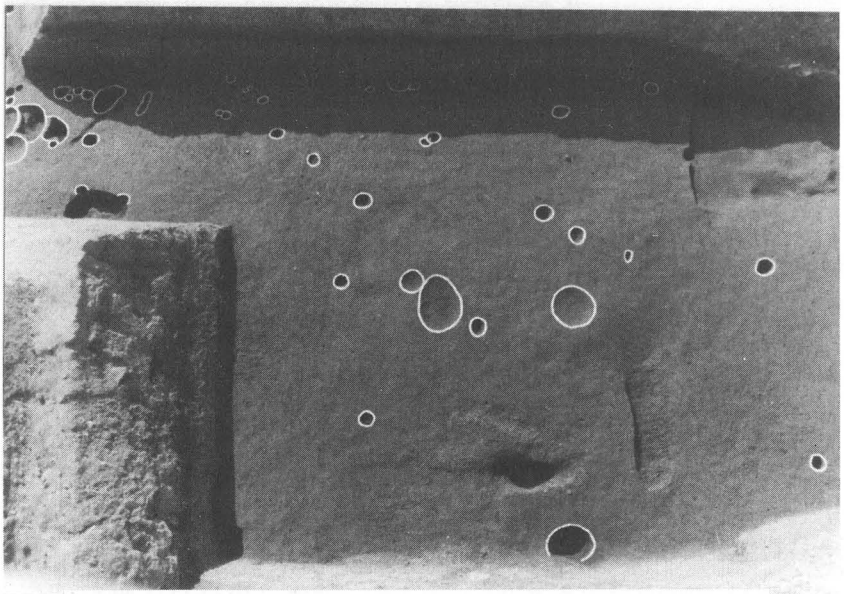


調査区東部　第１遺構面完掘状況　（東から）

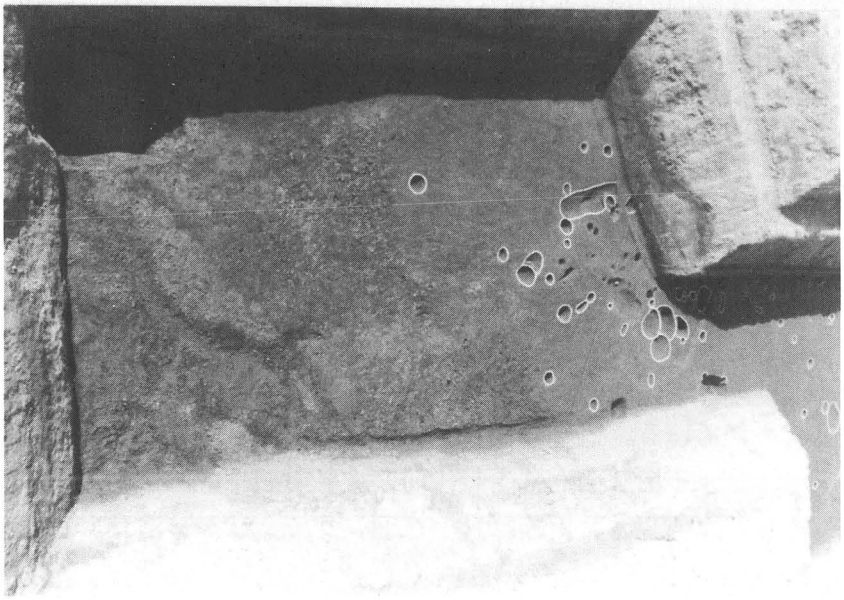
第７図　　宿久庄遺跡　第１遺構面完掘状況



調査区西部　第２(最終)遺構面完掘状況　(北から)



調査区中央部　第２(最終)遺構面完掘状況　(北から)

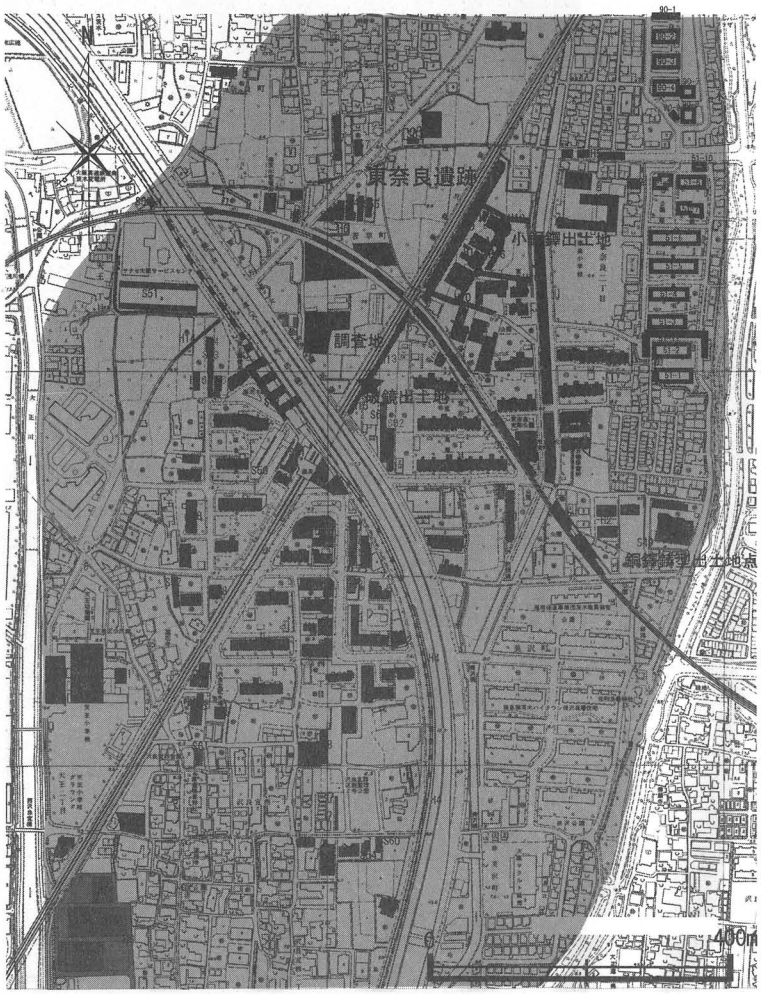


調査区東部　第２(最終)遺構面完掘状況　(北から)

第８図　　宿久庄遺跡　第２(最終)遺構面完掘状況

東奈良遺跡

所 在 地　茨木市若草町
375,377
調査原因　マンション新築
調査期間　平成19年１月５日
～平成19年３月31日
調査面積　1033㎡
調査担当　黒須　靖之
調査結果



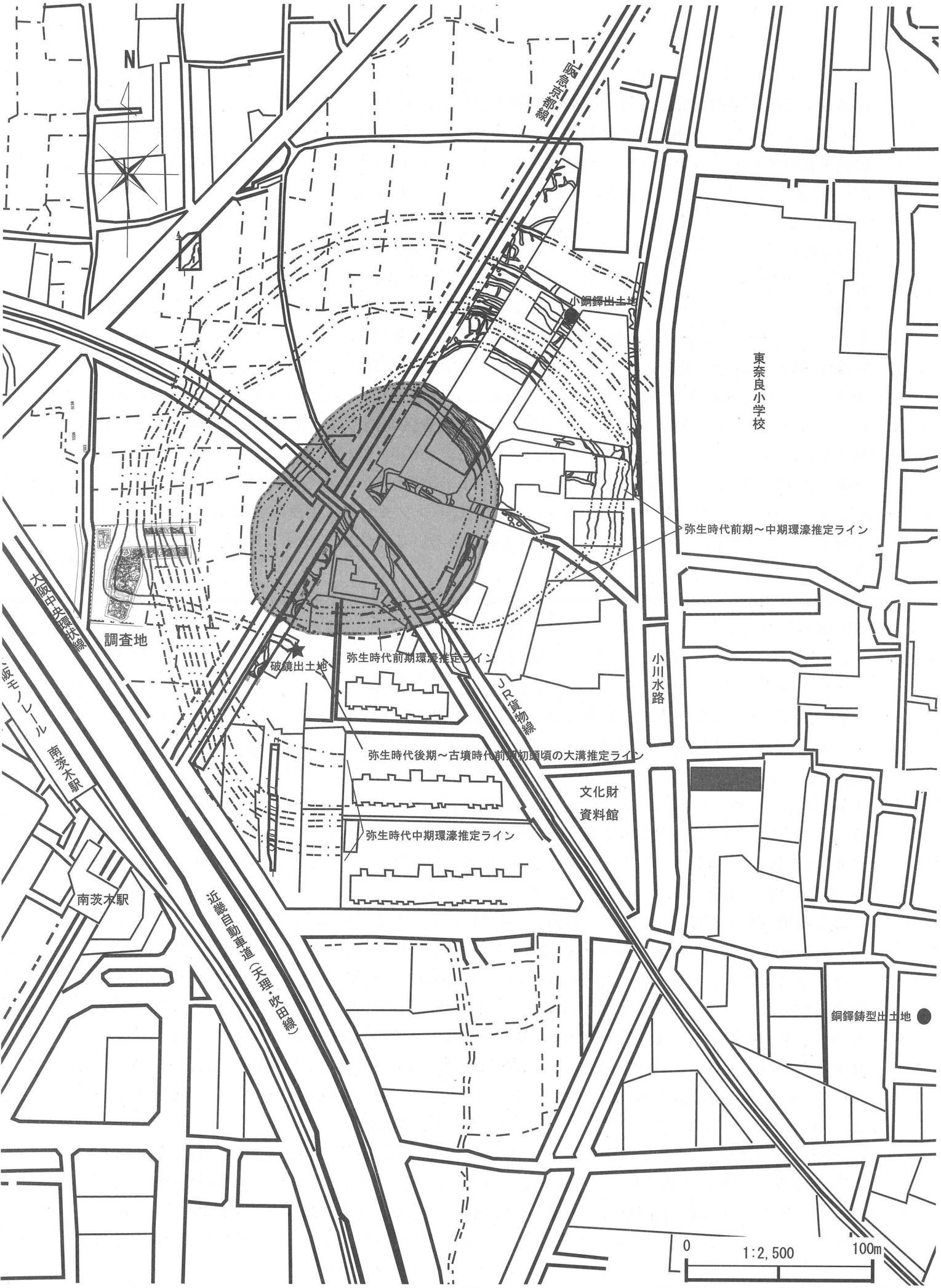
第９図　東奈良遺跡調査地位置図

aはじめに　東奈良遺跡は茨木市南部の標高６～８ｍの沖積平野上に位置し、地形的に北西から南東方向に向かって緩やかな傾きを持っている。約南北1.2㎞、東西１㎞の遺跡範囲で弥生時代～中世にいたる複合遺跡で、特に弥生時代前期の北摂における拠点的集落として周知されている。東奈良遺跡からは遺跡発見段階から時を経ずに、重要文化財の銅鐸鋳型や鋳造関連遺物の出土があり、近年では小銅鐸や破鏡等の歴史的意義深い遺物の出土が相次いでいる。近年、東奈良区画整理事業に伴う道路部分の発掘調査を皮切りに区画内の用地を中心に周辺の調査が増加しており、今回の調査も阪急南茨木駅北側の近畿道・中央環状線沿いのマンション開発に先立ち事前に発掘調査を実施したものである。

ｂ周辺地域（第９図）東奈良遺跡の北側は中条小学校遺跡と重複しており、弥生時代中期～中世の複合遺跡として周知されている。東奈良遺跡と重複する地域では弥生時代後期～古墳時代前期初頭頃（庄内式併行期）の円形周溝・方形周溝・溝・土坑等の遺構が検出され、近年では古墳時代中期～後期の円墳や方墳がここ数年相次いで確認されているほか、古代（飛鳥～平安時代）の建物跡群も検出されている。

ｃ調査概要（第10・11図）今回の調査では調査区がＡ～Ｄトレンチの４ヵ所に分かれており、遺構面は都合３面確認されている。古墳時代後期・中世を主体とする第１面、弥生時代後期～古墳時代前期初頭頃を主体とする第２面、弥生時代前期末～中期を主体とする第３面で遺構検出および精査を行った。３面とも確認されたのはＢ・Ｃトレンチ全域、Ａトレンチは２面（第１・２面は同一面にて検出）、Ｄトレンチの大部分は１面（主に第３面）であった。

この遺構検出状況から推察すると、東に移動するほど地形が低くなっており、遺物包含層の堆積も厚くなり、遺構が良好に残存していることを示すものと考えられる。逆にとらえれば西(北)



第10図　東奈良遺跡環濠概略図

に移動するほど地形は高くなり、遺構面が削平され遺物包含層の堆積も薄くなっていく状況を呈している。さらに、遺物の出土量からもそのことがうかがえる。A～Dトレンチの地山検出面の標高を比較すると、A・Dトレンチの西端は（T.P.）7.3m、B・Cトレンチの東端は（T.P.）6.5mであることから比高差は0.8mで東に向かって緩い斜面を呈している。

遺構数はAトレンチでは溝（SD）104条、土坑（SK）35基、落ち込み状遺構（SX）2基、竪穴住居跡（SA）1棟、柱穴（SP）569口、Bトレンチでは溝51条、土坑44基、柱穴760口、Cトレンチは溝52条、土坑30基、柱穴330口、Dトレンチは溝10条、土坑7基、落ち込み状遺構2基、柱穴91口で、今回の調査区全体では溝（方形周溝墓や円形周溝を構成する溝を含む。）217条、土坑116基、落ち込み状遺構4基、竪穴住居跡1棟、柱穴1,750口を検出・精査している。

d検出遺構（第12～18図） 検出された遺構は、古墳時代後期・中世を主体とする第1面では、Aトレンチから調査区南側を北西－南東方向にとおるASD-4がある。ASD-4は中世溝で、埋土から土師器「て字状口縁」が出土している。また、調査区北側では南北方向にのびる耕作溝が多数みられ、B～Dトレンチでは、ピットがみられる。古墳時代後期の遺構は、Aトレンチからは鋤溝状のASD-14や真北方向の長楕円形の土坑ASK-16や不定形な落ち込み状のASX-2やピットがある。Bトレンチでは南北方向の溝BSD1～3、Cトレンチからは東西の溝CSD-1・2、BSD-1に繋がると推定されるCSD-3や土坑CSK-1などがある。このCSD-3からは須恵器蓋坏・高坏等(第33図)がまとまって出土した。

第2面ではAトレンチから、L字に屈曲するASD-8（大溝）や不定形の落ち込み状のASX-1、円形周溝状のASD-11・16・19・32・33や竪穴住居跡のASA-1、柱穴、BトレンチではBSD-11～13・15、BSK-3・8・11・12・17、大規模な廃棄土坑BSX-2がある。CトレンチではCSD-13・15、円形周溝状の16・17、CSK-6・11などがある。

第3面ではAトレンチから方形周溝墓12基ASZ1～12（ASD-1・2・5～6・9・21・26・30・31・36)、円形～楕円形を呈する土坑（ASK-2・3・5・12・13・17)、長楕円形を呈する土坑（ASK-7・8・10・18）方形を呈する土坑（ASK-6・11）がある。Bトレンチからは南北方向の4条の環濠（BSD-4・6・7・8）を中心に方形周溝墓BSZ-1（BSD-9）や土坑や溝、柱穴群がある。Cトレンチからも南北方向の環濠3条（CSD-4・5・7)を中心に方形（CSK-7)を呈する土坑や溝、柱穴がある。Dトレンチでは方形周溝墓DSZ-1(DSD-2)と落ち込み状遺構（DSX-1）や溝、楕円形を呈する土坑（DSK-1・2)、柱穴がある。

e出土遺物（第22～33図） 出土した遺物は遺物収納コンテナに換算して約370箱に及び、その種類と内訳は蓋・壺・甕・鉢・高杯・器台・水差し・ミニチュアなどの弥生土器や土製品、石製品、木製品が出土している。また、古墳時代～古代の土師器や須恵器、中世の土師皿や黒色土器椀、陶磁器類がある。これら多量の遺物のうち、実測可能なものは数千点を数えるが、今回の概報においてはB・Cトレンチで検出された弥生時代前期末～中期の環濠4条の遺物と、一括性の高い弥生時代後期の土坑（BSK-8・BSX-2）や弥生時代弥生時代後期～古墳時代前期初頭頃（庄内式併行期）の大溝と考えられるASD-8出土の遺物（土器）を中心に掲載した。なお、今回の報告では石器・木製品は掲載しておらず、掲載土器の詳細は遺物観察表に記した。

今回の発掘調査で出土した遺物量は、土器が2,493.3kg、石器が145.6kg、木器が15.4kgで計2,654.3kgをはかり、土器は㎡当たり2.41kg／㎡であった。また、各トレンチ及び遺構の土器量はAトレンチが191.4kg、ASD-8（大溝）が41.2kg、Bトレンチは1,543.3kgでBSD-4が94.6kg、BSD-5が5.2kg、BSD-6が32.0kg、BSD-7が399.8kg、BSD-8が50.8kg、BSK-8が120.4kg、BSX

-2が335.1kg、包含層が437.0kg である。このことから、BSD-7・BSK-8・BSX-2は出土量から考慮すると、一括性が高いと考えられる。Cトレンチは719.6kg でCSD-4は224.4kg、CSD - 5が293.2kg、CSD-7が24.2kg、包含層が129.2kg を測る。Dトレンチは36.2kg、DSX-1が23.8kg を測る。

また、今回の調査で出土した石器の内訳は、チップ・フレーク（剥片）98点、コア（石核）15点、スクレイパー・石ベラ（掻器・削器）80点、ナイフ16点、石鏃は材質がサヌカイトで（打製・磨製）16点、中・大型尖頭器は23点、磨製石斧34点、石包丁48点、砥石165点、磨石55点、敲石５点、石皿５点、石製品107点、石材96点、その他634点となっており計1,397点を数える。石器の出土傾向については、砥石が相変わらず一番多く、スクレイパー類・磨石・石包丁・石斧が比較的多く出土している。石包丁の石材をみると、片理質の粘板岩や結晶片岩が多く、石斧では殆どが大型蛤刃石斧で泥岩・砂岩・緑泥片岩が多い。また、環状石斧や扁平片刃石斧・板状などが少量みられる。砥石には平らなものと、塊状（直方体）なものとがあり泥岩・砂岩・花崗岩等の目の粗い石材が多い。これらの石器の多くはCSD-4・-5、BSD-7から多く出土している。木製品は合計137点出土し、柱材・板材・杭・棒状・鍬・皿状容器などがあり、その多くがBSD-6・-7、CSD-4・-5からの出土が目立つ。

周辺調査区の遺物量はHN03-3（H16年度概報P.1～22）が土器量5,153.3kg、石器307.5kg、木器16.2kg、骨23.2kg を計る。土器量は㎡当たり10.39kg／㎡であった。HN02-1が土器量1,893kg、石器80.4kg、木器20.2kg、骨4.6kg土器は㎡当たり2.97kg／㎡を計り、HN02-2では土器量1,398kg、石器13.6kg、土器量は㎡当たり4.99kg／㎡であった。

ｆ基本層序（第12・16・18図） 調査区の基本層序はⅠ層からＸＸ層まで大別されるが、前述したようにＡトレンチから東に移動するにつれて地形が下がっていくことから、Ｂ・Ｃトレンチにおいては層の厚さや堆積層が異なってくる。Ⅰ層が盛土層でＡトレンチでは1.3ｍ、Ｂ～Ｄトレンチでは0.8～0.9ｍの現代の盛土である。Ⅱ層は褐灰色シルト質埴土や黒褐色土の近現代の耕作土で、層厚0.2～0.3ｍをはかる。Ⅲ層はオリーブ灰色シルトや灰色シルトの床土で、層厚0.05～0.15ｍをはかる。Ⅳ層は黄橙色土や黄褐色土の耕土で、Ａトレンチ北東部のみⅣ－１～３層まで細分できる。層厚は0.1～0.25ｍで、Ａトレンチ北東部は0.35ｍをはかる。Ⅴ層は褐灰色～灰白色シルトの中世耕土で0.1～0.15ｍをはかる。Ⅵ層～Ⅸ層・ＸⅠ層～ＸⅧ層はＡトレンチでは確認されていない。また、ＤトレンチではⅦ層～ＸⅢ層は確認されていない。Ⅵ層は褐灰色シルトに明緑灰色シルトを含んだ中世耕土で層厚は0.05～0.2ｍをはかる。Ⅶ層は灰白色土に明青灰色シルトを含んだ中世耕土で層厚は0.05～0.2ｍをはかる。Ⅷ層は褐灰色シルトに多量のマンガンを含んだ床土で0.05～0.1ｍをはかる。Ⅸ層は褐灰色シルトににぶい黄橙色～黄褐色土を含んだ古代～中世整地土である。層厚は0.05～0.2ｍをはかる。Ｘ層は明黄褐色土に褐灰色シルトを含んだ古代整地土である。層厚は0.05～0.1ｍをはかる。ＸⅠ層は明黄褐色土に褐灰～灰白色シルトを含んだ古墳時代後期の整地土である。層厚は0.05～0.1ｍをはかり、調査地西側のＤトレンチのみにみられる。ＸⅡ層は褐色土に灰黄褐色シルトを含んだ古墳時代後期の整地土である。層厚は0.05～0.1ｍをはかり、調査地北東のＣトレンチのみにみられる。ＸⅢ層は灰黄褐色シルトに５㎝大の黄褐色ブロック土を含んだ古墳時代中期～後期の整地土である。層厚は0.05～0.2ｍをはかる。ＸⅣ層は褐色～黄褐色土や黒褐色土に灰黄褐色シルトを含んだ古墳時代前期～中期の整地土である。層厚は0.1～0.2ｍをはかる。ＸＶ層は３層に細分でき、弥生時代後期～古墳時代前期初頭頃の二次堆積の遺物包含層を形成する整地層で、ＸＶ―１層は黒褐色土ににぶい黄褐色と

多量の土器片を含んでいる。層厚は0.1～0.15ｍをはかる。ＸＶ－２・３層は黒色粘土ににぶい黄橙色シルトを含んでおり、それぞれの層厚は0.2～0.25ｍをはかる。ＸⅥ層は褐色土に褐灰色土や浅黄橙色～黄褐色シルト・粘土塊を含んでおり、弥生時代中期後葉の整地層と考えられる。調査地北側のＣトレンチ西側およびＤトレンチにのみみられ、層厚は0.1ｍをはかる。ＸⅦ層は黄橙色シルト質粘土ににぶい黄褐色土を含んだ弥生時代中期後葉以前の整地層で、BSD－6・7・8、CSD-4・5の環濠間に厚さ0.1～0.15ｍほど堆積する。ＸⅧ層は明黄褐色シルト～粘土に褐灰色粘土を含んだ弥生時代中期後葉以前の整地層でＸⅧ層同様、環濠間に層厚0.1～0.2ｍで堆積する。ＸⅨ層は２層に細分でき、褐灰色粘土に黒褐色粘土や黄褐色シルトを含んだ弥生時代前期末～中期前葉の整地層で層厚0.1～0.2ｍをはかる。ＸＸ層は灰白色や黄橙色・浅黄橙色・明黄褐色のシルト～粘土の地山である。

今回の調査では第１面をＸⅢ層およびＸⅣ層検出面、第２面を整地層であるＸＶ層直下、第３面を地山面（ＸＸ層）で遺構を検出・精査している。

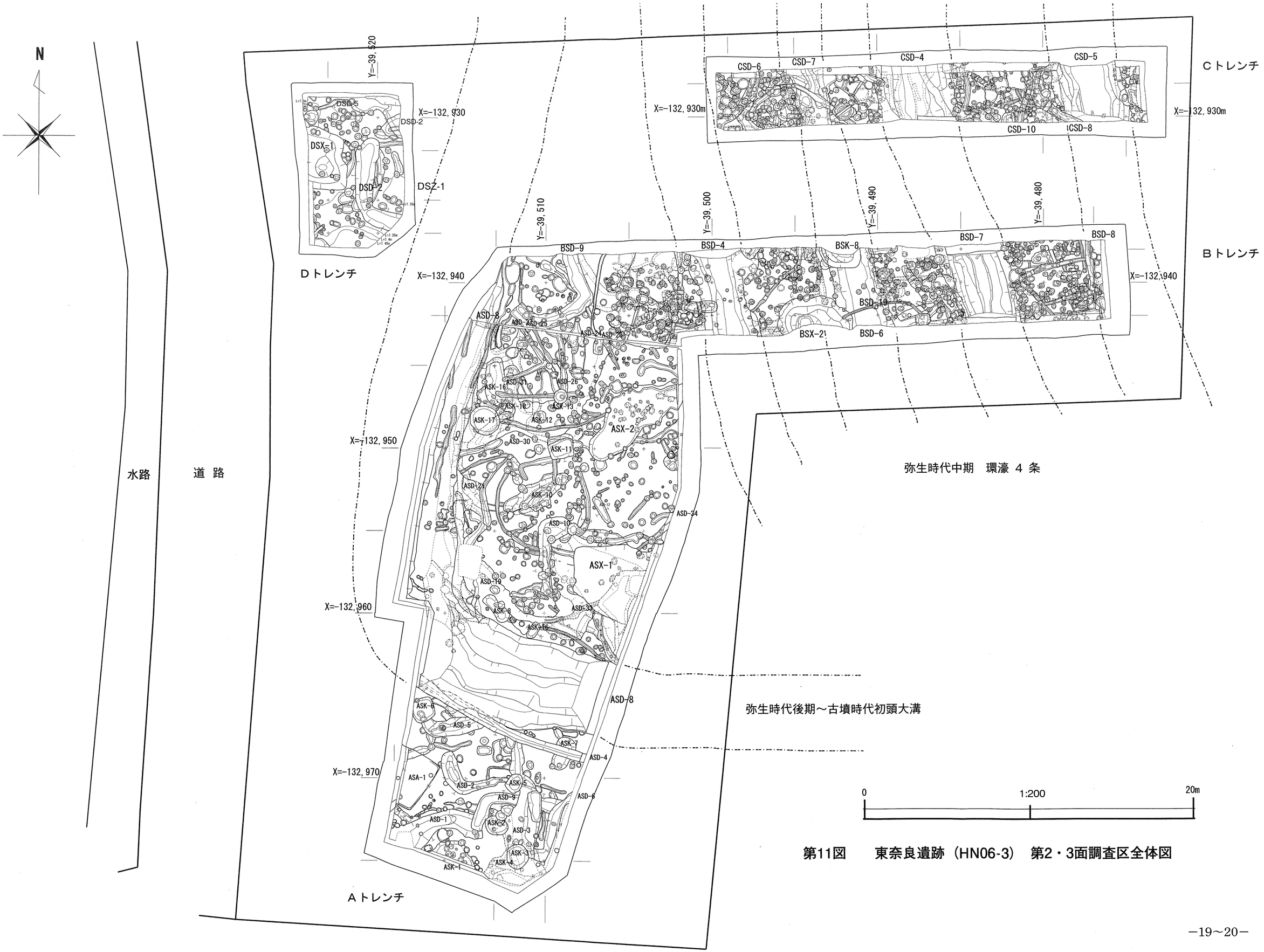
ｇ環濠（弥生時代前期後半～中期）　第10・11・16・17・22～27・29～33図　環濠は調査地東側に位置するＢ・Ｃトレンチから合わせて４条検出された。南北方向にのびやや西寄りに弧を描く形で検出されている。外側の環濠からBSD-4、BSD-6・CSD-7、BSD-7・CSD-4、BSD-8・CSD-5である。BSD-4の続きはＣトレンチからは検出されていないことから、Ｃトレンチの西側を通っているものと思われる。今回検出された環濠はどれも長さ17～18ｍ程である。

これら環濠の開削時期は内側の２条の溝（BSD-7・8・CSD-4・5）が弥生時代前期後半～末頃にはじまり、少し遅れて外側２条（BSD-4・6・CSD-7）は弥生時代中期前葉には開削され弥生時代中期後葉に４条の環濠はともに再び掘り直されている。環濠の規模は、以下に詳細を記す。

BSD-4は幅が2.7～3.2ｍ、深さは検出面から0.9ｍで断面形は逆台形を呈する。底面の標高はT.P.6.1ｍをはかる。埋土は大きく分けてA～H層の８層に大別される。Ａ層は２層に細分され、灰黄褐色土に明黄褐色シルトを含む。Ｂ層は褐灰色粘土が主体で、Ｃ層は灰白色粘土に黄褐色シルトブロックを含む。Ｄ層は明黄褐色シルトに黒褐色土を含む。Ｅ層は暗褐色土主体、Ｆ層は褐灰色粘土や粘土ブロック、Ｇ層は２層に細分され褐灰色粘土に明青灰色粘土や黒褐色粘土ブロックを含む。Ｈ層は黄褐色土に黒褐色土や褐灰色粘土を含む。遺物はＡ～Ｆ層まで弥生時代中期後葉の土器を多く含む。また、下層のＧ・Ｈ層からは中期前葉の土器が出土している。断面観察では中期後葉段階に再掘削された後にＡ～Ｆ層が堆積したものと推定される。

BSD-6・CSD-7は幅が2.8～3.4ｍ、深さは検出面から0.9ｍで断面形はBSD-6が逆台形、CSD-7がＵ字形を呈する。底面の標高はT.P.6.1ｍをはかる。埋土は大きく分けてA～Ｉ層の９層に大別される。Ａ層は２層に細分され、黒褐色土主体、Ｂ層も２層に細分され明黄褐色土に黒褐色土や褐灰色粘土を含む。Ｃ層は灰白色～褐灰色粘土に黒色粘土ブロックを含む。Ｄ層は２層に細分でき褐灰色～黒褐色粘土主体、Ｅ層も２層に細分でき黄褐色土～灰黄褐色土主体、Ｆ層も２層に細分でき褐灰色～灰黄褐色粘土主体で黒色粘土ブロックを含む。Ｇ層は褐灰色シルトや浅黄橙色シルト主体で黒色～褐灰色粘土ブロックを含む。Ｈ層は２層に細分でき褐灰色粘土に黒色粘土や灰白色粘土を含む。Ｉ層は褐灰色粘土を主体とする。遺物はＡ～Ｃ層までは弥生時代後期、Ｄ・Ｅ層は弥生時代中期後葉の土器を多く含む。また、下層のＦ～Ｉ層からは中期前葉の土器が多く出土している。断面観察では中期後葉段階に再掘削された後にＡ～Ｅ層が堆積したものと推定される。

BSD-7・CSD-4は幅が3.8～5.0ｍ、深さは検出面からBSD-7が0.9ｍ、CSD－4が1.2ｍで底面



第11図　東奈良遺跡（HN06-3）第2・3面調査区全体図

の標高はT.P.5.6～5.7ｍをはかる。断面形は逆台形～Ｕ字形を呈する。埋土は大きく分けてＡ～Ｇ層の７層に大別される。Ａ層は３層に細分され、黒色粘土主体でにぶい黄橙色シルトを含む。Ｂ層は２層に細分され、黒色粘土に灰白色～にぶい黄橙色土砂壌土を含む。Ｃ層は２層に細分でき、黒色粘土にやや粗いにぶい黄橙色土砂壌土を含む。Ｄ層は３層に細分でき、青灰色・にぶい黄褐色砂壌土に褐灰色～黒色粘土を含む。Ｅ層は単層で黄橙色砂壌土やにぶい黄褐色土に黒色粘土や褐灰色砂壌土を含む。Ｆ層は３層に細分でき、灰白色粘土～シルトに黒色粘土ブロックを含む。Ｇ層は褐灰色粘土に黒色粘土や灰白色シルトを含む。遺物はＡ・Ｂ層は弥生時代中期後葉、Ｃ・Ｄ層は弥生時代中期前葉～後葉、Ｅ～Ｇ層は弥生時代前期後葉～中期前葉の土器を多く含む。断面観察では中期後葉段階に再掘削された後にＡ～Ｄ層が堆積したものと推定される。

(BSD-8)・CSD-5は幅が4.2～4.4ｍ、深さは検出面から1.2ｍで底面の標高はT.P.5.6ｍをはかり、断面形は逆台形を呈する。埋土は大きく分けてＡ～Ｇ層の７層に大別される。Ａ層は３層に細分され、黒色粘土主体でにぶい黄橙色シルトや灰白色シルトを含む。Ｂ層は黒色粘土ににぶい黄褐色粘土や明緑灰色粘土を含む。Ｃ層は黒色～褐灰色粘土に黄橙色シルト～粘土を含む。Ｄ層は浅黄色粘土に灰オリーブ色粘土や黒色粘土を含む。Ｅ層は黒色粘土にや褐灰色粘土を含む。Ｆ層は２層に細分でき、黒色～黒褐色粘土に黄色系の粘土～シルトを含む。Ｇ層は黒色粘土に灰白色シルトを多量に含む。遺物はＡ層は弥生時代中期後葉、Ｂ～Ｄ層は弥生時代中期前葉～中葉、Ｅ～Ｇ層は弥生時代前期後葉～中期前葉の土器を多く含む。断面観察では中期後葉段階に再掘削された後にＡ層が堆積したものと推定される。

以上のことから、CSD-4（BSD-7）・5（BSD-8）は溝の幅や深さ・出土遺物などから、ほぼ同時期に掘削されたであろうことが伺える。また、再掘削の時期に関しても黒色粘土を主体にするなど埋土や出土遺物に共通点が多く、改修も同時期に行われたと考えている。また、CSD-7(BSD-6)とBSD-4についても前述した溝と比較すると環濠外側に位置するこれらの溝は内側の溝に比べて、幅や深さといった規模の点から一回り小規模といえる。開削時期に関しても弥生時代前期後葉の土器がはいってこないことから、内側２条の環濠を掘削した後に、中期前葉段階において外側に若干小規模な２条の環濠を掘削したことが想定される。

また、出土土器に関してはこれら４条の環濠から出土した土器量は、全調査区の土器量に比して、約45％を占める。その内訳は、BSD-4が3.8％、BSD-6・CSD-7が2.3％、BSD-7・CSD-4が25.0％、BSD-8・CSD-5が13.8％である。BSD-4およびBSD-8・CSD-5は掘削面積が他の半分くらいであることから単純に比較できないが、いずれにしても内側（東側）の環濠（BSD-7・CSD-4とBSD-8・CSD-5）２条の出土量が非常に多いことが伺い知れる。

器種組成についてみると、全調査区の弥生土器では甕43%（3,560点）、壷34%（2,844点）、高坏12%（1,025点）、鉢６％（485点）、蓋３％（232点）、器台１％（89点）、水差１％（67点）、その他（27点）の計8,329点を数える。（なお、口縁部や特徴のある部位で器種を特定。）環濠出土の弥生土器器種組成をみると、**BSD-4**では計280点で壷41%（116点）、甕33%（92点）、高坏14%（38点）、鉢９％（25点）、蓋・器台各１％（各３点）水差１％（２点）他１点となっている。**BSD-6・CSD-7**（同一環濠とみなす）では計135点で壷36%（48点）、甕34%（46点）、高坏16%（22点）、鉢９％（12点）、水差３％（４点）、器台１％（２点）、蓋１％（１点）となっている。**BSD-7・CSD-4**（同一環濠とみなす）では計1,780点で壷41%（729点）、甕31%（543点）、高坏16%（283点）、鉢７％（121点）蓋２％（42点）、水差２％（32点）、器台１％（24点）、その他６点を数える。**BSD-8・CSD-5**（同一環濠をみなす。）では計856点で甕46%（398点）、壷33%（279点）、高坏８％

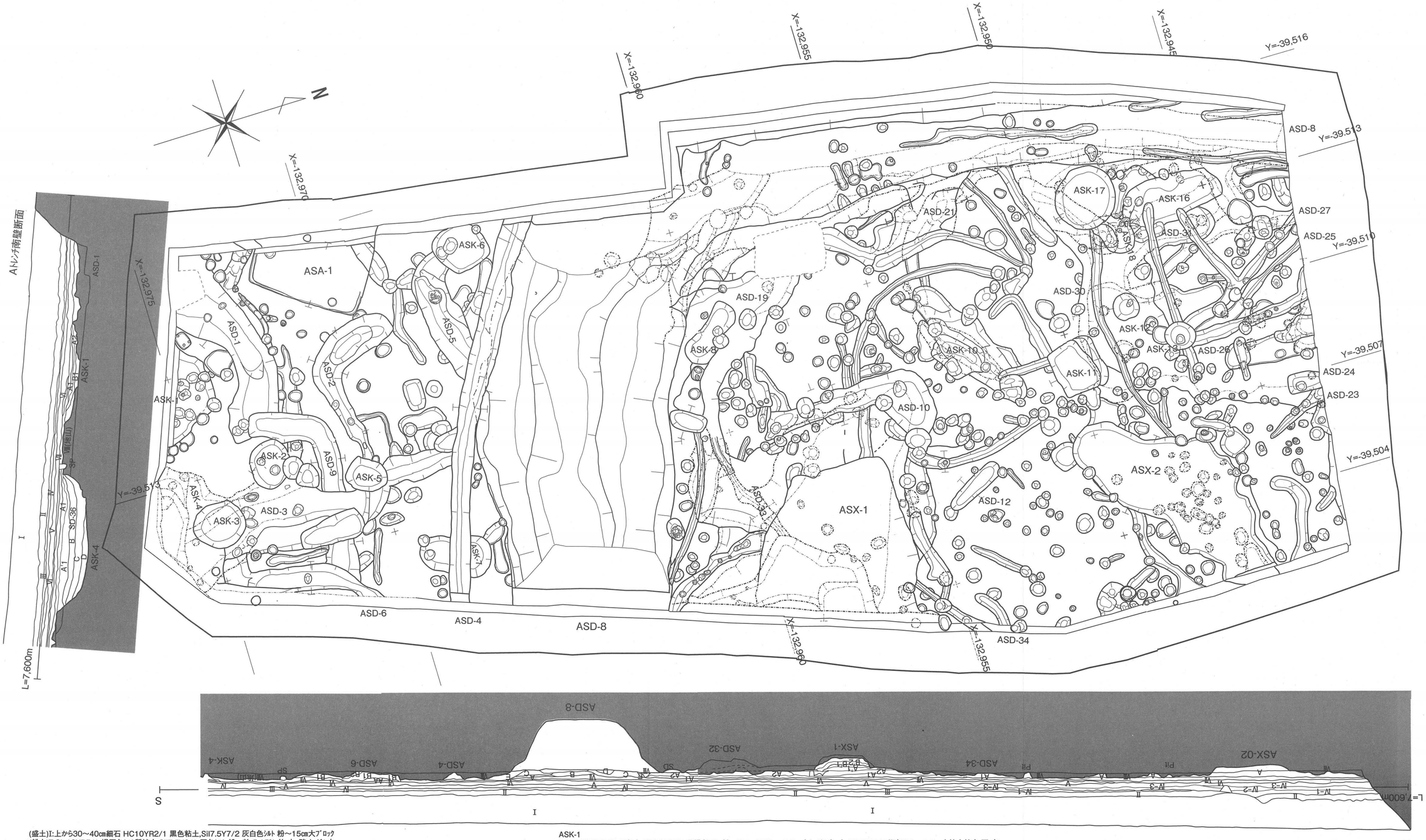
(68点)、鉢７％（56点)、蓋４％（36点)、水差２％（13点)、器台１点、その他１％（５点）となっている。また、木製品については、内側（東側）の環濠２条から板材や高坏脚･皿形（容器）木器などが底面より出土している。

ｈ方形周溝墓（弥生時代中期）第12・14・17・18・22図　方形周溝墓はAトレンチを中心にB・Dトレンチから検出されているが、前述した環濠の外側（西側）に展開する。調査区外へのびるものの方形周溝墓と考えられるものを含めて、Aトレンチでは12基、B・Dトレンチでは各1基、計14基を検出している。いずれの方形周溝墓も完周しているものはなく、四隅のいずれかが開いており溝を共有している。埋土も暗褐色～黒褐色土を主体とし、黄褐色シルトや粘土を含んでいる。方形周溝墓を主軸方向や出土遺物などでグルーピングすると、おおまかにASZ-1～3、ASZ-4～8、ASZ-9・10、ASZ-12・BSZ-1・DSZ-1の４つのグループに分けられる。

ASZ-1～3はAトレンチ北側に位置するグループで、主軸はN31°Wで周溝から弥生時代中期中葉～後葉の土器が出土している。ASZ-1は北東の周溝を欠き、規模は墳丘内が3.6ｍ×4.7ｍ（16.9㎡）で、周溝を含めると、6.0ｍ×6.0ｍ（36㎡）になり、埋葬主体部は検出されなかった。周溝の幅は1.1ｍ、深さは0.5～0.6ｍをはかる。重複・共有関係はASD-8（Ⅴ～Ⅵ様式）・ASK-10・17（Ⅳ～Ⅴ様式）に切られ、ASZ-3と溝を共有する。ASZ-2も北東の周溝を欠き、規模は墳丘内が6.5ｍ×7.2ｍ（46.8㎡）で、周溝を含めると、9.0ｍ×9.7ｍ（87.3㎡）になり、埋葬主体部は検出されなかった。周溝の幅は0.4～2.1ｍ、深さは0.3～0.6ｍをはかる。重複・共有関係はASD-8・ASX-1に切られ、ASZ-1・3と溝を共有する。ASZ-3は大部分をASD-8に切られ規模は不明である。周溝の幅は0.4～1.1m、深さは0.5ｍをはかる。

ASZ-4～8はAトレンチ南側に位置し、主軸はN10～17°Wである。ASZ-4は北半大部分をASD-8に切られ規模は不明である。重複・共有関係はASK-6に切られ、ASZ-5・7と溝を共有する。周溝の幅は0.7～1.1m、深さは0.4ｍをはかる。ASD-5（第22図-１）周溝内から弥生時代中期前葉の広口壺が出土している。ASZ-5も大半が調査区外にのびることから規模は不明である。重複・共有関係はASA-1・ASK-6に切られ、ASZ-4・6と溝を共有する。周溝の幅は0.5～0.8m、深さは0.3～0.4ｍをはかる。周溝から弥生時代中期前葉～中葉の土器が出土している。ASZ-6は西側の周溝を欠くものの、主軸がN17°Wで、規模は墳丘内が3.6ｍ×3.5ｍ（12.6㎡)、周溝を含めると、5.1ｍ×5.0ｍ（25.5㎡）になり、埋葬主体部は検出されなかった。周溝の幅は0.55～1.7ｍ、深さは0.3ｍをはかる。重複・共有関係はASA-1に切られ、ASZ-5・7と溝を共有する。ASD-1周溝内から弥生時代中期前葉～後葉の土器が出土している。ASZ-7は主軸がN10°Wで、規模は墳丘内が3.1ｍ×3.4ｍ（10.5㎡)、周溝を含めると、4.4ｍ×5.0ｍ（22.0㎡）になり、ASZ-4・5もおそらく同規模の方形周溝墓と思われる。埋葬主体部は墳丘中央東西と東側周溝に並行して南北に隅丸長方形の土坑が検出されている。土坑の主軸はそれぞれN88°WとN2°Eで、規模は0.88ｍ×0.56ｍ、1.4ｍ×0.5ｍである。周溝の幅は0.3～1.0ｍ、深さは0.3～0.4ｍをはかる。重複・共有関係はASD-8・ASK-5（Ⅳ様式）に切られ、ASZ-4・6・8と溝を共有する。時期が推定できる土器は出土してないが、重複関係から弥生時代中期後葉以前（Ⅳ-２様式以前）と考えられる。ASZ-8も大半が調査区外およびASD-8に切られており、規模は不明である。溝の幅は0.4～1.1ｍ、深さ0.4ｍをはかる。

ASZ-9・10はAトレンチ南東部に位置する。ASZ-9は主軸がN9°Eで、規模は墳丘内が3.9ｍ×3.7ｍ（14.4㎡）で、周溝を含めると、5.5ｍ×5.2ｍ（28.6㎡）になり、埋葬主体部は検出されなかった。周溝の幅は0.6～1.0ｍ、深さは0.4～0.8ｍをはかる。重複・共有関係はASD-1を切り、



(盛土)Ⅰ:上から30～40㎝細石 HC10YR2/1 黒色粘土,Sil7.5Y7/2 灰白色ｼﾙﾄ 粉～15㎝大ﾌﾞﾛｯｸ
(耕土)Ⅱ:Sic10YR5/1 褐灰色ｼﾙﾄ質埴土,Sil7.5Y6/1 灰色ｼﾙﾄ 粉～粒 5-15% 軟 中-疎 ｶｰﾎﾞﾝ少
(床土)Ⅲ:Sil7.5Y6/1 灰色ｼﾙﾄ,Sic10YR7/8 黄橙色ｼﾙﾄ質埴土 粉～粒 5-15% 中-軟 中-疎
(床土)Ⅳ:Sicl10YR7/8 黄橙色土,HC10YR7/8 黄橙色粘土 ～1㎝大 10-15% Sil10YR7/1 灰白色ｼﾙﾄ 粉～粒 層状 20-25% 中-硬 中-密
Ⅳ-1:Scl2.5GY7/1 ,Sil10YR6/8 粉～1㎝大 20-25% 1㎝厚層状 軟 中-疎
Ⅳ-2:Sil5Y7/1 ,Sil10YR7/8 0.5～1㎝大 40-50% 0.2～0.5㎝大ﾏﾝｶﾞﾝ多 中-軟 中-密
Ⅳ-3:Sil10G7/1 ,Sil10YR6/8 粉～1㎝大 15-20% 軟 中-疎
(耕土)Ⅴ:Sil10YR6/1～7/1 褐灰～灰白色ｼﾙﾄ,HC10YR7/8 黄橙色粘土 ～1㎝大 15-20% ～0.5㎝大ﾚｷ少 中-軟 中-密
Ⅹ:Sicl2.5Y6/6 明黄褐色ｼﾙﾄ質埴土,Sic10YR6/1～7/1 褐灰～灰白色ｼﾙﾄ質埴土 粉～0.5㎝大 15-20% ～0.2㎝大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-硬 中-密
Ⅸ-2:Sicl10YR3/2 黒褐色土,Sil10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ ～0.5㎝大 25-30% ～0.3㎝大ｶｰﾎﾞﾝ少 HC10YR6/8 明黄褐色粘土 ～0.3㎝大ﾌﾞﾛｯｸ 5-7% 中-硬 中-密
(地山)ⅩⅩ:HC10YR7/8 黄橙色粘土,HC10YR8/1 灰白色粘土 0.5～2㎝大 15-20% HC10YR4/1 褐灰色粘土(植物遺体) 粉～3㎝大 15% 硬 密

ASD-1
A:Sicl10YR5/3 にぶい黄褐色土,HC10YR7/8 黄橙色粘土 ～1㎝大ﾌﾞﾛｯｸ 15-20% ～2㎝大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 P-少 中-硬 密

ASX-1
A1:Sicl10YR4/2 ,HC10YR8/8 0.2～1㎝大ﾌﾞﾛｯｸ 40% Sil10YR6/1 粉 15% P-少 ～0.5㎝大ﾏﾝｶﾞﾝ 少-中 中-軟 中-密
A2:Sicl10YR3/3 ,Sil10YR5/8 粉 30-40% Sil10YR6/1 粉 15-20% P-少 ～0.5㎝大ﾏﾝｶﾞﾝ 少-中 中-硬 中-密

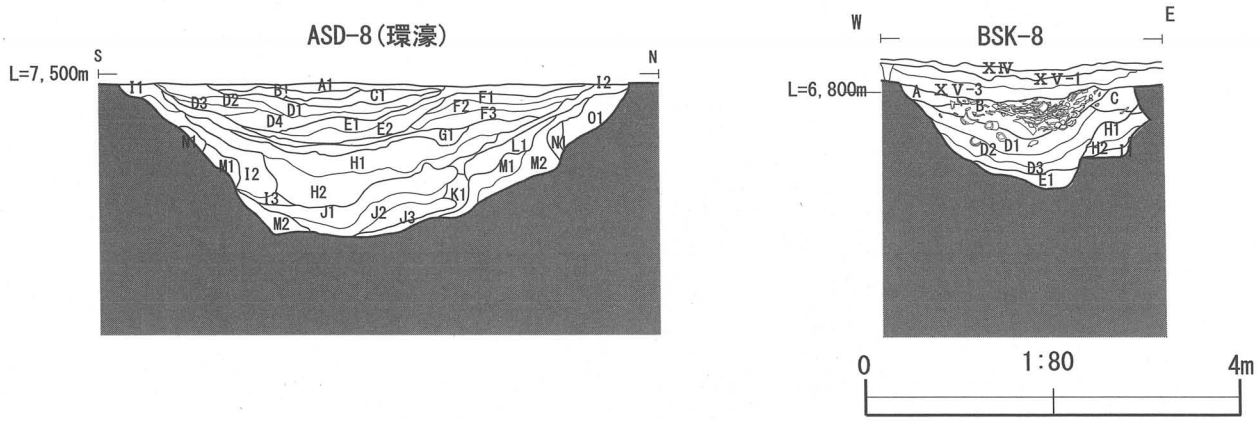
ASK-1
A1:Sicl10YR2/1 黒色土,Sil10YR5/6 黄褐色ｼﾙﾄ 粉～0.5㎝ 30% ～0.2㎝大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 Sil5YR7/8 橙色ｼﾙﾄ ～0.5㎝大焼土粒少 硬 密
A2:Sicl10YR2/1 黒色土,Sil10YR5/6 黄褐色ｼﾙﾄ 粉～0.5㎝大 10% ～0.2㎝大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 Sil5YR7/8 橙色ｼﾙﾄ ～0.5㎝大焼土粒少 中-硬 密
A3:Sicl10YR2/1 黒色土,Sicl10YR5/4 にぶい黄褐色土 粉～粒 30-40% HC10YR8/6 黄橙色粘土 ～2㎝大ﾌﾞﾛｯｸ 25% ～0.1㎝大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 pP-少 中-軟 中-密

ASK-4
A1:Sicl10YR4/3 にぶい黄褐色土,HC10YR4/1 褐灰色粘土 0.5㎝～1㎝大 20-25% ～0.3㎝大ｶｰﾎﾞﾝ中 P-少 硬 密
A'1:Sicl10YR4/4 褐色土,HC10YR8/8 黄橙色粘土 ～0.3㎝大 15-20% 0.5～1㎝大ｶｰﾎﾞﾝ中 中-軟 中-密
B:Sicl10YR4/2 灰黄褐色土,Sil10YR6/8 明黄褐色ｼﾙﾄ 粒～0.5㎝大 10-15% 0.3～1㎝大ｶｰﾎﾞﾝ中 ～0.3㎝大ﾏﾝｶﾞﾝ多 P-中 中-硬 中-密
C:Sil10YR6/6 明黄褐色ｼﾙﾄ,Sicl10YR4/3 にぶい黄褐色土 粒 20-25% 0.3～0.5㎝大ｶｰﾎﾞﾝ少 ～0.3㎝大ﾏﾝｶﾞﾝ中 P-少 中-硬 中-密
D:Sicl10YR3/2 黒褐色土,Sil1YR7/8 黄橙色ｼﾙﾄ 0.5～1㎝大ﾌﾞﾛｯｸ 20% HC10YR6/1 褐灰色粘土 ～1㎝大ﾏﾝｶﾞﾝ中 ～1㎝大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-硬 中-密

ASD-8(上層)
A:Sil5B7/1 ,Scl10YR5/3 粒 15-20% Sic7.5YR6/8 0.3～1㎝大 10-15% 中-軟 中-密
B:HC10YR7/8 ,Sicl10YR4/6 粉～粒 20-30% Sil10YR6/1 粒～0.5㎝大 20% P-少 中-軟 中-密
C:Aに類似 Scl10YR5/3 粒 15-20% Sic7.5YR6/8 0.3～1㎝大 20-30%% 中-軟 中-疎
D:Scl10YR6/3 ,Sil5B7/1 0.5～1㎝大 20-25% Sic10YR6/8 ～2㎝大ﾌﾞﾛｯｸ 15% 中-軟 中-疎
E:Sicl10YR4/2 ,HC10YR7/8 粉 30-40% Sil10YR8/2 粉～1㎝大 10% ～0.2㎝大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-硬 中-密

0 1:100 4m

第12図　東奈良遺跡（HN06-3）Aトレンチ平・断面図



第13図　東奈良遺跡（HN06-3）ASD-8・BSK-8遺構断面図

ASD-8

A1:Sicl10YR5/2 灰黄褐色土,Sil10YR5/4 にぶい黄褐色ｼﾙﾄ 粒～0.5cm大 20-30% 1cm大ﾏﾝｶﾞﾝ少-中 0.2～1cm大ﾚｷ少-中 P-少 中-硬 中-密
B1:Sicl10YR5/2 灰黄褐色土,SL10YR6/1 褐灰色砂壌土 粒～0.2cm 40-50% Sil10YR6/6 明黄褐色ｼﾙﾄ 粉～1cm大 20-25% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-硬 中-密 P-少 (砂層)
C1:Sicl10YR4/2 灰黄褐色土,Sil7.5GY7/1 明緑灰色ｼﾙﾄ 粉 50-60% ﾏﾝｶﾞﾝ中 ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 P-少 中-軟 中-密
D1:SL10YR6/2 灰黄褐色砂壌土(～0.2cm大),Sil7.5GY7/1 明緑灰色ｼﾙﾄ 粉 20% ﾏﾝｶﾞﾝ少 ～0.5cmｶｰﾎﾞﾝ少 Sicl10YR3/2 黒褐色土 粒 10% Sil10YR7/8 黄橙色ｼﾙﾄ ～1cm大 10% 軟 中-疎 (B層に類似 砂層)
D2:SL10YR6/2 灰黄褐色砂壌土(～0.2cm大),Sil7.5GY7/1 明緑灰色ｼﾙﾄ 粉 10% 軟 疎 (B層に類似 砂層)
D3:SL10YR6/2 灰黄褐色砂壌土(～0.2cm大),Sil7.5GY7/1 明緑灰色ｼﾙﾄ 粉 3-5% 軟 疎 (B層に類似 砂層)
D4:SL10YR6/2 灰黄褐色砂壌土(～0.2cm大),Sil7.5GY7/1 明緑灰色ｼﾙﾄ 粉～層状(2cm厚) ﾏﾝｶﾞﾝ少 ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 軟 疎 (B層に類似 砂層)
E1:SL10YR5/2 灰黄褐色砂壌土 ～0.3cm大,Sil5GY7/1 明ｵﾘｰﾌﾞ灰色ｼﾙﾄ 粉 60% 軟 疎 (砂+ｼﾙﾄ)
E2:SL10YR5/2 灰黄褐色砂壌土 ～0.3cm大,Sil5GY7/1 明ｵﾘｰﾌﾞ灰色ｼﾙﾄ 粉 30-40% ～2cm大ﾏﾝｶﾞﾝ少 ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 軟 疎 (砂+ｼﾙﾄ)
F1:Sil5GY7/1 明ｵﾘｰﾌﾞ灰色ｼﾙﾄ,Sil10YR5/1 褐灰色ｼﾙﾄ 粉～1cm大 5-10% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 ﾏﾝｶﾞﾝ少-中 中-軟 疎 (ｼﾙﾄ)
F2:Sil5GY7/1 明ｵﾘｰﾌﾞ灰色ｼﾙﾄ,Sil10YR5/1 褐灰色ｼﾙﾄ 粉～1cm大 15-20% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 ﾏﾝｶﾞﾝ少 中-軟 疎 (ｼﾙﾄ)
F3:Sil5GY7/1 明ｵﾘｰﾌﾞ灰色ｼﾙﾄ,Sil10YR5/1 褐灰色ｼﾙﾄ 粉～1cm大 25-30% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 ﾏﾝｶﾞﾝ少 中-軟 疎 (ｼﾙﾄ)
G1:HC10YR2/1 黒色粘土 層状(1～3cm厚)30-40% 木片少-中量 中-軟 中-密 SL10YR5/2 灰黄褐色砂壌土 ～0.3cm層状 ～3cm厚 ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 Sil5GY7/1 明ｵﾘｰﾌﾞ灰色ｼﾙﾄ 粉 30% (キ層)
H1:SL10YR6/2 灰黄褐色砂壌土 ～0.5cm大層状,Sil5GY7/1 明ｵﾘｰﾌﾞ灰色ｼﾙﾄ 粉 30% 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 木片3cm大 少-中軟 疎 (粗砂層)
H2:SL10YR6/2 灰黄褐色砂壌土 ～0.5cm大層状 0.5cm白色石,Sil5GY7/1 明ｵﾘｰﾌﾞ灰色ｼﾙﾄ 粉 5-7% ﾏﾝｶﾞﾝ･酸化鉄 沈殿(一時のSD底面) 中-軟 中-疎 (粗砂層)
I1:Sicl10YR5/4 にぶい黄褐色土,HC10YR3/1 黒褐色粘土 粉～0.5cm大 40-60% Sil10YR8/6 黄橙色ｼﾙﾄ 0.2cm～1cm大 5-7% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ中-多 SL10YR8/1 灰白色砂壌土 粉-粒(細砂)10-15% 中-軟 中-密 (粘土層)
I2:Sicl10YR4/6 褐色土,HC10YR3/1 黒褐色粘土 粉～0.5cm大 40-60% Sil10YR8/6 黄橙色ｼﾙﾄ 0.2cm～1cm大 5-7% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ中-多 SL10YR8/1 灰白色砂壌土 粉-粒(細砂)10-15% 中-軟 中-密 (粘土層)
I3:HC10YR3/1 黒褐色粘土,Sil5BG7/1 明青灰色ｼﾙﾄ 粉～層状(～0.4cm厚)20-25% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中-多 木片層～0.5cm厚 SL10YR8/2 灰白色砂壌土 粉-粒(細砂)10-15% 中-軟 中-密 (粘土層)
J1:SL10YR8/2 灰白色砂壌土 ～0.2cm大,Sil10YR6/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ 粉～層状(1.5cm厚)15% 木片ｺﾞﾐ層 10% ～0.5cm大白色ﾚｷ 底面付近堆積多･酸化鉄沈殿(第２の底面) 軟 疎 (砂層)
J2:SL10YR8/2 灰白色砂壌土 ～0.2cm大,Sil10YR6/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ 粉～層状 60-70% 木片ｺﾞﾐ層 3% ～0.5cm大白色ﾚｷ 少-中 軟 疎 (砂層)
J3:SL10YR8/2 灰白色砂壌土 ～0.2cm大,Sil10YR6/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ 粉～層状 40-50% HC10YR2/1 黒色粘土 0.3cm～層状(3～5cm厚)30-35% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 ～0.5cm大ﾚｷ少-中 軟 疎 酸化鉄沈殿(第３の底面) (砂層)
K1:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil5GY7/1 明ｵﾘｰﾌﾞ灰色ｼﾙﾄ 粉 25-30% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 ～5cm大木片 中-多量 軟 疎 (炭層)
L1:HCN2/1 黒色粘土,Sil5GY7/1 明ｵﾘｰﾌﾞ灰色ｼﾙﾄ 粉～1cm大 10-15% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 木片少 中-軟 密(北斜面のみ) (粘土層)
M1:Sil10YR6/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ,HC10YR2/1 黒色粘土 0.3～2cm大ﾌﾞﾛｯｸ 20-25% Sil5BG7/1 明青灰色ｼﾙﾄ ～1cm大 20% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-軟 中-疎 (粘土+ｼﾙﾄ)
M2:Sil10YR6/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ,HC10YR2/1 黒色粘土 0.3～5cm大ﾌﾞﾛｯｸ 20% Sil5BG7/1 明青灰色ｼﾙﾄ ～5cm大 40-50% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-軟 中-疎〈南側〉Sil10YR6/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ 粒 40-50% (粘土+ｼﾙﾄ)
N1:HC10YR8/2 灰白色粘土,HC10YR2/1 黒色粘土 ～0.5cm大 10-15% ～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ多 中-軟 中-密(壁崩壊土) (粘土層)
O1:HC10YR7/8 黄橙色粘土,HC10YR8/2 灰白色粘土 ～1cm大 15-20% HC10YR2/1 黒色粘土 0.5～3cm大 15% ～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ多 中-軟 中-密(壁浸食) (地山)

BSX-2

A1:HC10YR2/1 黒色粘土,Sicl10YR5/4 にぶい黄褐色土 粒～0.5cm大 20-25% Sil10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉～0.5cm大 15-20% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 P-中-多 中-硬 密
A2:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR7/3 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉 30% Sic10YR5/6 黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 粒～2cm大 10% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 P-少-中 中-軟 中-密
A3:HC10YR2/1 黒色粘土,Sic10YR5/4 にぶい黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 粒 30-40% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 P-少 軟 中-疎
B1:HCN3/0 暗灰色粘土,Sil10YR8/2 灰白色ｼﾙﾄ 粉～2cm大ﾌﾞﾛｯｸ 20-25% 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 Sic7.5YR5/6 明褐色ｼﾙﾄ質埴土 0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ中 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 中-軟 密 P-少
C1:HCN2/0 黒色粘土,HC10YR6/1 褐灰色粘土 ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 20-30% ～0.5cm大白色ﾚｷ中-少 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 P-少 中-軟 密
C2:HCN2/0 黒色粘土,HC10YR6/1 褐灰色粘土 粉 30-40% 0.2～1cm大ﾚｷ少 ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中-多 P-中(完形) 中-軟 密
D1:HCN4/0 灰色粘土,HC10YR8/1 灰白色粘土 1.2～3cm大 25-30% 0.3～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 P-少 中-軟 中-密
D2:HC10YR2/1 黒色粘土,HC10YR7/2 にぶい黄橙色粘土 0.3～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 25-30% 0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ中 中-軟 密
E1:HC10YR2/1 黒色粘土,Sicl10YR3/3 暗褐色土 粉 40% HC10YR8/1 灰白色粘土 0.3～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 15% ～0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 軟 密 P-多(完明)Ｖ様式一括出土
E2:HC10YR3/1 黒褐色粘土,HC5B7/1 明青灰色粘土 0.5～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 25-30% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-軟 中-疎
F1:HCN3/0 暗灰色粘土,Sil10YR7/8 黄橙色ｼﾙﾄ ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 40-50% HC10YR8/1 灰白色粘土 ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 15% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-硬 中-密(壁崩落土)
G1:HC10YR2/1 黒色粘土,Sicl10YR4/3 にぶい黄褐色土 粉～粒 30-40% 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 木質中量 中-軟 中-密 P-中
H1:HC10YR3/2 黒褐色粘土,HC10YR8/1 灰白色粘土 ～2cm大ﾌﾞﾛｯｸ 20-25% ～2cm厚層状 ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-多 中-軟 中-密
I1:HC10YR2/1 黒色粘土,HC10YR8/1 灰白色粘土 ～2cm大ﾌﾞﾛｯｸ 40-50% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-軟 中-密

BSK-8

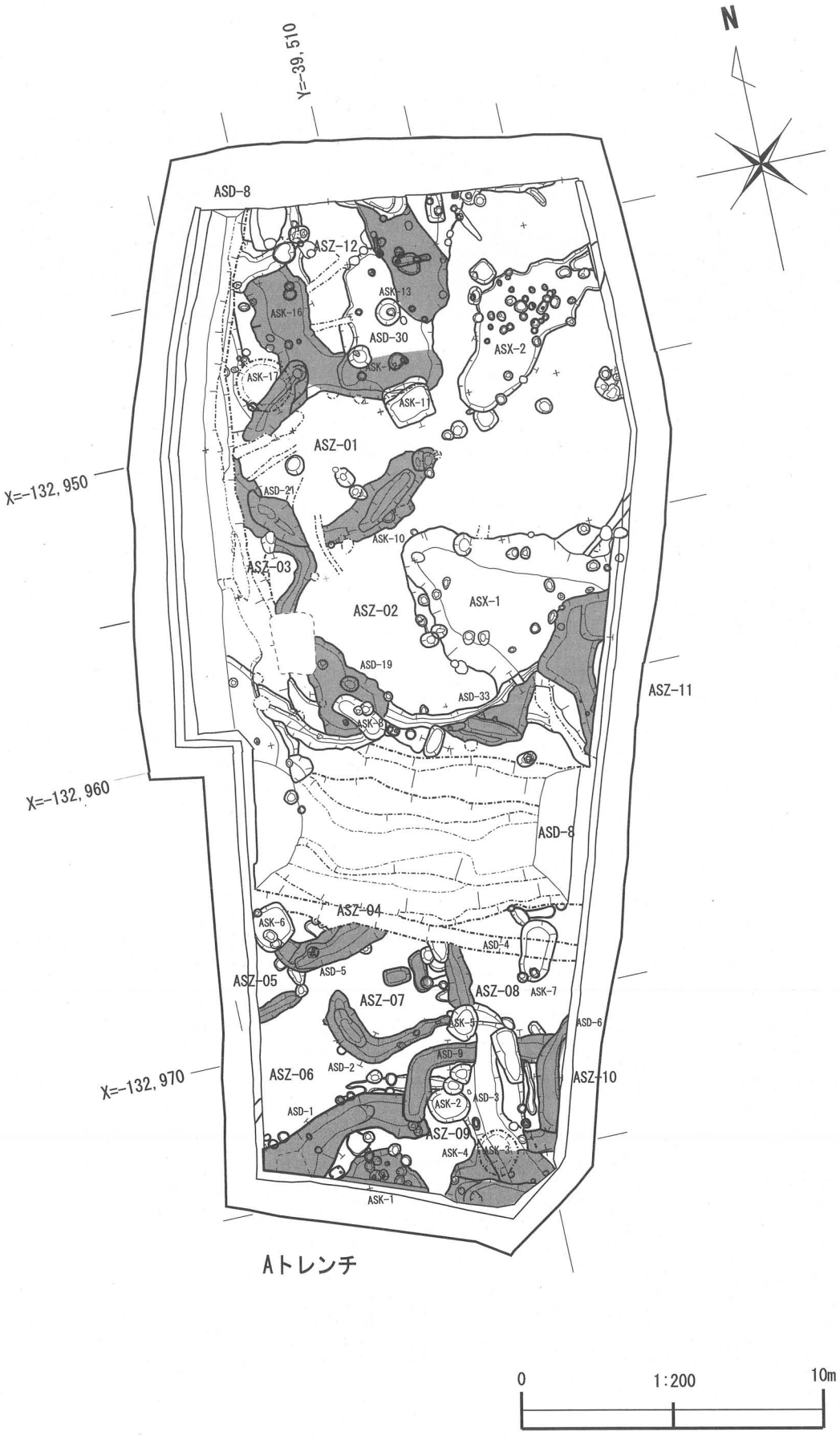
A :Sicl10YR4/1 褐灰色土,Sil10YR8/1 灰白色ｼﾙﾄ 粉 20% Sic7.5YR6/8 橙色ｼﾙﾄ質埴土 0.2～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ 20-25% ～0.5cm大ﾚｷ少-中 ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 P-中 中-軟 中-密
B :HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR8/1 灰白色ｼﾙﾄ 粉 10-15% ～0.5cm大ﾚｷ少 ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 P-多 中-軟 中-密
C :Sicl10YR4/1 褐灰色土,Sil10YR8/1 灰白色ｼﾙﾄ 粉 10-15% Sic7.5YR6/8 橙色ｼﾙﾄ質埴土 ～1cm大ﾏﾝｶﾞﾝ 25-30% ～0.5cm大ﾚｷ少 ～0.5cmｶｰﾎﾞﾝ少 P-少 中-硬 中-密
D1:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉 10% ～1cm大ﾚｷ少-中 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中-多 P-中-多(完形多) 軟 中-疎
D2:HCN3/0 暗灰色粘土,Sil～Sic10BG7/1 明青灰色ｼﾙﾄ～ｼﾙﾄ質埴土 ～粒 5-10% 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中-多 P-中-多 中-軟 中-密
D3:HC10YR2/1 黒色粘土,HC10YR6/3 にぶい黄橙色粘土 ～層状(～0.5cm大)30% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 P-少 中-軟 中-密
E1:HC10YR2/1 黒色粘土,HC10YR6/3 にぶい黄橙色粘土 ～層状(～0.5cm大)20% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 Sic7.5GY8/1 明緑灰色ｼﾙﾄ質埴土 粒～0.3cm大 5-7% 軟 密

CSK-2

A'1:Sicl10YR3/1 黒褐色土,Sic10YR3/3 暗褐色ｼﾙﾄ質埴土 粒～0.3cm大 40-50% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 P-少-中 Sil10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉 3% 中-軟 中-疎
A'2:Sicl10YR3/1 黒褐色土,Sic10YR3/3 暗褐色ｼﾙﾄ質埴土 粒～0.3cm大 15% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 P-少 Sil10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ ～0.5cm大 5-7% 中-軟 中-疎
A'3:Sicl10YR3/1 黒褐色土,Sic10YR3/3 暗褐色ｼﾙﾄ質埴土 粒～0.3cm大 30% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 P-少-中 Sil10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ ～0.5cm大 10-15%% 中-硬 中-密
A'4:Sicl10YR3/1 黒褐色土,Sic10YR3/3 暗褐色ｼﾙﾄ質埴土 粒～0.3cm大 40-50% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中-多 P-中 Sil10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ ～0.5cm大 10% 中-硬 中-密
B'1:HCN4/0 灰色粘土,HCN6/0 灰色粘土 ～0.5cm大 30-40% Sic10YR6/8 明黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 粒～1cm大ﾏﾝｶﾞﾝ 5-7% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中P-少 中-軟 密

CSK-3

A1:Sicl10YR2/1 黒色土,Sil10YR4/3 にぶい黄褐色ｼﾙﾄ 粉 25% P-多 中-硬 中-密
A2:Sicl10YR2/1 黒色土,Sil10YR4/3 にぶい黄褐色ｼﾙﾄ 粉 15% ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 10-15%P-多 ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 中-硬 密
B1:HC10YR2/1 黒色粘土,HC10YR7/3 にぶい黄橙色粘土 ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 10% HC10YR8/1 灰白色粘土 ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 10-15% ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 軟 疎



第14図　　東奈良遺跡（HN06-3）　Aトレンチ第３面平面図

ASD-3·6に切られ、ASZ-10と溝を共有する。周溝ASD-9から弥生時代中期中葉の土器が出土している。ASZ-10は大半が調査区外へと続くため規模は不明である。周溝の幅は0.3～0.7ｍで、深さは0.4ｍである。ASZ-9と溝を共有する。

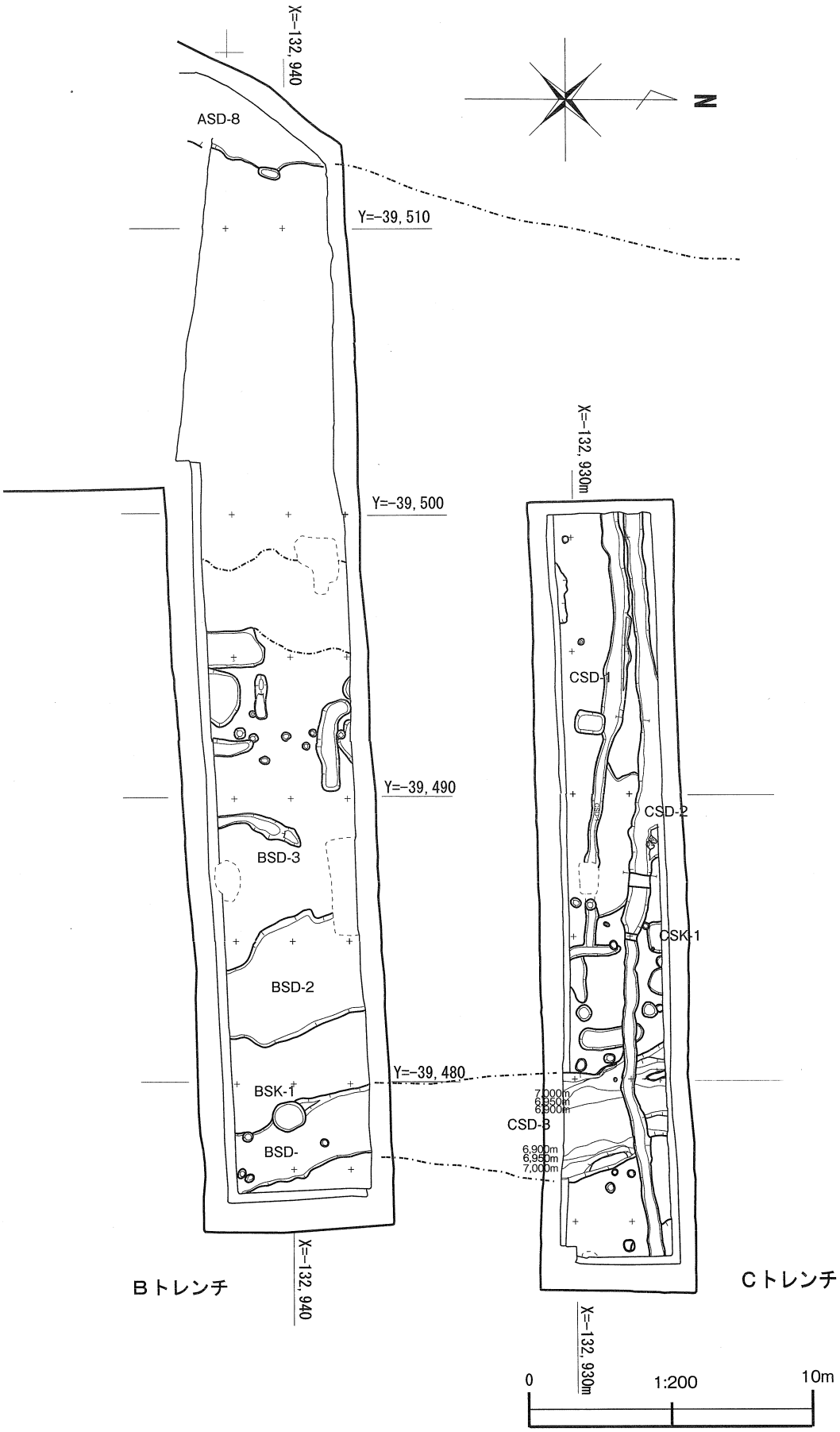
ASZ-12・BSZ-1・DSZ-1は調査地北東部のAトレンチ北西端・Bトレンチ西端・Dトレンチに位置する。ASZ-12は主軸がN3°Eで、規模は墳丘内が4.5ｍ×4.2ｍ（18.9㎡）で、周溝を含めると、6.0ｍ×5.9ｍ（35.4㎡）になり、埋葬主体部は検出されなかった。周溝の幅は0.8～1.4ｍ、深さは0.3ｍをはかる。重複・共有関係はASK-12・13・18に切られ、BSZ-1と溝を共有する。周溝から弥生時代中期中葉～後葉の土器が出土している。BSZ-1は主軸がN23°Wで、規模は墳丘内が3.2ｍ×3.0ｍ（9.6㎡）で、周溝を含めると、4.7ｍ～×5.1ｍ（24㎡～）になり、埋葬主体部は検出されなかった。周溝の幅は0.5～1.0ｍ、深さは0.2～0.3ｍをはかる。重複・共有関係はASD-8に切られ、ASZ-12と溝を共有する。周溝BSD-9から弥生時代中期後葉～後期の土器が出土している。DSZ-1は主軸がN7°Eで、規模は墳丘内が4.6ｍ×1.9ｍ～（8.7㎡～）で、周溝を含めると、7.1ｍ×3.0ｍ～（21.3㎡～）になり、埋葬主体部は検出されなかった。周溝の幅は0.8～1.4ｍ、深さは0.4～0.5ｍをはかる。周溝DSD-2から弥生時代中期中葉の土器が出土している。

また、方形周溝墓とは別に土坑墓と思われるASK-1・DSX-1がある。ASK-1は楕円形で直径3.0ｍ、深さ0.3ｍをはかり、弥生時代中期中葉の土器（甕）が出土している。DSX-1はやや方形を呈し、規模は3.8ｍ×2.4ｍで深さ0.5ｍをはかる。遺物は弥生時代中期前葉～中葉の壺・甕・鉢などの土器が出土している。

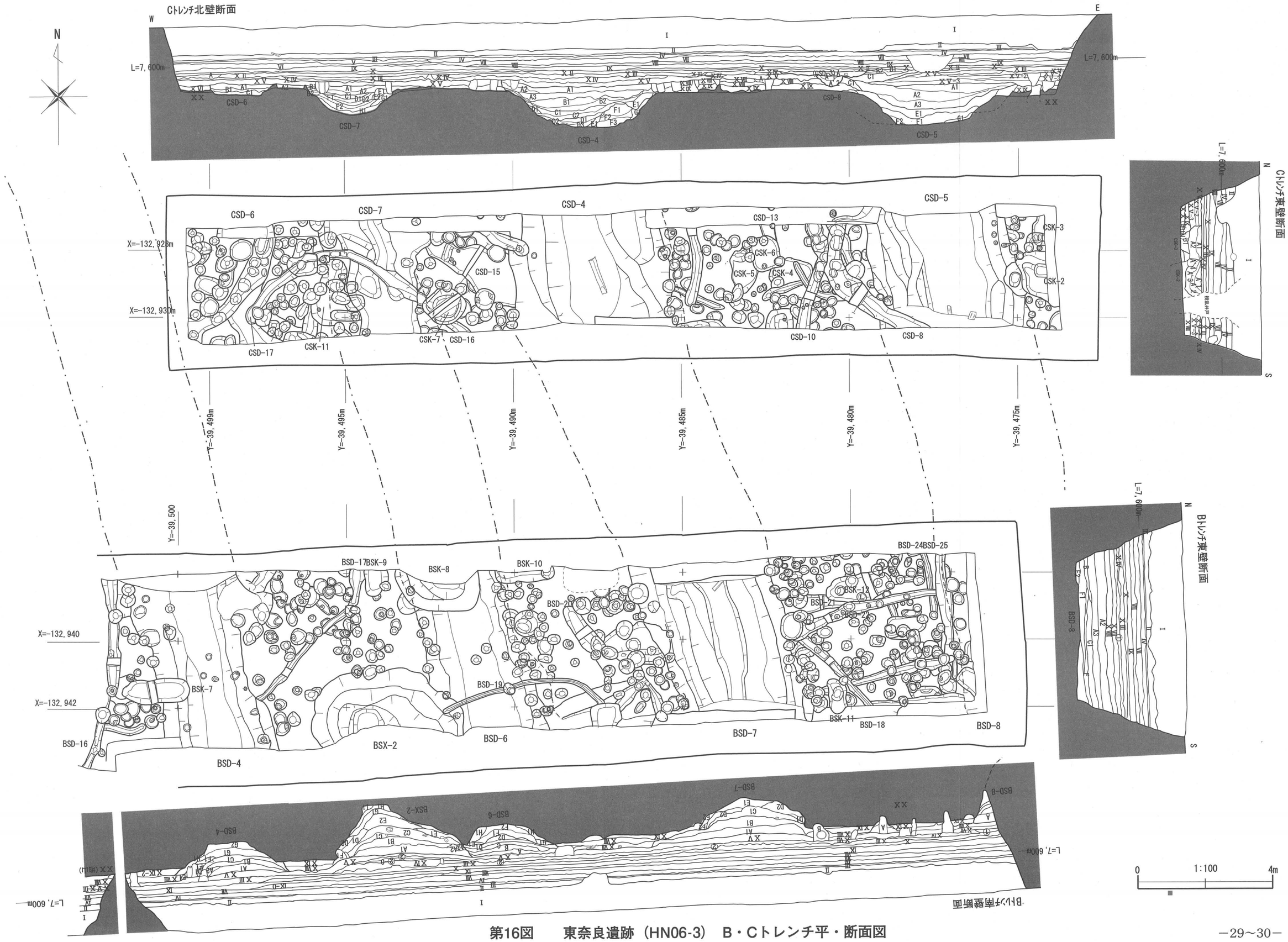
ｉ廃棄土坑（弥生時代後期）第11・13・16・20・27～29図　多量の完形土器が廃棄された土坑がBトレンチ第2面において、BSK-8・BSX-2の２基検出されている。Bトレンチの中程に位置し、BSK-8・BSX-2は２ｍ程しか離れていない。

BSK-8は北半分が調査区外にあるものの、楕円形を呈し直径2.5ｍ、深さ1.2ｍをはかる。断面形は逆台形状で壁はやや緩やかに底面へと続く。埋土はA～E層の5層に大別され、７層に細分される。A層は褐灰色土に灰白色シルトや橙色シルトを含む。B層は黒色粘土に灰白色シルトを含み、多量の土器が含まれる。C層はA層に類似し褐灰色土に灰白色シルトや橙色シルトを含む。D層は3層に細分でき、D1・3層は黒色粘土ににぶい黄橙色シルトや粘土を含む。D2層は暗灰色粘土に明青灰色シルトや多量の土器を含む。D1層から完形の土器が多く出土している。E層は黒色粘土に灰白色粘土ブロックを多量に含む。重複関係は弥生時代中期の環濠BSD-6を切っている。出土遺物は弥生時代後期の壺・甕・鉢・高坏などの土器を中心に、磨製石斧や砥石等の石器、板材、土製円盤などが出土している。（BSK-8出土遺物は掲載していない。）土器の器種組成は計357点中（器種のわかるもの）、甕169点（47％）・壺107点（30％）・高杯37点（10％）鉢25点（７％）・蓋14点（４％）・器台３点（１％）水差及びその他各１点であった。特に甕はタタキ甕が大部分を占めている。

BSX-2は南半分が調査区外へと続き、平面形は楕円形を呈し直径4.5ｍ、深さ1.6ｍをはかる。断面形はすり鉢状を呈し壁はやや緩やかに底面へと続く。埋土はＡ～Ｉ層の９層に大別され、14層に細分される。Ａ層は３層に細分され、黒色粘土ににぶい黄褐色シルトを含む。Ｂ層は暗灰色粘土に灰白色シルトブロックを含む。Ｃ層は２層に細分され、黒色粘土に褐灰色粘土ブロックを含み、Ｃ２層は完形の土器を多く含む。Ｄ層も２層に細分され、Ｄ１層は灰色～灰白色粘土を主体とする。Ｄ２層は黒色粘土ににぶい黄橙色粘土ブロックを含む。Ｅ層も２層に細分され、黒色～黒褐色粘土を主体とし、暗褐色土や灰白色粘土ブロック、明青灰色粘土ブロックを含む。



第15図　東奈良遺跡（HN06-3）B・Cトレンチ第1面平面図



第16図　東奈良遺跡（HN06-3）B・Cトレンチ平・断面図

基本層序

盛土　Ⅰ:盛土(地盤改良) Sicl5Y4/1 灰色土
現代　旧耕土　Ⅱ:Sicl10YR3/1 黒褐色土 Sil10YR6/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ 粒 20-25% ～0.3cm大白色ﾚｷ少-中 軟 中-疎
近代　床土　Ⅲ:Sil2.5GY6/1 ｵﾘｰﾌﾞ灰色ｼﾙﾄ,Sil2.5GY8/1 灰白色ｼﾙﾄ 粉 10-15% 軟中-疎
近世　床土 耕土　Ⅳ:Sicl10YR5/8 黄褐色土,Sil5Y7/2 灰白色ｼﾙﾄ 粉 60% ～1cm大ﾏﾝｶﾞﾝ 20-25% ～0.2cm大白色ﾚｷ少 中-軟 中-密
中世～近世　耕土　Ⅴ:Sil10GY6/1 緑灰色ｼﾙﾄ,Sil2.5Y7/8 黄色ｼﾙﾄ 粉～0.5cm大 30-40%(ﾏﾝｶﾞﾝ) 中-軟 中-密
耕土　Ⅵ:Sil10YR5/1 褐灰色ｼﾙﾄ,Sil7.5GY7/1 明緑灰色ｼﾙﾄ 粉 30-40% 0.5～1cm大ﾏﾝｶﾞﾝ(Sic2.5Y7/8 黄色ｼﾙﾄ質埴土)中-多 25-30% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-軟 中-密
中世　耕土　Ⅶ:Sicl5Y7/1 灰白色土,Si5B7/1 明青灰色ｼﾙﾄ ～0.3cm大 20-25% 0.5～1cm大ﾏﾝｶﾞﾝ中 中-硬 中-密
中世　床土　Ⅷ:Sil10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ 0.1～0.3cm大ﾏﾝｶﾞﾝ多 70-80% P-少 中-硬 中-密
Ⅸ-0:Sil10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ,Sil10YR6/4 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粒～1cm大 15-20% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 ～0.2cm大ﾚｷ少-中 軟　中-疎
古代～中世 (整地層)　Ⅸ:Sicl10YR5/1 褐灰色土,Sicl10YR5/6 黄褐色土 粒～1cm大 5-10% ～0.2cm大ﾚｷ少 ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 ～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ少 中-硬 中-密
古代整地層 (遺物包含層)　Ⅹ:Sicl10YR6/8 明黄褐色土,Sil10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ 粉～1cm大 25-30% ～0.2cm大ﾚｷ少 ～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ少-中 中-硬 中-
古墳時代整地層(遺物包含層)　ⅩⅠ:Sicl10YR6/8 明黄褐色土,Sil10YR6/1～7/1 褐灰～灰白色ｼﾙﾄ 粉～粒 15-20% ～0.2cm大白色ﾚｷ少 ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 P-少 中-硬 密
聖地層(遺物包含層)　ⅩⅡ:Sicl7.5YR4/4 褐色土,Sil10YR6/2～5/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ 粉～1cm大 10-15% ～0.3cm大ﾚｷ少 ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 P-少-中 中-硬 密
整地層(遺物包含層)　ⅩⅢ:Sil10YR6/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ,Sicl10YR5/6 黄褐色土 ～5cm大ﾌﾞﾛｯｸ 10-15% SL 砂壌土 ～0.3cm大白色ﾚｷ中 20-25% P-少 硬 中-密
整地層 (遺物包含層)　ⅩⅣ:Sicl10YR4/6～5/6 褐～黄褐色土,Sicl10YR3/2 黒褐色土 ～2cm大ﾌﾞﾛｯｸ 20-25% Sic10YR6/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 粒 10-15% P-少 SL 砂壌土 ～0.5cm大白色ﾚｷ少 中-硬 中-密
弥生時代後期遺物包含層　ⅩⅤ-1:Sicl10YR3/1 黒褐色土,Sil10YR4/3 にぶい黄褐色ｼﾙﾄ 粒～0.5cm大 25-30% Sil10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ 粉=0.5cm大 15-20% 中-軟 密 P-多量(細片多数) 整地層の可能性有
ⅩⅤ-2:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR6/3 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉～1cm大 10-15% ～0.3cm大白色ﾚｷ少-中 中-硬 中-密 P-中 ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少
ⅩⅤ-3:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR6/4 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉～0.5cm大 5-10% ～0.3cm大白色ﾚｷ少 中-軟 中-密 P-中-多 ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中-多 Sil10YR4/6 褐色ｼﾙﾄ 粒 10%
聖地層　ⅩⅥ:Sicl10YR4/4 褐色土,Sicl10YR5/1 褐灰色土 粉 15-20% Sil～HC10YR8/3～5/8 浅黄橙～黄褐色ｼﾙﾄ～粘土 0.5～5cm大ﾌﾞﾛｯｸ 30-35% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 P-少 中-硬
整地層　ⅩⅦ:Sil～HC10YR7/8 黄橙色ｼﾙﾄ～粘土,Sicl10YR4/3 にぶい黄褐色土 粉 20-25% ～0.3cm大白色ﾚｷ少 硬 密　(ⅩⅤ層直下)(ⅩⅧに類似)
整地層　ⅩⅧ:Sil～HC10YR6/8 明黄褐色ｼﾙﾄ～粘土,HC10YR6/1 褐灰色粘土 粉 20-25% Sicl10YR8/1 灰白色土 粉 15% 中-硬 密 (ⅩⅤ層直下)＝B層
整地層　ⅩⅨ:HC10YR6/1～5/1 褐灰色粘土(SD-5最下層埋土?≒D1層),HC10YR2/2 黒褐色粘土 ～1cm大 10% Sic10YR5/8 黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 ～1cm大ﾏﾝｶﾞﾝ 20-25% 中-硬 密
整地層　ⅩⅨ-2:Sicl10YR2/3 黒褐色土,Sil10YR6/8 明黄褐色ｼﾙﾄ 粒～0.5cm大 20% Sic10YR3/3 暗褐色ｼﾙﾄ質埴土 0.3～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ多 ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 P-少 中-硬
地山　ⅩⅩ:Sil10YR8/2 灰白色ｼﾙﾄ,Sicl10YR2/1 黒色土 0.3～1cm大 15% Sic10YR8/8 黄橙色土 0.3～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ中 25-30%ｔ中-硬 中-密 /Sil10YR8/3～8/4 浅黄橙色ｼﾙﾄ/HC10YR6/8 明黄褐色粘土

環濠および溝等土層註記

BSD-4 (環濠)
A1:Sicl10YR4/2 灰黄褐色土,Sil10YR8/6 明黄褐色ｼﾙﾄ 0.2～0.5cm大 30% ～0.5cm大白色ﾚｷ少 P-少-中 中-硬 中-密 Sil10YR5/1 褐灰色ｼﾙﾄ 粉～粒 15-20% ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中
A2:Sicl10YR4/2～4/3 灰黄褐～にぶい黄褐色土,Sil10YR7/6 明黄褐色ｼﾙﾄ 0.2～0.5cm大 20-30% ～0.5cm大白色ﾚｷ微 P-少 中-硬 中-密 Sil10YR5/1 褐灰色ｼﾙﾄ 粉～粒 30-40% ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中
B1:HC10YR5/1 褐灰色粘土,HC10YR8/2 灰白色粘土 ～0.5cm大 20% Sicl10YR4/3～4/4 にぶい黄褐～褐色土 粒～0.5cm大 30% 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中-多 P-中 中-軟 中-密
C1:HC10YR8/1～8/2 灰白色粘土,Sic10YR5/6 黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 粒～2cm大ﾌﾞﾛｯｸ 25% Sicl10YR3/1 黒褐色土 粒～1cm大 15-20% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-軟 中-疎
D1:Sil10YR6/8 明黄褐色ｼﾙﾄ,Sicl10YR3/1 黒褐色土 粒～0.5cm大 20-25% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 Sil2.5YR6/8 橙色ｼﾙﾄ ～0.3cm大焼土粒 3-5% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-硬 密
E1:Sicl10YR3/3 暗褐色土,Sil10YR6/8 明黄褐色ｼﾙﾄ 粒～0.3cm大 20% Sil10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ 粉20% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 P-少 中-軟 中-疎
F1:HC10YR4/1 褐灰色粘土,HC10YR6/1 褐灰色粘土 粉～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 30-40% Sic10YR5/6 黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 ～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ中-多 20% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 P-少-中 中-軟 中-密
G1:HC10YR5/1～6/1 褐灰色粘土,HC10BG7/1 明青灰色粘土 0.3～0.5cm大 10-15% HC10YR3/1 黒褐色粘土 1～5cm大ﾌﾞﾛｯｸ 10-15% Sicl10YR4/4 褐色土 粒 15-20% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-軟 密
G2:HC10YR5/1～6/1 褐灰色粘土,HC10BG7/1 明青灰色粘土 ～1cm大 10% HC10YR3/1 黒褐色粘土 1～5cm大ﾌﾞﾛｯｸ 20% Sil10YR6/8 明黄褐色ｼﾙﾄ 粉～0.5cm大 15-20% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-軟(東壁際ｵﾘｰﾌﾞ色ｼﾙﾄ質埴土)
H1:Sicl10YR5/6 黄褐色土,Sicl10YR3/2 黒褐色土 粒 20-25% HC10YR6/1 褐灰色粘土～粒～1cm大 30% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-硬 中-密

BSD-6 (環濠)
A:Sicl10YR3/1 黒褐色土,Sic7.5YR4/4 褐色ｼﾙﾄ質埴土 ～0.5cm大 30-40% Sil10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ ～0.5cm 20% ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 P-多 中-硬 中-密
B:SL10YR7/2 にぶい黄橙色砂壌土,HC10YR4/1 褐灰色粘土 粒 40% Sic10YR5/6 黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 粒～1cm大 10-15% P-少 ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 軟 中-疎(SL砂壌土 ～0.2cm大)
C:HC10YR8/2 灰白色粘土,Sil10YR5/16/1 褐灰色ｼﾙﾄ 粉～粒 40% Sic10YR6/8 明黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 0.3～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ中 ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-軟 中-疎
D1:HC10YR2/1 黒色粘土,Sic10YR7/3 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ質埴土 粒～0.1cm大 20-25% Sic10YR6/8 明黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 0.3～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ中 ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-軟 中-密
D2:HC10YR3/1 黒褐色粘土,HC10YR6/2 灰黄褐色粘土 粉 30% Sil10YR4/6 褐色ｼﾙﾄ 粒～2cm大ﾌﾞﾛｯｸ 5-7% ～0.1cm大白色ﾚｷ少 ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 P-少 中-軟 中-密
E1:Sicl10YR4/2 灰黄褐色土,Sil10YR8/3 浅黄橙色ｼﾙﾄ ～0.3cm大 15-20% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 Sic10YR4/6 褐色ｼﾙﾄ質埴土 0.2～0.7cm大ﾏﾝｶﾞﾝ 20% 中-硬 中-密
F1:HC10YR5/2 灰黄褐色粘土,HC10YR2/1 黒色粘土 ～粒 25-30%　Sic10YR4/6 褐色ｼﾙﾄ質埴土 粒～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ 5-7% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 P-少 中-軟 密
F2:HC10YR5/2 灰黄褐色粘土,HC10YR2/1 黒色粘土 ～粒 10-15% Sic10YR6/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ質埴土(細砂～粗砂)15-20% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 P-少 中-軟 中-密
G1:Sil10YR8/3 浅黄橙色ｼﾙﾄ,Sil10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ ～粒 10-15% Sic10YR5/4 にぶい黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 ～0.5cm大 20% HC10YR4/1 褐灰色粘土 0.5～2cm大ﾌﾞﾛｯｸ 15-20% ～0.1cm大ｶｰﾎﾞﾝ微 中-硬 中-密
H1:Sic10YR5/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ質埴土,HC10YR2/1 黒色粘土 ～2cm大 15-20% HC5GY8/1 灰白色粘土 1～5cm大ﾌﾞﾛｯｸ 25-30% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 Sic10YR5/8 黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 粒～1cm大 10-15% 中-硬 中-密
H2:HC10YR6/1～5/1 褐灰色粘土,HC10YR2/1 黒色粘土 粉～2cm大 10% Sic10BG7/1 明青灰色ｼﾙﾄ質埴土 粒 7-10% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-軟 中-密
I1:HC10YR4/1 褐灰色粘土,HC10BG7/1 明青灰色粘土 粒～1cm大 15-20% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-軟 中-密

BSD-7 (環濠)
A1:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉～0.5cm大 30% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 P-中-多 中-軟 密
B1:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR8/2 灰白色ｼﾙﾄ 粉～1cm大 40% Sic10YR7/1～6/1 灰白～褐灰色砂壌土 粒 20-25% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 P-少 Sic10YR5/6 黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 ～1cm大ﾏﾝｶﾞﾝ中 中-軟 中-密
C1:HC10YR3/1 黒褐色粘土,HC10YR5/2 灰黄褐色粘土 ～0.3cm大 30-40% Sic10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ質埴土 粒～0.1cm大細砂 20-25% 0.2～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 木質少-中 P-少 中-軟 中-密
D1:SL10YR5/3 にぶい黄褐色砂壌土(細砂>1mm),HC10YR6/1 褐灰色粘土 ～2cm大 30-40% HC10YR2/1 黒色粘土 ～2cm大 15-20% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 軟 中-疎
D2:SL10YR5/3 にぶい黄褐色砂壌土(細砂>1mm),SL10YR7/2～8/1 にぶい黄橙～灰白色砂壌土(細砂>1mm)40% HC10YR2/1 黒色粘土 ～2cm大 20% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 軟 疎
E1:Sicl10YR4/2～4/3 灰黄褐～にぶい黄褐色土,HC10YR2/1 黒色粘土 粉 15% SL10YR7/1～6/1 灰白～褐灰色砂壌土(細砂>1mm)40-50% (粗砂>3mm)25-30% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 P-中 軟 疎
F1:HC10YR7/1 灰白色粘土,HC10YR8/1 灰白色粘土 ～1cm大 20% HC10YR2/1～2/2 黒～黒褐色粘土 ～粉 25% Sil10YR8/6 黄橙色ｼﾙﾄ 粉 20% ～0.1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 中-軟 中一身密
F2:HC10YR7/1 灰白色粘土,HC10YR8/1 灰白色粘土 ～1cm大 30% HC10YR2/1～2/2 黒～黒褐色粘土 層状(0.5～1cm厚)30-40% Sil～Sic10YR6/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ～ｼﾙﾄ質埴土(粗砂>0.5mm)層状～1cm厚 30% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-軟 密

BSD-8 (環濠)
A2:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉 25-30% 0.3～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 P-少-中 中-軟 中-密
A3:HCN2/0 黒色粘土,Sil10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉～1cm大 0.3～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 P-中-多 軟 密 Sic10YR5/6 黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 ～0.3cm大ﾏﾝｶﾞﾝ少-中 5-10%
B:HC10YR2/1 黒色粘土,HC5GY7/1 明緑灰色粘土 1cm大及び～1cm厚層状 30-40% HC10YR5/3 にぶい黄褐色粘土 粉(木質?)30% 中-軟 中-密 0.2～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中
C1:HC10YR4/1 褐灰色粘土,HC10YR7/2 にぶい黄橙色粘土 0.3～1cm大 ~0.5cm厚層状 15% HC10YR2/1 黒色粘土 ～1cm大 10% 0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 Sic10YR7/8 黄橙色ｼﾙﾄ質埴土 ～0.5cm大 3-5% 中-軟 中-密 ややｼﾙﾄ質
D:HC7.5Y8/3 淡黄色粘土,HC7.5Y6/2 灰ｵﾘｰﾌﾞ色粘土 ～1cm厚層状 40-50% HC10YR2/1 黒色粘土 層状(～0.5cm厚)15-20% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-軟 密
F1:HC10YR2/2 黒褐色粘土,HC10YR6/2 灰黄褐色粘土 0.3～1cm大 20-30% 0.3～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 木質少 軟 密
F2:HC10YR2/2 黒褐色粘土,HC7.5Y8/3 淡黄色粘土 粉 10% HC7.5Y6/2 灰ｵﾘｰﾌﾞ色粘土 ～0.3cm大 25-30% Sic2.5GY7/1 明ｵﾘｰﾌﾞ灰色ｼﾙﾄ質埴土 粒～0.3cm大(粗砂)10-15% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 軟 密

CSD-3(古墳時代)－須恵器･高台付坏身4～5個体一括出土(5C末～6C前半)
A1:Sil～SL10YR6/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ～砂壌土,Sicl10YR4/4 褐色土 粒 15-20% 0.2～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 P-多 ～0.3cm大白色ﾚｷ中-多 中-軟 疎
B1:Sil10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ,Sicl10YR6/8 明黄褐色土 ～1cm大 30% 0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ中 ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 ～0.5cm大ﾚｷ少 中-硬 中-密
B2:Sil10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ,Sicl10YR6/8 明黄褐色土 粒～1cm大 40-50% 0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ少 ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ微 中-軟 中-疎
C1:SL10YR6/2 灰黄褐色砂壌土,Sicl10YR4/4 褐色土 粒～0.5cm大 20-25% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-硬 疎

CSD-4 (環濠)
A1:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR7/2～7/3 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉 10% 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 0.1～0.3cm大白色ﾚｷ少-中 P-少-中 中-軟 中-密
A2:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR5/6 黄褐色ｼﾙﾄ 粒～1cm大 25-30% 0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 0.1～0.3cm大白色ﾚｷ中 P-少 中-硬 密
A3:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR7/4 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉～3cm大 15-20% 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 0.1～0.3cm大白色ﾚｷ少 P-少 軟 中-密
B1:HC10YR2/1 黒色粘土,SL10YR6/3 にぶい黄橙色砂壌土 粒 50-60% ～0.3cm大白色ﾚｷ少 ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ少 軟 疎
B2:HC10YR2/1 黒色粘土,SL10YR6/2 灰黄褐色砂壌土 粒 50-60% SL5Y8/6 黄色砂壌土 粒～1cm大層状 20% 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 軟 疎
C1:HC10YR2/1 黒色粘土,SL10YR7/3 にぶい黄橙色砂壌土 粒 15% ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-軟 中-疎
C2:HC10YR2/1 黒色粘土,SL10YR7/2 にぶい黄橙色砂壌土 粉 5-10% ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 Sil10YR8/1 灰白色ｼﾙﾄ 粉～粒 25% 中-軟 中-密
D1:SL5BG6/1 青灰色砂壌土,HC10YR4/1 褐灰色粘土 粒～2cm厚層状 20-25% ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 木質少-中 軟 中-疎
D2:HC10YR4/1～3/1 褐灰～黒褐色粘土,HC10YR8/1 灰白色粘土 粉 20-25% SL10YR6/2 灰黄褐色砂壌土 ～0.2cm大ﾚｷ 10-15% 軟 中-疎 ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中
D3:SL5BG6/1 青灰色粘土,Sic10YR5/1 褐灰色ｼﾙﾄ質埴土 粒 40-50% ～0.3cm大白色ﾚｷ少-中 ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 軟 疎
E1:SL10YR7/8 黄橙色砂壌土,Sic10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ質埴土 粉～粒 20-25% ～0.3cm大ﾚｷ少-中 軟 疎(FeO2:酸化鉄沈殿)
F1:SL10YR8/1 灰白色砂壌土,Sil10YR7/1 灰白色ｼﾙﾄ 3cm厚層状 40-50% HC10YR2/1 黒色粘土 ～2cm大ﾌﾞﾛｯｸ 7-10% 軟 疎
F2Sil10YR7/1 灰白色ｼﾙﾄ,SL10YR8/1 灰白色砂壌土 ～0.2cm大 20% HC10YR2/1 黒色粘土 ～5cm大ﾌﾞﾛｯｸ 10-15% 軟 疎
F3:SL10YR7/1 灰白色砂壌土,Sic10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ質埴土 ～0.3cm大ﾚｷ 20-25% HC10YR2/1 黒色粘土 ～1cm大 3-5% 中-軟 中-疎 Si5GY7/1 明ｵﾘｰﾌﾞ灰色ｼﾙﾄ ～粒(細砂) 40%
G1:HC10YR5/1 褐灰色粘土,Sil10YR8/2 灰白色ｼﾙﾄ 粉～1cm大 30% HC10YR2/1 黒色粘土 ～1cm大 10% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-硬 密

CSD-5 (環濠)
A1:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉～0.5cm大 10-15% ～0.5cm大白色ﾚｷ少-中 P-少-中 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 中-軟 密
A2:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR8/1 灰白色ｼﾙﾄ 粉～0.5cm大 5-10% ～0.5cm大白色ﾚｷ少 P-中 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 軟 密
A3:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR8/1 灰白色ｼﾙﾄ 粉～粒 10-15% P-少 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-軟 密 木質少含
C1:HC10YR2/1～2/2 黒～黒褐色粘土,HC10YR6/1～5/1 ～1cm大 30-35% Sil10YR7/8 黄橙色ｼﾙﾄ ～0.5cm大 10% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-軟 中-疎
E:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR6/1 褐灰色粘土 粉 30-40% ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 3～5cm大ﾚｷ微 P-少-中 中-軟 密
F1:HCN2/0 黒色粘土,HC10YR7/1 灰白色粘土 粒～1cm大 10% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 中-軟 密 P-少 木質やや多含
F2:HCN2/0 黒色粘土,Sil10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉 20-25% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-軟 中-密
G1:HCN2/0 黒色粘土,Sil10YR8/2 灰白色ｼﾙﾄ 粉 50-60% ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 軟 中-疎

CSD-6 (環濠)
A1:Sicl10YR3/1 黒褐色土,Sil10YR8/3 浅黄橙色ｼﾙﾄ 0.5～3cm大ﾌﾞﾛｯｸ 20-25% ～0.3cm大白色ﾚｷ中 P-少 ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-軟 中-密
B1:Sicl10YR3/2 黒褐色土,Sil10YR8/8 黄橙色ｼﾙﾄ 1～3cm大ﾌﾞﾛｯｸ 60-70% ～0.3cm大白色ﾚｷ少 P-微 ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-軟 中-密
C1:Sicl10YR3/2 黒褐色土,Sil10YR8/8 黄橙色ｼﾙﾄ 0.5～5cm大ﾌﾞﾛｯｸ 30% Sil5YR7/8 橙色ｼﾙﾄ 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-硬 中-密

CSD-7 (環濠)
A1:Sicl10YR3/1 黒褐色土,Sil10YR6/3 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粒～2cm大ﾌﾞﾛｯｸ 15-20% Sil5YR6/8 橙色ｼﾙﾄ ～0.5cm大焼土粒少-中 0.5～1cm大ﾚｷ少 P-少-中 ～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-軟 中-密
A2:Sicl10YR3/2 黒褐色土,Sil10YR6/1～5/1 褐灰色ｼﾙﾄ 粒～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 25-30% Sil10YR5/6～4/6 黄褐～褐色ｼﾙﾄ 粒 25% 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中-多 P-少-中 中-硬 中-密
B1:Sicl10YR6/6 明黄褐色土,Sicl10YR3/1 黒褐色土 ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 20-25% Sil10YR6/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ 粉 30% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 ～0.3cm大白色ﾚｷ少 中-硬 中-密
B2:Sil10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ,Sicl10YR3/1 黒褐色土 ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 10-15% Sil10YR6/4 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉 30% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 ～0.3cm大白色ﾚｷ微 中-軟 中-密
C1:HC10YR6/1 褐灰色粘土,HC10YR2/1 黒色粘土 ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 40% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 P-少-中 ～0.3cm大白色ﾚｷ少 中-軟 中-疎
D1:HC10YR5/1 褐灰色粘土,HC10YR3/1 黒褐色粘土 ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 10% Sil10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉～粒 20-25% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 ～0.3cm大白色ﾚｷ少 中-軟密
D2:HC10YR5/1 褐灰色粘土,HC10YR3/1 黒褐色粘土 ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 5-10% HC～Sil10YR3/1 黒褐色粘土～ｼﾙﾄ 粉 25-30% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 ～0.3cm大白色ﾚｷ少 中-軟 中-密
E1:Sicl10YR5/6 黄褐色土,Sicl10YR3/1 黒褐色土 粒～0.3cm大ﾌﾞﾛｯｸ 15% Sic10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ質埴土 粒～0.1cm大 30-40% ～0.2cm大白色ﾚｷ中 ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-硬 密
E2:Sic10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ質埴土,Sil10YR5/6 黄褐色ｼﾙﾄ 粒～1cm大 25% Sicl10YR3/1 黒褐色土 粒 10% ～0.2cm大白色ﾚｷ少 ～0.3cm大ﾏﾝｶﾞﾝ少 中-硬 中-密
F1:HC10YR6/1 褐灰色粘土,Sil10YR8/2 灰白色ｼﾙﾄ 粉 10-15% HC10YR2/1 黒色粘土 ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 10-15% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 軟 中-疎
F2:HC10YR6/1 褐灰色粘土,Sil10YR8/2 灰白色ｼﾙﾄ 粉 30-35% HC10YR2/1 黒色粘土 ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 10% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 軟 中-疎
G1:Sic10YR5/1 褐灰色ｼﾙﾄ質埴土,Sicl10YR5/6 粒 20-25% HC10YR2/1 黒色粘土 ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 15-20% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-軟 中-疎
H1:HC10YR6/1 褐灰色粘土,HC10YR8/1 灰白色粘土 ～1cm大 15% Sil10G7/1 明緑灰色ｼﾙﾄ 粉～粒 15-20% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 中-軟 中-密 木質 石

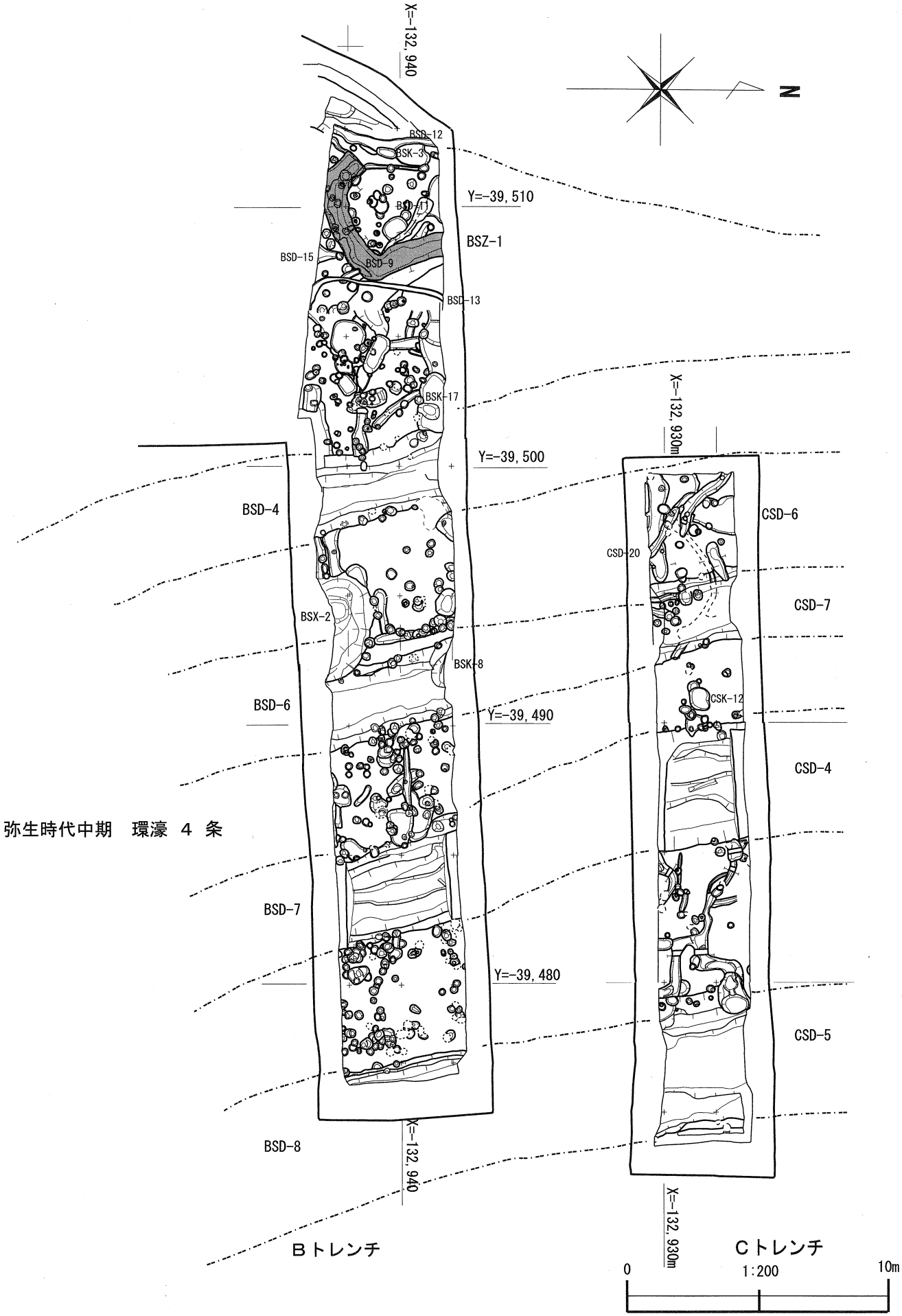
CSD-8
A1:Sicl10YR2/1 黒色土,Sil10YR5/3 にぶい黄褐色ｼﾙﾄ 粉～1cm大 15% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 P-中-多 中-軟 中-密
A2:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR6/6 明黄褐色ｼﾙﾄ 粉～10cm大 20-25% HC10YR6/1～7/1 褐灰～灰白色粘土 ～1cm大 10% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-硬 密

Ｅ１層から弥生時代後期の完形土器が多量に出土している。Ｆ層は暗灰色粘土に多量の黄橙色シルトブロックを含む。Ｇ層は黒色粘土に多量のにぶい黄褐色土を含む。Ｈ層は黒褐色粘土に灰白色粘土ブロックを含む。Ｉ層も黒色粘土に灰白色粘土ブロックを含む。重複関係は弥生時代中期の環濠BSD-6を切っている。出土遺物は弥生時代後期の壺（短頸・長頸・直口・広口・複合口縁壷）・甕・鉢・高坏・器台などの土器を中心に、石鏃・スクレイパー・尖頭器・石包丁・磨製石斧や砥石等の石器、竹や炭化した木、土錘・杓形土製品などが出土している。土器の器種組成は計1,067点中（器種のわかるもの）、甕510点（48％）・壺292点（27％）・高杯152点（14％）・鉢72点（７％）・蓋28点（3％）・器台10点（１％）水差１点、その他２点であった。特に壷は直口壷や短・長頸壷の出土が多くみられ、なかには胴部を焼成後に打ち欠いたものやヘラ描きで波状文等の文様を描いたものもみられた。

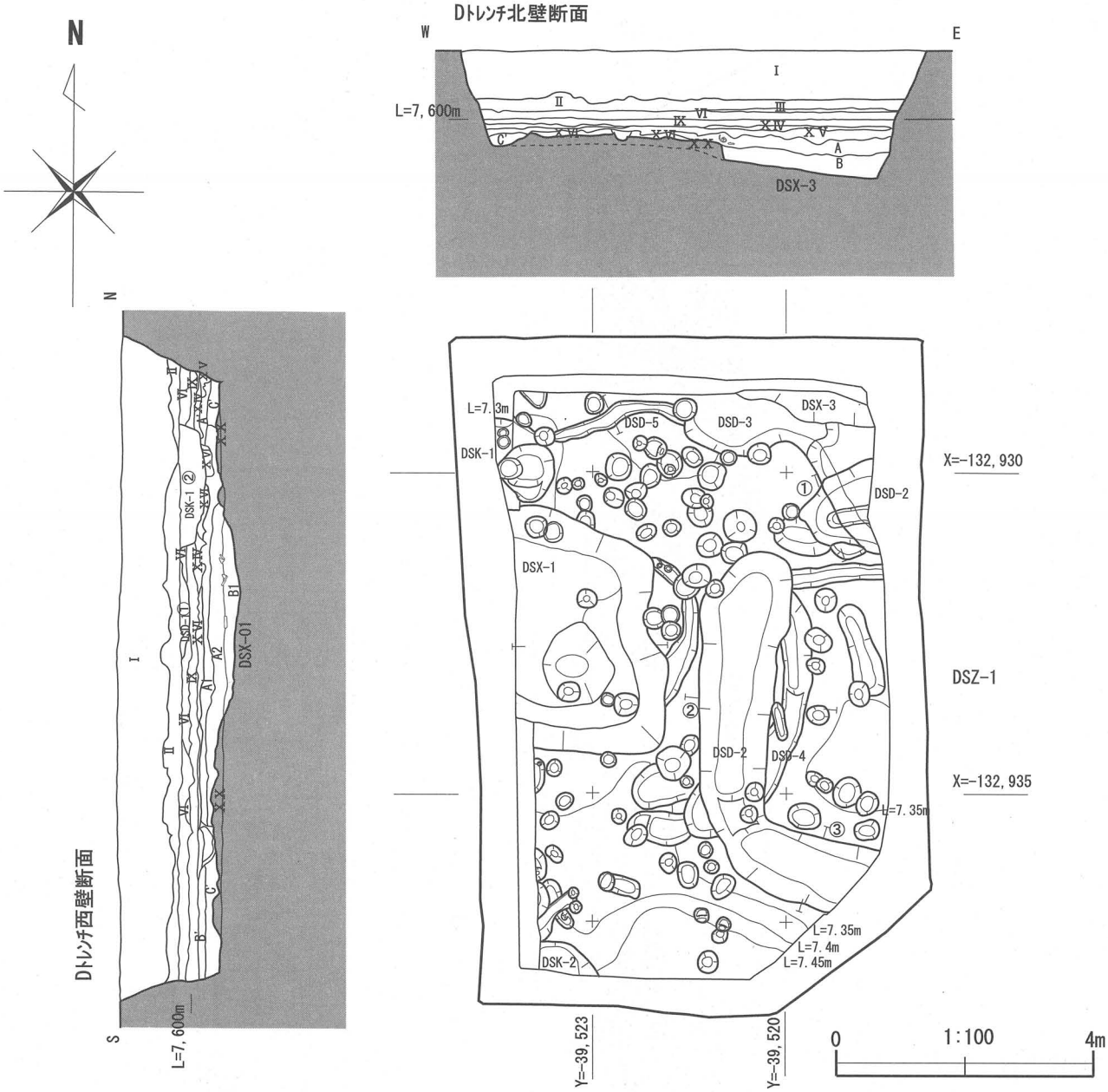
BSK-8およびBSX-2から出土した土器器種組成を比較すると、基本的には同じような割合であることが伺え、ともにその出土量から一括性が高く廃棄土坑である可能性が指摘できる。また、BSX-2については単なる廃棄というだけではなく、特殊な壷を廃棄する傾向がうかがえることから祭祀に関連する遺構と考えられる。

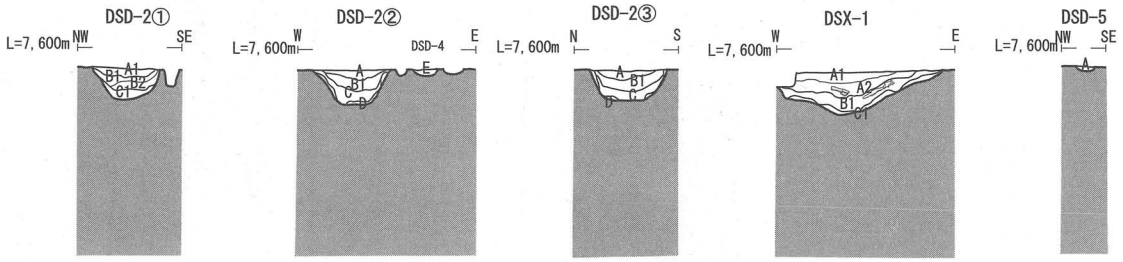
また、今回の調査では円形～楕円形を呈する土坑（ASK-2・3・5・12・13・17・BSK-10・CSK-2・3）や長楕円形を呈する土坑（ASK-7・8・10・18・BSK-7・9・11・12）、方形を呈する土坑（ASK-6・11・CSK-7）がある。円形～楕円形を呈する土坑は直径0.9～1.8ｍ、深さは0.3～0.6ｍ、長楕円形を呈する土坑は長軸1.1～2.1ｍ、深さ0.3～0.5ｍ、方形を呈する土坑は直径1.1～1.3ｍ、深さ0.3～0.6ｍをはかる。

ｊ大溝（弥生時代後期～古墳時代前期初頭）第10～13・22図　弥生時代後期から古墳時代前期初頭頃（庄内式併行期）を主体とする第２遺構面では、Ａトレンチから Ｌ字に屈曲する大溝（ASD-8）が検出されている。南北方向にのび、南側で東へ屈曲し、平成18年度調査(HN06-2)で検出されたSD-1と繋がるものと予想される。そのSD-1は弥生時代後期～古墳時代前期初頭頃の遺物を大量に含み、破鏡（漢鏡）が出土しており、幅4.3～4.8ｍ、深さ1.3～1.45ｍ、底面の標高T.P.5.1ｍをはかる。今回の調査で検出された大溝（ASD-8）の規模は長さ南北26ｍ以上、東西14ｍ以上、幅4.5～5.5ｍ、深さ1.5～1.7ｍ、底面の標高T.P.5.65ｍをはかる。この大溝（ASD-8）はＡトレンチにのみ検出されることから、Ｂ・Ｄトレンチの間を通って、北側に続くものと思われる。主軸は南北方向がN11°Ｅ、東西方向がN72°Ｗをはかる。断面形は逆台形・Ｕ字形、底面はほぼ平らで壁はやや急傾斜を呈する。埋土はＡ～Ｏ層の15層に大別され、27層に細分される。Ａ層は灰黄褐色土ににぶい黄褐色シルトを含む。Ｂ層は灰黄褐色土に多量の褐灰色砂壌土（粗砂）を含む。Ｃ層は灰黄褐色土に多量の明緑灰色シルトを含む。Ｄ層は４層に細分され、灰黄褐色砂壌土に明緑灰色シルトを含む。Ｅ層は２層に細分され、灰黄褐色砂壌土に多量の明オリーブ灰色シルトを含む。Ｆ層は３層に細分され、明オリーブ灰色シルトに褐灰色シルトを含む。Ｇ層は層状の黒色粘土に灰黄褐色砂壌土や木片を含む。Ｈ層は２層に細分され、層状の灰黄褐色砂壌土（粗砂）に明オリーブ灰色シルトや木片を含み、酸化鉄の沈殿がみられる。Ｉ層は３層に細分され、黒褐色粘土を主体とし褐色土や層状の明青灰色シルトを含む。Ｊ層も３層に細分され、灰白色砂壌土（粗砂）に層状の灰黄褐色シルトや木片、腐葉を多量に含み、酸化鉄の沈殿がみられる。Ｋ層は黒色粘土に明オリーブ灰色シルトと多量の木片を含む。Ｌ層は北側斜面にのみみられ、黒色粘土に明オリーブ灰色シルトを含む。Ｍ層は２層に細分され、灰黄褐色シルトに黒色粘土ブロックや明青灰色シルトを含む。Ｎ層は灰白色粘土に黒色粘土を少し含む。Ｏ層は壁崩落につながる浸食



第17図　　東奈良遺跡（HN06-3）　B・Cトレンチ第３面平面図





B':Sicl10YR4/3 にぶい黄褐色土,Sil10YR5/1 褐灰色ｼﾙﾄ ～粒 5～10cm大 30-35% 0.3～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 P-中 Sic10YR5/6 黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 ～1cm大ﾏﾝｶﾞﾝ少-中 中-硬 中-密（弥生時代中後期整地層）
C':Sicl10YR4/3 にぶい黄褐色土,Sil10YR7/8 黄橙色ｼﾙﾄ ～3cm大 15-20% Sic10YR5/1 褐灰色ｼﾙﾄ質埴土 粒 20-25% 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-硬 中-密（弥生時代中後期整地層）

DSD-1
①:SL10YR4/6 褐色砂壌土,SL10YR7/3 にぶい黄橙色砂壌土 ～0.3cm大 50-60% Sil10YR6/1～7/1 褐灰～灰白色ｼﾙﾄ 粒～層状 15-20% 軟 疎

DSK-1
②:Sil10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ,Sil10YR7/2 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粉～粒 20-25% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 中-軟 中-疎

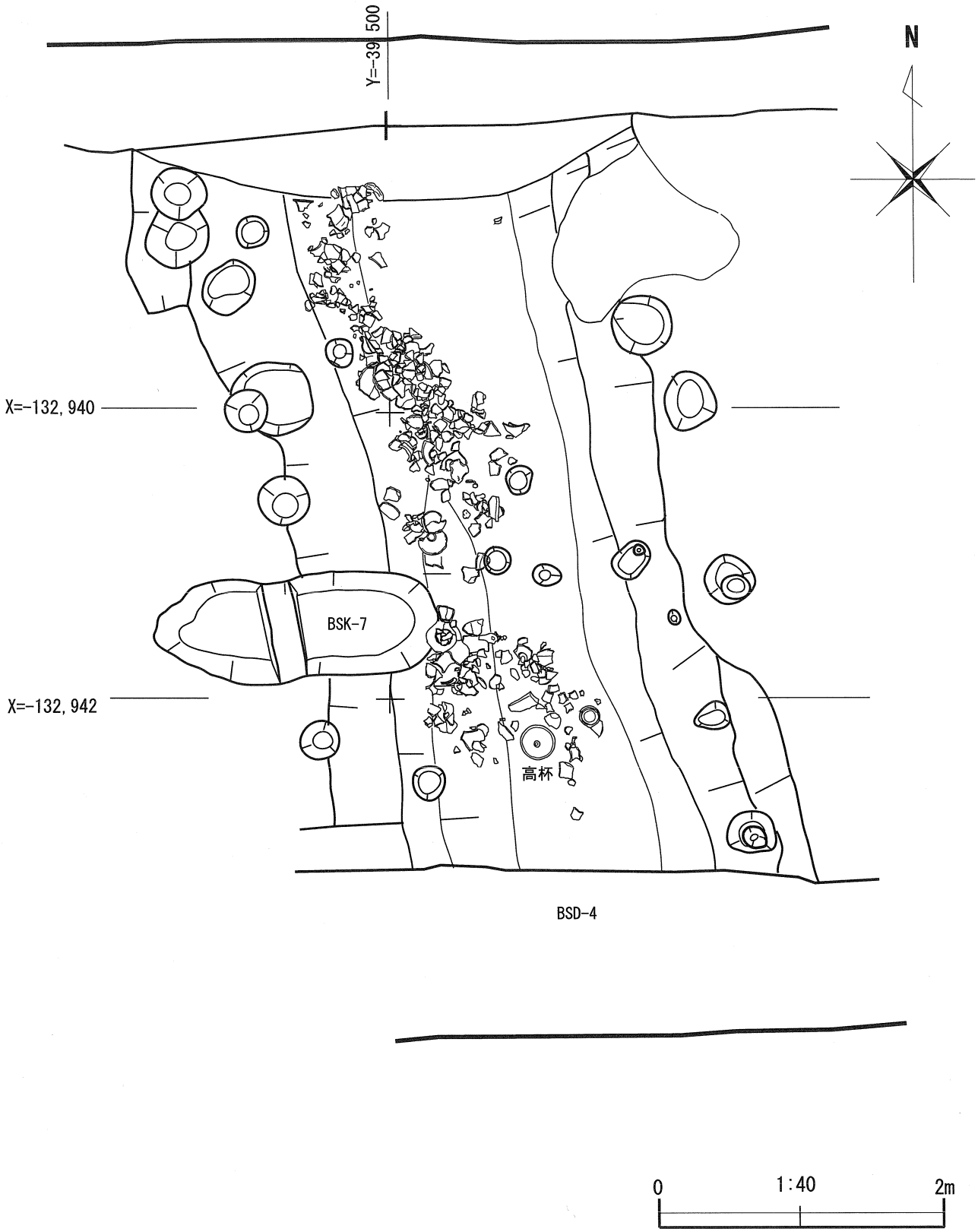
DSD-2（DSZ-1）
A1:Sicl10YR4/3 にぶい黄褐色土,Sil10YR5/1 褐灰色ｼﾙﾄ 粉～粒 30-40% ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 Sic10YR4/4 褐色ｼﾙﾄ質埴土 ～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ多 中-軟 中-密
B1:Sicl10YR4/3 にぶい黄褐色土,Sil10YR5/1～6/1 褐灰色ｼﾙﾄ 粉～粒 10-15% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 Sic10YR4/4 褐色ｼﾙﾄ質埴土 ～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ中-多 中-軟 中-密
B2:Sicl10YR3/3 暗褐色土,Sil10YR8/8 黄橙色ｼﾙﾄ ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 15-20% Sic10YR7/1 灰白色ｼﾙﾄ質埴土 粒～0.2cm大 10% Sic10YR4/4 褐色ｼﾙﾄ質埴土 ～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ少 ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 軟 中-疎
C1:Sicl10YR4/1～5/1 褐灰色土,Sil10YR7/8 黄橙色ｼﾙﾄ 粒～3cm大ﾌﾞﾛｯｸ 10-15% Sil10YR6/1～7/1 褐灰～灰白色ｼﾙﾄ 粒 10-15% 中-軟 中-密
D1:Sicl10YR4/4 褐色土,Sil2.5Y7/6 明黄褐色ｼﾙﾄ ～0.3cm大 25-30% Sil10YR6/1 褐灰色ｼﾙﾄ 粉 15% 中-軟 中-疎

DSD-5
A:Sicl10YR3/1 黒褐色土,Sil10YR5/6 黄褐色ｼﾙﾄ ～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 15-20% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ中 中-硬 中-密

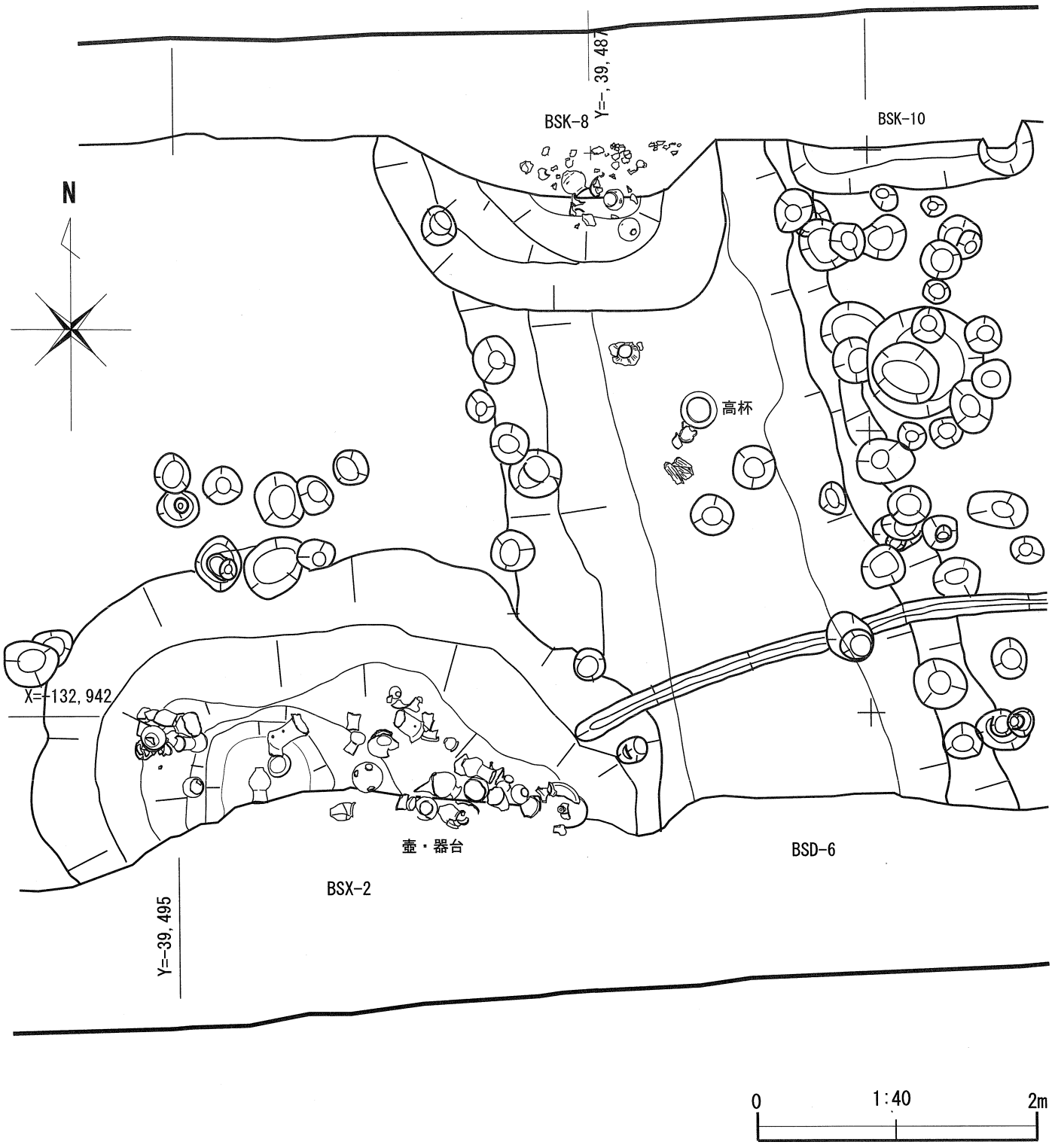
DSX-1
A1:Sicl10YR4/6 褐色土,Sil10YR7/8 黄橙色ｼﾙﾄ 0.1～2cm大 10% ～0.3～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少-中 ～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ少 P-少 中-硬 中-密
A2:Sicl10YR3/4 暗褐色土,Sil10YR7/8 黄橙色ｼﾙﾄ ～1cm大 5% Sic10YR5/6 黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 ～0.5cm大 15-20% 0.5～1cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 ～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ中 P-中 中-軟 中-密
B1:HC10YR2/1 黒色粘土,Sil10YR7/1 灰白色ｼﾙﾄ 粉 25-30% Sic10YR8/8 黄橙色ｼﾙﾄ質埴土 ～0.5cm大 10-15% ～1cm大ﾏﾝｶﾞﾝ中 ～0.2cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 P-多 中-軟 中-密
C1:Sil2.5Y6/6 明黄褐色ｼﾙﾄ,Sicl10YR3/2 黒褐色土 粒 20-25% ～0.5cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 ～0.3cm大ﾏﾝｶﾞﾝ少 中-軟 中-疎

DSX-3
A:HC10YR3/1 黒褐色粘土,Sil10YR6/2 灰黄褐色ｼﾙﾄ 粒 30% Sic10YR5/8 黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 粒～0.3cm大 10% 0.1～0.3cm大白色ﾚｷ少-中 ～0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ中 P-中 中-軟 中-密
B:HC10YR6/1 褐灰色粘土,Sil10YR7/3 にぶい黄橙色ｼﾙﾄ 粒 50-60% ～0.3cm大ｶｰﾎﾞﾝ少 Sic10YR5/8 黄褐色ｼﾙﾄ質埴土 0.5cm大ﾏﾝｶﾞﾝ中 中-軟 中-疎 P-少

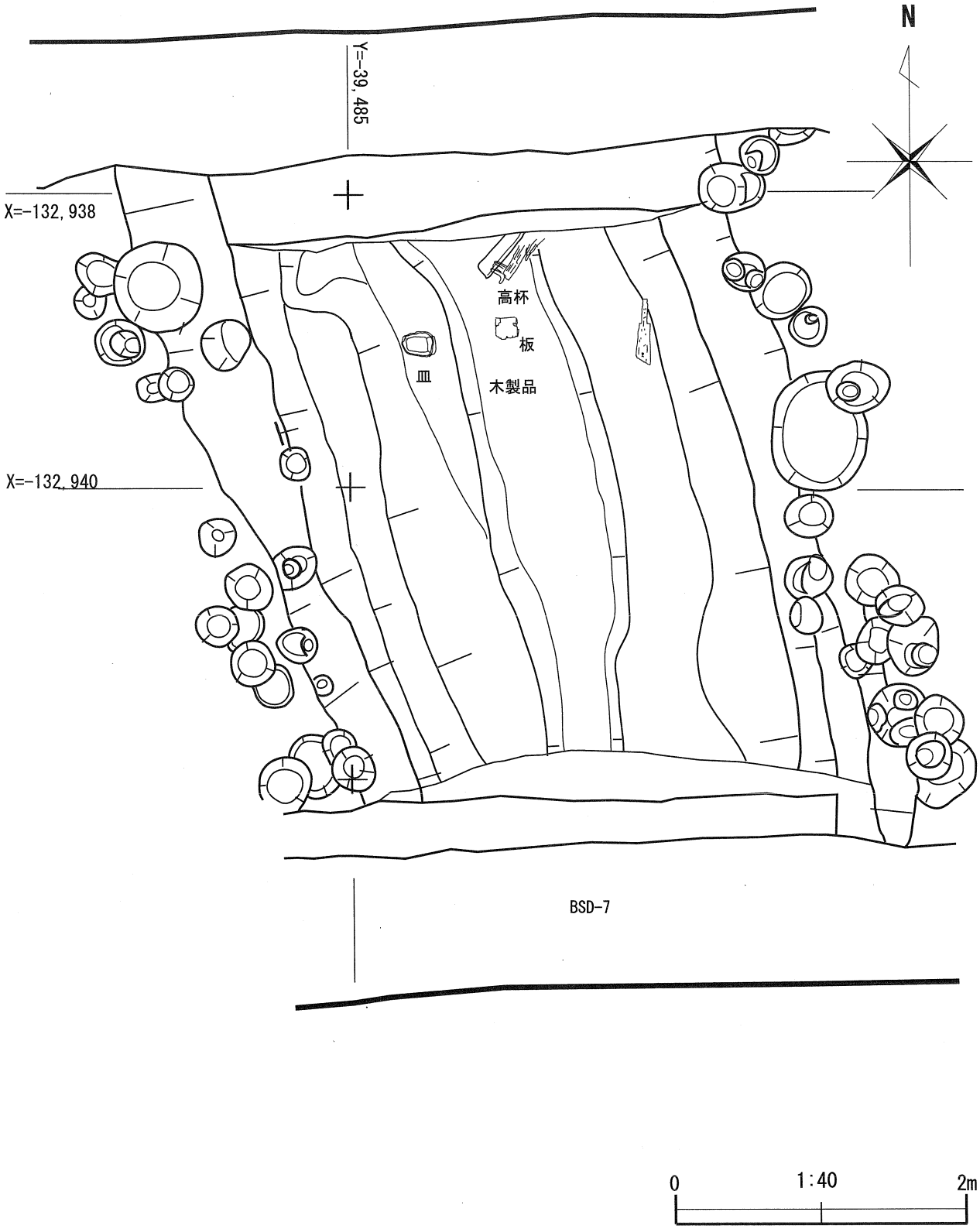
第18図　東奈良遺跡（HN06-3）　Dトレンチ平・断面図



第19図　　東奈良遺跡（HN06-3）　BSD-4 遺物出土状況図



第20図　東奈良遺跡（HN06-3）BSX-2/BSD-6/BSK-8遺物出土状況図



第21図　　東奈良遺跡（HN06-3）　BSD-7 遺物出土状況図

作用で、地山の黄橙色粘土に灰白色粘土や黒色粘土が亀裂から入り込み剥離した層である。重複関係は弥生時代中期の方形周溝墓群（ASZ-1～4・7・8）を壊し、古墳時代後期の溝（ASD-14）や中世の溝（ASD-4）等に切られている。出土遺物は調査面積の大きなウェイトを占める割には少量で、今回出土した総土器量の1.7％に過ぎず弥生時代後期～古墳時代前期初頭頃の土器を中心に出土している。その内容は壷・甕・高坏・鉢・器台・ミニチュアや土師器小型丸底壷・器台などである。方形周溝墓群を壊していることから若干、弥生時代中期の土器も混じる。土器の器種組成は計167点中、壷73点（44％）・甕53点（32％）・高坏18点（11％）・鉢11点（７％）・蓋９点（５％）・器台２点（１％）他１点となっている。

以上のことから、大溝の埋土に多量に含まれる粗砂・酸化鉄の沈殿・木片・落ち葉や出土遺物の少なさ、大溝の平面形（壁の崩落箇所の多さ）等から推察すると、水流があったことがうかがえる。このことから、前述したSD-1と同一であると考えると、底面の標高はSD-1が0.5ｍほど低いことから北から南へ流れ屈曲して東方向へと流れていたことが想定される。

まとめ（第10・34図）　今回の調査では弥生時代前期末～中期にかけての環濠が４条確認され、その外側(西側)に方形周溝墓を中心とした墓域が広がっていることがあらためて確認された。これまでの調査において、弥生時代前期～中期の環濠は６～11本程確認されているが、今回の調査によって東奈良遺跡の弥生時代環濠集落の規模と集落周辺の様相が一段と鮮明になりつつある。さらに、のちの時代に続いて弥生時代後期から古墳時代前期初頭にかけての東奈良一帯の様相も徐々にではあるが、近年の調査結果から明らかになりつつある。付け加えると、このあとに報告する東奈良遺跡（HN07-1～3）の調査、特にHN07-1の調査は今回の調査区の西隣に位置し、弥生時代中期の方形周溝墓と土坑墓、環濠が1条検出されている。この環濠が存在することは集落規模の拡大という大きな意味をもつものである。

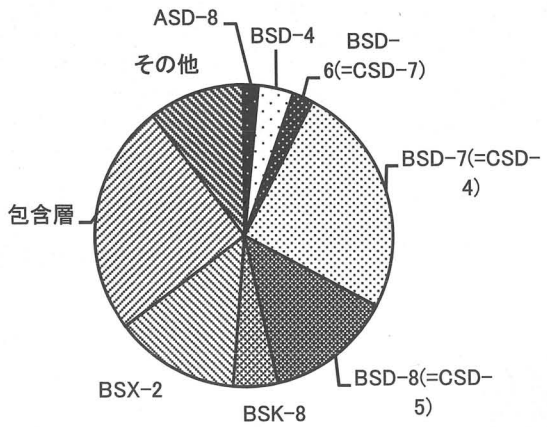
今回検出された4条の環濠の開削時期は内側の２本の溝（BSD-7・8・CSD-4・5）が弥生時代前期後半～末頃にはじまり、少し遅れて外側２条（BSD-4・6・CSD-7）は弥生時代中期前葉には開削されるが、内側（東側）2条の環濠と比較すると環濠外側に位置するこれらの環濠は幅や深さといった規模の点から一回り小規模である。そして、弥生時代中期後葉に４条の環濠は改修されていることから、少なくとも弥生時代中期前葉にはこの辺りまで集落が展開し、その外側に計画的に墓域を配置している。

環濠集落の規模は弥生時代前期では、最内の2条の環濠内径が90ｍ前後、環濠外側では120ｍ前後になる。前期後葉には、この環濠から30～50ｍ広がって内径が210～230ｍ、外径で240～250ｍの範囲になる。さらに、中期前葉には環濠が外側に2～3条掘削され拡大し、内径が300～340ｍ、外径が310?～360ｍの範囲になる。中期後葉段階ではこれら環濠の改修が多々見られることから、東奈良遺跡の集落規模の拡大は弥生時代中期前葉段階以降には一段落しおおよそ固定化されていたものと思われる。しかしながら、時代の移ろいとともに東奈良の一帯がどのように変遷していくのか、まだ不明な点が多いことも確かである。今一度、既往調査との照合・再検討によって検証する必要があろう。

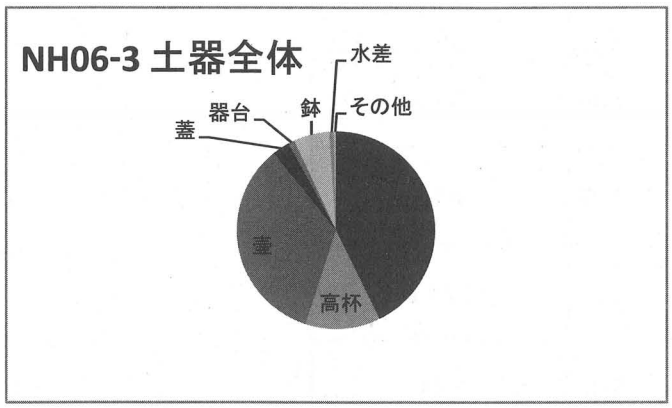
今回の調査では貴重な成果がみられたが、弥生時代から古墳時代、古代という社会をとおして、歴史上この東奈良という地域がどのような地域であったか、あきらかにしていきたい。

遺構	%	重量(Kg)
ASD-8	1.7%	41.2
BSD-4	3.8%	94.6
BSD-6(=CSD-7)	2.3%	56.2
BSD-7(=CSD-4)	25.0%	624.2
BSD-8(=CSD-5)	13.8%	344
BSK-8	4.8%	120.4
BSX-2	13.4%	335.1
包含層	24.8%	617.8
その他	10.4%	259.8
合計		2493.3

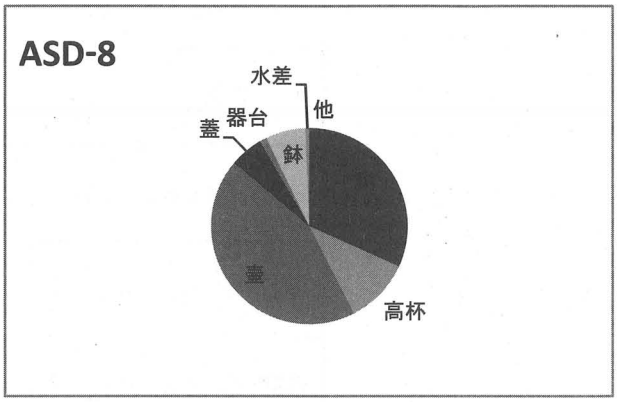
土器量



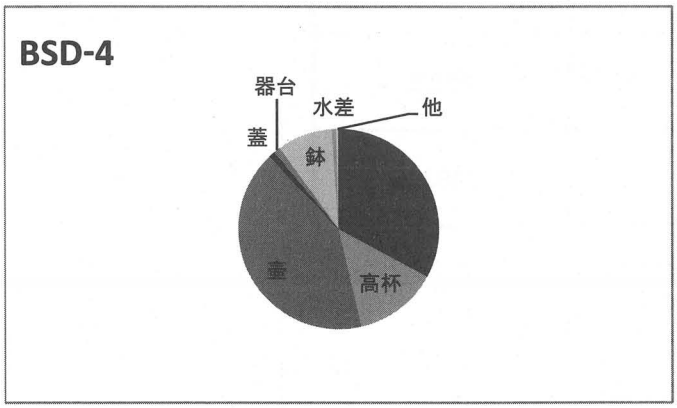
弥生土器	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	その他	合計
数量	3,560	1,025	2,844	232	89	485	67	27	8,329
%	43%	12%	34%	3%	1%	6%	1%	0%	



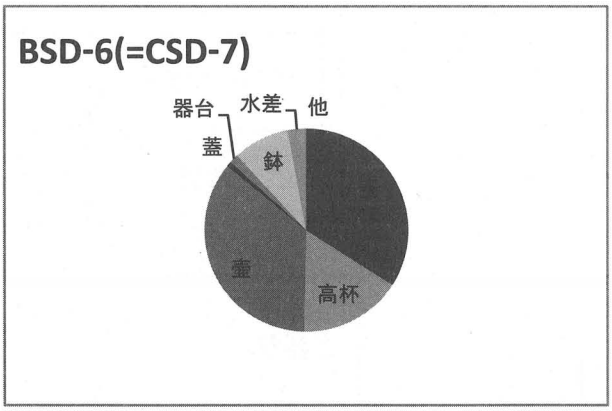
ASD-8	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	53	18	73	9	2	11	1	0	167
%	32%	11%	44%	5%	1%	7%	0%	0%	



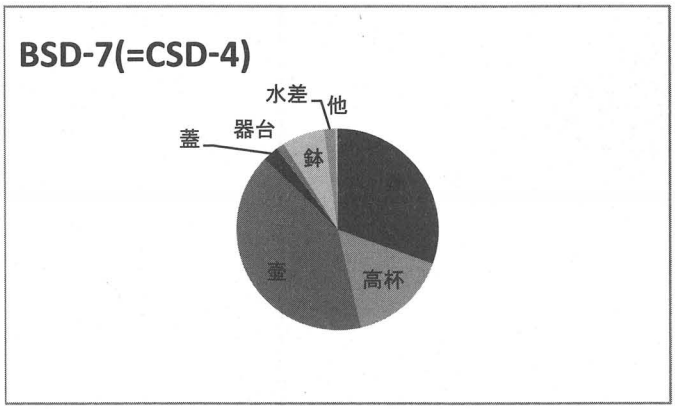
BSD-4	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	92	38	116	3	3	25	2	1	280
%	33%	14%	41%	1%	1%	9%	1%	0%	



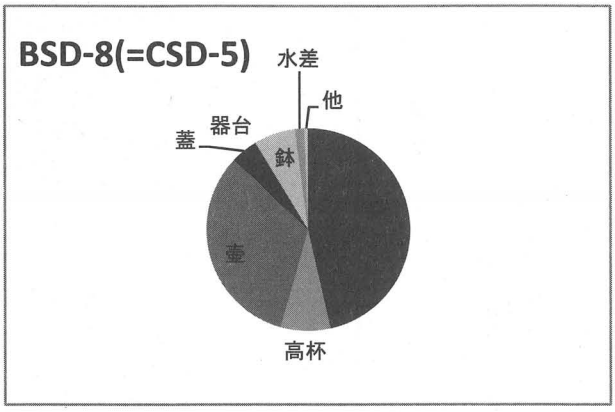
BSD-6(CSD-7)	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	46	22	48	1	2	12	4	0	135
%	34%	16%	36%	1%	1%	9%	3%	0%	



BSD-7(CSD-4)	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	543	283	729	42	24	121	32	6	1,780
%	31%	16%	41%	2%	1%	7%	2%	0%	

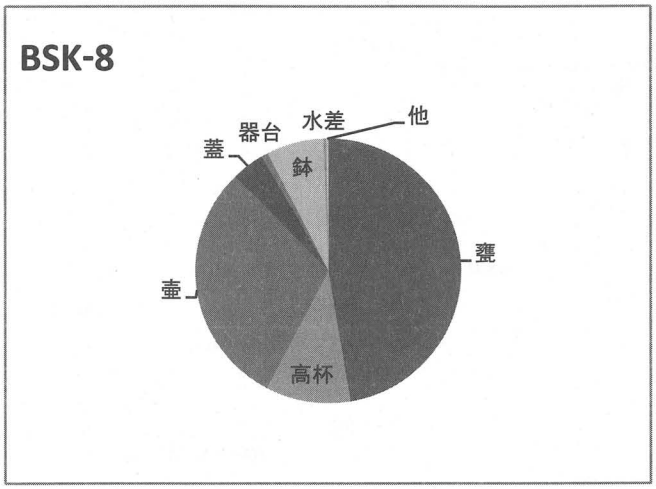


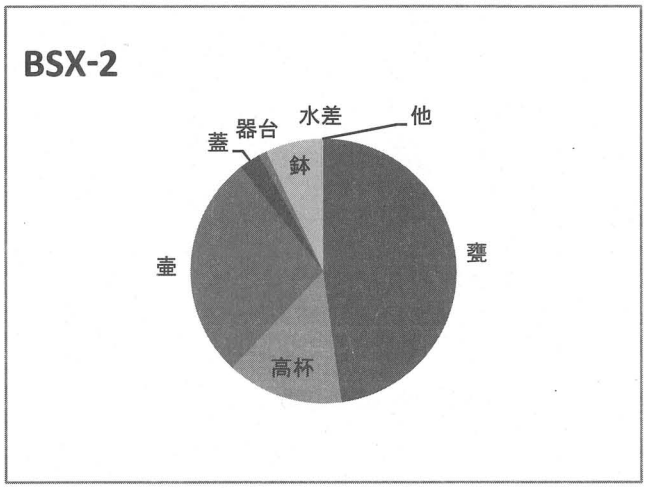
BSD-8(CSD-5)	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	398	68	279	36	1	56	13	5	856
%	46%	8%	33%	4%	0%	7%	2%	0%	



BSK-8	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	169	37	107	14	3	25	1	1	357
%	47%	10%	30%	4%	1%	7%	0%	0%	

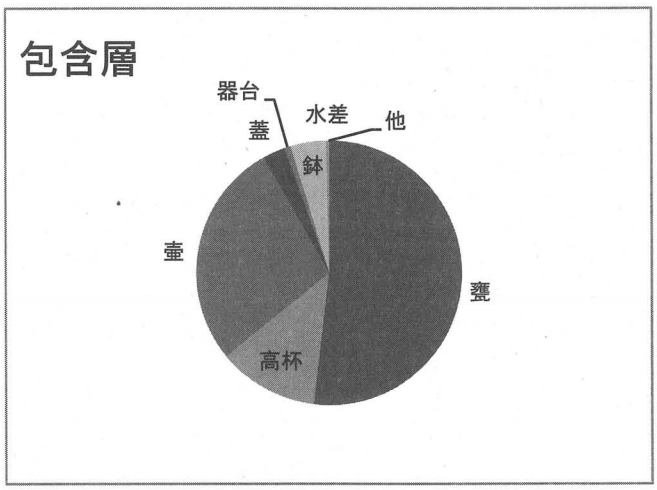
BSX-2	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	510	152	292	28	10	72	1	2	1,067
%	48%	14%	27%	3%	1%	7%	0%	0%	

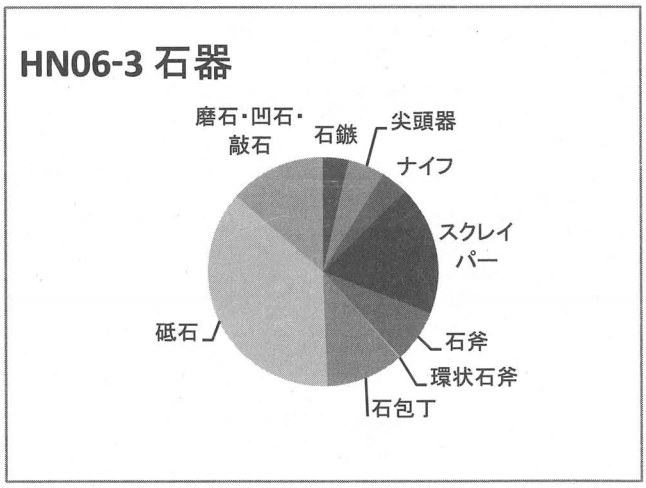


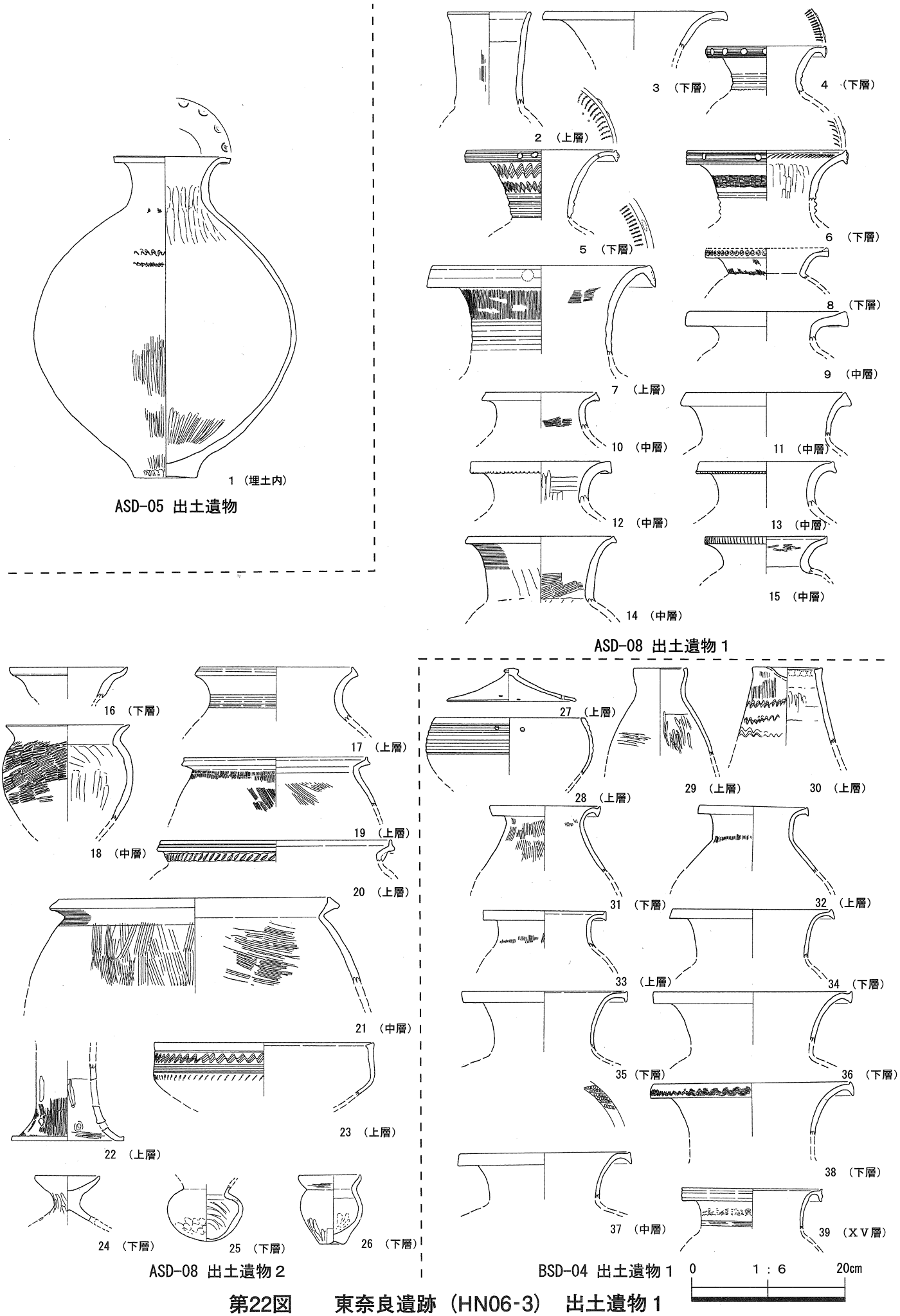


包含層	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	1,449	341	774	75	22	121	7	2	2,791
%	52%	12%	28%	3%	1%	4%	0%	0%	

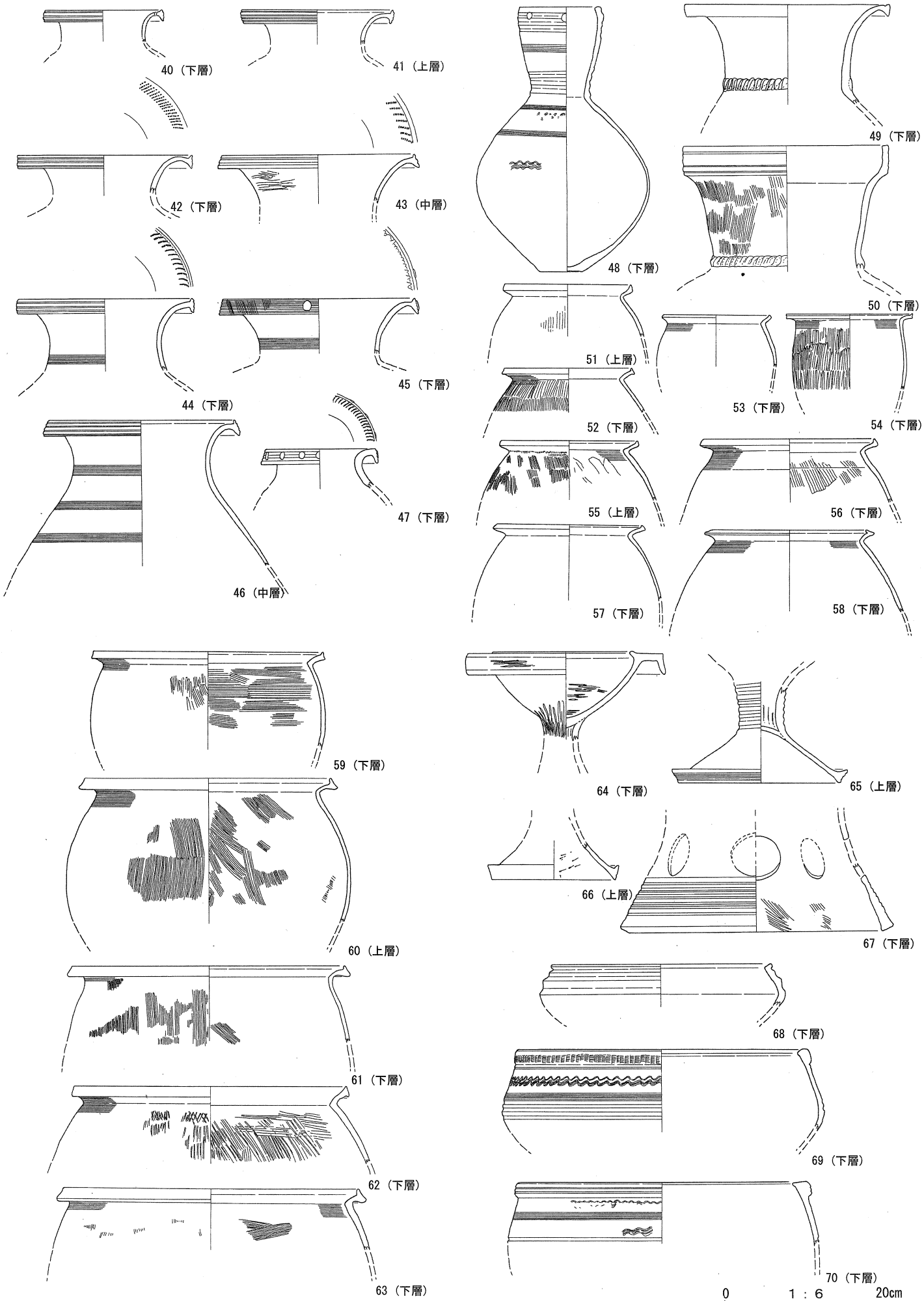
石鏃	尖頭器	ナイフ	スクレイパー	石斧	環状石斧	石包丁	砥石	磨石・凹石・敲石	合計
16	23	17	81	33	1	48	164	60	443
4%	5%	4%	18%	7%	0%	11%	37%	14%	



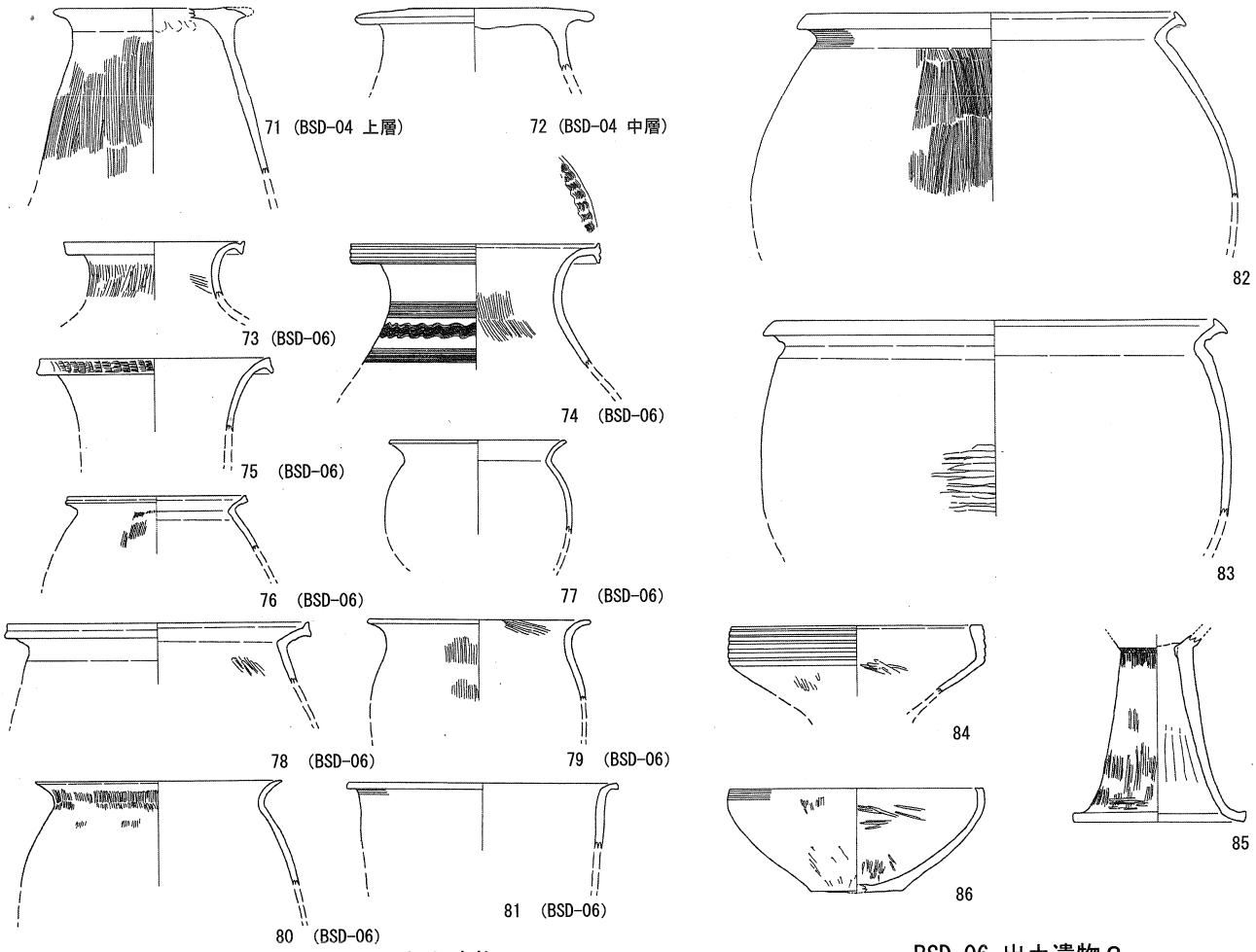




第22図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物1

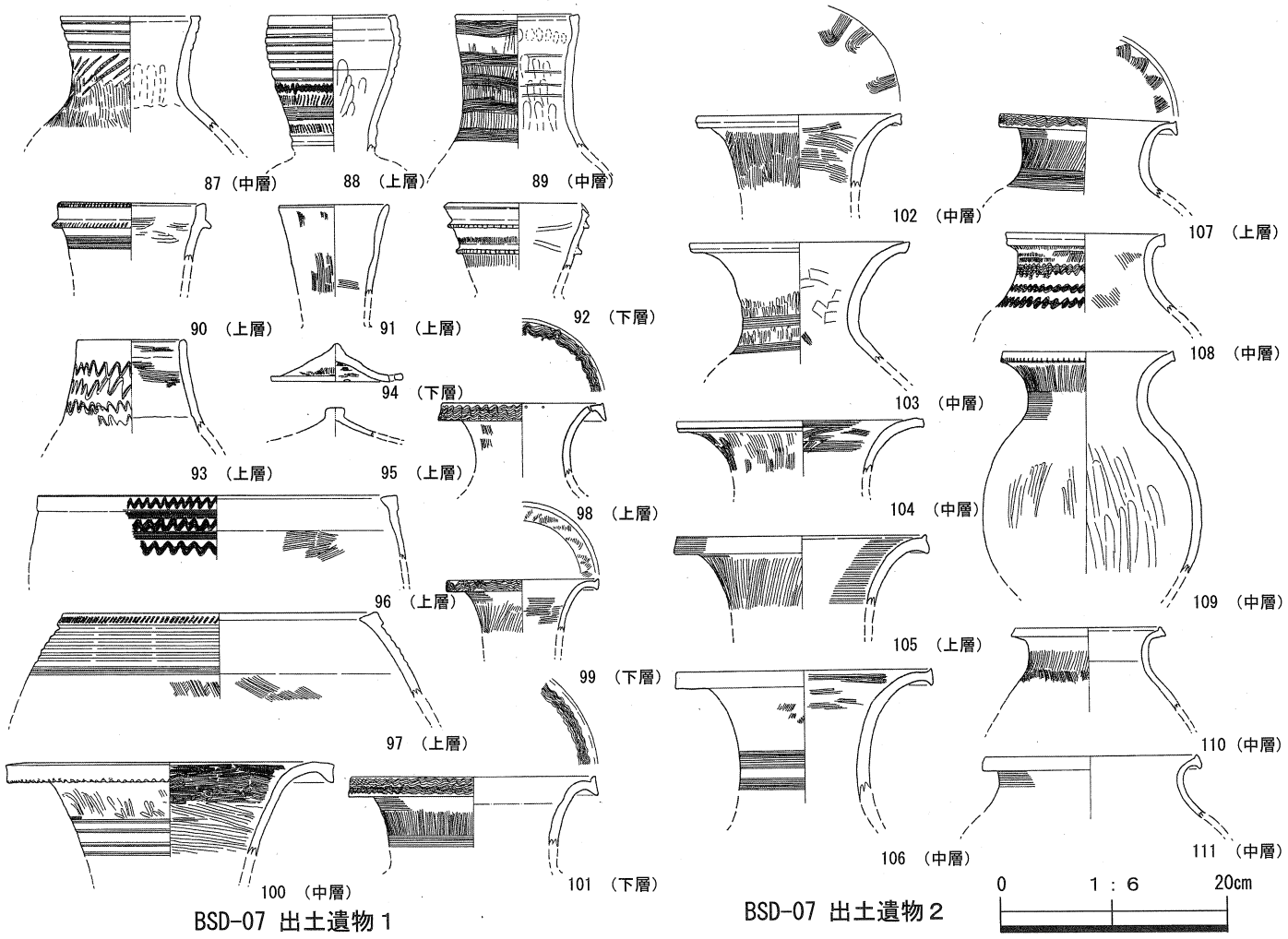


第23図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物2/BSD-04



BSD-04 ／BSD-06 出土遺物

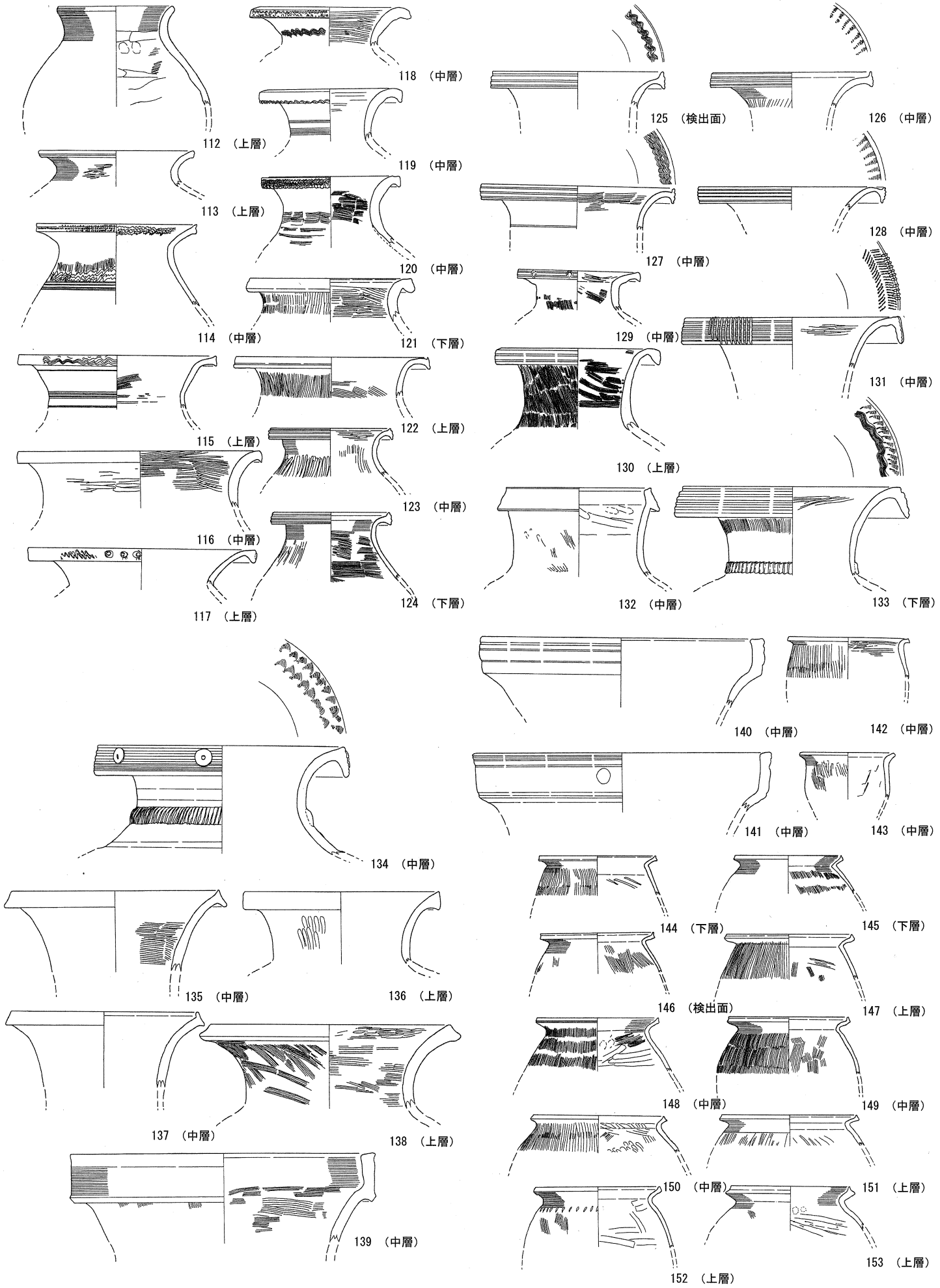
BSD-06 出土遺物２



BSD-07 出土遺物１

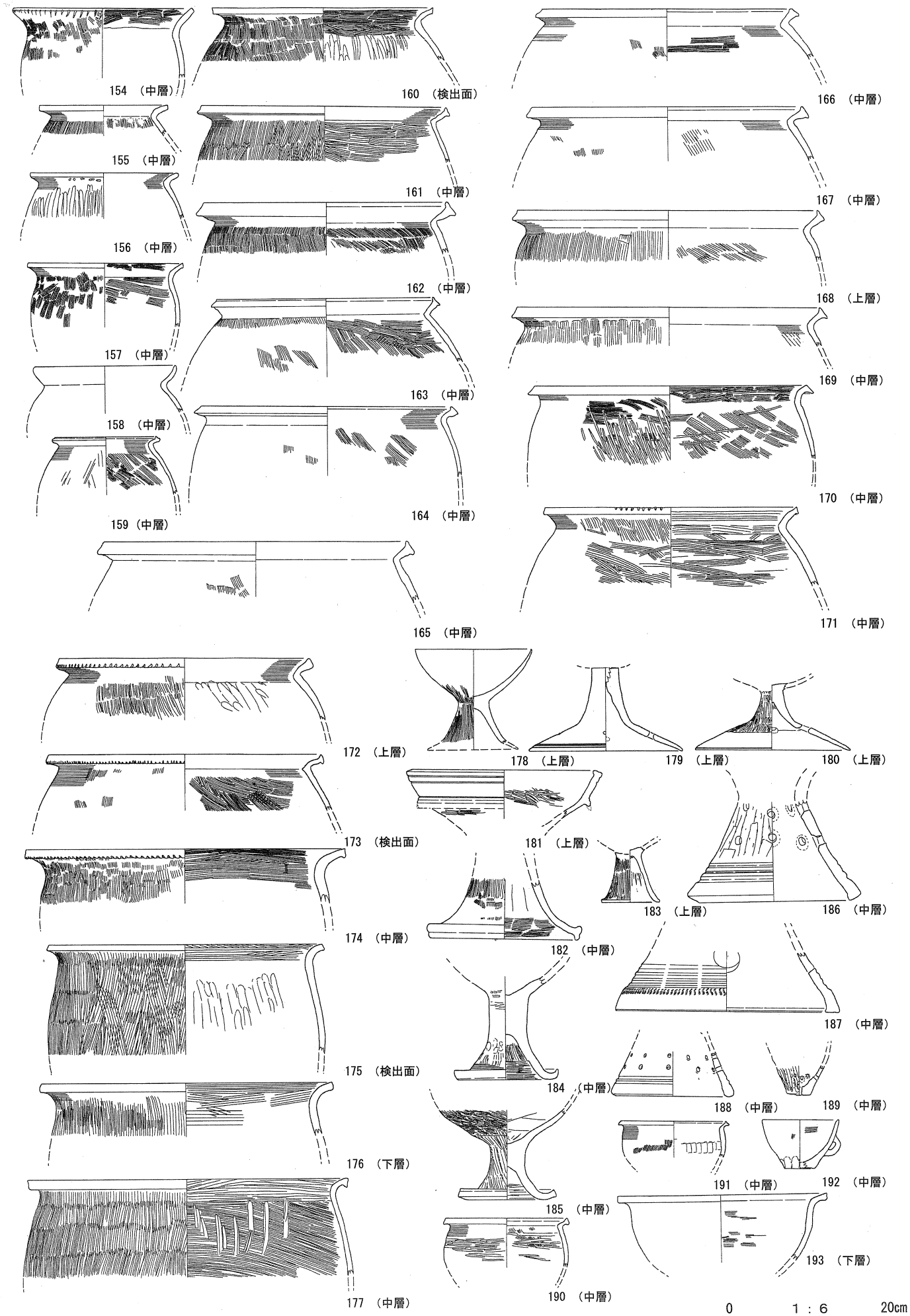
BSD-07 出土遺物２

第24図　　東奈良遺跡（HN06-3）　出土遺物３

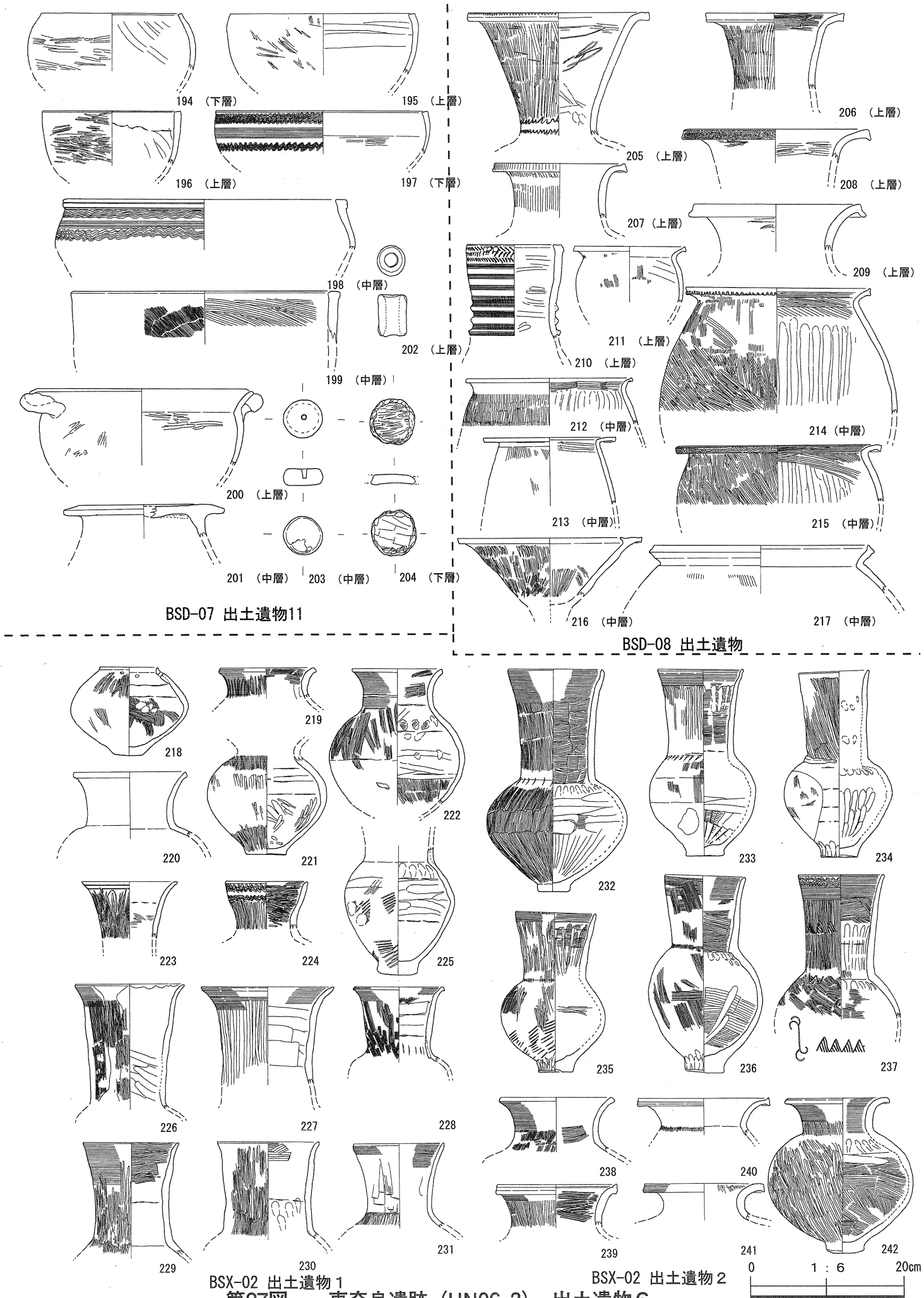


第25図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物4/BSD-07

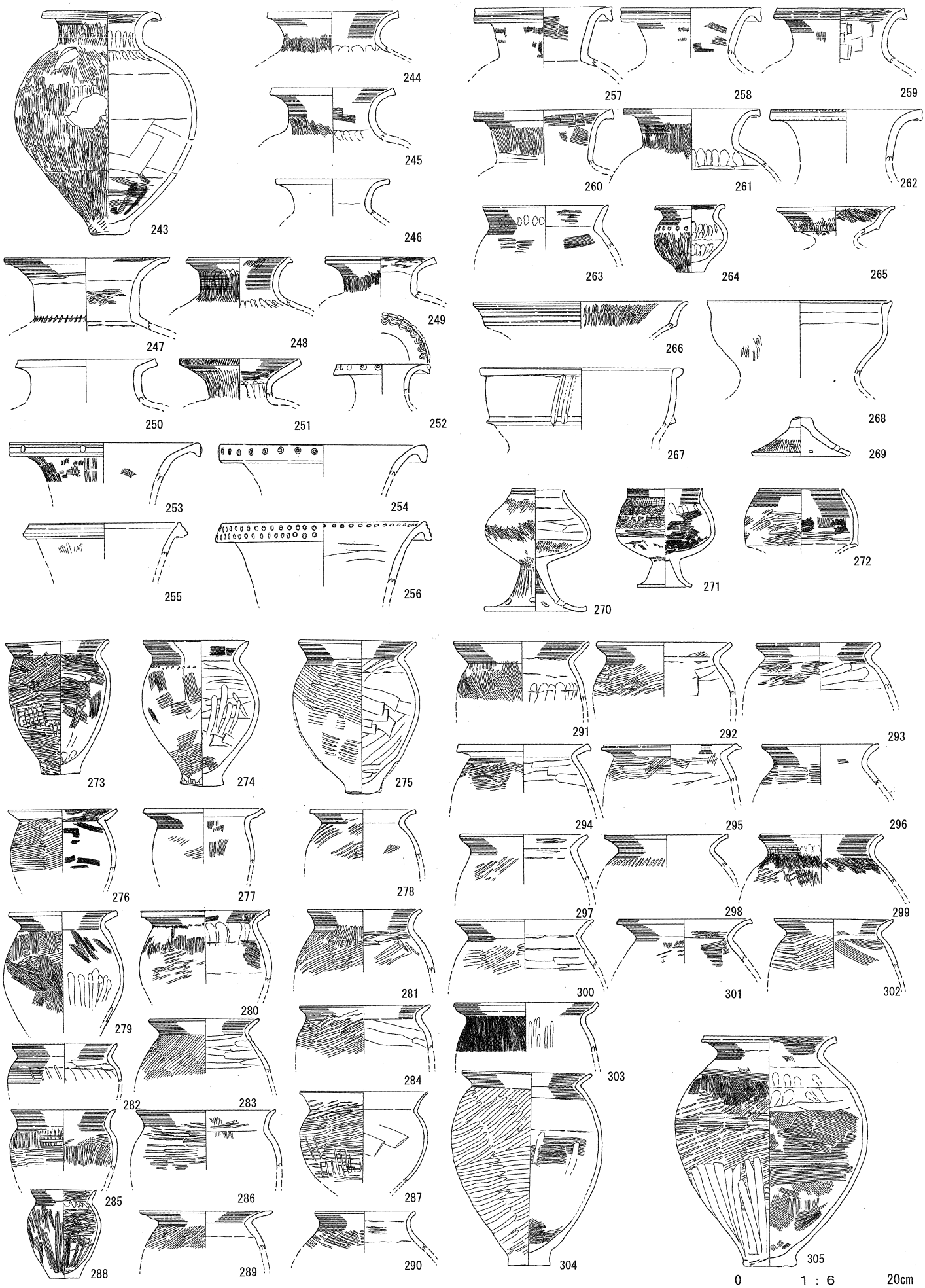
0　1：6　20cm



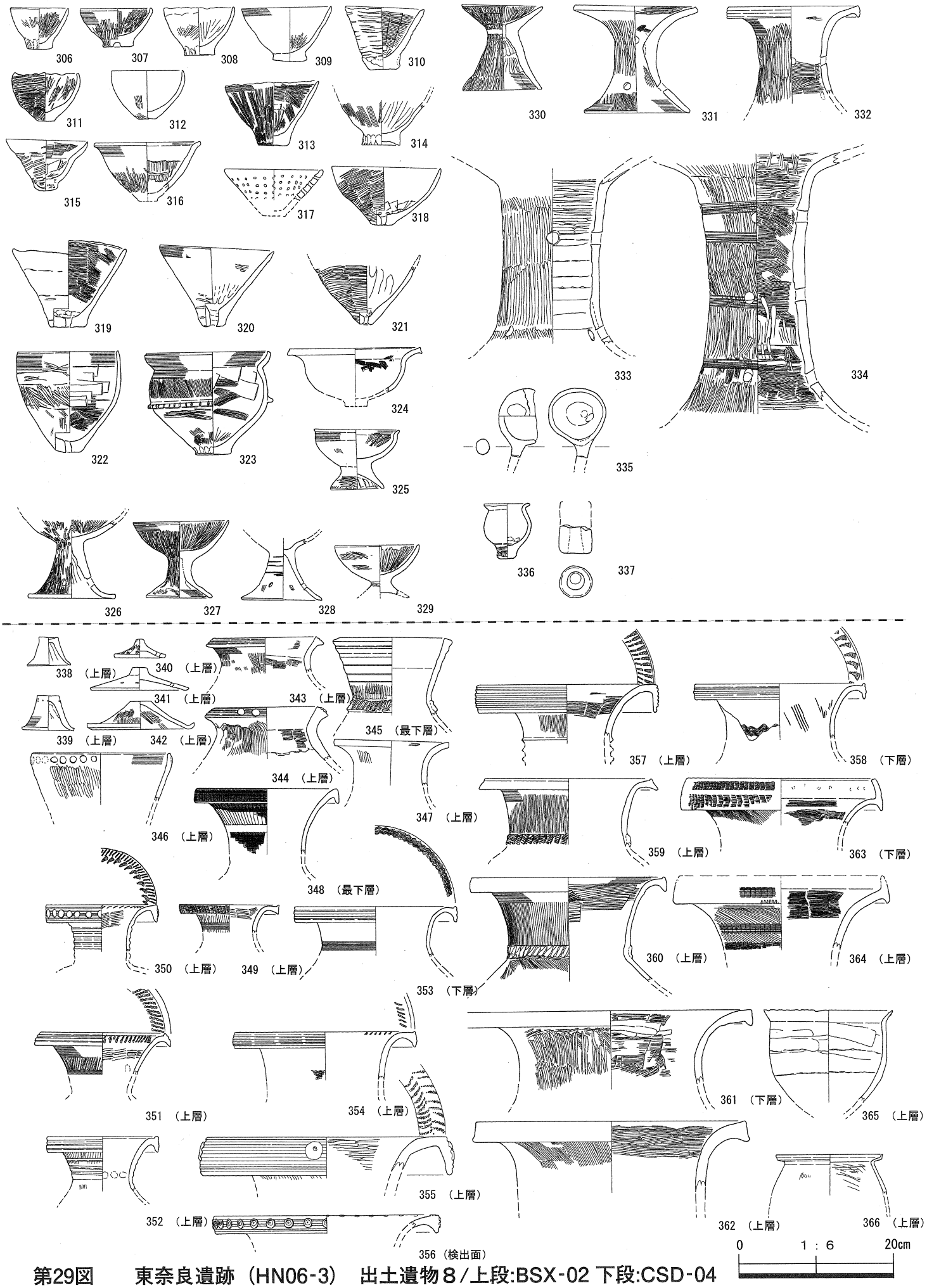
第26図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物5/BSD-07



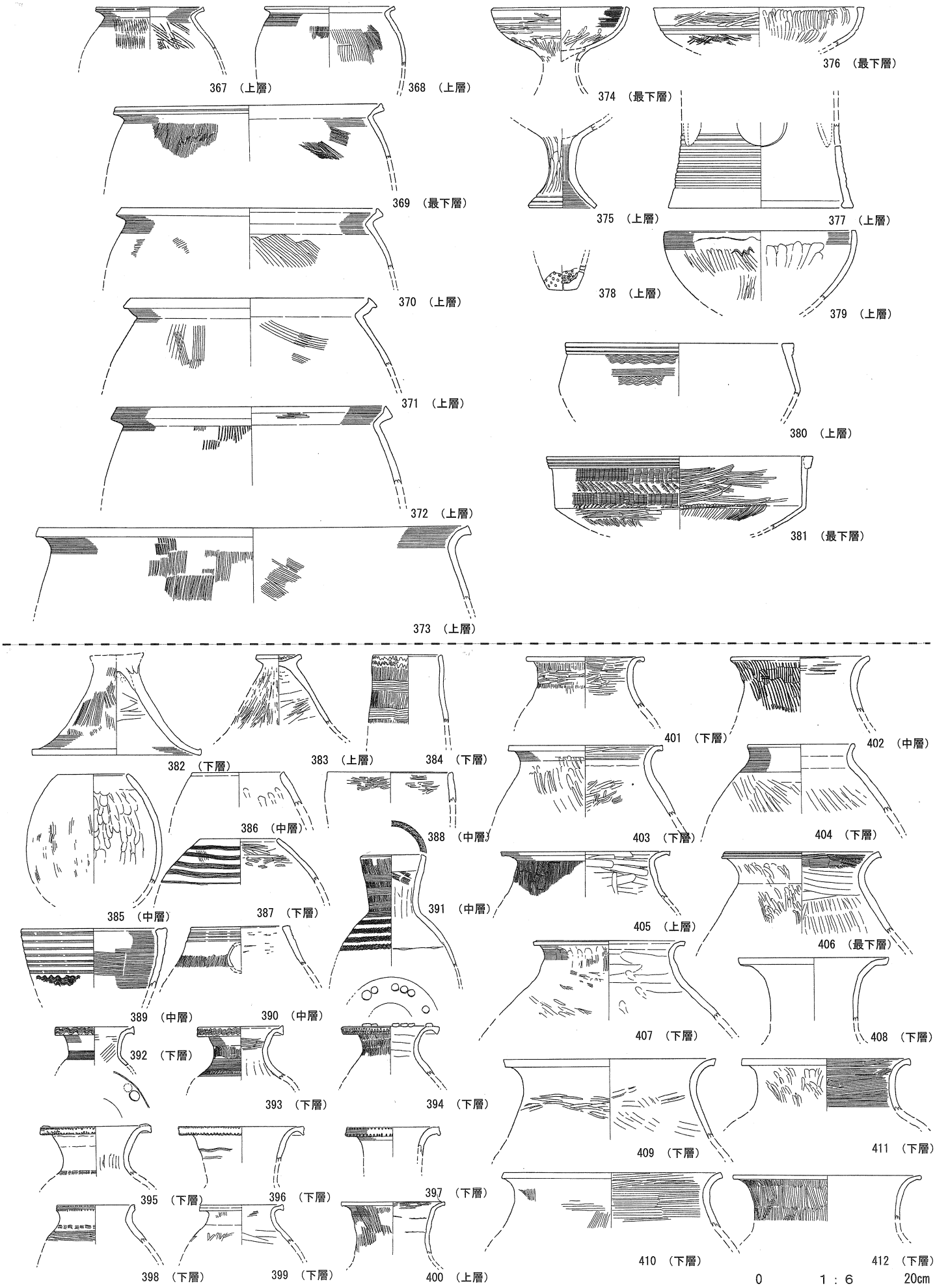
第27図　東奈良遺跡（HN06-3）　出土遺物６



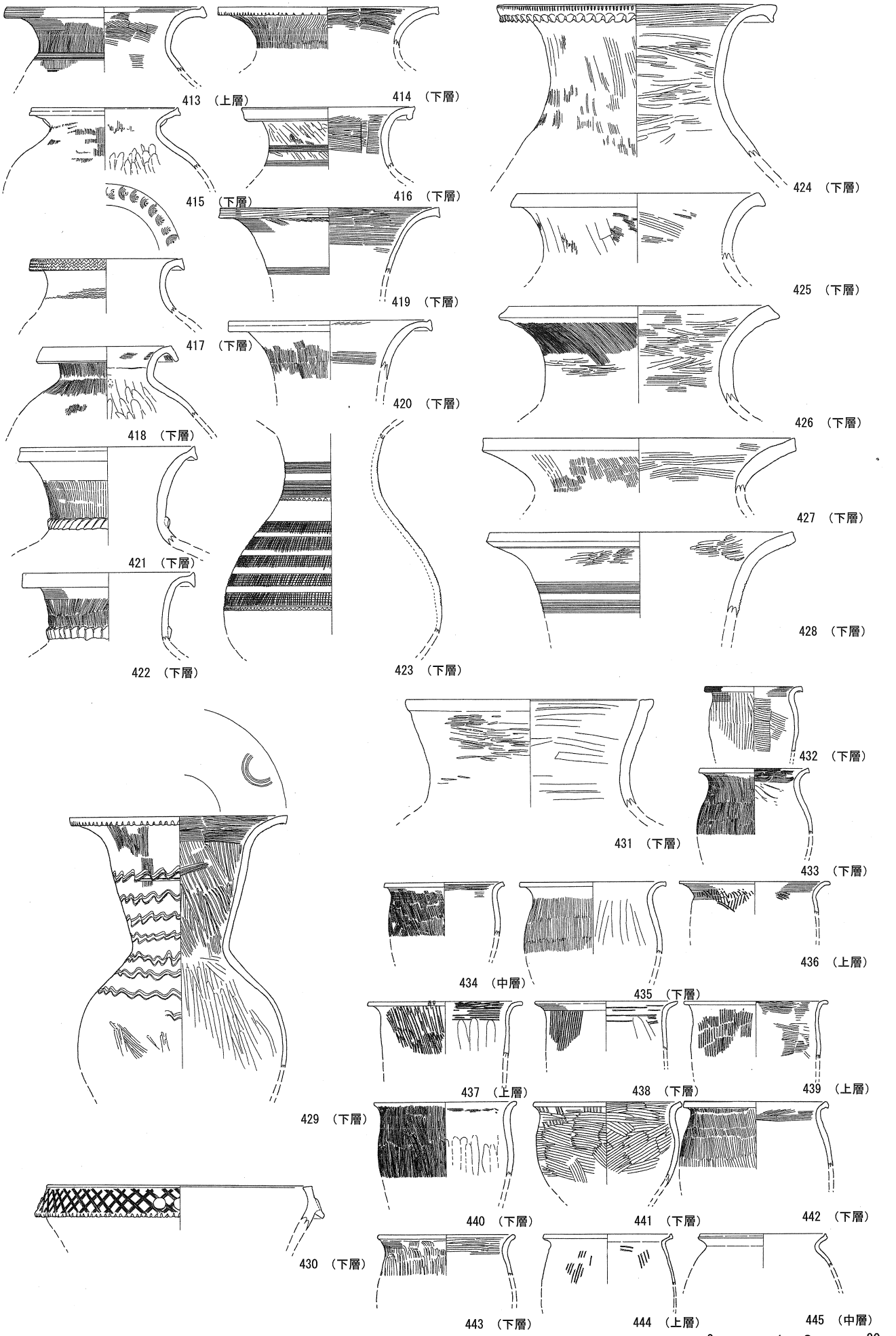
第28図　東奈良遺跡（HN06-3）　出土遺物７/BSX-02



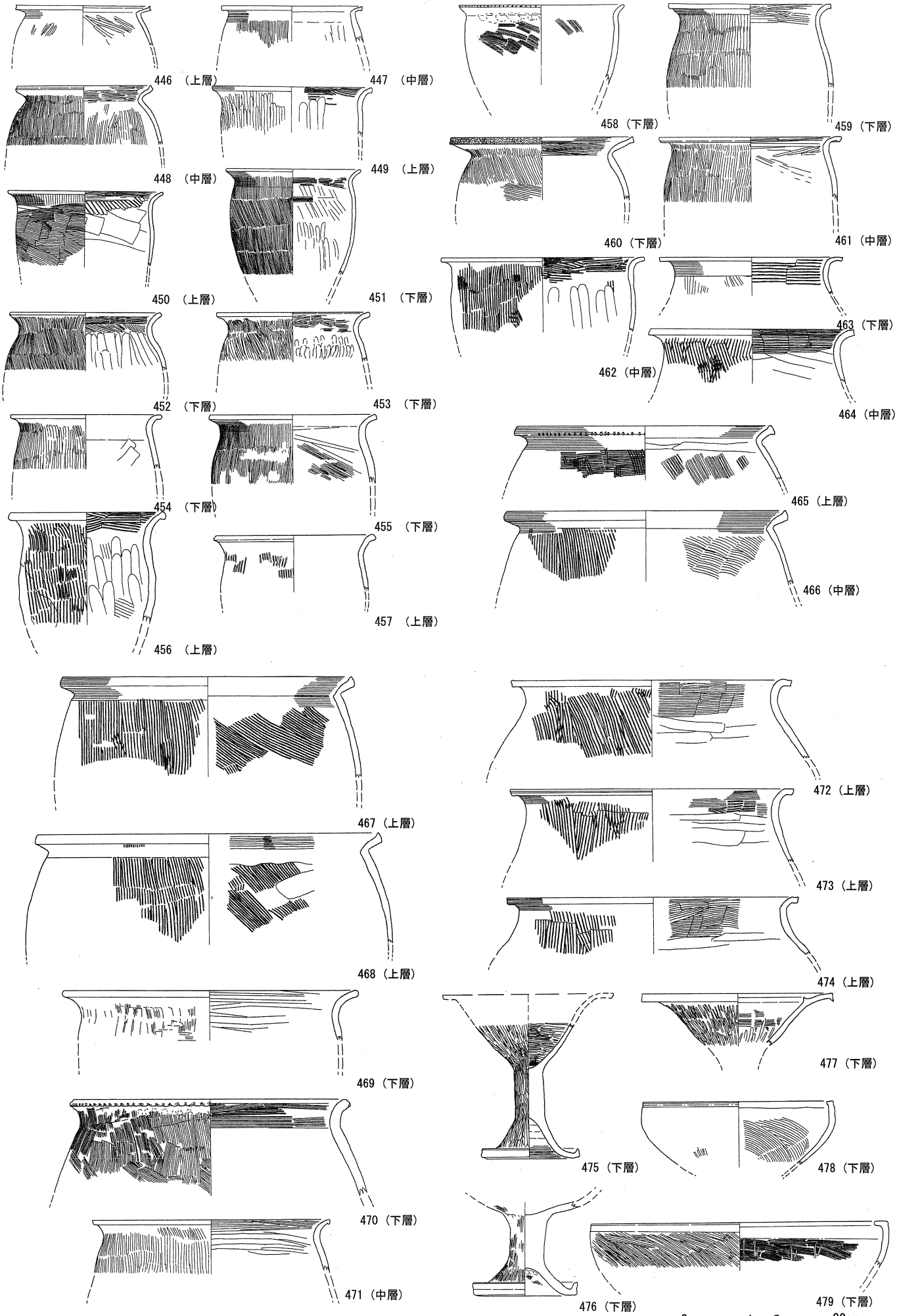
第29図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物８/上段:BSX-02 下段:CSD-04



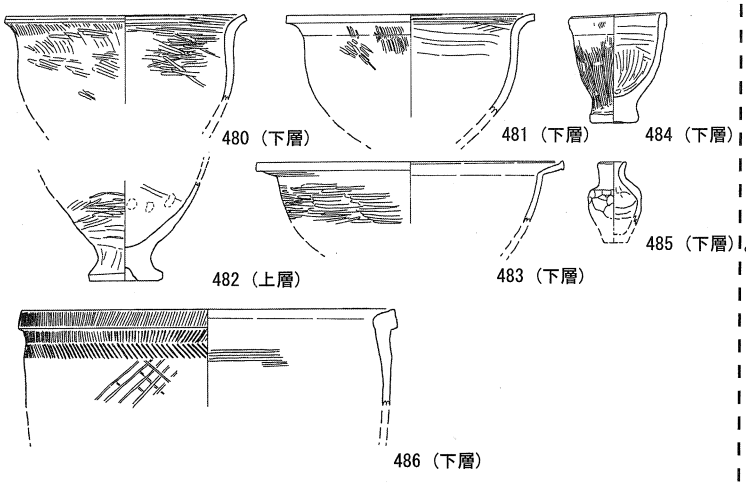
第30図　東奈良遺跡（HN06-3）　出土遺物９/上段:CSD-04 下段:CSD-05

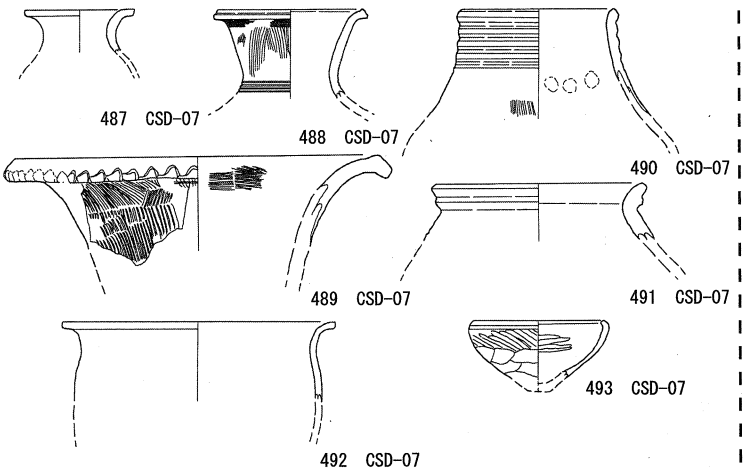


第31図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物10/CSD-05

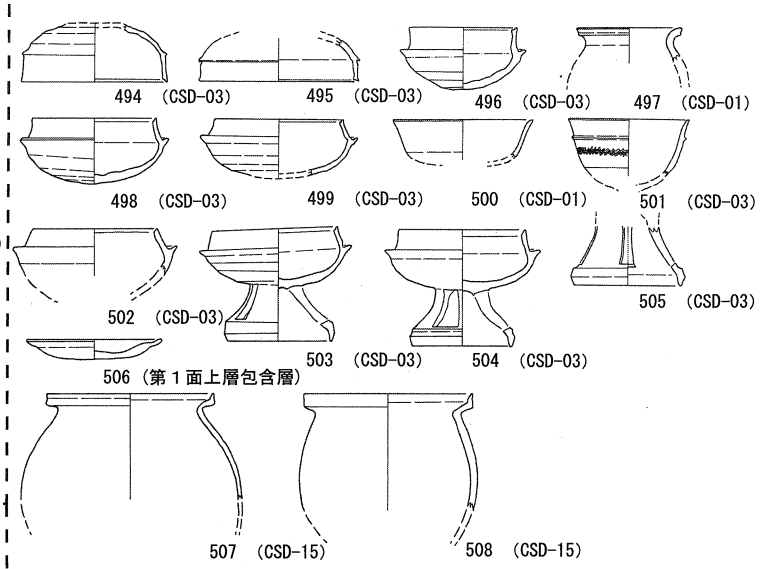


第32図　東奈良遺跡（HN06-3）出土遺物11/CSD-05

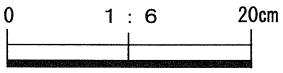




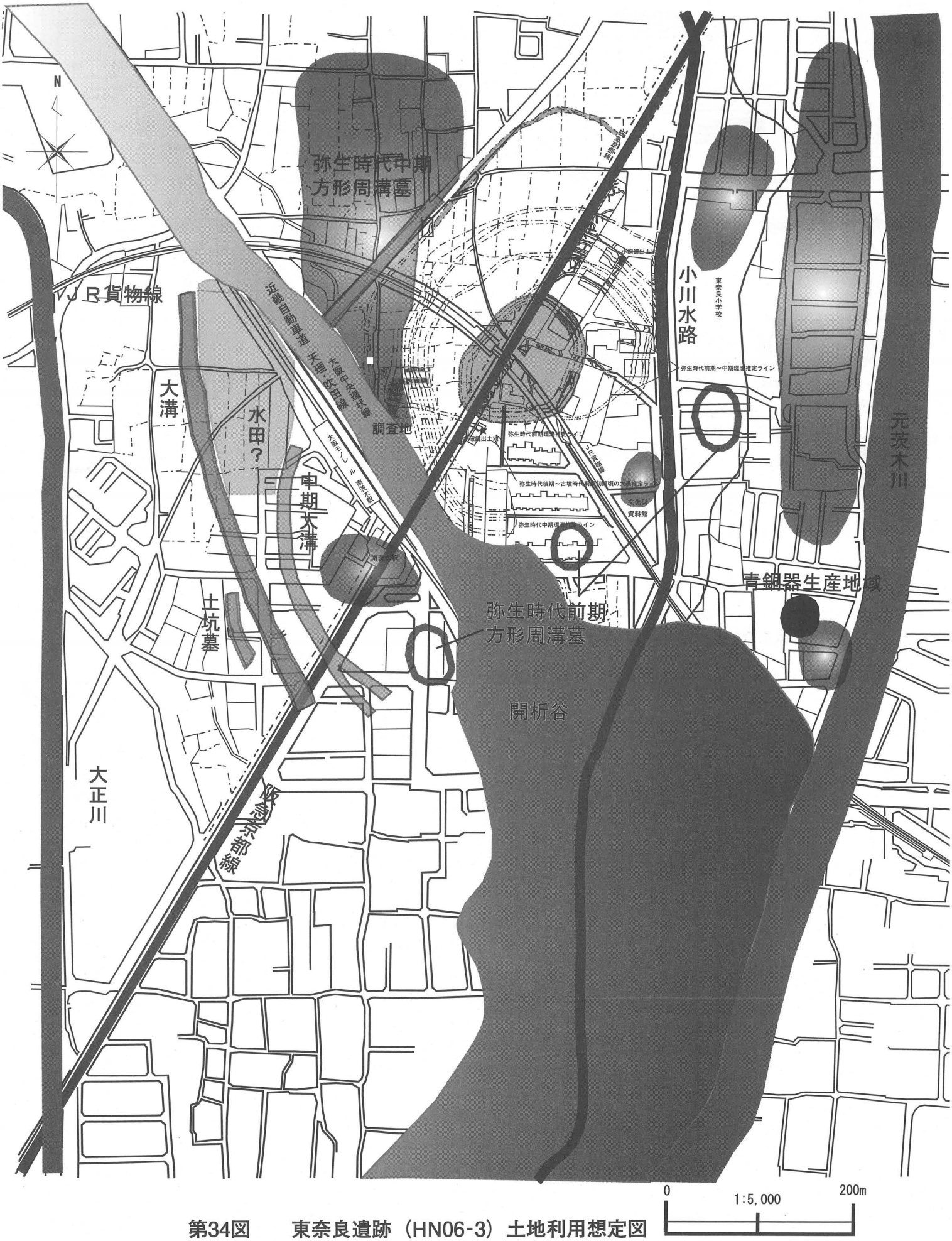
CSD-05 出土遺物11・CSD-07 出土遺物



Cトレンチ 第１～２面 出土遺物



第33図　　東奈良遺跡（HN06-3）　出土遺物12



第34図　東奈良遺跡（HN06-3）土地利用想定図

図版番号	実測番号	番号	遺構	層位	種類	器種	法量				調整		色調		胎土	焼成	残存	時期	備考
							口径	最大径	底径	器高(残存高)	内面	外面	内面	外面					
22	1	1	ASD 05	Aトレンチ・カメ棺	弥生土器	広口壺	15.1	33.7	8.0	41.5	ﾅﾃﾞ、ﾍﾗﾐｶﾞｷ	体上：扇状文・櫛描波状文、体下：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	70	Ⅱ	0.3～3mmの黒褐灰色白色砂粒含
22	20	2	ASD 08	Aトレンチ・上層・砂層	弥生土器	長頸壺（生駒西麓産）	10.5	－	－	12.0	ﾍﾗﾅﾃﾞ・輪積痕	ﾊｹﾒ	灰黄褐	灰黄褐	○	○	15	Ⅴ	0.3～5mmの白黒砂粒多
22	10	3	ASD 08	Aトレンチ・下層	弥生土器	広口壺	23.4	－	－	4.8	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	にぶい赤橙～灰白	にぶい赤橙～灰白	○	○	5	Ⅲ	0.3～4mmの黒白色砂粒含、表面摩耗すすむ、内外赤彩？、ｸｻﾚ礫
22	15	4	ASD 08	Aトレンチ・下層・粗砂層	弥生土器	広口壺	15.2	－	－	6.3	扇状文・ﾖｺﾅﾃﾞ	口唇：凹線文（4条）＋円形浮文（16コ）、口縁：凹線文、ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3～1mmの褐灰色砂粒少含、口縁端部周囲にφ9mmの円形浮文が16個貼付か？
22	7	5	ASD 08	Aトレンチ・中～下層（東西ライン）	弥生土器	広口壺	19.0	－	－	9.0	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口唇：凹線文（3条）・円形浮文（2個対）、頸：凹線文（4条）・櫛描波状文（2段）	灰白	灰白	○	○	10	Ⅳ-2	0.3～1.5mmの黒色砂粒含、口縁端部に円形貼付浮文2個組凹線3条、反り返った口縁にφ2mm穿孔2個組
22	14	6	ASD 08	Aトレンチ・中～下層（東西ライン）	弥生土器	広口壺	20.4	－	－	6.5	刻目文・ﾅﾃﾞ	口唇：凹線文（4条）・円形浮文、口縁：廉状文・凹線文	灰白	灰白	○	○	15	Ⅳ	0.3～3mmの白褐灰色砂粒多、ｸｻﾚ礫、φ9mmの貼付円形浮文、口縁周囲8ヶ施されるか？
22	11	7	ASD 08	Aトレンチ・上層・砂層	弥生土器	広口壺	28.0	－	－	11.8	ﾊｹﾒ	口唇：円形浮文、頸：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、凹線文	にぶい褐	にぶい褐	○	○	15	Ⅳ	0.3～5mmの白褐灰色砂粒多含、ｸｻﾚ礫含
22	18	8	ASD 08	Aトレンチ・下層	弥生土器	広口壺	15.6	－	－	3.6	ﾖｺﾅﾃﾞ	口唇：竹管文・ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	にぶい褐	にぶい褐	○	○	5	Ⅵ	0.3～2mmの白色砂粒多含、口縁端部に竹管文か？ｸｻﾚ礫あり
22	12	9	ASD 08	Aトレンチ・中～下層（東西ライン）	弥生土器	広口壺	19.9	－	－	3.8	ﾖｺﾅﾃﾞ？	ﾖｺﾅﾃﾞ？	灰黄褐	灰黄褐	○	○	5	Ⅴ-3	0.3～2mmの白色砂粒多含
22	9	10	ASD 08	Aトレンチ・中～下層（東西ライン）	弥生土器	広口壺	14.2	－	－	4.8	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ～Ⅲ	0.3～2mmの黒白色砂粒含
22	13	11	ASD 08	Aトレンチ・（南北ラインの南側）	弥生土器	広口壺（生駒西麓産）	10.3	－	－	5.7	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	褐灰	褐灰	○	○	5	～Ⅴ-0	0.3～3mmの黒白色砂粒多含
22	8	12	ASD 08	Aトレンチ・（南北ラインの南側）	弥生土器	広口壺	17.9	－	－	5.4	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	刻目・ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ～Ⅲ	0.3～1mmの黒白色砂粒含
22	6	13	ASD 08	Aトレンチ・（南北ラインの南側）	弥生土器	広口壺	17.1	－	－	6.0	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	口唇：刻目文、頸：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	○	○	5	Ⅱ～Ⅲ	0.3～4mmの黒白色砂粒
22	16	14	ASD 08	Aトレンチ・中～下層（東西ライン）	弥生土器	広口壺	－	－	－	－	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	明褐灰	明褐灰	○	○	15	Ⅴ～Ⅵ	0.3～0.5mmの黒白色砂粒含
22	17	15	ASD 08	Aトレンチ・中～下層（東西ライン）	弥生土器	広口壺	15.8	－	－	4.8	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	口唇：刻目文・ﾖｺﾅﾃﾞ	灰黄	灰黄	○	○	10	Ⅵ-2	0.3～3mmの白色砂粒多含
22	21	16	ASD 08	Aトレンチ・下層	弥生土器	広口壺（有段口縁）	15.1	－	－	4.0	ﾖｺﾅﾃﾞ	沈線・ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	25	Ⅵ	0.3～4mmの灰褐色白色砂粒含
22	19	17	ASD 08	Aトレンチ・上層・砂層	弥生土器	広口壺	19.7	－	－	7.0	ﾏﾒﾂ	凹線文・ﾏﾒﾂ	橙	橙	○	○	5	Ⅳ？	0.3～1mm、表面摩耗すすむ
22	24	18	ASD 08	Aトレンチ・（南北ラインの南側）	弥生土器	甕	15.7	－	－	12.4	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	35	Ⅵ-1	0.3～3mmの褐灰色白色暗赤褐色砂粒含
22	25	19	ASD 08	－	弥生土器	甕	23.4	－	－	6.3	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	黒	黒	○	○	5	Ⅵ-0	0.3～1mmの白色砂粒含
22	23	20	ASD 08	Aトレンチ・上層・砂層	弥生土器	甕	29.6	－	－	2.8	不明	凹線文・貼付突帯・刻目文	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ～Ⅳ	0.5～4mmの白色砂粒少含
22	22	21	ASD 08	Aトレンチ・中～下層（東西ライン）	弥生土器	甕	34.8	－	－	11.3	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅲ～Ⅳ-1	0.3～0.5mmの白褐灰色砂粒
22	5	22	ASD 08	Aトレンチ・上層・砂層	弥生土器	器台	14.4	－	－	10.3	ﾍﾗﾐｶﾞｷ、楕円孔3コ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ、円孔5コ	灰白	灰白	○	○	50	Ⅴ	0.3～2mmの白黒色砂粒含
22	4	23	ASD 08	Aトレンチ・東部	弥生土器	鉢（台付）	28.1	－	－	6.8	ﾏﾒﾂ	凹線・櫛描波状文・直線文・扇状文	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ-Ⅳ	0.5～3mmの黒白灰色砂粒多含
22	3	24	ASD 08	Aトレンチ・中～下層（東西ライン）	弥生土器	器台	7.25	－	－	6.1	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ・ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	－	85	下田Ⅱ、Ⅵ	0.5～1mmの白色砂粒多含、脚裾部に2対の穿孔あり（φ7mm推定）
22	2	25	ASD 08	Aトレンチ・中～下層（東西ライン）	弥生土器	小形丸底壺	－	－	－	7.3	ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	70	下田Ⅲ、Ⅵ	0.3～1mmの黒白色砂粒含、ほぼ丸底
22	1	26	ASD 08	Aトレンチ・中～下層（東西ライン）	弥生土器	弥生形甕	7.8	－	3.2	6.9	ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	95	下田Ⅱ～ⅢⅩ、Ⅵ	0.3～2mmの黒白色砂粒含
22	20-1	27	BSD 04	Bトレンチ第2面・南壁埋土	弥生土器	蓋	16.5	－	－	4.3	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	40	Ⅳ？	0.3～3mmの黒白灰褐多含、裾部に2個1組の穿孔あり（1対か？）φ4mm
22	29	28	BSD 04	Bトレンチ第2面・南壁埋土	弥生土器	鉢	19.4	－	－	7.3	ﾍﾗﾐｶﾞｷ？	凹線文	灰白	灰白	○	○	10	Ⅳ	0.1～0.5mmの灰褐色砂粒含、口縁付近に2個1組の穿孔ありφ4.5mm
22	21	29	BSD 04	Bトレンチ南側溝・埋土ⅩⅤ層・褐色～暗褐色土	弥生土器	短頸壺or水差(生駒西麓産？)	6.75	－	－	11.3	ﾍﾗﾐｶﾞｷ・ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ？	ｵﾘｰﾌﾞ黒	ｵﾘｰﾌﾞ黒	○	○	20	Ⅲ？	0.3～1mmの白色砂粒含
22	20-2	30	BSD 04	Bトレンチ第2面	弥生土器	水差	8.75	－	－	5.9	ﾅﾃﾞ・輪積痕	ﾊｹﾒ・櫛描波状文	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ～Ⅲ-2	0.3～2mmの白灰褐色砂粒含
22	15	31	BSD 04	Bトレンチ第2面・下層	弥生土器	広口壺	14.1	－	－	8.4	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ-2	0.3～1mmの白色砂粒、5mm程度の小石も含
22	12	32	BSD 04	Bトレンチ第2面・南壁埋土	弥生土器	広口壺	13.8	－	－	8.2	ﾏﾒﾂ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅳ-1	0.3～4mmの白黒砂粒含
22	14	33	BSD 04	Bトレンチ第2面・南壁埋土	弥生土器	広口壺	15.7	－	－	4.8	ﾏﾒﾂ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ-1	0.3～3mmの白灰褐色砂粒含
22	17	34	BSD 04	Bトレンチ第2面・下層	弥生土器	広口壺	20.6	－	－	6.2	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3～3mm、5～6mmの白色砂粒多含
22	11	35	BSD 04	Bトレンチ第2面・下層	弥生土器	広口壺	21.1	－	－	7.8	－	－	灰白	灰白	○	○	－	－	0.3～4mmの白灰褐色砂粒含、表面摩耗著しい
22	9	36	BSD 04	Bトレンチ第2面・下層	弥生土器	広口壺	25.3	－	－	6.8	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅳ	0.3～3mmの白黒灰褐色砂粒含
22	8	37	BSD 04	Bトレンチ第2面・中層・暗褐色土	弥生土器	広口壺	21.7	－	－	6.0	ﾏﾒﾂ・扇状文	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3～5mmの白灰褐色砂粒含、表面の摩耗が進み定かではないが口縁の反り上側に列点文が施されている様子

22	4	38	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	広口壺	25.2	－	－	6.9	ﾏﾒﾂ	櫛描波状文・ﾖｺﾅﾃﾞ	明褐灰	明褐灰	○	○	5	Ⅳ	0.3～4mmの灰褐色砂粒多含
22	18	39	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ南側溝・埋土ⅩⅤ層・褐色～暗褐色土	弥生土器	広口壺	18.1	－	－	5.2	ﾏﾒﾂ	凹線文(3条)・櫛描状文、直線文	灰白	灰白	○	○	30	Ⅳ	0.3～2mmの黒白砂粒含
23	13	40	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	広口壺	14.6	－	－	3.8	ﾏﾒﾂ・赤彩？	ﾏﾒﾂ・赤彩？	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ-1	0.3～4mmの白灰褐色砂粒含
23	5	41	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・暗褐色土	弥生土器	広口壺	18.8	－	－	4.2	ﾖｺﾅﾃﾞ	口唇：凹線文(4条)・ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅳ	0.3～2mmの灰褐色砂粒含、ｸｻﾚ礫あり、中心部は黒色層
23	6	42	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・暗褐色土	弥生土器	広口壺	21.8	－	－	4.9	ﾏﾒﾂ	口唇：凹線文(3条)・ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3～2mmの黒白色砂粒含
23	46	43	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・中層・暗褐色土	弥生土器	広口壺	24.0	－	－	6.0	ﾏﾒﾂ	凹線文(2条)＋ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅳ	0.3～1mmの黒白砂粒含
23	10	44	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	広口壺	21.7	－	－	8.9	ﾏﾒﾂ	口唇：凹線文(3条)、頸：櫛描直線文	灰白	灰白	○	○	15	Ⅳ-1・2	0.3～3mmの白灰褐色砂粒多含
23	7	45	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	広口壺	24.0	－	－	6.8	ﾏﾒﾂ・櫛描波状文	口唇：凹線文(5条)・廉状文？・円形浮文、頸：ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾏﾒﾂ・櫛描平行文	灰白～橙	灰白～橙	○	○	10	Ⅳ	0.3～2mmの白灰褐色砂粒含、口縁端部にφ1.2cmの貼付円形浮文あり（残存1ｺ）
23	2	46	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・中層・暗褐色土	弥生土器	広口壺	23.2	－	－	17.9	ﾏﾒﾂ	口唇：凹線文(4条)・櫛描平行文	灰白	灰白	○	○	20	Ⅳ-1・2	0.3～5mmの白色、灰褐色、黒色砂粒多含、ｸｻﾚ礫あり
23	16	47	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	広口壺	13.6	－	－	4.9	ﾏﾒﾂ・扇状文	口唇：凹線文(4条)・円形浮文・ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅳ-2	0.3～2mmの黒白色砂粒含、口縁端面に貼付円形浮文円周上に16ヶ？φ8mm前後
23	45	48	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	短頸壺	8.9	－	5.3	32.8	ﾏﾒﾂ	口縁部：円形浮文・凹線文(3条)・櫛描直線文・凹線文(3条)、体：複合櫛描文(平・波・平・波)	灰白	灰白	○	○	90	Ⅳ	0.5～3mmの白灰褐色砂粒含、ｸｻﾚ礫あり、φ1～1.3cmの円形浮文口径周囲に5ヶ施文
23	3	49	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	広口壺	25.3	－	－	12.3	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ・貼付突帯状・押圧刻目	灰白	灰白	○	○	15	Ⅳ-2	0.5～1mmの白色砂粒含、4mm程度の砂粒少含
23	1	50	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	有段口縁壺	25.3	－	－	15.5	ﾏﾒﾂ	凹線文(3条)・ﾊｹﾒ・貼付突帯	橙～灰白	橙～灰白	○	○	15	Ⅳ	0.3～5mmの白色、褐灰色ｸｻﾚ礫含
23	35	51	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	甕	15.7	－	－	6.4	ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾏﾒﾂ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ-1	0.2～1mmの白色砂粒、ｸｻﾚ礫少含
23	37	52	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	甕	15.9	－	－	5.5	ﾍﾗﾅﾃﾞ？	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白～黒褐	灰白～黒褐	○	○	5	Ⅳ-1	0.3～0.5mm
23	34	53	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	甕	13.1	－	－	6.4	ﾏﾒﾂ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ？→ﾖｺﾅﾃﾞ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	○	○	10	Ⅳ	0.5～2mmの白色砂粒含、口唇～体上媒付着
23	32	54	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	甕	15.8	－	－	9.3	ﾅﾃﾞ・ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅲ～Ⅳ-2	0.3mmの白黒褐色砂粒含密
23	36	55	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・暗褐色土	弥生土器	甕	17.1	－	－	7.3	ﾖｺﾅﾃﾞ→ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅳ	0.3～2mmの白灰褐色砂粒含、外面媒付着
23	38	56	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	甕	21.2	－	－	7.8	ﾖｺﾅﾃﾞ→ﾊｹﾒ（ﾍﾗﾅﾃﾞ?）	ﾍﾗﾐｶﾞｷ？→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅳ-1・2	0.2～0.5mmの灰褐色砂粒含
23	31	57	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	甕	18.2	－	－	9.3	ﾏﾒﾂ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ？→ﾖｺﾅﾃﾞ？	灰白	灰白	○	○	25	Ⅲ～Ⅳ	0.3～2mmの白灰褐色砂粒含、くの字甕
23	33	58	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	甕	19.0	－	－	10.1	ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ-1	0.3～1mmの白灰褐色砂粒含、一部媒付着
23	39	59	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	甕	－	－	－	－	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	◎	○	15	Ⅳ	0.3～2mmの白灰褐色砂粒含
23	44	60	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・南壁埋土	弥生土器	甕	31.0	－	－	17.9	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	40	Ⅳ	0.5～2mmの白灰褐色砂粒含
23	40	61	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	甕	34.1	－	－	9.5	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	－	－	○	○	10	Ⅳ-1・2	
23	41	62	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	甕	34.0	－	－	4.5	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅳ-1・2	0.5～1.5mmの白灰褐色砂粒含
23	42	63	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	甕	37.0	－	－	7.5	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅳ-1・2	0.5～2mmの白灰褐色砂粒含
23	22	64	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	高坏	－	－	－	10.9	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	55	Ⅳ-2	0.3～1mmの白褐色砂粒含
23	23	65	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	高坏	－	－	20.0	12.4	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	凹線文・ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	55	Ⅳ	0.3～2mmの黒白色砂粒含
23	24	66	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・南壁埋土	弥生土器	高坏（脚部）	－	－	15.4	4.8	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	30	Ⅳ	0.3～1mmの黒白砂粒含
23	43	67	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	器台	－	－	15.7	8.3	ﾊｹﾒ	凹線文(9条)、下端：ﾖｺﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅳ-2・3	0.3～1mmの白灰褐色砂粒含、2～5mmの黒褐色小石、φ6.2cm?の円孔裾部周囲に6～7個（推定）あり
23	27	68	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	鉢	26.8	－	－	5.2	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	凹線文	灰白～橙	灰白～橙	○	○	5	Ⅳ	0.3～1mmの黒白色砂粒含
23	28	69	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・南壁埋土	弥生土器	鉢	35.8	－	－	10.1	ﾍﾗﾐｶﾞｷ？	廉状文＋凹線文＋櫛描波状文＋平行文＋凹線文(3条)	黒	灰白	○	○	5	Ⅳ-2	0.3～2mmの白灰褐色砂粒含
23	30	70	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	無頸壺 or 鉢	35.6	－	－	7.9	ﾊｹﾒ？	凹線文(3条)・複合櫛描文(波・平・波)凹線文(1条)	灰白	灰白	○	○	10	Ⅳ	0.3～1mmの灰褐色褐色白色砂粒含
24	25	71	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・暗褐色土	弥生土器	台形土器		－	17.0	13.8	ﾏﾒﾂ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	15	不明	表面：オリーブ黒色
24	26	72	BSD 04	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・中層・暗褐色土	弥生土器	台形土器	20.0	－	－	5.2	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	灰白～赤橙	灰白～赤橙	○	○	20	不明	0.3～5mmの白褐色砂粒多
24	7	73	BSD 06	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	広口壺（生駒西麓産）	15.1	－	－	4.7	ﾖｺﾊｹ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ	0.3～1mmの黒白色砂粒含
24	4	74	BSD 06	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・ｱｾﾞ	弥生土器	広口壺	20.3	－	－	10.4	口縁部：櫛描波状文、ﾊｹﾒ	口唇部：凹線文、頸～体上：複合櫛描文（直＋波＋直）	灰白	灰白	○	○	25	Ⅳ	0.3～2mmの白色砂粒含
24	6	75	BSD 06	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	広口壺	19.3	－	－	6.0	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ、口唇：廉状文	灰黄褐	灰黄褐	○	○	10	Ⅱ	0.5～5mmの白色砂粒、0.5～1mmの黒色砂粒含、表面摩耗著しく調整不明
24	14	76	BSD 06	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・ｱｾﾞ	弥生土器	甕	14.9	－	－	4.7	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅲ～Ⅳ	0.3mmの白色砂粒少含
24	13	77	BSD 06	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・ｱｾﾞ	弥生土器	甕	14.6	－	－	7.8	ﾏﾒﾂ	ﾀﾀｷ？	灰白	灰白	○	○	15	Ⅴ～Ⅵ？	0.3～1.5mmの白褐灰色砂粒含、表面摩耗著しい

24	8	78	BSD 06	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	甕	25.2	－	－	5.0	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ～Ⅳ	0.1～1mmの褐灰色砂粒多含
24	10	79	BSD 06	Cﾄﾚﾝﾁ・包含層・黒色土・XV層	弥生土器	甕	18.6	－	－	6.7	ﾖｺﾊｹ・(ﾏﾒﾂ)	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ？	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.5～2mmの褐灰色白色砂粒多含
24	5	80	BSD 06	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	甕	20.6	－	－	8.7	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	25	Ⅵ～庄内式	0.3～1mmの白色砂粒含、非常に薄手
24	9	81	BSD 06	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	甕	22.4	－	－	5.4	ﾏﾒﾂ	ﾖｺﾅﾃﾞ（ﾏﾒﾂ）	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	2mm程度の褐灰色砂粒ﾁｬｰﾄ含
24	11	82	BSD 06	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・ｱｾﾞ	弥生土器	甕	30.8	－	－	15.4	ﾖｺﾅﾃﾞ（ﾏﾒﾂ）	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅳ	0.1～1mmの黒褐灰色砂粒多含
24	12	83	BSD 06	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	甕	36.7	－	－	16.8	ﾏﾒﾂ	ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅲ～Ⅳ	0.1～2mmの白黒色砂粒含
24	3	84	BSD 06	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・ｱｾﾞ	弥生土器	高坏	20.9	－	－	5.8	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	凹線文（5条）・ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ-1	0.3～1mmの白黒赤褐色砂粒
24	2	85	BSD 06	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	高坏	－	－	14.0	15.4	ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	45	Ⅲ？	0.5～1.5mmの黒白色砂粒含、壁中心橙色
24	1	86	BSD 06	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・ｱｾﾞ	弥生土器	鉢	21.2	－	－	8.7	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ・ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	90	Ⅲ-1	0.5～2mmの白黒褐色砂粒含
24	4	87	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色砂層	弥生土器	短頸壺	12.2	－	－	10.1	ﾅﾃﾞ	凹線文4条・ﾍﾗ圧痕平行文←ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅳ-3・4	0.5mmの黒色砂粒
24	1	88	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・第3面・ｱｾﾞ	弥生土器	長頸壺（or 水差）	11.1	－	－	11.8～	ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	凹線文＋くし描波状文＋羽状文＋くし描平行文＋扇市文＋凹線文	灰白	灰白	◎	○	15	Ⅳ-2・3	0.5mmの白黒色砂粒含
24	2	89	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	長頸壺（or 水差）	10.7	－	－	11.6	ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→櫛描平行文5段	褐灰	灰白	○	○	15	Ⅳ-2・3	0.5～1mmの白黒色砂粒含
24	95	90	BSD 07	上層・黒褐色土	弥生土器	長頸壺	12.7	－	－	5.0	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口唇：刻目、口縁：貼付突帯＋刻目、ﾖｺﾅﾃﾞ、櫛描直線文	褐灰	褐灰	○	○	5	Ⅲ	0.3～1mmの白色砂粒含
24	6	91	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・黒褐色土	弥生土器	長頸壺	9.4	－	－	8.0	口：ﾊｹﾒ	口：ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅴ	0.5～1mmの白黒色砂粒、ｸｻﾚ礫含、中部：赤褐色
24	101	92	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層・褐灰色粗砂層	弥生土器	水差	11.7	－	－	5.7		ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、貼付突帯＋刻目文の2段	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ～Ⅲ	0.3～1mmの黒白色砂粒含
24	3	93	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・第2面	弥生土器	水差し	(9.3)	－	－	7.6～	ﾅﾃﾞ	櫛描波状文4段	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.5～1mmの黒色砂粒多
24	114	94	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・褐灰色砂層	弥生土器	蓋	－	－	11.4	3.3	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ	浅黄橙	浅黄橙	○	○	99	Ⅱ～Ⅲ？	0.3～2mmの黒褐色砂粒含
24	115	95	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ第3面・ｱｾﾞ	弥生土器	蓋	－	－	－	2.5	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅱ～Ⅲ？	0.3～1mmの白暗褐色砂粒含。つまみ部径：1.6cm
24	119	96	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・黒褐色土	弥生土器	無頸壺 or 鉢	47.6	－	－	7.5	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	複合櫛描文	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ～Ⅳ	0.3～2mmの黒白色砂粒含
24	96	97	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ第3面	弥生土器	無頸壺 or 鉢	27.6	－	－	7.4	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	列点文・凹線文（6条）・櫛描直線文・格子状文	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3～1mmの黒白色砂粒含
24	41	98	BSD 07	－	弥生土器	広口壺	14.1	－	－	6.4	ﾖｺﾅﾃﾞ、櫛描扇状文	口縁：櫛描波状文　頸：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅲ-2～Ⅳ-1	0.3～0.5mmの白・黒色砂粒含、口縁部に穿孔2ヶ残存、貫通孔2ヶ所4対
24	28	99	BSD 08	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	13.2	－	－	4.6	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、櫛描扇状文	口唇：櫛描波状文、頸：幅広ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ～Ⅲ	0.3～2mmの白黒色砂粒含。外面のみ朱彩（ﾍﾞﾝｶﾞﾗ）
24	87	100	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色粗砂層	弥生土器	広口壺	28.9	－	－	8.2	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾅﾃﾞ	口唇：刻目、口縁：櫛描平行文（4段）、ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ-3～Ⅲ-1	0.3～1mmの黒白色砂粒含
24	32	101	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・下層	弥生土器	広口壺	21.4	－	－	6.1	ﾖｺﾅﾃﾞ→櫛描波状文	口唇：櫛描波状文　頸：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、櫛描平行文	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ	0.5～1mmの白色砂粒含
24	23	102	BSD 07	中層・褐色粗砂層	弥生土器	広口壺	17.7	－	－	6.3	ﾊｹﾒ→櫛描	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ-2～Ⅲ-1	0.3～1mmの黒色砂粒含
24	31	103	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色粗砂層	弥生土器	広口壺	19.4	－	－	10.6	ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾍﾗ描沈線文2段	灰白	灰白	○	○	25	Ⅰ-3・4	0.3～2mmの黒色砂粒多含
24	7	104	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	広口壺	(22.2)	－	－	4.8～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	浅黄橙	浅黄橙	○	○	7-10	Ⅱ～Ⅲ-1	0.3～1mmの黒色砂粒
24	15	105	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・第3面・ｱｾﾞ	弥生土器	広口壺	21.7	－	－	6.7	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	7-10	Ⅱ	0.3～0.5mmの黒色砂粒含
24	16	106	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色砂層	弥生土器	広口壺	12.3	－	－	11.6	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、頸：櫛描平行文	灰白	灰白	○	○	15	Ⅱ	0.3～2mmの黒白灰褐色砂粒含
24	34	107	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・褐灰色粗砂層	弥生土器	広口壺	15.3	－	－	6.6	櫛描扇状文→ﾖｺﾅﾃﾞ	口唇：櫛描波状文　頸：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、櫛描平行文	にぶい黄橙	にぶい黄橙	○	○	5	Ⅲ	0.3～1mmの白・黒色砂粒含
24	57	108	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	広口壺	13.8	－	－	6.8	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ、櫛描波状文	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.3～1mmの白・黒色砂粒含
24	35	109	BSD 07	中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	広口壺	14.7	－	－	19.3	口縁：ﾍﾗﾅﾃﾞ→ﾖｺﾅﾃﾞ？　体：ﾅﾃﾞ	口唇：刻目　頸：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ　体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	65	Ⅱ-1・2	0.3～1mmの白・黒色砂粒含
24	19	110	BSD 07	中層・褐色砂層	弥生土器	広口壺	12.5	－	－	7.3	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅳ-1・2	0.5～1mmの白・褐色砂粒含
24	9	111	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層	弥生土器	広口壺	18.2	－	－	5.5	ﾊｹﾒ？	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	7-10	Ⅲ-2	0.3mmの黒色砂粒小含
25	11	112	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・第3面・ｱｾﾞ	弥生土器	広口壺	10.4	－	－	12.3	口：ﾖｺﾅﾃﾞ　体：ﾊｹﾒ→ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ　体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ？	黄灰	黄灰	○	○	15	Ⅱ-3	0.5～2mmの白色砂粒含
25	13	113	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・黒褐色土	弥生土器	広口壺	19.3	－	－	4.4	ﾏﾒﾂ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	黒	浅黄橙	○	○	5	Ⅱ～Ⅲ	0.5～2mmの白色砂粒含
25	33	114	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	広口壺	20.0	－	－	10.0	櫛描波状文、ﾅﾃﾞ	口唇：刺突文　頸～体上：ﾊｹﾒ→櫛描波状文・平行文	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ-1・2	0.5～2mmの白色砂粒含
25	24	115	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・第3面・ｱｾﾞ	弥生土器	広口壺	24.5	－	－	6.6	ﾊｹﾒ	口唇：櫛描波状文　頸：櫛描平行文←ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5-7	Ⅲ	0.2～0.5mm
25	17	116	BSD 07	中層・褐色粗砂層	弥生土器	広口壺	30.2	－	－	7.0	ﾊｹﾒ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	7	Ⅱ	0.3～1mmの黒色砂粒含
25	40	117	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・黒褐色土	弥生土器	広口壺	28.4	－	－	5.0	(ﾏﾒﾂ)	(ﾏﾒﾂ)、口唇：櫛描波状文・円形浮文	灰白	灰白	○	○	5-7	Ⅳ-1	0.5～4mmの黒白色砂粒多

25	83	118	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色砂層	弥生土器	広口壺	17.5	－	－	4.8	ﾊｹﾒ	口唇･口縁部　櫛描波状文	－	－	－	－	5	Ⅱ～Ⅲ	
25	22	119	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層･褐灰色粗砂層	弥生土器	広口壺	17.8	－	－	6.4	ﾍﾗﾅﾃﾞ？	口唇：波状文　頸：櫛描平行文	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ	0.3～1mmの黒･褐灰色砂粒含
25	27	120	BSD 08	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	広口壺	17.3	－	－	8.8	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	口唇：櫛描波状文→刻目、頸：櫛描平行文	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ-2	0.5～1mmの白黒色砂粒含
25	10	121	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・下層	弥生土器	広口壺	20.1	－	－	5.3	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ-2～Ⅲ-1	0.5mmの白黒色砂粒
25	8	122	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・第3面･アゼ	弥生土器	広口壺	23.8	－	－	5.0	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ	0.5mmの黒色砂粒含
25	20	123	BSD 07	中層･褐色粗砂層	弥生土器	広口壺	14.8	－	－	5.9	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口唇：凹線文　頸：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3～0.5mmの黒色砂粒含
25	12	124	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・下層	弥生土器	広口壺	14.3	－	－	8.5	口：ﾖｺﾅﾃﾞ 体：ﾊｹﾒ	口凹線文　体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ、頸：櫛描平行文	灰白	灰白	○	○	20	Ⅳ-2・3	0.3mmの黒白色砂粒含
25	25	125	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・第1面･下層包含層	弥生土器	広口壺	21.4	－	－	4.6	ﾖｺﾅﾃﾞ→櫛描波状文	口唇：凹線文（3条）　頸：ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3～0.5mmの黒色砂粒含
25	36	126	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層･褐灰色砂層	弥生土器	広口壺	19.6	－	－	4.4	扇状文、ﾖｺﾅﾃﾞ	口唇：凹線文（3条）　頸：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ-1	0.5～1mmの黒･白色砂粒含
25	26	127	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層･褐灰色粗砂層	弥生土器	広口壺	24.1	－	－	5.3	ﾊｹﾒ→櫛描波状文	口唇：凹線文（3条）　頸：櫛描平行文	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.5～1mmの白･黒色砂粒含
25	29	128	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層･褐色粗砂層	弥生土器	広口壺	23.2	－	－	2.8	ﾖｺﾅﾃﾞ、櫛描波状文	口唇：凹線文（4条）　頸：ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ-2	0.3～0.5mmの黒色砂粒含
25	21	129	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層･褐灰色粗砂層	弥生土器	広口壺	14.9	－	－	5.2	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口唇：円浮＋凹線　頸：ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅳ（-4）	0.3～1mmの黒色砂粒含
25	14	130	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・上層･黒褐色土	弥生土器	広口壺	19.0	－	－	10.1	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅲ-2～（Ⅳ-1）	0.3～1mmの白黒褐色砂粒
25	80	131	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	広口壺	26.4	－	－	6.3	口縁：矢羽根状・列点文・ﾍﾗﾐｶﾞｷ・凹線（6条）＋棒状浮文	口縁：凹線文・棒状浮文・ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅳ-2	0.3～1mmの黒灰褐色砂粒多、口縁は屈曲して水平に開いたのち垂下する、外端面には凹線6条、11本1組の棒状浮文が施される（口縁円周5組か？）
25	84	132	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色砂層	弥生土器	有段口縁壺	18.0	－	－	10.9	ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅳ	0.3～1mmの黒･白･褐色砂粒含
25	89	133	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	広口壺	21.9	－	－	10.9	扇状列点文・櫛描波状文・ﾊｹﾒ	凹線文（5～6条）・ﾊｹﾒ・貼付突帯（帯状）	灰白～赤	灰白～赤	○	○	15	Ⅳ	0.3～1mmの白褐色砂粒含
25	69	134	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色粗砂層	弥生土器	広口壺	30.6	－	－	12.0	口：扇状文・ﾖｺﾅﾃﾞ	口：凹線文（6条）＋円形浮文（8個）、頸～体上：貼付突帯（刻目）・ﾍﾗﾅﾃﾞ・ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	35	Ⅳ	0.3～1mmの黒色砂粒多含
25	39	135	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層･褐色砂層	弥生土器	広口壺	25.8	－	－	10.0	ﾊｹﾒ（ﾏﾒﾂ）	ﾏﾒﾂ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	○	○	10	Ⅴ-0	0.5～3mmの黒･白色砂粒含、表面著しく調整不明、生駒西麓産
25	79	136	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・上層･黒褐色土	弥生土器	広口壺	24.2	－	－	8.8	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ？	灰白	灰白	○	○	10	Ⅲ-1	0.3～1mmの灰褐色砂粒
25	37	137	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層･褐灰色砂層	弥生土器	広口壺	23.4	－	－	9.3	ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾏﾒﾂ	ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅲ？Ⅴ	0.5～2mmの黒･白色砂粒含、生駒西麓産模造品
25	85	138	BSD 07	－	弥生土器	広口壺	29.8	－	－	10.3	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅱ～Ⅲ	0.5～1mmの黒色砂粒多
25	78	139	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色粗砂層	弥生土器	有段口縁壺	－	－	－	－	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ　頸：ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅲ-1	0.5～3mmの黒･白色砂粒
25	81	140	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	有段口縁壺	34.6	－	－	6.8	ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁：凹線文（3条）･ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅳ-2・3	0.3～1mmの白色砂粒含
25	82	141	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色砂層	弥生土器	有段口縁壺	36.8	－	－	7.3	ﾖｺﾅﾃﾞ	凹線文＋円形浮文	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ-2・3	0.3～0.5mmの白色砂粒含
25	55	142	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	甕	14.9	－	－	5.0	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	浅黄橙	浅黄橙	○	○	5	Ⅱ	0.3～1mmの白･黒砂粒
25	50	143	BSD 07	中層・褐色粗砂層	弥生土器	甕	10.4	－	－	5.9	ﾍﾗﾅﾃﾞ、ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	浅黄橙	浅黄橙	○	○	20	Ⅱ	0.3～0.5mmの白･黒砂粒含
25	59	144	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・下層	弥生土器	甕	14.6	－	－	4.9	巾広のﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	○	○	5	Ⅲ-1	0.3～0.5mmの白色砂粒少含
25	44	145	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・下層	弥生土器	甕	13.3	－	－	4.7	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3mmの白色砂粒少、表面すす付着
25	60	146	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・第3面･アゼ	弥生土器	甕	14.2	－	－	5.0	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	褐灰	褐灰	○	○	5	Ⅲ～Ⅳ	0.3mmの白色砂粒少含
25	47	147	BSD 07	－	弥生土器	甕	15.4	－	－	5.6	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰黄褐	灰黄褐	○	○	5	Ⅲ～Ⅳ	0.5～2mmの白･褐色砂粒含
25	45	148	BSD 07	中層･褐灰色粗砂層	弥生土器	甕	15.1	－	－	6.6	ﾅﾃﾞ→ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰黄	灰黄	○	○	10	Ⅲ-2	0.5～1mmの白色砂粒含、すす付着
25	56	149	BSD 07	中層・褐色砂層	弥生土器	甕	14.7	－	－	7.0	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ～Ⅳ	0.3～1mmの黒色砂粒含
25	58	150	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色粗砂層	弥生土器	甕	16.2	－	－	4.5	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾅﾃﾞ、ﾍﾗﾐｶﾞｷ？	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ	0.3～2mmの白･黒砂粒含
25	43	151	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・黒褐色土	弥生土器	甕	16.7	－	－	3.8	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3～1mmの黒色砂粒含
25	46	152	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・第3面･アゼ	弥生土器	甕	15.4	－	－	7.4	ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾅﾃﾞ	列点文･ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	明褐灰	明褐灰	○	○	10	Ⅳ	0.5～1mmの黒･白色砂粒含
25	42	153	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・褐色砂層	弥生土器	甕	14.6	－	－	5.4	ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾍﾗｹｽﾞﾘ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3～2mmの黒･白色砂粒含
26	30	154	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層･黒褐色土	弥生土器	甕	22.2	－	－	8.5	ﾊｹﾒ	口唇：刻目　頸～体：ﾊｹﾒ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	○	○	10	Ⅱ	0.3～1mmの白･褐色砂粒含
26	51	155	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色砂層	弥生土器	甕	16.0	－	－	3.7	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	○	○	5	Ⅲ	0.5～3mmの白･黒砂粒含
26	49	156	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	甕	18.4	－	－	5.6	ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ、刺突？	にぶい灰黄褐	にぶい灰黄褐	○	○	5	Ⅱ～Ⅲ	0.3～1mmの白色砂粒
26	53	157	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	甕	19.2	－	－	7.8	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅱ-2・3	0.5～2mmの黒砂粒含

26	54	158	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	甕	17.6	－	－	5.7	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ？	0.5～2mmの白･黒･褐色砂粒含
26	48	159	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	甕	12.7	－	－	7.1	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ-2～Ⅳ-2	0.3～0.5mmの白･黒･褐色砂粒含
26	63	160	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・第3面･アゼ	弥生土器	甕	27.5	－	－	6.6	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅲ	0.3～2mmの白黒色砂粒含
26	66	161	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色砂層	弥生土器	甕	15.3	－	－	6.8	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3～1mmの白色砂粒
26	65	162	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色粗砂層	弥生土器	甕	30.0	－	－	6.4	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3～0.5mmの黒色砂粒含
26	120	163	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色粗砂層	弥生土器	甕	18.1	－	－	10.6	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅲ～Ⅳ	0.3～1mmの黒白灰褐色砂粒含
26	71	164	BSD 07	中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	甕	15.5	－	－	8.6	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	－	－	○	○	5	Ⅳ	0.3～0.5mmの黒色砂粒含
26	62	165	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色粗砂層	弥生土器	甕	37.6	－	－	7.5	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ-2	0.3～1mmの白･灰色砂粒、3～5mmの白・灰色小石
26	70	166	BSD 07	中層・褐灰色砂層	弥生土器	甕	15.5	－	－	6.3	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3～0.5mmの黒褐砂粒多含
26	74	167	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色粗砂層	弥生土器	甕	31.6	－	－	6.6	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	－	－	○	○	5	Ⅳ	0.3～0.5mmの黒色砂粒含
26	61	168	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・黒褐色土	弥生土器	甕	37.2	－	－	6.1	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3～0.5mmの白･黒褐砂粒含
26	67	169	BSD 07	中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	甕	37.6	－	－	4.7	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3～0.5mmの白･黒色砂粒含
26	68	170	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色粗砂層	弥生土器	甕	37.8	－	－	9.1	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ･ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ	0.3～1mmの白･黒色砂粒含
26	72	171	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色砂層	弥生土器	甕	31.6	－	－	9.7	幅広のﾊｹﾒ	口唇：刻目　頸～体上：ﾊｹﾒ（幅広）→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅲ	0.3～1mmの黒･白褐色砂粒含
26	73	172	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・第3面･アゼ	弥生土器	甕	31.3	－	－	7.6	ﾅﾃﾞ→ﾖｺﾅﾃﾞ	口唇：刻目　頸～体上：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ～Ⅳ	0.5mmの白･黒色砂粒含
26	64	173	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・第3面･アゼ	弥生土器	甕	34.0	－	－	6.9	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	口唇：刻目　頸～：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5-7	Ⅲ～Ⅳ	0.3～1mmの白･黒色砂粒含
26	86	174	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色粗砂層	弥生土器	甕	39.6	－	－	6.7	ﾊｹﾒ	口唇：刻目　口縁：ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ-3	0.5～2mmの黒･白色砂粒含
26	76	175	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・第2面	弥生土器	甕	34.0	－	－	13.2	口：ﾊｹﾒ　体：ﾅﾃﾞﾂｹ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅱ	0.5mm程度の黒色砂粒含
26	38	176	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・下層	弥生土器	甕	36.0	－	－	6.5	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ-2・3	0.5～1mmの黒･白色砂粒
26	75	177	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色粗砂層	弥生土器	甕	39.8	－	－	11.9	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	淡黄	淡黄	○	○	10	Ⅱ	0.5～1.5mmの白･黒色砂粒多含
26	109	178	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・上層orXV層	弥生土器	高坏	14.9	－	－	11.5	ﾏﾒﾂ	ﾊｹﾒ	明赤灰～明赤褐	明赤灰～明赤褐	○	○	85	Ⅴ	0.3～2mmの白色砂粒
26	110	179	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・黒褐色土	弥生土器	高坏（脚部）	－	－	19.0	10.2	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	40	Ⅵ-1	0.3～2mmの白、ﾁｬｰﾄ灰褐色砂粒多
26	111	180	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・黒褐色土	弥生土器	高坏	－	－	19.1	8.1	ﾏﾒﾂ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	25	Ⅵ-1	0.3～2mmの白ﾁｬｰﾄ、灰褐色砂粒多
26	98	181	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・3面･アゼ	弥生土器	高坏（坏部）	22.7	－	－	5.9	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口縁：凹線文（2条）･ﾅﾃﾞ・ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅳ	0.5～1.5mmの白色砂粒含
26	103	182	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	高坏（脚部）	－	－	18.2	7.3	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ・媒付着（多量）蓋？	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	黄灰	黄灰	○	○	10	Ⅱ～Ⅲ	0.3～1mmの白色砂粒含
26	112	183	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・黒褐色土	弥生土器	高坏	－	－	7.2	6.8	ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	50	Ⅴ	0.3～1.5mmの黒・白ﾁｬｰﾄ、砂粒含
26	107	184	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	高坏	－	－	11.7	12.6	坏部：ﾅﾃﾞ？、脚部：ﾊｹﾒ	坏部：ﾍﾗﾐｶﾞｷ、脚部：ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	70	Ⅱ-2	0.3～1.5mmの黒白色砂粒含
26	108	185	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰白粗砂層	弥生土器	高坏	－	－	9.5	11.2	坏部：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾅﾃﾞ、脚部：ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	85	Ⅱ-2～3	0.3～1mmの黒白砂粒
26	102	186	BSD 07	中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	器台	－	－	18.4	12.2	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ・凹線文（3段）・ﾖｺﾅﾃﾞ／赤彩	灰白	灰白	○	○	25	Ⅳ	0.3～1mmの黒・白色砂粒含
26	113	187	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	器台	－	－	27.5	7.4	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅳ	0.3～1mm
26	99	188	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色砂層	弥生土器	台付鉢（脚部）	－	－	15.2	5.5	ﾍﾗﾅﾃﾞ？	口縁：凹線文（2条）･ﾖｺﾅﾃﾞ・円孔（上下2列）	褐灰	褐灰	○	○	5	Ⅳ-2	0.3～1mmの白色砂粒含
26	106	189	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・黒褐色土	弥生土器	多孔鉢	－	－	2.9	3.6	ﾅﾃﾞ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅱ～Ⅳ？	0.3～1.5mmの白色砂粒含、貫通孔：13ヶ所～
26	52	190	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐色粗砂層	弥生土器	甕	15.1	－	－	6.0	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ･ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	○	○	5	Ⅳ-2	0.3～0.5mmの白･黒砂粒含
26	77	191	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰白砂層	弥生土器	鉢	13.5	－	－	4.4	ﾍﾗﾅﾃﾞ･ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	褐灰	○	○	10	Ⅱ-3	0.5～1mmの白色砂粒多
26	105	192	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	把手付椀	9.1	－	－	6.0	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	30	Ⅱ～Ⅲ？	0.3～1mmの灰褐色砂粒多含
26	18	193	BSD 07	下層・褐灰色粗砂層	弥生土器	鉢	25.6	－	－	7.6	ﾊｹﾒ？	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ？	0.5～2mmの黒･白色砂粒多
27	93	194	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・下層	弥生土器	高坏（坏部）	18.3	－	－	7.4	ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ～Ⅲ？	0.3～1mmの黒・褐色砂粒
27	92	195	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ・第3面･アゼ	弥生土器	高坏（坏部）	24.0	－	－	7.9	ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅱ～Ⅲ？	0.3～2mmの黒・褐・白色砂粒含
27	94	196	BSD 07		弥生土器	鉢or高坏（坏部）	18.1	－	－	6.9	ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰黄	灰黄	○	○	10	Ⅱ～Ⅲ	0.3～1mmの黒白色砂粒含
27	97	197	BSD 07	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層・褐灰色粗砂層	弥生土器	鉢or高坏	27.6	－	－	5.5	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	複合櫛描文（波状＋直線＋波状）	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ～Ⅳ？	0.3～1mmの白褐色砂粒含

27	91	198	BSD 07	B トレンチ・中層・褐灰色粗砂層	弥生土器	無頸壺 or 鉢	37.2	－	－	6.4	ﾅﾃﾞ？	複合櫛描文（波＋平＋波）	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ～Ⅳ	0.3～1mmの黒褐色砂粒含
27	90	199	BSD 07	B トレンチ・中層・褐灰色砂層	弥生土器	鉢	34.2	－	－	6.8	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ	0.5～1.5mmの黒白色砂粒含
27	100	200	BSD 07	B トレンチ・上層・黒褐色土	弥生土器	鉢	28.8	－	－	9.9	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅱ-3?	0.3～1mmの白色砂粒
27	104	201	BSD 07	B トレンチ・中層・褐色砂層	弥生土器	台形土器	－	－	－	4.3	ﾅﾃﾞﾂｹ	ﾖｺﾅﾃﾞ、台部：ﾊｹﾒ？	灰白	灰白	○	○	15	Ⅳ？	0.3～1mmの黒白色砂粒含、台径：21.0cm
27	118	202	BSD 07	B トレンチ・上層・黒褐色土	弥生土器	土錘	－	－	－	5.4	－	ﾅﾃﾞ	－	灰黄	○	○	100	Ⅱ～Ⅴ	0.3～1.5mmの黒白砂粒含。柱径：3.6～4cm、孔径：1.6cm
27	117	203	BSD 07	B トレンチ・中層・褐色粗砂層	弥生土器	土錘	－	2.1	－	－	－	ﾅﾃﾞ	－	灰白	○	○	99	Ⅱ～Ⅳ	0.3～1mmの灰褐色砂粒。径：4.8～5.1cm
27	116	204	BSD 07	B トレンチ第2面・下層・褐灰色砂層	弥生土器	土製円盤	－	14.0	－	－	－	周縁部：打欠き	－	灰白	○	○	100	Ⅱ～Ⅲ	0.3～1mmの黒白色砂粒含。径：5?～6?mm φ
27	3	205	BSD 08	B トレンチ第3面	弥生土器	広口壺	23.4	－	－	15.8	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	口唇：刻目、口縁部：ﾊｹﾒ・櫛描波状文	灰白	灰白	○	○	30	Ⅱ-2・3	0.3～2mmの黒白色砂粒含。壁中心：灰色
27	2	206	BSD 08	B トレンチ第3面	弥生土器	広口壺	17.9	－	－	9.8	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	30	Ⅱ～Ⅲ-1	0.3～2mmの黒白色砂粒。壁中心：灰色
27	6	207	BSD 08	B トレンチ第3面	弥生土器	広口壺	8.4	－	－	7.0	ﾏﾒﾂ	口唇部：刻目文、口縁部：ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.3～1mmの黒白色砂粒少含
27	1	208	BSD 08	B トレンチ・東側溝・黒色土	弥生土器	広口壺	24.1	－	－	4.3	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	櫛描波状文・ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ～Ⅲ	0.3～1mmの黒白褐色砂粒含
27	4	209	BSD 08	B トレンチ第3面	弥生土器	広口壺	21.5	－	－	6.2	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ-3～Ⅲ-1	0.5～2mmの黒色砂粒含。壁中心：灰色
27	5	210	BSD 08	B トレンチ第3面	弥生土器	水差	12.2	－	－	11.7	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	円形浮文・矢羽痕状刺突文・櫛描平行文（3段）・廉状文（4段）・貼付三角突帯文（3段）	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ～Ⅲ	0.3～1mmの黒白色砂粒含
27	11	211	BSD 08	B トレンチ・東側溝・黒色土	弥生土器	甕	14.3	－	－	7.3	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	25	Ⅱ～Ⅲ	0.3～2mmの灰白砂粒含。すす付着
27	14	212	BSD 08	B トレンチ第3面	弥生土器	甕	21.4	－	－	6.1	ﾊｹﾒ・ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.2～0.5mmの黒色砂粒含
27	12	213	BSD 08	B トレンチ・東側溝・黒色土	弥生土器	甕	15.2	－	－	8.7	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	橙	橙	○	○	10	Ⅲ？	0.3～1mmの白暗灰色砂粒含。壁内部：暗灰色
27	10	214	BSD 08	B トレンチ・東側溝・黒色土	弥生土器	甕	24.0	－	－	16.1	ﾊｹﾒ・ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	刻目文・ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	30	Ⅱ-3	0.2～1mmの黒褐灰色砂粒含
27	13	215	BSD 08	B トレンチ第3面	弥生土器	甕	25.6	－	－	7.4	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ・櫛描波状文	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ-3	0.3～1mmの黒白色砂粒含
27	8	216	BSD 08	B トレンチ第3面	弥生土器	高坏	21.8	－	－	7.6	平縁部：ﾊｹﾒ・ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	30	Ⅱ～Ⅲ	0.5～2mmの白色砂粒含
27	9	217	BSD 08	B トレンチ・東側溝・黒色土	弥生土器	甕	14.1	－	－	6.2	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ～Ⅳ	0.3～1mmの黒白色砂粒含
27	52	218	BSX 2	B トレンチ第2面・下層	弥生土器	無頸壺	7.0	15.1	3.1	11.4	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	90	Ⅴ-	0.3～6mmの白黒砂粒多、黒斑あり、口縁近くに対面上に2カ1対の穿孔あり、（無頸）
27	68	219	BSX 2	B トレンチ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	10.9	－	－	4.0	口：ﾊｹﾒ	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	－	－	○	○	5～7	Ⅴ-2・3	0.3～1mm、短頸
27	4	220	BSX 2	B トレンチ・下層・黒色粘土層	弥生土器	広口壺	－	－	－	8.4	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅴ-3～Ⅵ-0	0.5～2mmの褐色黒色砂粒多、口縁径12.7cm、短頸
27	59	221	BSX 2	B トレンチ	弥生土器	広口壺	－	15.5	5.2	12.6	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	40	Ⅴ-2・3	0.5～2mmの黒色砂粒多、短頸
27	60	222	BSX 2	B トレンチ	弥生土器	広口壺	11.7	17.8	－	12.4	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ→ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ・ｵｻｴ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：沈線一条、ﾊｹﾒ、突孔1カ所、長1.7cm、中0.5cm	灰白	灰白	○	○	85	Ⅴ-2	0.5～2mmの黒白色砂粒多、短頸
27	86	223	BSX 2	B トレンチ第2面	弥生土器	長頸壺	12.4	－	－	6.4	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ→ﾀﾃﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	10～15	Ⅴ-3～Ⅵ-0	1～2mm白色砂粒含、（長・A）
27	7	224	BSX 2	B トレンチ・下層・黒色粘土層	弥生土器	短頸壺	10.6	－	－	5.0	口唇：ﾖｺﾅﾃﾞ、口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	櫛描波状文5本1組2条、ﾍﾗﾐｶﾞｷ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	◎	○		Ⅴ-	0.3mm以下の白色砂粒少、（ひょうたん）
27	57	225	BSX 2	B トレンチ第2面	弥生土器	長頸壺	－	14.3	5.3	11.5	ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷ→ﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	70	Ⅴ-	0.5mmの白黒色砂粒多。下部：すす付着、（長・A）
27	8	226	BSX 2	B トレンチ第2面	弥生土器	長頸壺	14.2	－	－	16.0	ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	50	Ⅴ-3	0.3～2mm程度の白黒色砂粒多、黒斑あり、頸部下方斜方向にﾅﾃﾞ、（長・A）
27	5	227	BSX 2	B トレンチ第2面	弥生土器	長頸壺	17.2	－	－	12.5	ﾖｺﾅﾃﾞ、指ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	褐灰	褐灰	◎	○	15	Ⅴ-1～3	0.5mm以下の褐・白砂粒断面は灰白色少含、（長・A）
27	87	228	BSX 2	B トレンチ第2面	弥生土器	短頸壺	11.6	－	－	9.7	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾍﾗﾅﾃﾞ	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	45	Ⅵ-2	0.5～1mmの砂粒。4～7mmの小石多含、（長・A）
27	85	229	BSX 2	B トレンチ第2面	弥生土器	長頸壺	12.35	－	－	14.6	－	－	灰白	灰白	○	○	－	Ⅴ-1～Ⅵ-0	0.5～3mmの砂粒多、（長・A）
27	9	230	BSX 2	B トレンチ第2面・下層	弥生土器	長頸壺	13.1	－	－	12.4	口：幅広のﾊｹﾒ・ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	口：（ﾀﾃ）ﾍﾗﾐｶﾞｷ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	◎	○	15	Ⅴ-3	0.3～1mmの白黒砂粒少、（長・A）
27	31	231	BSX 2	B トレンチ	弥生土器	長頸壺	11.8	－	－	10.8	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅴ-1～Ⅵ-0	0.3～5mmの黒色砂粒少、（長・A）
27	112	232	BSX 2	B トレンチ第2面	弥生土器	長頸壺	12.0	18.1	3.9	24.6	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体部：ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、頸部：ﾍﾗﾐ描キ、体部：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	80	Ⅴ-1～Ⅴ-3	0.3～1mmの白色砂粒含。孔径：3.5×1.7cm、（長・A）
27	103	233	BSX 2	B トレンチ第2面	弥生土器	長頸壺	10.9	－	5.0	24.0	口：ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ・ﾍﾗﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾅﾃﾞ→ﾅﾃﾞ	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾍﾗﾅﾃﾞ、頸：列点文、体：ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	100	Ⅴ-3～Ⅵ-1	0.5～1mmの白黒色砂粒、（長・A）
27	101	234	BSX 2	B トレンチ第2面	弥生土器	長頸壺	8.8	－	4.6	2.4	口：ﾅﾃﾞﾂｹ、体：ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ、体下：ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	99	Ⅴ	0.5～1mmの白黒茶砂粒含、（長・A）
27	104	235	BSX 2	B トレンチ第2面	弥生土器	長頸壺	10.1	－	4.3	20.7	口：ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ・ﾅﾃﾞﾂｹ・ﾍﾗﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口唇：刻目7条、口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ、頸：ﾊｹﾒ、体下：ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ、体下：ﾀﾀｷ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	100	Ⅴ-0～2	0.5～1mmの砂粒多。5mm程の小石含、（長・A）
27	102	236	BSX 2	B トレンチ	弥生土器	内外赤彩（ﾍﾞﾝｶﾞﾗ）長頸壺	10.3	－	4.8	25.6	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ→ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	口～体下：ﾊｹﾒ、体下端：ﾅﾃﾞﾂｹ	灰白	灰白	○	○	100	Ⅴ-0?～3	0.5～1mmの黒色砂粒多、（長・A）
27	116-2	237	BSX 2	B トレンチ第2面・下層	弥生土器	長頸壺	10.9	－	－	18.5	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	口：くし描波状文・鋸歯文？、ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ・鋸歯文	灰白	灰白	○	○	55	Ⅴ-1・2	0.3～0.5mmの白黒色砂粒含、頸部に蕨手文（変形？）と裾歯文の線刻あり、（長・A）

27	3	238	BSX 2	B トレンチ・下層・黒色粘土層	弥生土器	広口壺	－	－	－	7.1	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	20	V-3～VI-0	0.5mm 以下の砂粒少，口縁径：14.2cm、広口 Aa
27	30	239	BSX 2	B トレンチ・上層・黒褐色土	弥生土器	広口壺	15.5 ?	－	－	5.5	口：凹線文、ﾊｹﾒ	口唇：凹線文、口縁：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	V-1～VI-0	0.5～1mm の白色砂粒含、短く外反した口縁の端面には凹線 1 条、広口 Aa
27	27	240	BSX 2	B トレンチ・上層・黒褐色土	弥生土器	広口壺	17.1	－	－	4.8	ﾏﾒﾂ	口：凹線文 2 条、頸部：ﾊｹﾒ	灰白	淡橙	○	○	10	V-3～VI-0	0.5～2mm の白黒砂粒含、口頸部は外変して上方に伸び端部は上下に稜を持つ。端面には凹線 1 条、広口 Ab
27	67	241	BSX 2	－	弥生土器	広口壺	15.6	－	－	4.8	－	－	灰白	灰白	○	○	－	V-3	0.5～3mm の白色砂粒多，広口 Ab
27	113	242	BSX 2	B トレンチ第 2 面	弥生土器	広口壺	12.8	18.6	4.6	20.0	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	99	V-0・1	0.3～0.5mm の白黒色砂粒少、広口 Ab
28	114-1	243	BSX 2	B トレンチ第 2 面	弥生土器	甕	16.5	－	5.8	28.5	口：ﾊｹﾒ、体：ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体上：ﾀﾀｷ→ﾊｹﾒ・ﾅﾃﾞ、体下：ﾀﾀｷ→ﾍﾗｹｽﾞﾘ	灰白	灰白	○	○	99	VI-0	0.5～3mm の暗色砂粒含、広口 Ab
28	115	244	BSX 2	B トレンチ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	16.3	－	－	5.2	口：ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾅﾃﾞ	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	20	VI-2?	0.5～1mm の黒色砂粒含、広口 Ac
28	61	245	BSX 2	B トレンチ	弥生土器	広口壺	15.3	－	－	6.5	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5～7	V-2	0.5～1mm の砂粒少含、広口 Ac
28	34	246	BSX 2	下層・黒色粘土	弥生土器	－	14.2	－	－	4.5	－	－	灰白	灰白	○	○	－	－	0.3～1mm の白黒色砂粒含、広口 Ac
28	1	247	BSX 2	B トレンチ第 2 面・下層	弥生土器	広口壺	20.8	－	－	9.1	口：ﾍﾗﾅﾃﾞ ?、ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ？→ﾖｺﾅﾃﾞ、頸部：列点文	灰白	灰白	○	○	35	V-3～VI-0	0.5～2mm の白黒砂粒多、広口 Ba
28	65	248	BSX 2	B トレンチ	弥生土器	広口壺	12.6	－	－	6.3	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体上：ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	○	○	10	VI-2	0.3～1mm の白色砂粒含、広口 Ba
28	63	249	BSX 2	B トレンチ	弥生土器	広口壺	13.6	－	－	5.1	口縁：ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口唇：凹線文、口縁：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	30	VI-1・2	0.3～2mm の白黒色砂粒含、広口 Ba
28	36	250	BSX 2	下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	17.4	－	－	5.3	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	10	V-3	0.5～3mm までの砂粒含、表面の摩耗が著しい、広口 Ba
28	62	251	BSX 2	B トレンチ	弥生土器	広口壺	15.0	－	－	4.8	口縁：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、頸部：ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	口唇：刻目、口縁：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	30	VI-1	0.5～4mm の白色褐色砂粒含、広口 Bb
28	35	252	BSX 2	B トレンチ	弥生土器	広口壺	11.3 ?	－	－	3.6	口縁：櫛描波状文 4 条	ﾏﾒﾂ、口縁：円形浮文（15 個）	灰黄	灰黄	○	○	15	VI-1・2	0.5～1mm の黒色砂粒含、外反した口縁は下方に肥厚し端面には竹管文付円形浮文がほぼ均等につけられる。内側には波状文がめぐらされている、広口 Ca
28	91	253	BSX 2	B トレンチ第 2 面・下層	弥生土器	広口壺	22.6	－	－	4.9	ﾊｹﾒ	口唇：凹線文＋円形浮文（6～7 コ）、口縁：ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	7～10	V-1	0.5～2mm の砂粒含、広口 Ca
28	33	254	BSX 2	下層・黒色粘土	弥生土器	生駒西麗産広口壺	25.8	－	－	3.9	ﾏﾒﾂ	口縁：円形浮文＋凹線文？	褐色	褐色	△	○	10	VI-2	0.5～2mm の白黒砂粒多、口縁は上方に外反し、端部は下方に肥厚する。端面には竹管文付円形浮文がほぼ等間隔に貼付けられる、広口 Ca
28	6	255	BSX 2	B トレンチ・下層・黒色粘土層	弥生土器	広口壺	19.0	－	－	4.2	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	褐灰	褐灰	○	○	5	V-	0.3～1mm の白色砂粒多
28	32	256	BSX 2	－	弥生土器	生駒西麗産広口壺	25.4 ?	－	－	7.9	口縁：竹管文、1 列、ﾅﾃﾞ？	口縁：竹管文、2 列	灰黄褐	灰黄褐	△	○	10	V-2	0.3～1mm の白色砂粒多、口縁は上方に外反し端部は下方に肥厚。口縁内側には竹管文が一段外側端面には二段施される。
28	66	257	BSX 2	B トレンチ	弥生土器	広口壺	17.1 ?	－	－	7.5	ﾊｹﾒ	口唇：凹線文 3 条、口縁：ﾊｹﾒ・ﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10～15	V-1・2	0.3～2mm の黒色褐色砂粒多，
28	29	258	BSX 2	－	弥生土器	広口壺	17.6 ?	－	－	6.2	ﾊｹﾒ	口：凹線文 3 条・ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	V-3	0.3～1mm の褐色砂粒、外反した口頸は下方向に肥厚し、端面には凹線が 3 条、広口 D
28	2	259	BSX 2	B トレンチ・暗灰色粘土	弥生土器	広口壺	16.0	－	－	6.8	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾍﾗﾅﾃﾞ	口：凹線文・ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	25	IV	0.3～2mm 程度の暗褐色砂粒多、広口 D
28	28	260	BSX 2	B トレンチ・上層・黒褐色土	弥生土器	広口壺	17.1 ?	－	－	6.8	口：ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾅﾃﾞ	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	VI-2・V-3～VI-0	0.3mm の砂粒から 4mm の小石まで含、広口 D
28	64	261	BSX 2	B トレンチ	弥生土器	広口壺	17.1	－	－	7.3	ﾏﾒﾂ、体上：ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	浅黄橙	浅黄橙	◎	○	30	V-3・VI-0	0.3～1mm の長石、広口 D
28	93	262	BSX 2	B トレンチ第 2 面・南壁埋土	弥生土器	広口長頸	18.8	－	－	6.7	ﾏﾒﾂ	口唇：刻目、口縁：ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	5～7	VI-2・3？、II～IV？	0.3～4mm の白黒褐色の砂粒多
28	26	263	BSX 2	B トレンチ・上層・黒褐色土	弥生土器	直口広口壺	15.8 ?	－	－	5.5	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	口：ﾅﾃﾞ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	10	VI-1～3	0.3～2mm の白色砂粒
28	56	264	BSX 2	B トレンチ第 2 面	弥生土器	小型広口壺（漆壺？）	8.6	－	3.3	8.5	口：ﾊｹﾒ、体：ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体上：竹管文、体上～下：ﾍﾗﾐｶﾞｷ、底部：ﾍﾗｹｽﾞﾘ	灰白	灰白	◎	○	100	V-	0.3mm 黒白色砂粒少含、漆付着？
28	95	265	BSX 2	B トレンチ・下層・黒色粘土	弥生土器	有段口縁壺	14.7 ?	－	－	3.0	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	浅黄橙	浅黄橙	○	○	10	V-	0.3～1mm の黒白色砂粒、（複 A）
28	92	266	BSX 2	B トレンチ第 2 面・下層	弥生土器	高杯口縁	22.5 / 26.8	－	－	3.3	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口：凹線文	灰白	灰白	○	○	5～7	V-2	0.3～1mm の黒白色砂粒含
28	10	267	BSX 2	－	弥生土器	有段口縁壺	25.4	－	－	7.5	ﾏﾒﾂ	貼付突帯・横 1 条・縦 2 条	灰白	灰白	○	○	3～5	V-	0.3～1mm の砂粒多
28	11	268	BSX 2	B トレンチ第 2 面	弥生土器	有段口縁壺生駒西麗産	23.0	－	－	9.5	ﾅﾃﾞ（ﾕﾋﾞ）	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	にぶい橙	にぶい橙	○	○	－	V-	0.5～3mm の黒・白色砂粒多
28	53	269	BSX 2	B トレンチ第 2 面・下層・黒色粘土	弥生土器	蓋	11.9 ?	－	－	4.8	ﾏﾒﾂ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	40	V-	ｸｻﾚ礫多、紐穴 2 ヶ 1 対φ 5mm
28	116-1	270	BSX 2	B トレンチ第 2 面	弥生土器	台付壺	6.5	－	12.8	15.4	坏部：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾅﾃﾞﾂｹ、脚部：ﾅﾃﾞ	坏部：平行沈線 2 条・ﾍﾗﾐｶﾞｷ、脚部：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	90	V-1・2	0.5～1mm の白黒砂粒含、台付壺
28	106	271	BSX 2	B トレンチ第 2 面	弥生土器	台付壺	9.3	－	6.8	12.2	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、受部：ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、受部：けん廉状文＋櫛描波状文＋廉状文＋波状文・ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	98	V-2・3	0.3～0.5mm の白黒砂粒
28	105	272	BSX 2	B トレンチ第 2 面	弥生土器	台付壺	10.3	－	－	7.1	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰黄	灰黄	○	○	50	V-	0.5～1mm の黒色砂粒含
28	108	273	BSX 2	B トレンチ第 2 面	弥生土器	甕	12.6	－	4.9	16.7	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ・ﾅﾃﾞ	口：ﾀﾀｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰黄	灰黄	○	○	96	V-3～VI-0	0.3mm の白色砂粒含。全表面すす付着、Ac
28	107	274	BSX 2	B トレンチ第 2 面	弥生土器	甕	13.2	－	5.5	18.0	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ・ﾍﾗﾅﾃﾞ、体下：ﾊｹﾒ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、頸：刺突文、体上：ﾀﾀｷ→ﾊｹﾒ、体下：ﾀﾀｷ・ﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	100	VI-0～3	0.3～0.5mm の白色砂粒含、Ac
28	117	275	BSX 2	B トレンチ第 2 面	弥生土器	甕	14.4	－	4.2	19.1	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	100	VI-2	0.5mm の白黒色砂粒含。表面多量すす付着、Ac
28	77	276	BSX 2	B トレンチ第 2 面・下層	弥生土器	甕	13.7	－	－	6.8～	－	－	灰白	灰白	○	○	35	V-3・VI-0	0.3mm の白色砂粒含
28	17	277	BSX 2	B トレンチ・暗灰色粘土	弥生土器	甕	14.7 ?	－	－	6.8	体：ﾊｹﾒ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	15	VI-1・2	0.3～1mm の白・黒砂粒多

28	22	278	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・暗灰色粘土層	弥生土器	甕	12.2 ?	－	－	6.2	体：ﾊｹﾒ	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ	浅黄橙～赤褐	浅黄橙～赤褐	○	○	10	Ⅵ-0・1	0.5～1mmの白色砂粒、ｸｻﾚ礫含
28	69	279	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・南壁埋土	弥生土器	甕	12.9	－	－	14.9	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体ﾀﾀｷ→ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	40	Ⅴ-2・3	0.5～1mmの砂粒含、(Ac)
28	25	280	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・中層・黒色粘土	弥生土器	甕	16.1 ?	－	－	9.1	口：ﾖｺﾅﾃﾞ→ﾍﾗﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ→ﾊｹﾒ	明褐	明褐	○	○	20	Ⅴ-3～Ⅵ-1	0.3～0.5mmの砂粒
28	71	281	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	甕	13.0	－	－	7.8	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅵ-0	0.5mmの白黒砂粒含
28	72	282	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	甕	13.2	－	－	4.9	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅴ-3～Ⅵ-0	0.3～1mmの白黒色砂粒多
28	76	283	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	甕	12.7	－	－	6.8	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅴ-3・Ⅵ-0	0.3mmの黒色砂粒含
28	78	284	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	甕	16.2	－	－	5.9	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅴ-3・Ⅵ-0	1～3mmの白黒砂粒多
28	70	285	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	甕	13.2	－	－	7.5	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾃﾀﾀｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	◎	○	20	Ⅵ-1	すす付着、Ac
28	19	286	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・暗灰色粘土層	弥生土器	甕	17.5 ?	－	－	7.3	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾀﾀｷ	灰黄	灰黄	○	○	5～7	Ⅵ-1	0.3～2mm白色砂粒多、外面：すす付着
28	15	287	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・暗灰白粘土層	弥生土器	甕	16.1	－	－	11.3	ﾊｹﾒ	ﾀﾀｷ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	○	○	35	Ⅴ-3～Ⅵ-2	0.3～1mmの白色砂粒多、Ac
28	58	288	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	小型甕	8.4	－	3.7	11.1	口：ﾍﾗﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾍﾗﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	100	Ⅵ	0.5～1mmの白黒色砂粒
28	79	289	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・暗灰色粘土層	弥生土器	甕	14.45	－	－	4.8	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅵ-0	0.3～1mmの白色砂粒多
28	20	290	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・暗灰色粘土層	弥生土器	甕	12.4 ?	－	－	5.0	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅵ-1	0.3～1mmの白黒砂粒及び小石含
28	75	291	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	甕	17.3	－	－	7.1	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ→ﾍﾗﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	15～20	Ⅵ-0	1～3mmの砂粒多、輪積痕
28	21	292	BSX 2	－	弥生土器	甕	16.8 ?	－	－	6.8	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ、体：ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅴ-2	0.3mm前後の白色砂粒多、表面すす付着
28	83	293	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	甕	14.5	－	－	15.6	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾅﾃﾞ	口：ﾀﾀｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体：平行ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅴ-2・3	0.3～2mmの白色砂粒含
28	80	294	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・南壁埋土	弥生土器	甕	16.1	－	－	6.0	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅴ-0～Ⅴ-3	0.5～1mmの白色砂粒多
28	82	295	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	甕	16.7	－	－	4.9	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、頸：ﾍﾗﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗｹｽﾞﾘ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅵ-1	0.5～2mmの白色砂粒含
28	24	296	BSX 2	上層・黒褐色土	弥生土器	甕	14.6 ?	－	－	5.0	ﾍﾗﾐｶﾞｷ？	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	－	－	○	○	10	Ⅵ-0	0.3～1mmの黒色砂粒ﾁｬｰﾄ
28	23	297	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・暗灰色粘土層	弥生土器	甕	14.7 ?	－	－	6.3	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅴ-3～Ⅵ-2	0.3mm白黒色砂粒含
28	73	298	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	甕	15.4	－	－	3.9	口：ﾏﾒﾂ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅴ-3～Ⅵ-1	0.5～1mmの白色砂粒多
28	74	299	BSX 2		弥生土器	甕	15.1	－	－	5.9	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ	口：ﾕﾋﾞｵｻｴｰ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ→ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅴ-2・3	0.3～0.5mmの白黒色砂粒含
28	16	300	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・暗灰色粘土	弥生土器	甕	17.1	－	－	6.2	口：ﾏﾒﾂ、体：ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	5～7	Ⅴ-3～Ⅵ-0	0.3～0.9mmの黒・白色砂粒多、外面：叩き目入るが摩耗著しく詳細不明
28	18	301	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・暗灰色粘土層	弥生土器	甕	16.6 ?	－	－	5.5	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ、体：ﾊｹﾒ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ→ﾊｹﾒ	浅黄橙	浅黄橙	○	○	15	Ⅵ-0	0.3～1mmの白・黒・茶砂粒
28	81	302	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	甕	14.6	－	－	6.0	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾅﾃﾞ	口ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅵ-1	0.5～1mmの白黒褐色砂粒含
28	84	303	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	甕	17.8	－	－	6.1	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	◎	○	10	Ⅴ-2・3	
28	109	304	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	甕	16.2	18.9	5.3	23.9	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	100	Ⅵ-0～2	0.3～2mmの白色砂粒含。表目すす付着、Ac
28	114-2	305	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	広口壺	14.6	22.8	4.9	27.9	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ、体：ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾅﾃﾞ・ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	96	Ⅴ-0・1	0.5～2mmの白黒砂粒多。体部に穿孔3カ所(5.0×4.5/6.0×3.8/6.8×5.0)、Ac
29	90	306	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	鉢	7.4	－	3.3	5.3	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	55	Ⅴ-2・3	0.3mmの白黒色砂粒、A1
29	39	307	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・黒色粘土	弥生土器	鉢	9.2	－	3.6～3.9	4.9	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾅﾃﾞ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	褐灰	褐灰	○	○	80	Ⅵ-2?	0.3～0.5mmの白色砂粒少含、A1
29	38	308	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	鉢	8.9	－	3.3～3.9	6.1	ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ・ﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	100	Ⅴ-2・3	0.5mmの黒色砂粒多、A1
29	37	309	BSX 2	下層・黒色粘土	弥生土器	鉢	11.6 ?	－	4.2	7.2	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	50	Ⅴ-2	0.5～2mmの白黒砂粒含、A1
29	14	310	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土層	弥生土器	鉢	10.2	－	3.5～4.2	7.5?～	ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷ	灰白	灰白	◎	○	75	Ⅵ-0	0.3mm以下の黒色砂粒少含、A1
29	98	311	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	鉢	8.3	－	2.1～2.8	6.1	ﾍﾗﾐｶﾞｷ・ﾖｺﾅﾃﾞ？	ﾀﾀｷ	褐灰	褐灰	○	○	80	Ⅵ-0	0.3～1mmの白色砂粒含、A2
29	49	312	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層・黒色粘土層	弥生土器	小形鉢	4.25 ?	－	2.25	6.2	ﾏﾒﾂ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	90	Ⅵ-3?	0.5～1.3mmの白黒褐色砂粒多、A3
29	94	313	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	鉢	12.2	－	3.8	8.4	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	○	○	95	Ⅴ-3～Ⅵ-0	0.3～1mmの黒白色砂粒含、A1
29	96	314	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	鉢	－	－	5.0	5.6	体：ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	体：ﾊｹﾒ、体下：ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	70	Ⅵ-2	0.3mmの黒色砂粒含、B1
29	40	315	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・黒褐色土	弥生土器	鉢	－	－	－	－	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷ	灰黄	灰黄	○	○	85	Ⅵ-3	0.5～1mmの白黒色砂粒多、断面は橙色、体部は底より内変ぎみに上方に伸び口頸部は広がりを持ち伸びる、E
29	88	316	BSX 2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	蜂(or高坏部(Ⅱ様式))	13.5	－	－	6.3	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	30	Ⅴ-2	0.3～1mmの白黒砂粒含、E
29	100	317	BSX 2	上層・黒褐色土	弥生土器	多孔鉢	12.6	－	－	3.9	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅵ？	0.3～1mmの白褐色砂粒含、A1

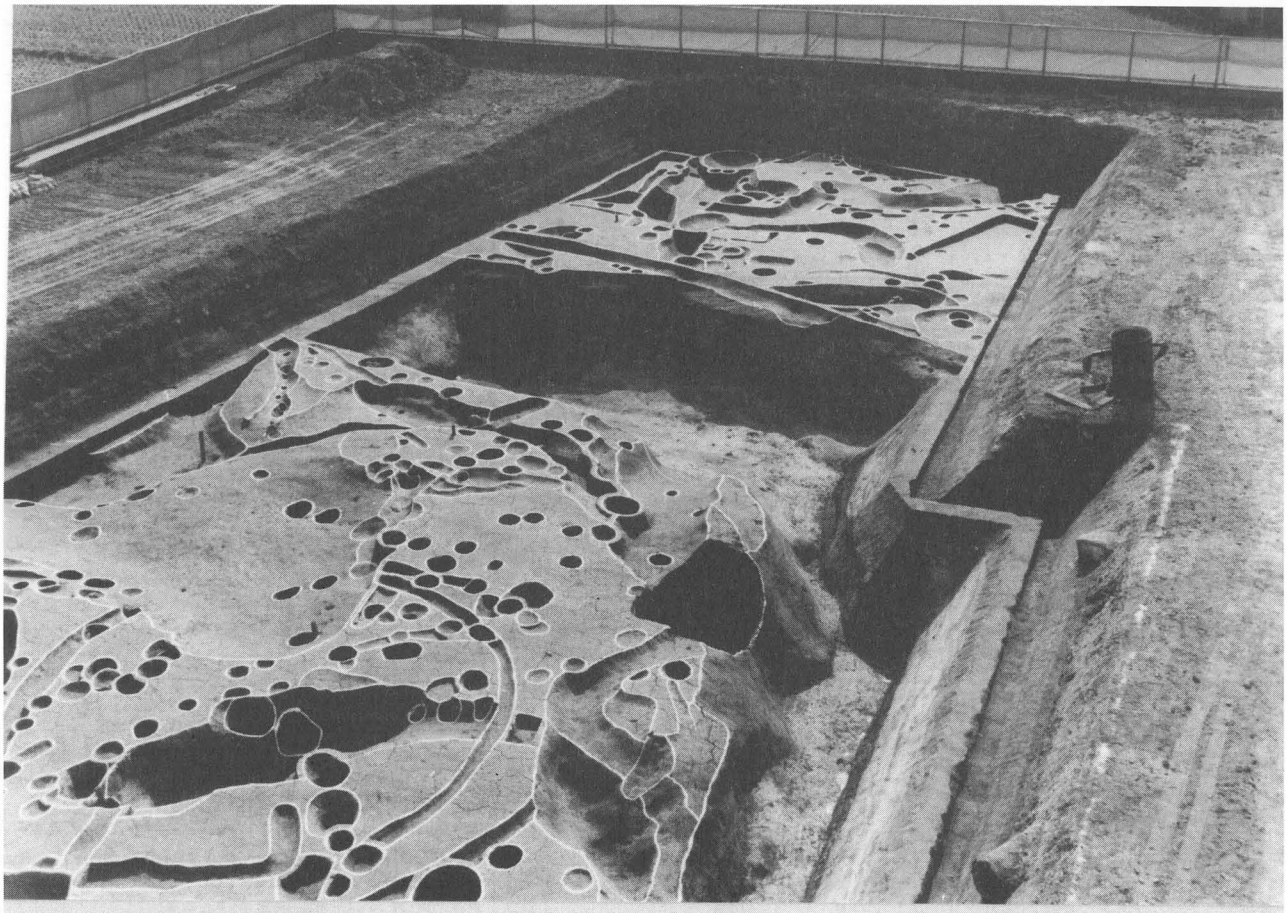
29	13-1	318	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ・暗灰白粘土層	弥生土器	有孔鉢	14.0?	－	－	12.3?	ﾏﾒﾂ・ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	80	Ⅵ-0	0.5～5mmの砂粒多、A2
29	12	319	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	有孔鉢	14.1～14.8	－	4.6	11.2	ﾊｹﾒ・ﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷ？（ﾏﾒﾂ）	灰白	灰白	○	○	100	Ⅴ-3～Ⅵ-0	0.3mm程の白・黒砂粒、孔径:0.7～1.0cm、A1
29	13-2	320	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ・西側・上層包含層	弥生土器	有孔鉢	－	－	2.2～2.8	－	体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ・ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	75	ｱ-3～Ⅵ-0	0.3～1mmの黒白色砂粒含、A1
29	99	321	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・南壁埋土	弥生土器	有孔鉢	－	－	1.6	7.6	ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	ﾀﾀｷ	灰白	灰白	○	○	25	Ⅵ-0～	0.3～1mmの白黒色砂粒含。孔径:0.5～0.6cm、A1
29	43	322	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	有孔鉢	13.1	－	3.4	13.0	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾅﾃﾞ	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	90	Ⅴ-	0.3mmの黒色砂粒少含、Ba
29	42	323	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	鉢	15.6	－	4.3	13.2	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ、体上：ﾊｹﾒ、中：貼付突帯＋刻目、体下：ﾍﾗﾐｶﾞｷ、ﾊｹﾒ、ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ	灰白～浅黄橙	灰白～浅黄橙	○	○	85	Ⅴ-2	0.3～1mmの白黒色砂粒含、Ca
29	89	324	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	鉢	16.9?	－	－	5.7	ﾊｹﾒ	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅴ-3	0.3～1mmの白黒色砂粒多、Cb
29	44	325	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・暗灰色粘土層	弥生土器	小形台付鉢	11.1	－	6.9	7.8	坏部：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ、脚部：ﾍﾗﾅﾃﾞ	坏部：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ、脚部→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	98	Ⅵ-2・3	0.3～1mmの白黒褐色砂粒含
29	97	326	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	高坏	－	－	11.0	10.0	坏部：ﾍﾗﾐｶﾞｷ、脚部：ﾅﾃﾞ・ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	60	Ⅴ-3～Ⅵ-3	0.3～1mmの白黒色砂粒。脚部に周囲ほぼ均等に3ヶ穿孔φ9mm、椀形A2
29	46	327	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	高坏	12.3	－	8.4	10.0	坏部：ﾍﾗﾐｶﾞｷ、脚部：ﾖｺﾅﾃﾞ	坏部：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ、脚部：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	浅黄橙	浅黄橙	○	○	90	Ⅴ-3～Ⅵ-2	0.3～1mmの白黒茶砂粒含、椀形A2
29	45	328	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・黒褐色土	弥生土器	高坏	－	－	10.2	7.8	ﾏﾒﾂ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ、ﾍﾗ描ｷ6条	淡橙	橙	○	○	60	Ⅴ-3～Ⅵ	0.3～3mmの白色砂粒含、脚部裾円周上にφ8mmの穿孔5ヶ施される。
29	47	329	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・黒色粘土	弥生土器	高坏	10.9	－	－	6.3	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	80	Ⅴ-2	0.3～、低脚
29	48	330	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ・上層・黒色粘土	弥生土器	小形器台	10.2	－	10.1	10.1	受部：ﾍﾗﾐｶﾞｷ、脚部：ﾕﾋﾞﾅﾃﾞ、ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	90	Ⅵ-3	0.3～1mmの白黒色砂粒、5mm程度の小石含、貫通孔0.8cm、A1
29	54	331	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面・下層	弥生土器	器台	15.5	－	13.6	13.8	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ、体：ﾊｹﾒ、脚：ﾖｺﾅﾃﾞ	体：ﾍﾗﾐｶﾞｷ、脚：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	浅黄橙	浅黄橙	○	○	90	Ⅵ-1～3	0.3～1mmの白黒砂粒含。二段（裾部と体部）に三ヶづつ穿孔施される。体部に施された三ヶの内の二ヶは穴が開けきらずにある。二段の孔は並ばないよう間隔がづらせてある、A
29	55	332	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	器台	16.6?	－	－	12.4	ﾍﾗﾐｶﾞｷ、ﾊｹﾒ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	65	Ⅴ-0・1	0.5～1mmの黒白色砂粒多。口縁部は外上方にひらき端部は外傾する平面を持つ。残存する部分より確認できる穿孔2段。上段は円周上に4ヶ。更に1ヶは埋め戻されている。（穴位置の間違いからか？）下段は4ヶ確認できるが折損部分が多いので詳細不明、A
29	110	333	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	器台	－	－	－	22.4	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	60	Ⅴ～Ⅵ-0	0.5～2mmの白黒砂粒多。穿孔φ1.5cm2対2段残存4個、A
29	111	334	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ第2面	弥生土器	生駒西麓産？ 器台	－	－	－	33.5	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ・ﾅﾃﾞ（上下見える所のみﾍﾗﾐｶﾞｷ）	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ、櫛描横線文5本×4条	灰黄	灰黄	○	○	70	Ⅴ～Ⅵ-0	0.5～2mmの黒白色砂粒多。円孔:3段×4個、3段×12個、柱部径：φ12.3～16cm、穿孔：φ1.5cm、A
29	41	335	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・暗灰色粘土層	弥生土器	－	6～6.6	－	－	5.1	－	－	灰白	灰白	○	○	50	－	0.5～1mmの白色砂粒、ｸｻﾚ礫含4～11mmの小石も含。残存長:8.8cm
29	51	336	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	ﾐﾆﾁｭｱ甕	10.8	－	2.6	7.0	ﾅﾃﾞ（ﾕﾋﾞ）	体下：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	95	Ⅴ-	0.3～1mmの白色砂粒含
29	118	337	BSX2	Bﾄﾚﾝﾁ・下層・暗灰色粘土層	弥生土器	土錘	－	4.2	－	3.6	－	－	灰白	灰白	○	○	50	－	0.5mmの白黒砂粒ｸﾚｻ礫含
29	4	338	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ・中央～東・XV層	弥生土器	蓋	5.6	－	－	3.7	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	にぶい黄褐	にぶい黄褐	△	○	100	Ⅱ～Ⅳ	石英・長石・斜長石・ﾜﾝﾗﾝ石0.5～2mm白色粒やや多（生駒西麓産）、ﾌﾀ径:2.6cm
29	6	339	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ北側溝内・中～下層	弥生土器	小形蓋	6.7	－	－	4.5	ﾅﾃﾞ	ﾖｺﾅﾃﾞ	浅黄橙	浅黄橙	○	○	90	Ⅱ～Ⅳ	～1mm大長石斜長石やや多含、つまみ径:2.7～3.0cm
29	5	340	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ北側溝内・中～下層	弥生土器	蓋	(6.8)	－	－	2.4	ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	褐灰	黒～褐灰	○	○	75	Ⅱ～Ⅳ	～0.1mm大白色粒
29	2	341	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	蓋	－	－	12.4	2.9	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	にぶい黄橙	灰白	△	○	40	Ⅱ～Ⅳ	長石etc～3mm大砂粒多含、つまみ径:12.4cm、孔径:4.5mm
29	18	342	CSD4	下層・黒色ｼﾙﾄ	弥生土器	蓋	(12.5)	－	－	3.5	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	灰黄・橙	褐灰・橙・灰黄	△	○	20	Ⅳ	長石・斜長石0.5～2mm大砂粒やや多
29	20	343	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・粗砂層	弥生土器	広口壺	(13.3)	－	－	4.6～	口：ﾊｹﾒ	口：凹線文・ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	褐灰	黒褐	○	○	15	Ⅳ	長石・石英・斜長石～1mm大やや多、白色粒多
29	12	344	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	広口壺	(13.3)	－	－	6.6～	ﾊｹﾒ	凹線文・円形浮文・ﾊｹﾒ	灰白	灰白	△	○	15	Ⅱ-3	～0.5mm大砂粒やや多、口縁部形態西摂特有
29	25	345	CSD4	下～最下層	弥生土器	短頸壺	(13.7)	－	－	9.8～	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ、凹線文?、突帯文	褐灰	黒褐	○	○	15	Ⅳ	～1mm以下の黒色砂粒やや多含
29	3	346	CSD4	下層・粗砂層	弥生土器	生駒西麓産広口壺	(18.0)	－	－	5.7～	口：ﾖｺﾅﾃﾞ	口：円形浮文φ0.75～1.1cm ﾍﾗﾐｶﾞｷ	褐	褐	○	○	5	Ⅱ～Ⅳ	黒雲母・～0.5mm 砂拉
29	15	347	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ北側溝内・上層・黒褐色土	弥生土器	広口壺	(14.8)	－	－	5.6～	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	にぶい黄褐	灰黄	○	○	15	Ⅱ-3	～1mm大砂・長石少含
29	26	348	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ・下～最下層	弥生土器	広口壺（搬入・和泉）?	18.0	－	－	8.5～	ﾖｺﾅﾃﾞ	廉状文	黄褐	黄橙	△	○	15	Ⅳ	1mm前後の白黒色砂粒多
29	13	349	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	広口壺	(12.8)	－	－	3.5～	ﾊｹﾒ	口唇：廉状文、口：ﾊｹﾒ→櫛描平行文	灰黄褐	灰黄褐	○	○	10	Ⅱ-2・3	～0.5mm砂粒少含
29	17	350	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ・下層	弥生土器	広口壺	(14.4)	－	－	6.0～	ﾊｹﾒ・扇状文	口：円形浮文・凹線文	浅黄橙	浅黄橙	○	○	18	Ⅳ-3	～0.5mm石英・長石etcの砂粒含
29	16	351	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ・下～最下層	弥生土器	広口壺	(16.4)	－	－	5.3～	口：ﾊｹﾒ	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	浅黄	浅黄	○	○	10	Ⅳ-1・2	～0.5mm大砂粒少含
29	19	352	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ・最下層	弥生土器	広口壺	(14.5)	－	－	6.7～	ﾅﾃﾞ	凹線文3条・ﾊｹﾒ	浅黄橙	橙	○	○	10	Ⅳ-2	長石～1mm少含
29	22	353	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・粗粒層	弥生土器	広口壺	(20.8)	－	－	6.3～	櫛描波状文	口唇部：凹線文（3条）・ﾖｺﾅﾃﾞ、櫛描直線文	浅黄橙	にぶい橙	△	○	10	Ⅳ	1mm前後の白色砂粒多（斜長石・長石）
29	10	354	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ北側溝内・中～下層	弥生土器	広口壺	(23.4)	－	－	6.1～		口：櫛描波状文	淡橙	淡橙	△	○	5	Ⅳ-1	～2mm大砂粒やや多
29	39	355	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	広口壺	(31.0)	－	－	4.9～	ﾍﾗﾐｶﾞｷ・矢羽根状刺突	凹線文（6条）・円形浮文・ﾊｹﾒ	暗灰	灰黄	○	○	－	Ⅳ-1・2	長石・斜長石1mm大少含
29	38	356	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ・中央～東・直上包含層	弥生土器	広口壺（生駒西麗産）	(29.0)	－	－	2.3～	円形浮文	凹線文・円形浮文（赤彩）	にぶい黄褐	にぶい黄褐	○	○	－	Ⅴ	1mm前後の黒色砂粒やや多含
29	32	357	CSD4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	広口壺	(22.4)	－	－	7.5～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	凹線文、ﾊｹﾒ、三角形突帯	にぶい黄橙	灰黄褐	○	○	15	Ⅳ-2	～1mm以下の砂粒

29	24	358	CSD 4	下層・粗粒層	弥生土器	広口壺	(21.6)	－	－	7.1～	ﾊｹﾒ、口縁部：扇状文	口唇部：凹線分（3条）・櫛描波状文	灰黄褐	灰白～褐灰	○	○	15	Ⅳ	～1mm以下の砂粒含
29	27	359	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	広口壺	21.4	－	－	8.5～	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、貼付突帯	灰黄	灰黄	○	○	15	Ⅲ～Ⅳ	～1mm以下の砂粒少含
29	21	360	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・粗粒層	弥生土器	広口壺	(24.7)	－	－	13.1	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、頸～肩：貼付突帯＋ﾊｹﾒ	浅黄橙・淡赤橙	にぶい黄橙	○	○	20		～0.2mm大白色粒少
29	37	361	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ・下層	弥生土器	広口壺	(37.0)	－	－	10.1～	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	淡黄～灰黄	灰黄	○	○	－	Ⅲ	～1mm以下砂粒少含
29	29	362	CSD 4		弥生土器	広口壺	(34.8)	－	－	9.1～	ﾖｺﾊｹ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	浅黄	灰白	○	○△	15	Ⅲ	～1mm砂粒含
29	34	363	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ・下層	弥生土器	有段口縁壺（生駒西麓産）	(24.2)	－	－	6.0～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	口縁：刺突・廉状文・ﾊｹﾒ	黄褐	暗灰黄	○	○	5	Ⅳ	～1mm前後白色砂粒少含
29	43	364	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	広口壺	(26.0)	－	－	8.5～	ﾊｹﾒ	刻目文・廉状文（3条）・ﾊｹﾒ	黄灰	黄灰	○	○	－	Ⅳ	～1mm白色粒やや多含
29	8	365	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ北側溝内・中～下層	弥生土器	粗製甕	(16.4)	－	－	11.8	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	にぶい黄橙	灰黄褐	△	○	35	Ⅱ？	～2mm大砂粒やや多
29	41	366	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	甕	(13.4)	－	－	5.2～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	にぶい黄橙	黒褐	○	○	5	Ⅳ-1・2	～1mm以下白色砂粒少含
30	42	367	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	甕	(13.8)	－	－	5.3～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	にぶい黄橙	黒褐	○	○	8	Ⅱ～Ⅲ	～1mm以下砂粒多含
30	44	368	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	甕	(16.6)	－	－	7.7～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白～灰黄褐	浅黄橙	○	○	8	Ⅲ～Ⅳ-1	～1mm以下砂粒多、外：媒付着
30	33	369	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ・下～最下層	弥生土器	甕	(34.0)	－	－	7.0～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	にぶい黄橙	灰白	○	○	5	Ⅲ～Ⅳ-1	～1mm以下の黒色砂粒
30	40	370	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	甕	(32.7)	－	－	7.6～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	黄灰	灰白	○	○	10	Ⅲ～Ⅳ	
30	28	371	CSD 4	下～最下層	弥生土器	甕	(30.6)	－	－	8.6～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	浅黄橙	○	○	5	Ⅳ	～1mmの白色砂粒含
30	11	372	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	甕	(34.4)	－	－	9.9～	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	浅黄橙	○	○	5	Ⅲ-2・Ⅳ-2	～2mm大砂ﾚｷ少含
30	14	373	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	甕	(55.0)	－	－	9.4～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	浅黄橙	△	○	5	Ⅱ-3～Ⅲ-2	～2mm大長石・斜長石砂粒多含
30	23	374	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ・下～最下層・粗砂層	弥生土器	高坏	(17.0)	－	－	6.9～	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	凹線文（3条）・ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰黄褐～灰白	黒	○	○	30	Ⅲ-1	
30	1	375	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	高坏	－	－	8.3	10.0～	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗｹｽﾞﾘ、沈線2条	浅黄橙	浅黄橙	△	○	60	Ⅳ-3	～1mm大砂粒多含
30	35	376	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ・下～最下層	弥生土器	高坏（坏部）	(26.8)	－	－	5.0～	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	沈線・ﾍﾗﾐｶﾞｷ	褐灰	灰黄褐	○	○	10	Ⅳ	
30	31	377	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	器台（鼓胴形）	－	－	(23.2)	10.8～	ﾅﾃﾞ	凹線文、円孔	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	～1mm以下の白色黒色粒
30	7	378	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ北側溝内・中～下層	弥生土器	小形有孔鉢	－	－	3.8	3.2	ﾅﾃﾞ？	ﾅﾃﾞ？	灰	浅黄橙	○	○	15	Ⅱ～Ⅳ	～0.1mm白色粒多含、孔径：3.0～3.5mm
30	9	379	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ北側溝内・中～下層	弥生土器	鉢	(24.4)	－	－	8.7～	口：ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾅﾃﾞ	口：ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾍﾗﾐｶﾞｷ	黒～灰黄褐	黒～褐灰	○	○	15	Ⅲ-1・Ⅳ-3・4	～2mm大砂粒少
30	30	380	CSD 4		弥生土器	台付鉢	(18.8)	－	－	6.5～	ﾅﾃﾞ？	口唇部：凹線文、体：櫛描波状文・直線文	浅黄橙	灰白	×	○	5	Ⅲ	1mm前後の白色砂粒多
30	36	381	CSD 4	Cﾄﾚﾝﾁ・下～最下層	弥生土器	鉢	(38.8)	－	－	9.2～	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	凹線文・櫛描廉状文・矢羽根状・ﾍﾗﾐｶﾞｷ	浅黄橙	浅黄橙	○	○	10	Ⅳ	～1mm以下の砂粒
30	32	382	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	蓋	－	－	21.4	11.6	ﾅﾃﾞ・ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	65	Ⅱ？	0.3～1mmの黒・白色砂粒含
30	36	383	CSD 5	－	弥生土器	蓋	－	－	5.7	8.8	ﾅﾃﾞ、ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ｹｽﾞﾘ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	40	Ⅱ	0.5～2mmの黒・白色砂粒含
30	52	384	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・D1層・黒色粘土	弥生土器	水差	8.7	－	－	8.6	ﾖｺﾅﾃﾞ	櫛描波状文、直線文、ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ～Ⅲ	0.3～1mmの黒・白色砂粒含
30	65	385	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・中層・黒色粘土	弥生土器	水差（ひょうたん形）	17.8	－	－	13.8	指ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	40	Ⅰ-4～Ⅱ	0.3～1mmの褐灰色砂粒含
30	60	386	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・D1層・黒色粘土	弥生土器	水差	10.2	－	－	5.8	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ→櫛描直線文（多段）	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ	0.3～2mmの白・褐灰色砂粒含
30	62	387	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・中層・黒色粘土	弥生土器	水差（or 無頸壺）	11.7	－	－	4.4	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.3～2mmの白・黒色砂粒含
30	61	388	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・中層・黒色粘土	弥生土器	鉢（or 無頸壺）	15.75	－	－	3.8	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.3～1mmの褐灰色砂粒含
30	24	389	CSD 5	中～下層・D1層	弥生土器	鉢・水差	(18.2)	－	－	7.4～	ﾍﾗﾅﾃﾞ	凹線文＋櫛描波状文	褐灰	褐灰	○	○	10～15	Ⅳ-2	～1mm大石英・長石含
30	64	390	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・中層～下層	弥生土器	無頸壺 or 鉢	12.7	－	－	5.0	ﾍﾗｹｽﾞﾘ	凹線文（4段）・ﾍﾗﾐｶﾞｷ・円孔	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	
30	50	391	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・中層・黒色粘土	弥生土器	細頸壺	8.3	－	－	14.1	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→櫛描平行文、波状文	灰白	灰白	○	○	60	Ⅱ～Ⅲ	0.3～1mmの黒・白色砂粒含
30	29	392	CSD 5	D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	(9.9)	－	－	4.8～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	口唇部：櫛描波状文、頸部：ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	◎	○	20	Ⅱ	
30	47	393	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	10.8	－	－	6.7	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、櫛描波状文、櫛描平行文	灰白	灰白	○	○	20	Ⅲ	0.3～0.8mmの黒・白色砂粒含
30	49	394	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	12.4	－	－	6.6	ﾅﾃﾞ、円形浮文	口唇：櫛描波状文、頸：ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅱ～Ⅲ	0.3～1mmの黒・白色砂粒含
30	48	395	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	14.2	－	－	6.4	ﾅﾃﾞ	円形浮文、櫛描波状文、ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾍﾗﾐｶﾞｷ？、頸：櫛描廉状文	灰白	灰白	○	○	20	Ⅱ～Ⅲ	0.5～1mmの黒・白色砂粒多含
30	41	396	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・中～下層	弥生土器	広口壺	15.75	－	－	4.5	ﾏﾒﾂ	口唇：刻目、口縁：櫛描平行文（2段）	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.3～2mmの黒・褐灰色砂粒含
30	25	397	CSD 5	中～下層・D1層	弥生土器	広口壺	(11.6)	－	－	3.7～	ﾖｺﾅﾃﾞ？	口唇刻日・ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	△	○	3～5	Ⅱ-1～Ⅲ-1	～1mm大砂粒やや多、石英

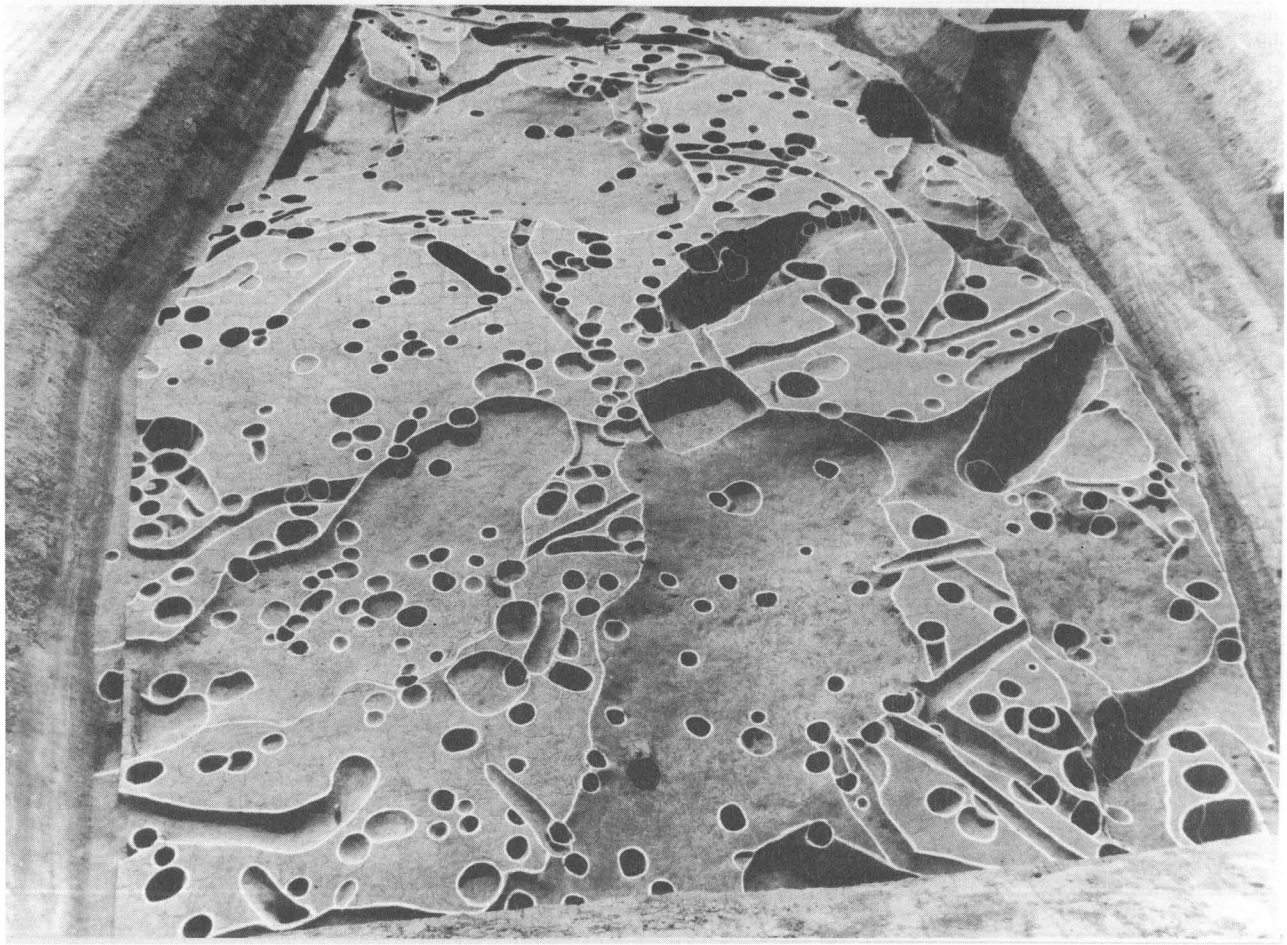
30	98	398	CSD 5	C トレンチ・中層～下層	弥生土器	小形広口壺	9.8	－	－	4.9	ﾅﾃﾞ	口唇部：刻目・沈線、体部：櫛描直線文	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.5～2mmの褐灰色砂粒多
30	51	399	CSD 5	C トレンチ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	10.4	－	－	5.0	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.3～1mmの黒・白色砂粒含
30	10	400	CSD 5	C トレンチ・中層	弥生土器	小形壺	(13.1)	－	－	6.6～	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	にぶい黄橙	浅黄橙	○	○	10～15	Ⅱ－	長石・斜長石～1mm以内
30	46	401	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	15.0	－	－	6.5	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	7	Ⅱ	0.3～1mmの黒・白色砂粒多含
30	9	402	CSD 5	C トレンチ・中～下層・D1層	弥生土器	広口壺	(21.7)	－	－	5.8～	ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾅﾃﾞ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5～10	Ⅱ-3	～0.5mm大砂粒少含、石英・雲母多含
30	5	403	CSD 5	C トレンチ第2面・中層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	(15.2)	－	－	7.0～	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白・にぶい黄褐	◎	○	15	Ⅱ-3	～1mm以下石英・長石
30	79	404	CSD 5	C トレンチ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	19.5	－	－	9.0	ﾊｹﾒ・ﾅﾃﾞ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅰ-4	0.5～3mmの白色砂粒多含
30	80	405	CSD 5	C トレンチ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	13.4	－	－	8.7	ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅰ-3～4	0.3～3mmの黒色砂粒多含
30	81	406	CSD 5	C トレンチ・最下層	弥生土器	広口壺	－	－	－	－	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	口唇部：ﾍﾗ沈、ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅰ-3～4	0.5～1.5mm
30	86	407	CSD 5	C トレンチ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	19.6	－	－	10.0	ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ・ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ	
30	39	408	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	19.2	－	－	8.0	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ	0.5～1mmの黒白色砂粒含
30	84	409	CSD 5	C トレンチ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	37.2	－	－	10.1	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅰ-3～4	0.3～1mm
30	67	410	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	27.6	－	－	6.9	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.3～3mmの白・褐灰色砂粒多
30	87	411	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	21.4	－	－	6.5	ﾖｺﾊｹ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ～Ⅲ-1	0.3～1.5mmの褐灰色砂粒
30	97	412	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	24.0	－	－	5.7	ﾊｹﾒ（ﾏﾒﾂ）	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ？	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ～Ⅲ	0.5～1.5mmの褐灰色砂粒多含
31	27	413	CSD 5	－	弥生土器	広口壺	(21.8)	－	－	7.7～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ・櫛描き	灰白・黄灰白	灰白・黄灰白	○	○	10	Ⅱ-2	～2mm大長石・石英・斜長石少含
31	102	414	CSD 5	C トレンチ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	16.4	－	－	4.9	ﾖｺﾊｹ	口唇部：刻目、口縁部：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.3～1mmの黒白色砂粒
31	85	415	CSD 5	C トレンチ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	17.4	－	－	7.3	ﾊｹﾒ・ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅰ-4～Ⅱ-1?	0.3～2mmの灰色砂粒含
31	38	416	CSD 5	C トレンチ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	20.6	－	－	7.4	幅広（3.5～4.0cm）のﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ、ﾖｺﾅﾃﾞ、櫛描平行文（2段）	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ	0.3～2mmの褐灰・黒褐色砂粒多
31	40	417	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	18.0	－	－	6.5	ﾏﾒﾂ、扇状文	櫛描波状文	灰白	灰白	○	○	20	Ⅱ	0.3～2mmの黒・白色砂粒多
31	43	418	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	15.3	－	－	8.5	ﾊｹﾒ、指ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	40	Ⅱ～Ⅲ？Ⅵ-1?	0.3～1mmの褐灰色・白色砂粒ﾁｬｰﾄ含、表面すす付着
31	88	419	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	26.0	－	－	7.8	ﾖｺﾊｹ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、櫛描直線文	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ	0.3～1mmの白色砂粒含
31	54	420	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	24.0	－	－	7.1	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅱ～Ⅲ	0.3～2mmの褐灰色砂粒多含
31	66	421	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	21.6	－	－	11.7	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ・貼付突帯	灰白	灰白	○	○	15	Ⅱ～Ⅲ	0.3～3mmの褐灰色砂粒含
31	42	422	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	20.3	－	－	8.2	ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、頸：貼付突帯	灰白	灰白	○	○	7	Ⅳ-2	0.3～1mmの黒・白色砂粒含
31	109	423	CSD 5	C トレンチ・下層・褐色粘土	弥生土器	広口壺	－	－	－	23.7	ﾅﾃﾞ（ほぼﾊｹﾘ）	頸部：帯状沈線文、三角形押型文、体部：ﾍﾗ沈格子目文（5段）三角形押型文	灰白	灰白	○	○	50	Ⅰ-3・4	0.5～2mmの白色砂粒含
31	69	424	CSD 5	C トレンチ・最下層	弥生土器	広口壺	33.2	－	－	18.0	ﾖｺﾊｹ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	口唇：刻目文・波状文（指頭圧痕）、ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	40	Ⅰ-4～Ⅱ-2	0.3～1mmの黒白色砂粒含
31	58	425	CSD 5	C トレンチ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	29.0	－	－	8.2	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.3～2mmの白・黒色砂粒含
31	55	426	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	31.2	－	－	11.5	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅱ-3?	0.3～2mmの白・褐灰色砂粒含
31	57	427	CSD 5	C トレンチ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	37.2	－	－	6.5	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.3～2mmの白・黒色砂粒含
31	56	428	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	36.3	－	－	10.1	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ、ﾍﾗ描沈線文（多条）	灰白	灰白	○	○	10	Ⅰ-4	0.3～2mmの白・褐灰色砂粒含
31	110	429	CSD 5	C トレンチ・下層	弥生土器	広口壺	(26.2)	－	－	(30.0～)	口縁：ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾅﾃﾞ・櫛描（円弧）、体下：ﾅﾃﾞﾂｹ	口唇：刻目、口縁：ﾊｹﾒ→櫛描直線（一部）→波状文（8条）、体下：ﾍﾗﾐｶﾞｷ	黒褐・灰白・淡橙	黒褐・灰白・淡橙	○	○		Ⅱ	長石・斜長石1mm前後砂粒やや含
31	44	430	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	有段口縁壺	32.1	－	－	5.1	ﾖｺﾅﾃﾞ	櫛描斜格子文、円形浮文、刻目	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ-1?	0.3～1mmの黒・白色砂粒含
31	59	431	CSD 5	C トレンチ・下層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	29.6	－	－	12.8	ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ	0.3～1.5mmの褐灰色砂粒含
31	30	432	CSD 5	D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	(11.3)	－	－	7.7～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	浅黄橙、褐灰	◎	○	10	Ⅱ	0.5mm大の白色ﾚｷ、長石、石英を若干含む
31	96	433	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	12.8	－	－	7.8	ﾖｺﾊｹ、ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	◎	○	60	Ⅱ	0.3～1mmの白黒色砂粒少含、表面すす付着
31	95	434	CSD 5	C トレンチ・中層～下層	弥生土器	甕	14.0	－	－	6.3	ﾖｺﾊｹ→ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.3～3mmの褐灰色砂粒含
31	71	435	CSD 5	C トレンチ・D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	17.5	－	－	8.5	ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ-2	0.3～1mmの黒白色砂粒含
31	15	436	CSD 5	C トレンチ・中層	弥生土器	小形甕	(17.8)	－	－	3.9～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	浅黄橙	浅黄橙・灰黄褐	◎	○	5～7	Ⅱ-2	～0.5mm大砂粒少、摂津型b
31	17	437	CSD 5	中～下層・D1層	弥生土器	甕	(18.3)	－	－	6.2～	ﾊｹﾒ→指ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	にぶい黄褐	褐灰	◎	○	5	Ⅱ-	～0.6mm大砂粒少、外面：ｶｰｷﾝ多量付着

31	3	438	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	甕	(17.2)	－	－	5.8～	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	△	○	5～7	Ⅱ-2～3	～1mm砂粒やや多
31	13	439	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・中～下層・D1層	弥生土器	甕	(16.9)	－	－	6.6～	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	灰白	浅黄橙・灰黄褐	△	○	5～7	Ⅱ-	1～2mm大長石・斜長石やや多含
31	82	440	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	甕	16.9	－	－	8.9	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ-1	0.3～2mmの褐灰色砂粒含、表面すす付着
31	6	441	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	鉢？	(17.7)	－	－	9.7～	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	にぶい褐・灰白	○	○	25	Ⅱ-3	～1mm長石・微斜長石
31	77	442	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	16.9	－	－	8.0	ﾊｹﾒ、ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ	0.3～2mmの黒褐灰色砂粒、表面すす付着
31	92	443	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	甕	8.1	－	－	4.8	ﾖｺﾊｹ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ	0.5～2mmの褐灰色白色砂粒含
31	14	444	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・中層	弥生土器	甕	(15.3)	－	－	5.9～	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	－	－	△	○	5～7	Ⅱ-3～Ⅲ-1	～1mm大砂粒やや多、長石・斜長石・石英
31	93	445	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・中層・黒色粘土	弥生土器	甕	14.8	－	－	3.8	ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾏﾒﾂ	ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾏﾒﾂ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅲ	0.3～1mmの褐灰色砂粒含
32	16	446	CSD 5	中～下層・D1層	弥生土器	甕	(16.7)	－	－	4.8～	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ・ﾖｺﾅﾃﾞ	－	－	△	○	3～5	－	～0.5mm大砂粒やや多
32	94	447	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ北側溝内・中層・黒色粘土	弥生土器	甕	17.6	－	－	4.4	ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ	0.5～2mmの砂粒少含
32	89	448	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・中層・黒色粘土	弥生土器	甕	16.7	－	－	7.3	ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ	0.5～2mmの白黒色砂粒含
32	11	449	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・中～下層・D1層	弥生土器	甕	(19.9)	－	－	5.6～	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	浅黄橙・褐灰	○	○	5～7	Ⅱ～Ⅲ-1	～1mm大砂粒少含
32	12	450	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	(19.3)	－	－	9.2～	口：ﾊｹﾒ、体：ﾍﾗﾅﾃﾞ→ﾊｹﾒ	口：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ、体：ﾊｹﾒ	灰白～浅黄橙	灰白～浅黄橙	○	○	25	Ⅱ～Ⅲ-1	～1mm大砂粒やや含
32	73	451	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	甕（摂津型a）	16.4	－	－	13.0	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾅﾃﾞ、ﾅﾃﾞ、ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	20	Ⅱ	0.5～1mmの黒白色砂粒含、表面すす付着（多量）
32	90	452	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	18.8	－	－	7.2	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.5～1mmの褐灰色砂粒含
32	83	453	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	甕	19.0	－	－	6.1	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ	0.3～1mmの白色砂粒含
32	91	454	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	甕	28.6	－	－	6.7	ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾍﾗﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.5～4mmの褐灰色砂粒含
32	78	455	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	20.5	－	－	8.5	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ～Ⅲ-1	0.3～1mmの黒白色砂粒含
32	7	456	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ第2面・中層・黒色粘土	弥生土器	甕	(19.1)	－	－	13.9～	ﾊｹﾒ→指ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	△	○	－	Ⅱ-2	～2mm大砂粒やや多、摂津a型
32	8	457	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・D1層・黒色粘土	弥生土器	広口壺	(19.4)	－	－	7.0～	ﾏﾒﾂ	ﾊｹﾒ	灰白・淡黄	黒・灰白	×	○	5～7	Ⅱ-3?	1～3mm大砂粒多含
32	70	458	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	20.6	－	－	9.8	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	口唇：刻目、体部：ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅰ-4～Ⅱ-1	0.3～1.5mmの褐灰色砂粒
32	76	459	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	甕	20.2	－	－	10.3	ﾊｹﾒ、ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅱ～Ⅲ-1?	0.3～1mmの褐灰色砂粒含
32	104	460	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	22.8	－	－	7.8	ﾖｺﾊｹ	口唇部：櫛描波状文、口～体：ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.5～1mm・2～4mmの褐灰色砂粒、小石含
32	100	461	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・中層・黒色粘土	弥生土器	甕	22.6	－	－	8.0	ﾖｺﾊｹ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ・ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	灰	黒	○	○	10	Ⅱ	0.5～1mmの白色砂粒含
32	4	462	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・中～下層・D1層	弥生土器	甕	(25.4)	－	－	9.2～	ﾊｹﾒ→指ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	赤橙・にぶい黄橙	橙・灰白	△	○	10	Ⅱ	～2mm砂粒やや多
32	1	463	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	(22.9)	－	－	4.6～	口：ﾊｹﾒ	口：ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白・にぶい黄橙	浅黄橙・褐灰	◎	○	5	Ⅱ-2	～0.5mm石英・長石少含
32	2	464	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ第2面・中層・黒色粘土	弥生土器	甕	(25.4)	－	－	6.7～	指ﾅﾃﾞ→ﾊｹﾒ	ﾊｹﾒ	淡黄・黄灰	淡黄・灰黄	◎	○	7	Ⅱ-2～3	～1mm石英・長石少含
32	21	465	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ第2面・中層・黒色粘土	弥生土器	甕	(31.4)	－	－	6.6～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ・ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白・暗灰黄	○	○	5	－	～0.5mm大白色粒少、暗灰黄部→ｶｰﾎﾞﾝ付着
32	26	466	CSD 5	D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	(34.7)	－	－	8.7～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	浅黄橙	浅黄橙	△	○	7	Ⅲ-2	～2mm大砂粒やや多含、長石・斜長石
32	22	467	CSD 5	D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	(36.0)	－	－	12.3～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	浅黄橙	浅黄橙	△	○	10	－	0.5～1mm大砂粒やや多、長石・石英etc
32	23	468	CSD 5	D1層・黒色粘土	弥生土器	－	(42.6)	－	－	13.7～	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	－	－	○	○	－	－	
32	103	469	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	甕	36.4	－	－	6.1	ﾖｺﾊｹ	ﾍﾗﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.5～2mmの黒白色砂粒含
32	75	470	CSD 5	D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	34.2	－	－	11.9	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ→ﾍﾗﾅﾃﾞ	口唇：刻目文、口縁～体部：ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	1～2.5mmの黒褐灰色砂粒多
32	74	471	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・中層・黒色粘土	弥生土器	甕	29.7	－	－	6.5	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.3～1mmの白色砂粒含
32	18	472	CSD 5	D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	(34.9)	－	－	9.5～	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○～△	○	5～7	Ⅱ-3	0.5～1mm大砂粒やや多
32	19	473	CSD 5	D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	(35.3)	－	－	9.0～	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	△	○	5～7	－	～2mm大砂粒多、長石・石英ほか
32	20	474	CSD 5	D1層・黒色粘土	弥生土器	甕	(36.3)	－	－	7.0～	ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	－	長石ほか0.5mm大砂粒多
32	31	475	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・D1層・黒色粘土	弥生土器	高坏	－	－	12.9	11.6	脚：ﾊｹﾒ・指ﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ	灰白	灰白	○	○	60	Ⅱ-2	0.3～1mmの黒・白・灰褐色砂粒含
32	33	476	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	高坏	－	－	12.2	16.8	杯部：ﾍﾗﾐｶﾞｷ、脚部：ﾊｹﾒ→ﾅﾃﾞ	口～全体：ﾀﾃﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	80	Ⅱ-2	0.3～1.5mmの黒･白色砂粒含
32	37	477	CSD 5	Cﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	高坏	23.7	－	－	6.9	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ-3	0.3～2mmの黒･白色砂粒含

32	28	478	CSD 5	D1 層・黒色粘土	弥生土器	高坏 or 鉢	(23.6)	－	－	8.1 ～	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	灰白	灰白	◎	○	10	Ⅱ-3 ～ Ⅲ-1	1 ～ 2mm 大長石・石英やや多含
32	45	479	CSD 5	C ﾄﾚﾝﾁ・D1 層・黒色粘土	弥生土器	鉢	36.8	－	－	5.2	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ、ﾖｺﾅﾃﾞ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	0.3 ～ 1mm の黒・白色砂粒含
33	99	480	CSD 5	C ﾄﾚﾝﾁ・D1 層・黒色粘土	弥生土器	鉢	9.7	－	－	7.0	ﾖｺﾊｹ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾊｹﾒ→ﾍﾗﾐｶﾞｷ、黒斑	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ-3	0.3 ～ 1mm の黒褐灰色砂粒含
33	72	481	CSD 5	C ﾄﾚﾝﾁ・D1 層・黒色粘土	弥生土器	鉢	20.0	－	－	8.3	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ	0.3 ～ 1mm の褐灰色砂粒
33	35	482	CSD 5	－	弥生土器	鉢	－	－	5.8	8.0	ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ、ﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	80	Ⅱ	0.3 ～ 1mm の黒･白色砂粒含
33	101	483	CSD 5	C ﾄﾚﾝﾁ・D1 層・黒色粘土	弥生土器	鉢	24.7	－	－	5.0	ﾖｺﾅﾃﾞ、ﾅﾃﾞ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅱ	黒斑あり
33	34	484	CSD 5	C ﾄﾚﾝﾁ・下層・黒色粘土	弥生土器	鉢	7.6	－	3.7	9.0	ﾅﾃﾞﾂｹ	ﾊｹﾒ→ﾖｺﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	97	Ⅱ-(1)・2	0.5 ～ 1mm の灰褐色、ﾁｬｰﾄ砂粒含
33	53	485	CSD 5	C ﾄﾚﾝﾁ・D1 層・黒色粘土	弥生土器	ﾐﾆｭﾁｭｱ	2.3	－	－	5.2	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	70	Ⅱ～Ⅲ？	0.3 ～ 1mm の黒・白色砂粒含
33	63	486	CSD 5	C ﾄﾚﾝﾁ・中層～下層	弥生土器	鉢	30.2	－	－	7.9	ﾊｹﾒ	矢羽根状・格子目文	灰白	灰白	○	○	5	Ⅳ	0.3 ～ 0.5mm の黒褐灰色砂粒多
33	1	487	CSD 7	C ﾄﾚﾝﾁ・褐灰色土	弥生土器	広口壺	(9.0)	－	－	3.4 ～	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	にぶい橙	にぶい黄橙	○	○	10	－	～ 0.5mm 大白色粒少～中
33	6	488	CSD 7	C ﾄﾚﾝﾁ・下層	弥生土器	広口壺	(11.8)	－	－	7.2 ～	ﾏﾒﾂ	口：沈線、ﾊｹﾒ	浅黄橙	にぶい褐	○	○	15	Ⅳ-	長石・斜長石～ 0.5mm 大少含
33	7	489	CSD 7	C ﾄﾚﾝﾁ・下層・褐灰色土	弥生土器	広口壺	(29.3)	－	－	8.7 ～	口：ﾊｹﾒ	口唇：指頭圧痕、口：ﾊｹﾒ	暗灰	口縁：灰白、体：灰黄褐	△	○	5	Ⅱ-2	0.5 ～ 2mm 大砂粒やや多含
33	4	490	CSD 7	C ﾄﾚﾝﾁ・下層	弥生土器	水差	(12.7)	－	－	8.9 ～	ﾅﾃﾞ	口：凹線文 4 条、ﾊｹﾒ	にぶい黄橙	褐灰	△	○	5	Ⅵ-	0.5 ～ 1mm 大砂粒多
33	3	491	CSD 7	C ﾄﾚﾝﾁ・下層	弥生土器	広口壺（生駒西麓産）	(16.4)	－	－	4.7 ～	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	にぶい黄褐	にぶい黄褐	△	○	5	Ⅱ-?	～ 2mm 大白色・黒色砂粒・金雲母・黄銅鉱多
33	5	492	CSD 7	C ﾄﾚﾝﾁ・下層	弥生土器	甕	(22.0)	－	－	6.4 ～	ﾏﾒﾂ	ﾏﾒﾂ	口:灰黄褐、体:にぶい黄橙	灰黄褐	△	○	5	Ⅱ-2	1 ～ 2mm 大長石・斜長石・石英・砂粒多含
33	2	493	CSD 7	C ﾄﾚﾝﾁ・下層・褐灰色土	弥生土器	鉢	(10.5)	(11.4)	－	4.8 ～	ﾍﾗﾐｶﾞｷ	ﾍﾗﾐｶﾞｷ→ﾍﾗｹｽﾞﾘ	浅黄橙	浅黄橙	○	○	20	－	～ 0.3mm 大白色粒少
33	7	494	CSD	C ﾄﾚﾝﾁ第 1 面北側溝中央・砂層	弥生土器		11.8	－	－	4.7			灰	灰	○	○			0.2 ～ 1mm の白色砂粒含
33	106	495	CSD 5	C ﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	坏蓋	12.9	－	－	3.5	ﾛｸﾛ目	ﾛｸﾛ目	灰白	灰白	○	○	5	TK23～TK47 ～ MT15、5C末～6C 前	時期：5c 末～ 6c 前
33	105	496	CSD 5	C ﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	須恵器坏身	(11.6)	－	－	5.0	ﾛｸﾛ目	底部回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	灰白	灰白	○	○	40	TK23 ～ TK47	0.5 ～ 1mm の黒色砂粒含
33	1	497	CSD -01	C ﾄﾚﾝﾁ・CSD-01 及び X Ⅲ層（包含層）	弥生土器		8.3	－	－	2.9			灰白	灰白	○	○			0.1 ～ 0.5mm の黒・白色砂粒含白色砂粒含
33	6	498	CSD	C ﾄﾚﾝﾁ第 1 面北側溝中央・砂層	弥生土器		10.0	－	－	5.3			灰	灰	○	○			0.2 ～ 2mm の白色砂粒含
33	3	499	CSD -03	C ﾄﾚﾝﾁ・にぶい黄褐色砂	弥生土器		10.4	－	－	4.6			灰白	灰白	○	○			0.1 ～ 0.5mm の黒・白色砂粒含
33	2	500	CSD -01	C ﾄﾚﾝﾁ・CSD-01 及び X Ⅲ層（包含層）	弥生土器		12.5	－	－	3.1			灰	灰	○	○			0.1 ～ 2mm の白色砂粒少含
33	108	501	CSD 5	C ﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	有蓋高坏（坏部）	(13.4)	－	－	4.6	ﾛｸﾛ目	波状文・下端回転ﾍﾗｹｽﾞﾘ	灰	灰	○	○	5	TK23 ～ TK47	0.3mm 以下の白色極少砂粒少含、内部：赤褐色
33	8	502	CSD	C ﾄﾚﾝﾁ第 1 面北側溝中央・砂層	弥生土器		10.1	－	－	3.7			灰白	灰白	○	○			0.1 ～ 1mm の白黒色砂粒含
33	68	503	CSD 5	C ﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	土師皿（ての字状口縁）	10.75	－	－	1.6	ﾅﾃﾞ	ﾅﾃﾞ	灰白	灰白	○	○	65	12c 後～ 13c 後（中世Ⅱ）	0.5mm の褐灰色砂粒含
33	4	504	CSD	C ﾄﾚﾝﾁ第 1 面北側溝中央・砂層	弥生土器		10.1	－	8.45	9.4					○	○			0.2 ～ 1mm の黒・白色砂粒含
33	5	505	CSD	C ﾄﾚﾝﾁ第 1 面北側溝中央・砂層	弥生土器		10.2	－	8	9.55			灰白～灰	灰白～灰	○	○			0.2 ～ 2mm の白色砂粒含、脚部にすかし窓 3 ヶ所あり
33	107	506	CSD 5	C ﾄﾚﾝﾁ	弥生土器	有蓋高坏（脚部）	－	－	8.7	4.8	ﾛｸﾛ目	ﾛｸﾛ目	灰白	灰白	○	○	10	TK23 ～ TK47	0.3mm の黒白色砂粒少含
33	9	507	CSD -15	C ﾄﾚﾝﾁ・ｱｾﾞ内	弥生土器		13.5	－	－	8.6			灰白	灰白	○	○			0.2 ～ 2mm の白・褐灰色砂粒含
33	10	508	CSD -15	C ﾄﾚﾝﾁ・ｱｾﾞ内	弥生土器		13.5	－	－	9.5			灰白	灰白	○	○			0.2 ～ 3mm の白・褐灰色黒の砂粒含



Aトレンチ南半部全景（北から）



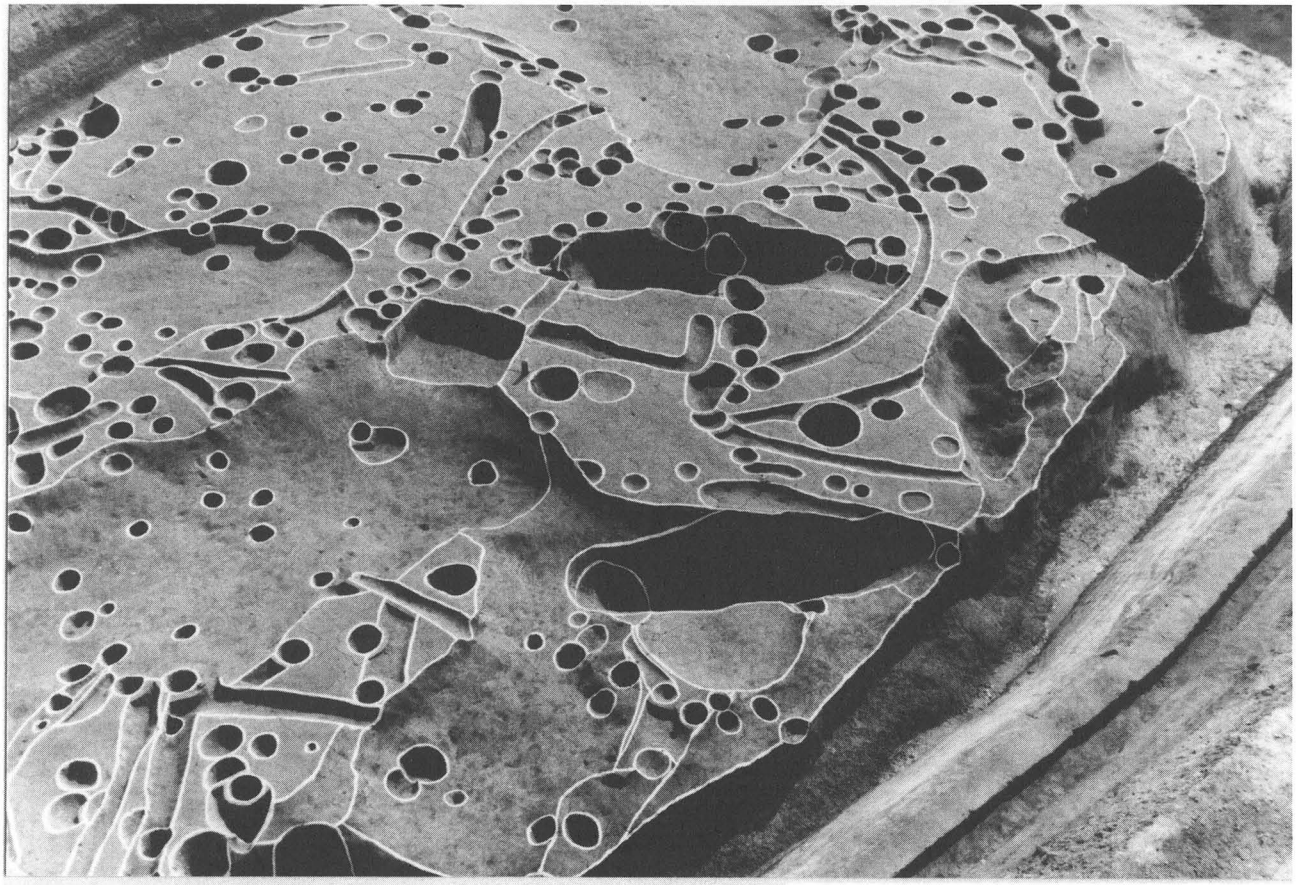
Aトレンチ北半部全景（北から）

第35図　　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（1）

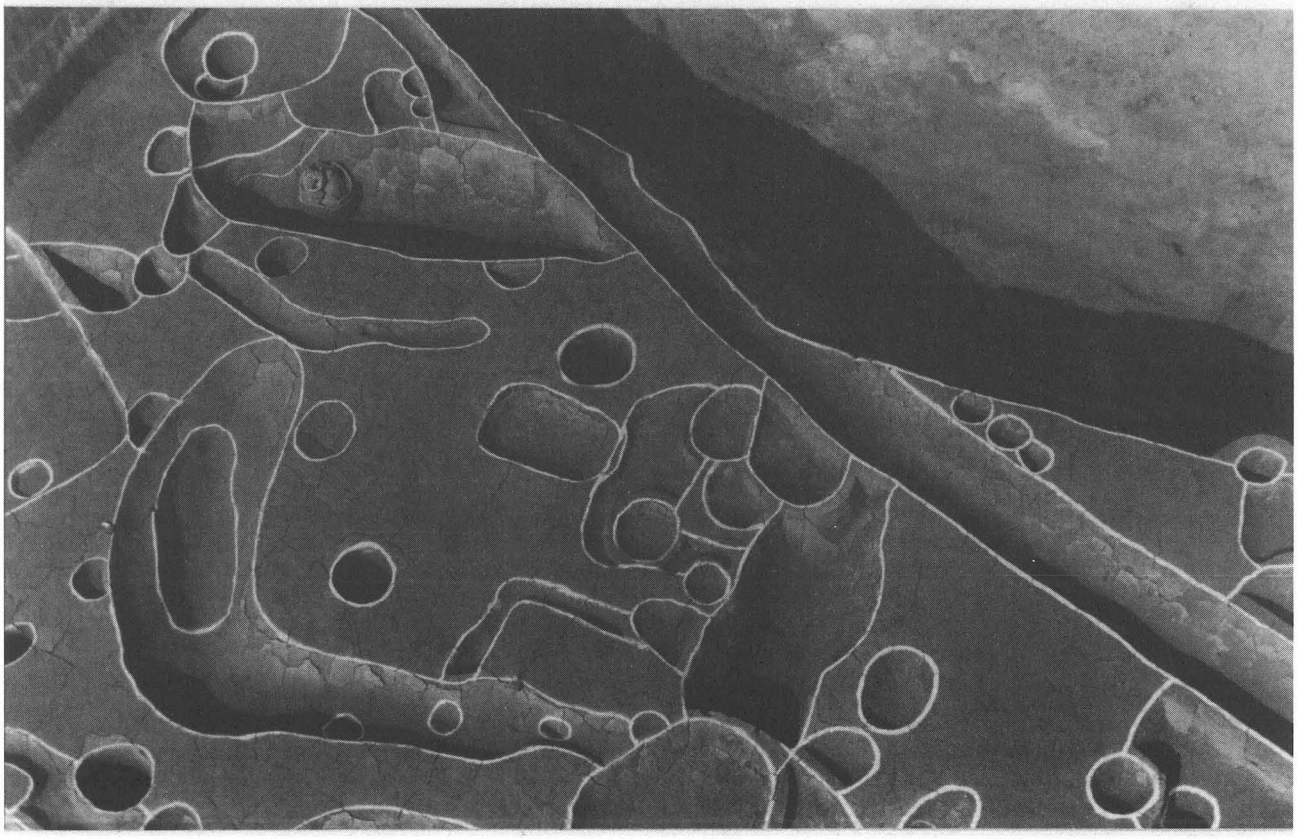
Aトレンチ北半部全景（南から）

Aトレンチ南半部全景（東から）

第36図　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（2）

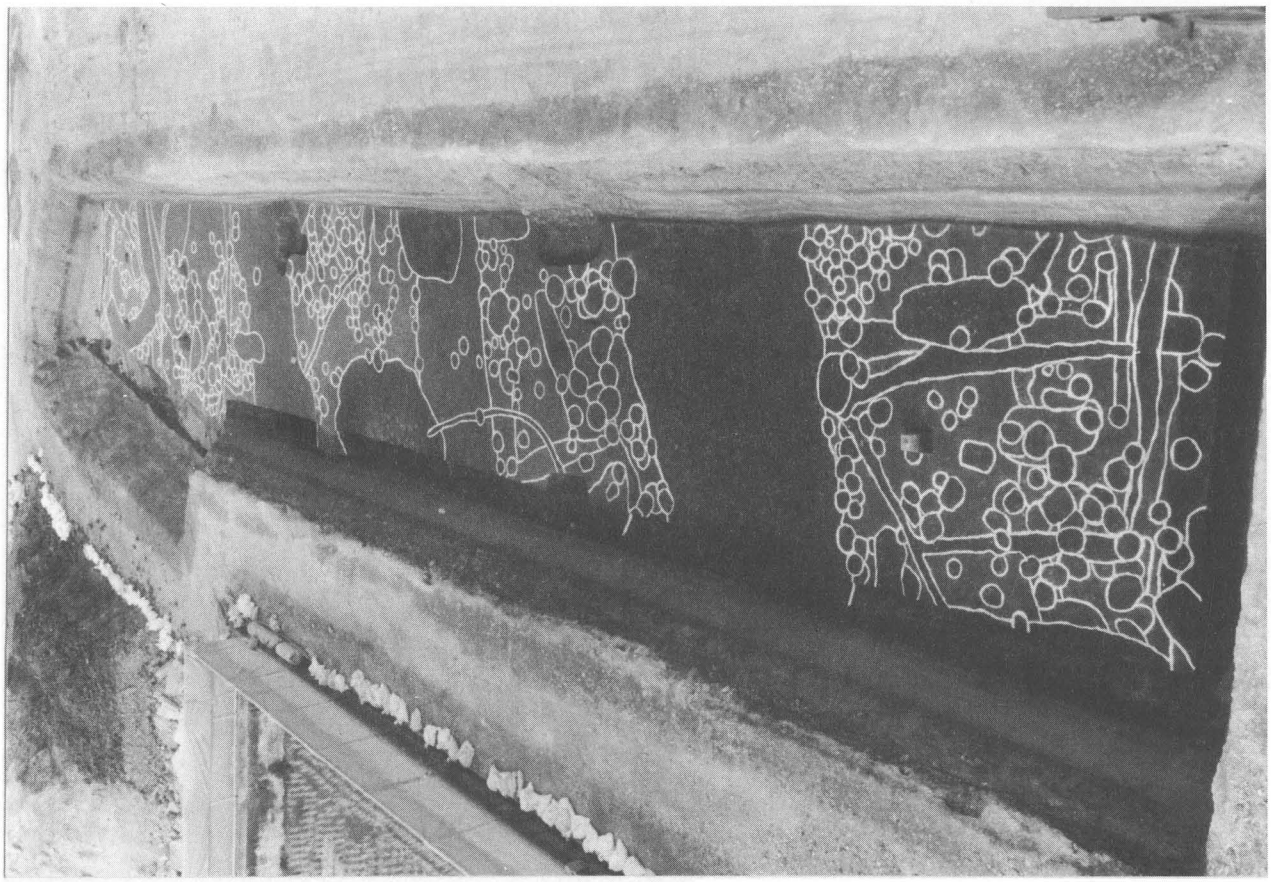


Aトレンチ全景（北西から）

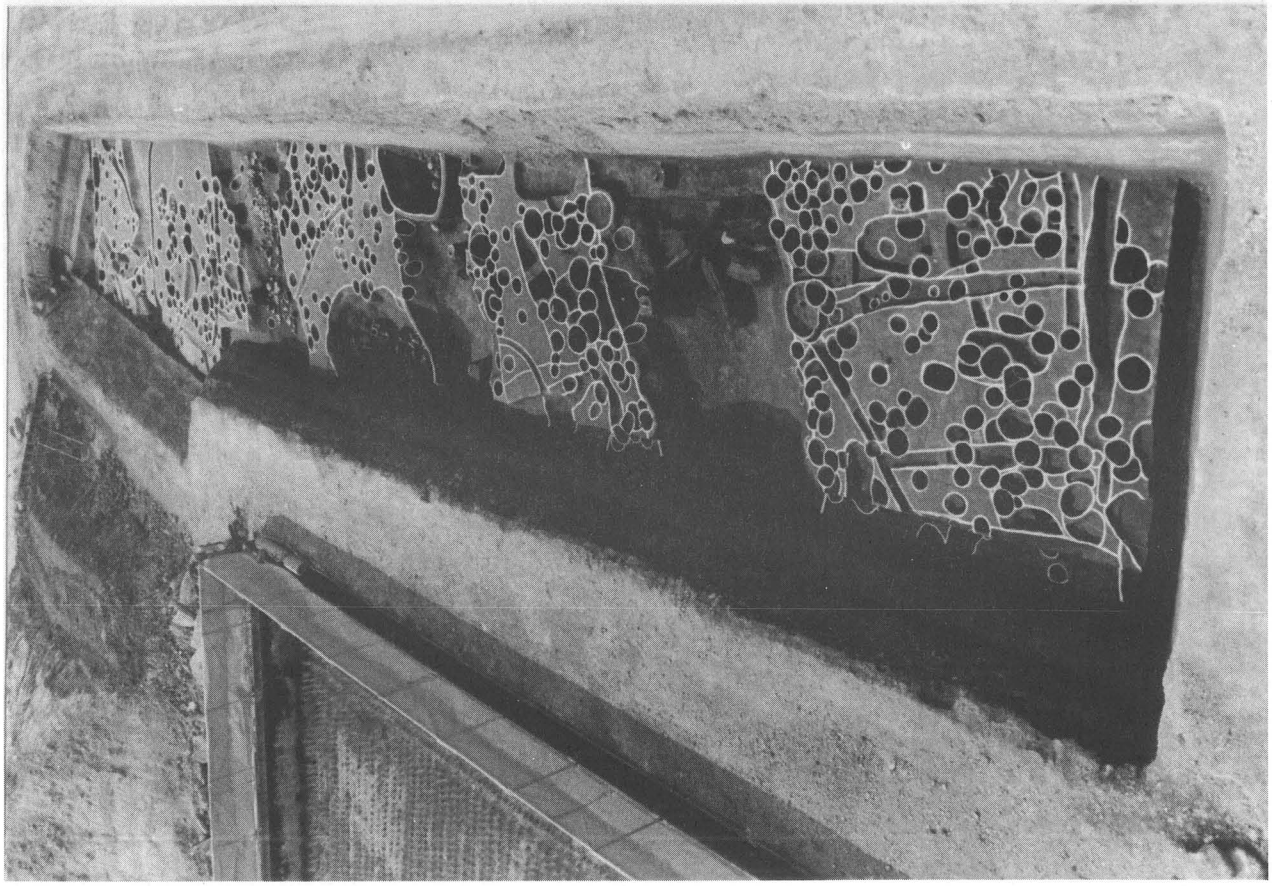


Aトレンチ方形周溝墓４全景（南から）

第37図　　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（３）



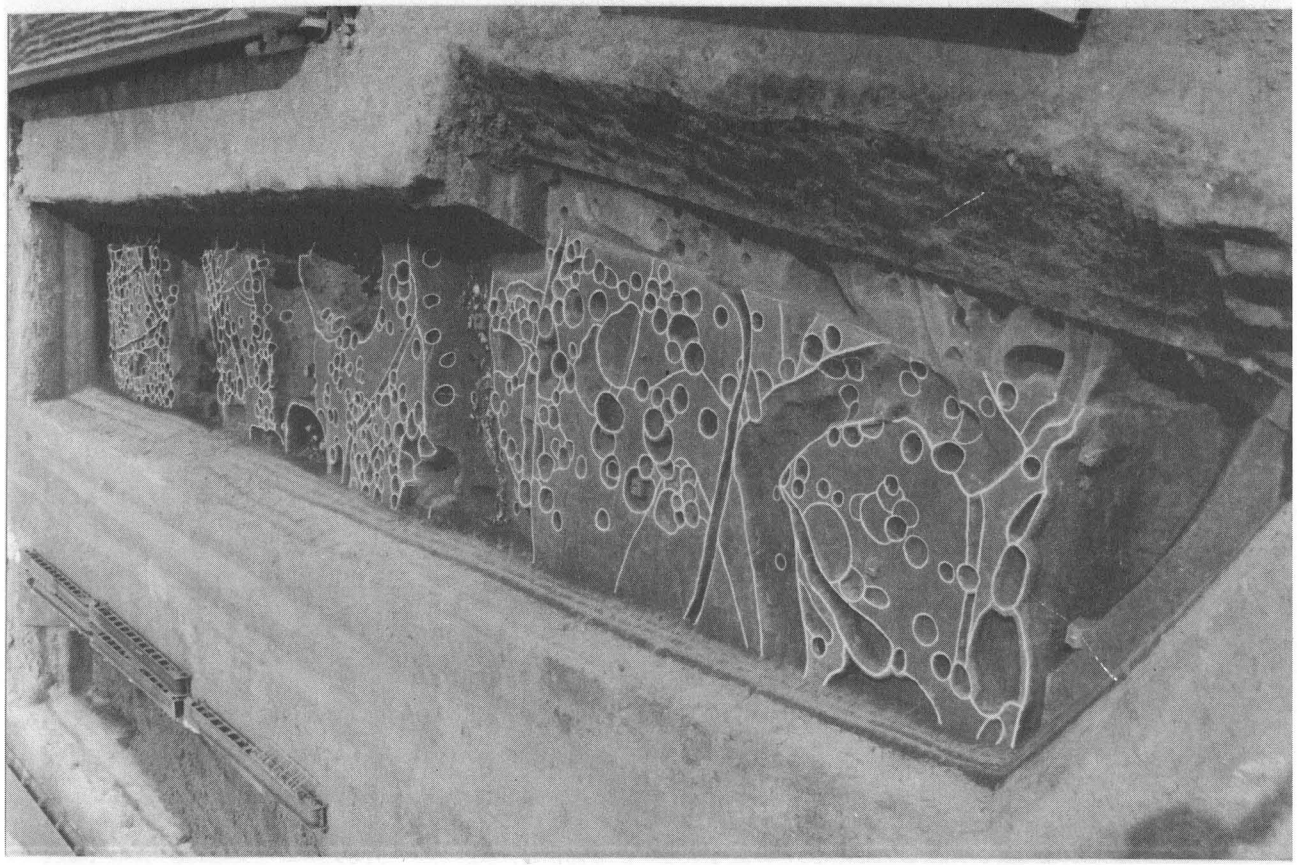
Bトレンチ第２面検出状況全景（東から）



Bトレンチ第２面完掘状況全景（東から）

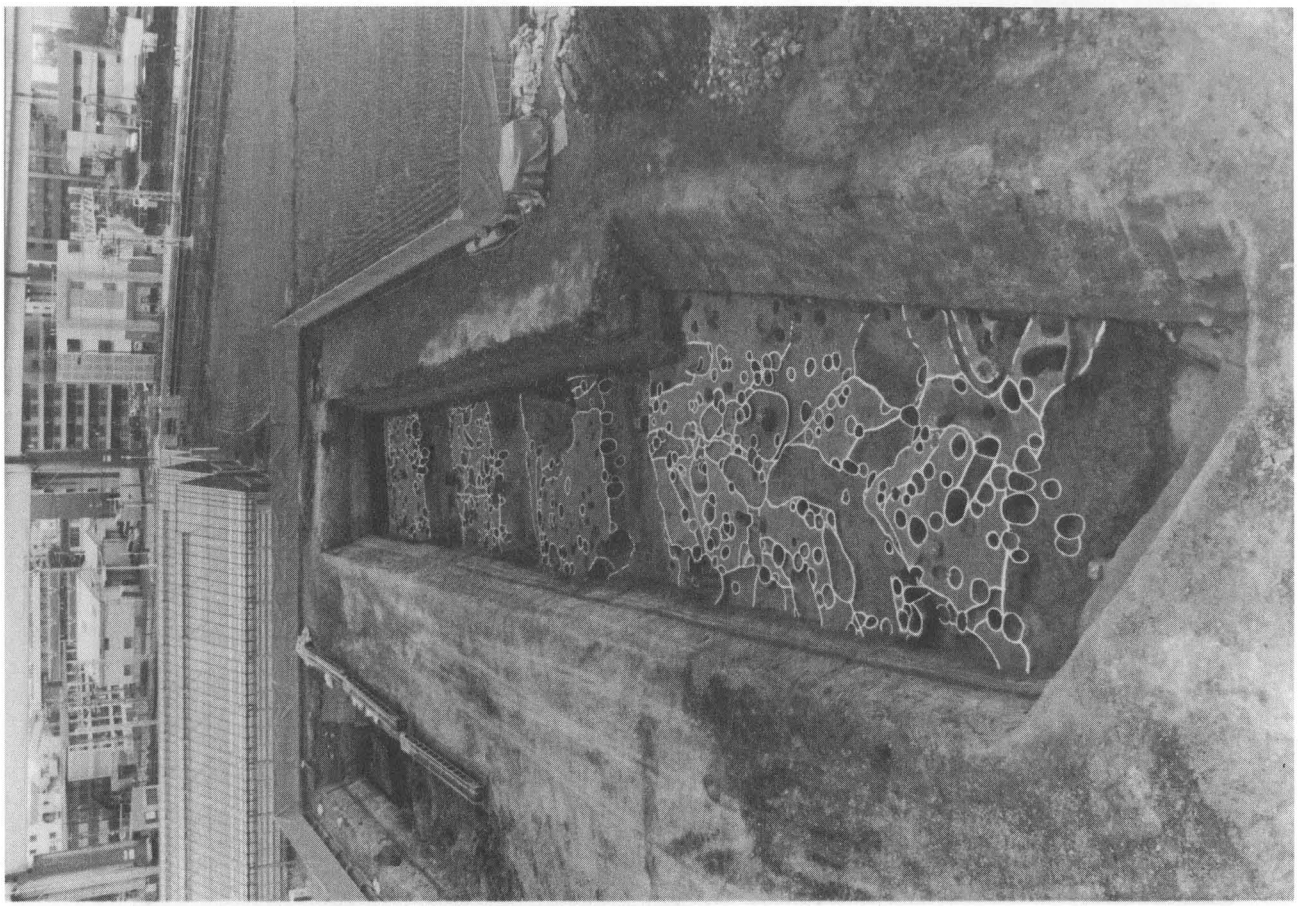
第38図　　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（４）

Ｂトレンチ第２面検出状況全景（西から）

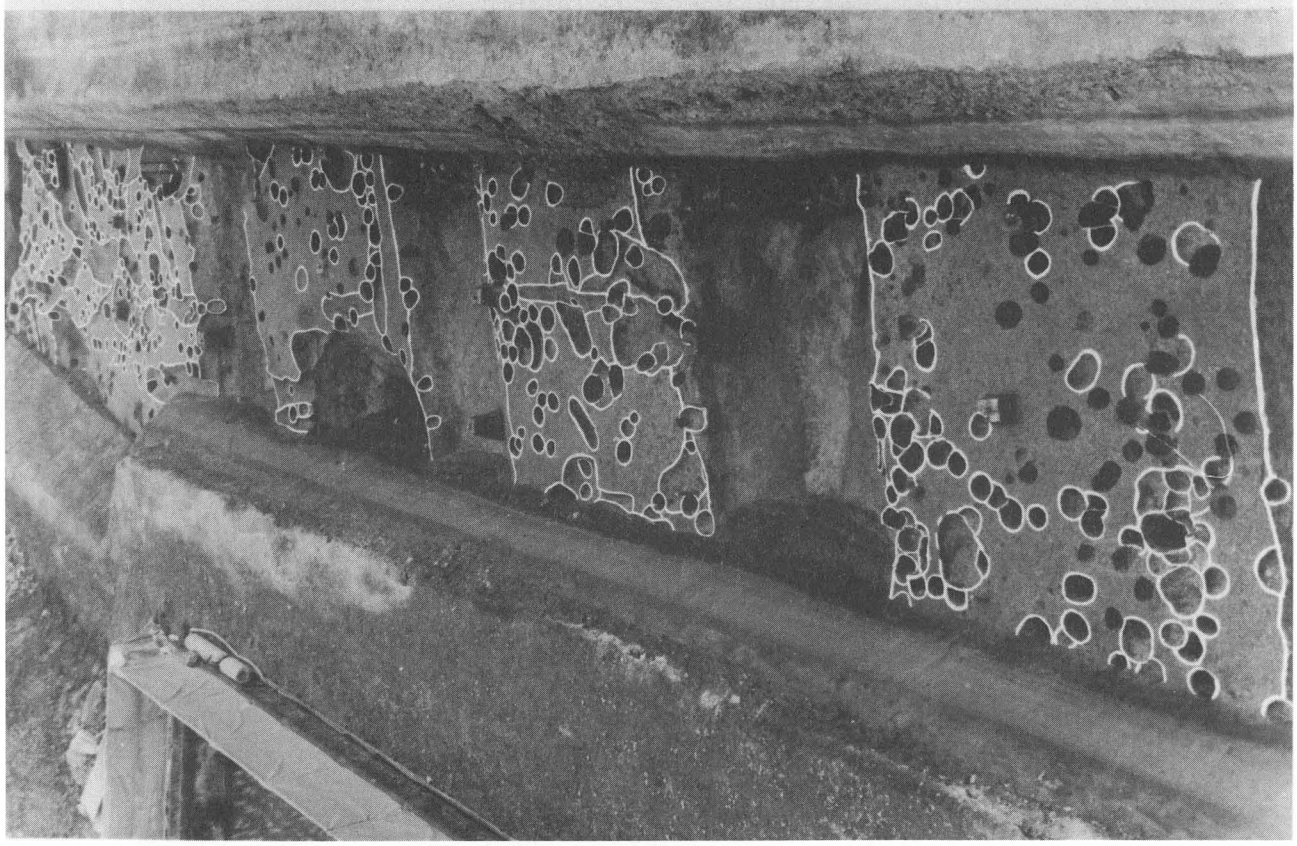


Ｂトレンチ第２面完掘状況全景（西から）

第39図　　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（５）



Bトレンチ第３面完掘状況遠景（西から）



Bトレンチ第３面完掘状況全景（東から）

第40図　　東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（６）